

すみだ北斎美術館

研究紀要 NO.1

館報 2016~21



すみだ北斎美術館

すみだ北斎美術館

研究紀要 NO.1

館報 2016~21



すみだ北斎美術館

すみだ北斎美術館のロゴマークは、北斎の代表作のひとつ「富嶽三十六景 山下白雨」に描かれた稲妻をモチーフにしています。

北斎誕生の地に建つ北斎専門美術館を象徴するロゴマークとして、インパクトがあり新鮮で、日本そしてすみだの北斎を印象的に表現し、北斎の生き方までも感じられるデザインとしました。

目 次

扉	すみだ北斎美術館のロゴマークについて	
はじめに	橋本 光明	

研 究 紀 要

葛飾北斎画「隅田川兩岸景色図巻」の来歴	竹村 誠	1 - 8
葛飾北斎「桜に鷹」ほか版木火鉢について	奥田 敦子	9 - 23
すみだ北斎美術館における令和2年度の 教育普及活動報告	千葉 椎奈	24 - 31
「新収蔵品展—学芸員が選んだおすすめ50—」展 開催にあたって	中山 恵那	32 - 37

館 報

施設概要		41 - 42
展覧会概要		
1. 常設展 2. 常設展プラス		43
3. 企画展示 2016年, 2017年 1 ~ 9回		44 - 71
2018年 10 ~ 14回		72 - 91
2019年 15 ~ 19回		92 - 107
2020年 20 ~ 23回		108 - 126
資料収収集・保管業務		127 - 129
図書室の運営業務		130 - 132
調査研究業務		133 - 134
教育普及業務		135 - 142
国内外の交流業務		143 - 148
広報業務		149 - 152
美術館運営業務 / 施設管理業務		153 - 154
自主事業		155 - 157
その他		158 - 159

はじめに

すみだ北斎美術館は、2021（令和3）年11月22日に開館5周年を迎えました。また、同年3月末日をもちまして指定管理者の（公財）墨田区文化振興財団と（株）丹青社による共同企業体による運営の第1期が終了しました。この間、共同企業体と墨田区との連携の下で弊館は、葛飾北斎の専門美術館として北斎の画業を国内外へ発信することを通じて偉大な業績を顕彰し、文化芸術の普及振興を図るため各種事業を推進しました。開設の2016年11月22日から2018年3月末日までの事業内容をまとめた「28,29年度年報・事業実績報告書」は、すでにインターネットで公開しておりますが、第1期終了の4年4か月間の事業報告を、この度「館報」として報告することにいたしました。併せて学芸員による北斎に関する資料の収集や保存、調査研究、展示企画、教育普及等に関する研究論文や実践報告などを「研究紀要」で発表することにしました。

この事業実績と研究成果を合本にして「研究紀要・館報」を刊行することができましたのは、ひとえにご関係の皆様方の並々ならぬご尽力の賜物とお礼申し上げます。中でも弊館の地、亀沢地区の皆様による連絡会や“北斎通りまちづくりの会”、近隣地区で構成する“両国協力会”、そして墨田区観光協会など、地域の店舗や企業、団体をはじめ学校や教育委員会、文化芸術団体、さらには“隅田川森羅万象 墨に夢”のアートプロジェクトに参加する人々や団体などに関わり合うことで館の事業や研究等の活動の幅を広げ、職員の多様な課題への対応力が発揮されました。

また、美術館や博物館との協力関係を築くときでもありました。区内の「美術館・博物館ネットワーク交流会」や「東京・区立美術館ネットワーク」など、他館との交流によって情報の共有化や共通課題の解決に向けた取り組みが行われるようになりました。視点を変えれば北斎の美術館としての特色をあらためて自覚して独自性や個性のある館として展開することの意義を見出し、今後の活動の方向性を探る機会を得たと言えます。浮世絵を所蔵している美術館との連携は、それぞれの館の特色を生かしながらも互いに協力し合う関係づくりが必要です。墨田区は、小布施町と四半世紀前に「友好協力に関する協定」を締結していることから弊館開館の3年後の北斎没後170年記念に小布施北斎館との作品交換展が実現しました。他に「青富士」など北斎の貴重な作品を所蔵する茂木本家美術館「北斎名品展」の開催など、今後も国内の浮世絵所蔵の美術館や博物館との関わりを深めていきます。

国外では、イベントやレプリカによるワークショップや企画展の開催などを通じてロンドンの大英博物館やワシントンD.C. スミソニアン協会のフリーア美術館と繋がりをもちました。フランスのコルマル市ウンターリンデン美術館とポーランド共和国のクラクフ市日本美術技術博物館（通称：マンガ館）とは友好協力協定に調印し、共に美術館の特色を発揮しながら継続的で発展的な関係がつけられました。

第1期の終盤は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館をせざるを得ない期間がありましたが、動画配信や生中継など工夫を凝らすことで美術館利用者の皆様のご理解やご協力をお願いしました。再開後も感染拡大が収まらないため入館者数は激減し、厳しい経営状況に置かれたまま指定管理期間が終わりました。予想を超える多くのご来館の皆様とご一緒に出帆しましたが、沖の手前でウイルスのしぶきがかかる中を帆走しているのが現在です。このような時こそ北斎の生涯をかけた挑戦と努力や鍛錬を思い起こして克服しなければなりません。棧橋から離れて52か月間の航行記録を刊行することは、自らが業務全体を可視化して振り返ることを第一としますが、皆様のご批正とご指導を賜ることで、今後の美術館運営の充実を図ることが必要です。

ご高覧の程よろしくお願い申し上げます。

令和4年3月

すみだ北斎美術館 館長

橋本光明

研究紀要

葛飾北斎画「隅田川両岸景色図巻」の来歴

竹 村 誠

1 はじめに

「隅田川両岸景色図巻」は、葛飾北斎による隅田川両岸の景色と吉原を描いたものである。まず本作品を概観し、次に所蔵者の変遷を確認してみたい。

2 本作品の概要

「隅田川両岸景色図巻」は巻物で、材質は紙本である。北斎による絵の部分縦 28.5cm×横 633.5cmと、戯作者の烏亭焉馬による隅田川に関連した狂文を記した部分縦 28.5cm×横 76.2cmからなる。絵の内容は、両国橋・柳橋から始まり山谷堀までの隅田川両岸、その後視点を改めて日本堤、吉原遊郭の町並み、最後に吉原の遊郭室内での遊興の様子を描いたものである。箱等の付属品は一切ない。

描かれている隅田川の景色は、両国橋、柳橋、回向院、御蔵橋、御米蔵、駒止石、首尾の松、石原橋、駒形堂、吾妻橋、浅草寺、源森橋、水戸藩屋敷、三囲稲荷、牛御前、長命寺、待乳山稲荷、今戸橋、新鳥越橋、水神社、梅若社、さらに遠く筑波山などである。

落款は絵の最後に「烏亭焉馬応需於談洲楼九々蜃北斎席画」とあり、朱文方印「画狂人」が捺されている。「北斎」の落款は、寛政 10 年 (1798) 頃より文化 7 年 (1810) 頃まで使用され、「九々蜃」は文化 2 年頃に使用されたとされる (註 1)。肉筆画では「円窓の美人図」(九々蜃北斎席画、朱文長方印「亀毛蛇足」、シンシナティ美術館蔵)、「達磨図」(九々蜃北斎画、朱文長方印「亀毛蛇足」、個人蔵)、「鏡見美人図」(独流九々蜃北斎画、朱文長方印「亀毛蛇足」、ボストン美術館蔵)、「茶筌売り図」(九々蜃北斎画、朱文長方印「亀毛蛇足」、ボストン美術館蔵) などの使用例がある。

「画狂人」の印章は、寛政 11 年頃からみられ、肉筆画では享和 (1801～04) 初年頃までの使用例が確認されている (註 2)。この印章は、もともと六曲一隻の屏風であったものを一扇ずつ掛軸に改装した「六玉川」(「千鳥の玉川〔波に千鳥〕」(画狂人北斎画、墨田区蔵)、「擣衣の玉川」(北斎画、北斎館蔵)、「調布の玉川」(北斎画、北斎館蔵)、「井出の玉川」(北斎画、千葉市美術館蔵)、「萩の玉川」(不染居北斎画、板橋区立美術館蔵)、「花魁図」(不染居北斎画、中右コレクション)、「筑摩祭図屏風」(東陽北斎画、フリーア美術館蔵)、「ちょうちんを持つ遊女」(不染居北斎画、ハラリーコレクション) などにみられる。版本では文化 3 年刊行の「春宵奇譚 絵本壁落穂」などに使用されており、文化初年頃まで使用された可能性もあると考えられている。よって年代のわかる肉筆画において報告されているなかでは、本作品が該印の最下限にあたるものとなる。

「隅田川両岸景色九々蜃北斎画写 会府呈塚原主人其題作狂文 談洲楼」と最初に書かれた焉馬の狂文の最後には「于時文化二年乙丑四月釋迦の生れて七夜の日 東都滑稽作者立川於談洲楼六十二翁烏亭焉馬戯述」、朱文方印「焉馬」とあり、焉馬が狂文を記したのが文化 2 年 4 月 14 日であることがわかり、北斎による本作品の制作もこの頃であったと考えられる。なお、狂文の題にある「塚原主人」の詳細は不明である。北斎の肉筆画に焉馬が賛をした「釜に絵馬図」(島根県立美術館、永田コレクション) に捺された関防印と「焉馬」の印が本作品と同一であり、特徴的な書き方をする「の」の字などから、書体も焉馬本人によって記されたと考えられる。狂文の内容は、隅田川両岸の名所や風俗を狂文として読み込んだものである。言及されている場所は北斎の絵に描かれている場所以外も含まれており、まったく一致するわけではない。ただし、両国橋から始まり、日本堤で終わっている点などは、北斎の絵を意識したものとも考えられる。狂文は以下の通り (【 】のルビは原文のママ)。

隅田川兩岸景色九々蟹北齋画寫
會府呈塚原主人其題作狂文 談洲樓

東都の両國橋ハ西南に富士を詠め東北に築波【つくば】を見る四季の
景色【けしき】あるか中に夏ハさら也岸の水茶屋の花香【か】に寄る人は
しこなし顔にあつさ忘れて釜元につぶやく茶屋にひいてたる
女房有り傍【そば】にかうばしき糎【あめ】賣あり見世物輕業【かるわざ】の小屋ハ
天に覆【おゝ】ひ商人の軒地【ち】せましと并【なら】ふ扇うちは小間物旅人ハ
古郷【こきやう】へ錦繪をもとむ虫賣の籠【かご】に真葛【まくず】ヶ原をしたひ燈籠【とうろう】
に小袿殿をおもふ軍書の講釈に稲麻竹葦【とうまちくい】のごとくといふハ郡【くん】
集【じゆ】の人に對【たい】する歟揚弓場【ようきうば】の小娘を的【まと】と見てあだ矢【や】はな
す
うつけ者女浄瑠璃の一段所望ハ巾着【きんちゃく】の孔方【こうほう】六段めをふるふ
爰【こゝ】に汲【くみ】たてひやつこいと砂糖【さとう】水賣る聲【こへ】かしこににうめん
あついで
と呼ふいづれ蓼喰【たでく】ふ虫の集【あつま】る所繁花【はんくハ】のしるしなるや玉子の
四角ハすしに見へ蛤【はまくり】の田楽【でんかく】を千鳥といふ幾世餅【いくよもち】つくおとに昼【ひる】
寐【ね】の夢【ゆめ】をさますハ五十嵐【いがらし】のかどの駕【かご】かき也髮結床【かみゆひとこ】
の障子【せうじ】
にハあらしきかたつきたる役所に思ひハの繪なんかゝれたり簾【れん】
の卷【まい】て清女【せいぢよ】が鴻臚峯【こうろほう】の雪ならであハ雪ハ夏もあり
鳥にあらぬ鷹【たか】あり放【はな】し鱧【うなぎ】賣る親ぢハ橋の上にとゝずミ
蒲焼【かばやき】の見世次第に廣【ひろ】くさかんなるハどちらも因果【いんくハ】の道理【どうり】
成べし橋上の往来老若男女袖をつらね武家の同勢【どうせい】引【ひき】も
きらず胡馬北風【こばほくふう】にいなゝき鎗【やり】ハ目前【もくぜん】に絶【たゆ】る事なし欄干【らん
かん】に
もたれて眺望【てうぼう】にうかれかつ蟬【せみ】の長き日くらしけふも暮【くれ】ぬと
啼【なき】すさむ回向院【ゑこういん】の入相の鐘に花火の船を漕【こぎ】出せば兩岸
の茶屋ハ火影【ほかけ】をあらそふ京に四條の床【とこ】をならぶるより
爰【こゝ】に数【す】百の船をつなぎたるハさも平地【へいち】かとうたがふ計り川一
高尾丸の楼船【やかた】にハヤことなき女のけはひたるこへ川風に誘【さそ】ふ
空薫【そらたき】ハ舞子【まいこ】の袖にやかよふらじ流星【りうせい】虎【とら】の尾の花火ハ
銀河【きんが】にひゞきて鳥鵲【うじやく】もおどろきやせんさすがに物まね
聲色【こゝいろ】ハ千圻離【せんこり】を除【よ】け家根船の長調ハにたり船の馬鹿【ばか】
太鼓【こ】を恐【おそ】るげに月に村雲といふべきかでんがく酒瓜【ふり】すいくハ
花火ハと賣る船ハ伊勢の海にきこへし海市【かいし】もこゝにあらハるゝ
かと思ふ玉屋と同音【どうおん】に譽【ほむ】る聲ハたとふるに物なしすべて諷ハざる船なく狂せざる
人なし流れに浮ふうたかたの末ハ深川
に遊びよし原に通ふあるハ船に碇【いかり】をおろし熟酔【しゆくすい】の千鳥足【ちとりあし】
に甚九を踊【おと】れハ惣領【りやう】の甚六向ふに猪牙【ちよき】船をいそぐ
柳橋の糸による物から首尾の恠にしゆびを知らする長文
嬉【うれ】しの森【もり】の椎【しい】の木のもとに歩行路【かちち】をひろふ客あり浅草
川の浅からぬ契りに大川橋のあざ名も吾妻【わがづま】はしと心に
大悲【だいひ】をねぎ申てかの待乳【まつち】山夕こへて青楼【せいろう】に遊【あそ】ぶ人も
有り又隅田川にふなもよひして月ハ高【たか】く三圍【みめぐり】の鳥居
少し見へて汐【しほ】おちて洲【す】いでたり酒有て肴【さかな】なし網【あみ】を擧【あげ】
て魚【うを】を得【う】るにおよはず武蔵屋に一ツ聲【せい】はつして鯉【こい】の

あつ物陸【くが】よりをどる松江【ずんごう】の鱸【すゞき】なんのものが桂【かつら】の權【さほ
蘭【らん】
漿【かじ】空明【こうめい】にさほさすといゝし蘇子【そし】もこゝにおいて便船【びんせん】を
乞【こ】ひ一杯【はい】の酒に牛御痔【うしごぜん】の涎【よだれ】をながし梅若の柳新葉の
かれるまでと諷ひて白髭【しらひげ】大明神の髭お渡し申と戯【たはむ】れん
しかふして山谷【さんや】の堀に船をつけるはや初夜【しよや】過【すぎ】てみやこ鳥の
舎【ねくら】さだめぬ船宿のてうちん我思ふ君ハありやしやと
とつかソ行く日本堤【にほんつゝミ】玉ほこのミちも
おかしからめやハ

于時文化二年

乙丑四月釋迦の生れて

七夜の日

東都滑稽作者

立川於談洲樓

六十二翁 烏亭焉馬戲述

3 所蔵者の変遷

本作品は明治期の資料のなかで言及されているものがいくつかあり、過去の所蔵者等がわかる。

最初に確認できるのは、明治25年（1892）11月12日・13日に上野三橋松源楼で浮世絵商の小林文七によって開催された「古代浮世絵展」に出品された記録である（註3）。この展覧会の目録『浮世絵展覧会品目』（非売品、会主小林文七、奥付はないが、明治25年11月7日付の林忠正による「諸言」がある）の「葛飾北斎筆隅田川兩岸真景 卷物壺巻 本間耕曹君蔵」と記されるものにあたりと考えられる。これにより、明治25年11月の時点では本作品は酒田の豪商本間家出身で、北斎肉筆画の主要な収集家としても知られる本間耕曹（当時は衆議院議員）が所蔵していたことがわかる。

次に確認できるのは、浮世絵などの東洋美術品を海外で販売した林忠正が旧蔵していた北斎の狂歌本『絵本隅田川 兩岸一覽』（日本浮世絵博物館蔵）の表紙裏に記された林の書込であり、以下のように記されている（註4）。

[史料1]

予ガ所蔵ノ卷物一軸ハ北斎、談洲樓舟行シテ吉原ニ遊ビ、墨田川ノ兩岸ヲ写シタルモノナリ、文化二年乙丑四月ニシテ焉馬筆記アリ、画後ニハ九々鬚北斎席上ト落款ス、之ニ拠レハ此本ハ翌丙寅正月ノ門版ナルハ明ナリ

明治二十五年十二月

忠正識

これによれば、林が所蔵していた巻物は、北斎と焉馬が吉原で遊び、隅田川兩岸を描いたもので、絵の後に「九々鬚北斎席上」の落款があり、焉馬の「文化二年乙丑四月」の記述があるという。落款が「席上」で本作品とは多少異なる点もあるが、画題や落款、焉馬の筆記等本作品と同じであることから、明治25年12月の時点では林が所蔵していたことがわかる。

その後は、『葛飾北斎伝』（明治26年刊）を著した飯島虚心による未発表原稿の『北斎遺事補欠』に本作品の記載がある（註5）。これは表紙に「明治廿六年八月」とあり、六項目の北斎に関する記事を記したものである。そのうちの一つに以下のようにある。

[史料2]

○此の頃本間耕曹氏所蔵の吉原通の一卷を閲覽せしか、両国より吉原ニ到る途中の景色を画きたるものにて、或ハ四ツ手を飛ハセ、或ハ猪牙を行リ、蔵前より駒形に来る所に到リ、空中に

鶉を画く、これ「君ハ今駒形あたりほとゝきす」といへる名妓高尾か秀吟をおもひ出し、画きたるものなるへし、末ニ、遊妓楼ニ遊ふの図を載せてあり、細密にして、着色極めて美なり、九々蜃北斎席画と落款して、画狂人の印あり、焉馬これか詞書をつくる、「隅田川兩岸景色、九々蜃北斎画写、会府呈塚原主人、其題作狂文、談洲楼、とするして其の文ニ曰く、（-焉馬の狂文省略-）按するに、烏亭焉馬ハ、中村氏、名ハ、英祝、談洲楼といひ、桃栗山人柿登斎と号し、又狂歌を善くし、狂名を野見てうなごん、すみかねといふ、もと大工の棟梁なり、事ハ戯作者略伝に詳なり、焉馬よく狂歌および戯作をなすといへとも、此の巻の詞書ハ、甚拙し、文体ハ、かの平賀鳩溪か、根なし草の中にある、両国橋の景色をいへる条に、倣ひたるものなるへし、されと句調洪難、鳩溪ニ及ハさること遠し、会府呈塚原主人ハ、蓋し呈会府の誤なるへし、又立川於談洲楼ハ、於立川談洲楼なるへし

又、按するに、此の一卷ハ北斎席画と、落款しあれと、長さ殆一丈余の巻物にして、彩色極めて美麗なり、三四日の工程にあらされハ、画く能ハさるものなり、これを席画といふ、甚疑ふへし、果して席画ならハ、凡十時間、筆を握りて間断なく画くにあらされハ、なす能ハ、さるなり、或人曰く、これ席画にあらず、蓋し数日間、画き来りたれと此の画、未だ翁の意に適ハさる所あるをもて、席画と落款せしものならん、これかの酔中筆と同日の談なりと、或ハ然らん

虚心が本間の所蔵していた「吉原通の一卷」を閲覧して記した記録である。画題、落款、焉馬の狂文等が本作品と一致しており、「吉原通の一卷」が本作品であることがわかる。また、本間が所蔵していたという記載からは、先に挙げた『浮世絵展覧会品目』の本間所蔵作品が本作品であることの傍証ともなる。年代に関しては、明治25年12月には林が所蔵していた記録があるので、明治25年12月以前の本間が所蔵していた時期に閲覧し、明治26年8月に『北斎遺事補欠』として原稿をまとめたと考えるのが妥当であろう。

さらに、フランスの小説家で、北斎作品の愛好家でもあるゴンクールが著した『北斎』（『Hokusai』1896年刊）にも本作品は取り上げられている。本書には肉筆画の目録があり、その中で「巻物」を3点あげ、そのうちの一つを以下のように記している（註6）。

[史料3]

もう一つの興味深い巻物は、隅田川兩岸のパノラマを描くもので、北斎が版本挿絵を描いていた頃の制作である。一センチほどの木立の枝に養生が施されているのがわかるほど、中景部分は目の覚めるような細かさで描かれており、水に事物が映る様などに全く新しい探究の成果が表れている。私は北斎の作品でこれほど精密に描き込まれ、丁寧な仕上げを施したものを見たことがない。最後の水彩画は居間に男女が集っている図である。

この巻物には、九々蜃北斎（一八〇五年）の署名があり、さらに「友人とともに北斎が隅田川を散策した思い出に、談洲楼焉馬（この巻物の説明文の筆者）の依頼で北斎が遊郭の花魁、友人らを吉原の現地で描いた。四番目の月（五月）」と書かれている。

この画面で、ソクラテス風の額にあぐらをかいた小さな鼻、からかうような目つきで、新たに酒をつがせようと、空の酒杯を指差す茶褐色の着物の人物こそ、北斎その人であると信じられている。林コレクション

いくつかの誤記もみられるが、隅田川兩岸のパノラマや最後に男女を描いていること、吉原の遊郭室内で描かれた人物に関する記述から、この巻物は本作品をさしているといえよう。ゴンクールは、根拠を示していないが、茶褐色の着物の人物は北斎であると指摘している。また、最後には「林コレクション」とあり、林所蔵の本作品をゴンクールが披見していたことが確認でき、この時点では本作品がフランスにあったことも確認できる。

その後、1902年に最初に行われた林忠正のコレクションの売り立て記録に掲載されている。林がフランスから撤退するため、そのコレクションは『第1回売立て 中国・日本美術の部』

(『COLLECTION HAYASHI』「OBJETS D'ART du Japon et de la Chine」)として、1902年1月13日から18日までフランスプロヴァンズ街22にあった画商のジークフリート・ビングの店で、続いて24日・25日にはルプルチエ街11とラフィット街16にあった画商のデュラン＝リュエルの店で特定の人向けの展示を行い、26日にはデュラン＝リュエルの店で一般公開の展示を行い、27日から2月1日まで同店で売り立てられた(註7)。浮世絵版画については膨大な量のため『第1回売立て 日本 of デッサン・版画・絵本の部』として6月2日から6日に売立てを行っている。翌1903年2月16日から21日まで『第2回売立て 中国・日本の美術品・絵画』として競売を行っており、本作品は最初の売立目録『第1回売立て 中国・日本美術の部』[No.1600]に「Hok'sai. Makiyémono」として掲載されている(註8)。

[史料4]

1600. — Hok'sai. Makiyémono, déroulant les rives de la Soumidagawa, dans une excursion au Yoshiwara. On assiste d'abord à l'embarquement de plusieurs jeunes gens sur la rive droite du fleuve, au cœur de la ville d'Yédo, auprès du pont Riogokou — celui que les estampes ont tant popularisé — en face du temple Yékojin dont les toits émergent du brouillard. Dépliant le rouleau, on passe devant plusieurs petits ponts qui, sur l'autre bord, enjambent des embouchures de canaux. Le fleuve s'anime de chalands, de bateaux de plaisance, d'embarcations de toutes sortes. De ce côté, on a les toits de la ville à ses pieds; en face, la rive gauche se dégage complète, avec les berges, les promeneurs, les maisons, les rideaux d'arbres et — détail rare dans les peintures japonaises — le reflet de tout cela dans l'eau. Puis, c'est le grand pont Adzouma tout encombré de foule et, à sa suite, au premier plan, les grands madriers appartenant aux chantiers de bois, à côté des toits du temple Assak'sa, pointant hors de la verdure. A partir d'ici les sites se font plus rustiques; c'est, sur la rive gauche, la longue digue qui passe devant le village Soumida suivie du faubourg de Yoshiwara-Tsutsumi jusqu'à ce qu'enfin apparaissent les toits du quartier Yoshiwara. Le panorama s'arrête et, brusquement, dans un grandissement d'échelle énorme, Hok'sai termine son œuvre par une scène dans l'intérieur de l'une des maisons vertes. On trouve d'abord deux jeunes hommes installés devant de petites tables, chargées de plantes, de friandises et de victuailles; puis, séparés par un paravent, deux autres individus, soupant au milieu d'un brillant cercle de jeunes femmes, en toilettes somptueuses; enfin, un dernier personnage, mollement étendu sous une couverture, la tête appuyée sur les coudes, sa longue pipe à la bouche, contemple flegmatiquement la scène environnante. Signature : Hok'sai, précédée des mots Outei yenba (sur commande), daté Bounkwa II (1804), long 8 m.

解説では、描かれている内容などについて記され、挿図として吉原の遊郭室内の部分が白黒図版で掲載されている。フランス語の試訳は以下である。

1600. —北斎、巻絵物、隅田川の兩岸を吉原に向かって散策を繰り広げる絵巻。まず、江戸の街の中心である両国橋の袂で、何人かの若者たちが川の右岸から船に乗るのが見える。この橋は浮世絵版画のおかげでとても有名になったが、この橋の向かい側には、回向院の屋根が霞の上から出て見える。さらに巻物を繰り広げて行くと、対岸の運河の河口を跨ぐ、いくつかの小橋の上を、人々が渡っている。川は、はしけ船や屋形船など、あらゆる種類の小船で賑わっている。こちら岸では都市の屋根が端で切られて見えるだけだが、正面の左岸の眺望は、完全に広がって見え、堤防や、散策者や、家並や、並木や、そして——日本の絵では珍しい細部の描写で——水辺や水に浮かぶすべてのものの影が水面に映っている。さらに進むと、大きな吾妻橋の上は群衆でごった返しており、それに続いて、前面に材木の仕事を示す長い厚板が見え、その隣に見える浅草寺は、樹木の緑の中から頭を出している。ここから景色は田舎風に変わる。川の左岸では、長い土手が《墨田村 village Soumida》の前を通って、郊外に長く吉原堤が続き、ついに吉原地区の屋根が見えるようになる。風景はここで終わり、唐突に画像が

拡大して、北斎は、青楼の一つの屋内場面に切り替えて、この作品を終えている。まず2人の若者が小さなテーブルの前に座っているが、そのテーブルの上には、盆栽や、菓子 (friandises 甘い菓子) や、食べ物 (料理の皿) が載っている。続いて、衝立の向こうには、さらに2人の男性が、豪華に装った若い女性たちの輝かしい輪に囲まれて、《夜食 soupant 観劇の後、遅くにレストランなどでする夜食》を摂っており、最後に来る人物は、掛け布団の下で物憂げにうつ伏せになって、頭を両肘で支え、口に長いキセルをくわえて、冷静に周囲の場面を見つめている。北斎のサインに続いて、烏亭焉馬 (注文者) の文章がある。文化2年 (1804) の年記、長さは8m。

このコレクションの鑑定を、林はジークフリート・ビングに依頼し、本書の序文をビングが記している。それによれば、「実に多い宝物がこのように二つの世界の好事家たちのために集められたとして、林氏の情熱は、もし収穫物の中から自分の分け前をとりおくのを止めていたならば、かくも深く根をおろすことはなかったであろう。本当のところは、林氏は最も大切に慈しんできた品々を人々の渴望の攻撃からかくまったのであり、この上なく眩い申し込みからもそれらを守ったのである。」とあり (註9)、本作品は販売品とは別に林が自分のコレクションのために残していた作品であることが察せられる。なお、本作品の見返し裏に「29691」とペン書きされたシールが貼られているが、書体からこれがビングによる書入れである可能性がある。

林コレクション掲載以後その行方はまったく知られていなかったが、2008年のオークションで出品された。同年11月11日にクリスティーズによりロンドンで行われたオークションの売立目録『Japanese Art and Design』に「Lot77」として掲載された (註10)。

[史料5]

THE PROPERTY OF A EUROPEAN FAMILY

77

KATSUSHIKA HOKUSAI (1760-1849)

Signed and dated Kanji Bunka ninen kinoto-ushi shigatsu Shaka no umareshi nanayo no hi, Toto kokkei sakusha Tatekawa oite Danshuro, rokujuni o Utei Enba gijutsu, sealed Enba and signed Utei Enba oju oite Danshuro...Hokusai sekiga, sealed Gakyojin

A hand-painted scroll depicting a panoramic view of the journey along the Sumida River from the Nihonbashi Bridge to the Yoshiwara, concluding with a depiction of a party where two men are waiting to eat while two others are being entertained by four courtesans in a room decorated with a screen depicting cherry blossoms, a young attendant kneeling in front of another man who is lying on a pile of futons smoking a pipe

28.5cm. x 633.5cm.

The inscription indicates that the scroll was commissioned by Ute Enba and painted by Hokusai at the Danjuro (establishment) . Ute Enba, an old man of 62 years and composer of comic writings at the Danjuro in Tachikawa, signed the painting in the 4th month of 1805, the day of the seventh night when Shaka (the Historical Buddha) was born.

Utei Enba was born in 1743 with the family name Nakamura Hidenori. He was a carpenter by trade, the owner of a shop Izumiya Watsuke which sold tabi [socks] and in his spare time was the leader of the Mimasu Ren, which functioned both as a fan club of the actor Ichikawa Danjuro and as a kyoka poetry group, where he wrote under the name of Nomi Chonagon Sumikane, a name which was composed of the tools of his trade: nomi [chisel], chona [adze] sumikane [carpenter's square]. In 1783 he had a great triumph with a comic monologue at the Takara awase no kai (a humorous competition among various kyoka clubs) , and this success led him to form a new

group called the Hanashi no kai [Story-telling Group] specialising in comic narrative where he used the name Utei Enba and became the leading practitioner of rakugo (comic recitals where the performer plays two or more characters) and also achieved a considerable degree of literary fame when he published his book Rakugo rokuji [The Six Meanings of Rakugo].

The style of the composition shows an affinity with the techniques used in Toto meisho ichiran [Famous Places in the Eastern Capital at One Glance] published in 1800, Miyakodori [Birds of the Capital] published in 1802 and Ehon Sumidagawa ryogan ichiran [The Illustrated Book of Both Banks of the Sumida River] published c. 1803. This was during a period in which Hokusai was experimenting with perspective as seen from viewpoints of differing heights and attempting to raise the horizon and thus increase the depth of the view and at the same time giving himself the opportunity to depict finely drawn and relevant characters in the foreground.

これによれば、「Pre-Lot Text」の項目に「THE PROPERTY OF A EUROPEAN FAMILY」とあり、オークション直前の所蔵者はヨーロッパの某家であったことが記されている。その後、オークションで落札した業者から平成27年に墨田区が本作品を購入し、墨田区の所蔵となっている。なお、同年には墨田区の有形文化財（絵画・歴史資料）に「紙本着色『隅田川両岸景色図』一巻」として登録されている。

4 おわりに

以上、明治25年から30年代の頃に本作品への言及がなされており、本作品が古くから「細密にして、着色極めて美なり」（史料2）、「北斎の作品でこれほど精密に描き込まれ、丁寧な仕上げを施したのを見たことがない。」（史料3）と、北斎の肉筆画の中でも非常に高い評価を得ていたことがわかる。そのため、北斎作品収集家などの目に留まっていたことで、その所蔵者の変遷をたどることができた。つまり、本間耕曹、林忠正が所蔵し、ゴンクールや飯島虚心などの北斎研究者も披見していることが確認できた。これらの中での言及でみてくる本作品についての課題を述べてまとめたい。

焉馬の狂文に関して、史料2では「呈会府」の誤りとし、平賀鳩溪（源内）の『根南志具佐』に似ているという指摘がある。宝暦13年（1763）刊の『根南志具佐』には、隅田川に関する記述があり、これとの関連が考えられる。

史料1や5で指摘されるように、『絵本隅田川 両岸一覧』との類似性がある。『絵本隅田川 両岸一覧』は、隅田川の両岸を版本でありながら連続して描き、最終図は吉原の場面である。林は本作品が描かれた翌年、つまり文化3年に『絵本隅田川 両岸一覧』が刊行されたとするが、『絵本隅田川 両岸一覧』の出版年には享和元年や文化3年など諸説あり、定説はない。近年では、北斎が絵を描いてから数年後に刊行されたとする文化10年、同13年説も出されており、出版年推定の一材料になる可能性も考えられる。

本作品は細密であることから、落款に記された「席画」が、辞書的な意味である会合の席で即座に描くという意味の「席画」ではなく、完成作品に満足しない点があるために「席画」としたとする虚心の指摘（史料2）も、他の落款に席画とある作品などの比較から、検討すべき課題である。

ゴンクールは「水に事物が映る様などに全く新しい探求の成果が表れている。」（史料3）と記しているが、実際の作品には川面に映る影が施されており、北斎作品の中では洋風風景版画などに影を描いた事例もあるものの事例は多くなく、北斎の「新しい探求の成果」として陰影表現にも注目すべき点であろう。

ゴンクールは、「友人とともに北斎が隅田川を散策した思い出に」（史料3）と落款のあとに書かれているとする。実際には書かれていないが、この点を根拠としたのか画中の茶色い着物の人物を北斎の自画像と信じられているとしている。この時期の自画像作品が他にないだけに、検討すべき課題である。林は「北斎、談洲楼舟行シテ吉原ニ遊ビ、墨田川ノ両岸ヲ写シタルモ

ノナリ」(史料1)と、描かれた人物が北斎や焉馬であるかのようにのべているので、ゴンクールは林からの話を参考にした可能性もある。なお、林コレクションの売立目録に「最後に来る人物は、掛け布団の下で物憂げにうつ伏せになって、頭を両肘で支え、口に長いキセルをくわえて、冷静に周囲の場面を見つめている。」とあるように、本図の中で最も格上の人物とみられる、三布団の上の人物は、林の「北斎、談洲楼舟行シテ」(史料1)という記述からは、注文主の焉馬である可能性も考えられよう。

本稿の「3」は、墨田区が本作品を購入した際にプレス発表した、故永田生慈氏が作成した資料を基にしたもので、その成果を引き継がせていただいた。生前の多大なるご指導とともに御礼申し上げます。また、執筆にあたり、原書房の原敏之氏には貴重な資料を閲覧させていただいた。フランス語訳について美術館の外部の方にご尽力を得た。記して御礼申し上げます。

註

- 1 井上和雄編『浮世絵師伝』(渡辺版画店、1931年)他。
- 2 永田生慈「北斎作品の印影について(未定稿)」(葛飾北斎美術館編『北斎研究』第23号、東洋書院、1997年)。
- 3 伊藤めぐみ「浮世絵商・小林文七とそのコレクションをめぐる(一) -失われた北斎作品と浮世絵の名品記録」(財団法人墨田区文化振興財団・葛飾北斎美術館編『北斎研究』29号、東京美術、2001年)。
- 4 『「フランス絵画と浮世絵—東西文化の架け橋 林忠正の眼—展」図録』(同展実行委員会、美術連絡協議会、読売新聞社、1996年)。
- 5 永田生慈「飯島虚心稿『北斎遺事補欠』翻刻」(墨田区文化振興財団・葛飾北斎美術館編『北斎研究』第36号、東京美術、2004年)。
- 6 日本語訳文は、エドモン・ド・ゴンクール著、隠岐由紀子訳『北斎 十八世紀の日本美術』(平凡社、2019年)。
- 7 岸文和「<館蔵資料紹介> 1902・03年 パリ『林コレクション売立て目録』全3冊—東洋美術交渉の一断面—」(『近畿大学中央図書館報』No.14・15、1990年)。
- 8 『COLLECTION HAYASHI』「OBJETS D'ART du Japon et de la Chine」1902年。
- 9 引用文は、小山ブリジット著、高頭麻子・三宅京子訳『夢見た日本 エドモン・ド・ゴンクールと林忠正』(平凡社、2006年)。
- 10 『Japanese Art and Design』(Christie's、2008年)。

葛飾北斎「桜に鷹」ほか四面版木火鉢について

奥田 敦子

1 はじめに

令和3年に葛飾北斎「桜に鷹」をはじめとする錦絵の版木が側板に用いられた火鉢が、個人の所蔵者より墨田区（すみだ北斎美術館）に寄託された。寄託およびその後の展覧会出品にあたり、当館の学芸グループで行った調査結果を報告する。

2 本資料の概要

本資料は長方形の火鉢で、灰を入れる「落し」と呼ばれる部分に銅板を張り、2つの引き出しを下方に横並びに配している。長方形の火鉢で一般的なものは、「関東長火鉢」「江戸長火鉢」と呼ばれ、長方形の火鉢本体に、「猫板」と呼ばれる天板を設けた3段程度の小引き出しが一体化した形についている。本資料は小引き出しがないためか、一般的な長火鉢の寸法である長さ2尺（約60cm）、幅1尺2寸（約36cm）、高さ1尺1寸（約33cm）に比べ、やや小ぶりのサイズであり、長さ51.7cm、幅33.0cm、高さ26.5cmをはかる。

特徴的なのは、本資料の側板4面すべてに浮世絵版画の版木が用いられている点である。長手の面には、葛飾北斎の長大判錦絵「桜に鷹」の主版の版木が（A面）、反対側の引き出しのある面には、幕末に活躍した浮世絵師の溪斎英泉による長大判3枚続の錦絵「江戸名所之内 両国橋夕涼」の主版の中央の版木1枚が（C面）、また短手の面には、北斎の長大判錦絵「詩歌写真鏡 春道のつらき」の主版の版木3分の2が（B面）、その反対の面には、山水画に漢詩が配された主版の版木（D面）が用いられている【図1】。



図1 葛飾北斎「桜に鷹」ほか四面版木火鉢 個人蔵 すみだ北斎美術館寄託

3 本資料発見の経緯とこれまでの発表（報道・展示）

これまで本資料の存在は、浮世絵の研究者の間でも知られていなかった。2020年2月に美術品市場に出回っていたものを美術商が入手、その後2021年1月26日の読売新聞朝刊において初めて報道された。同紙面には、大和文華館館長の浅野秀剛氏のコメントも寄せられている。浅野氏は、「前北斎為一筆」の落款など版画作品との一致、江戸時代特有の版木の質感などから、「桜に鷹」と「詩歌写真鏡 春道のつらき」の面に関して江戸時代のオリジナルの版木と鑑定されている。また、当館の竹村誠学芸員も、版木で摺る際に紙を合わせる目印の「見当」や墨の黒色が全体に残っていることから、この版木で実際に摺られたと見て間違いないとコメントしている。その後、再び2月4日に読売新聞朝刊にて取り上げられ、浅野氏による改印・版元

印の「入木」に関する知見が紹介され、町田市立国際版画美術館館長・国立歴史民俗博物館副館長の久保純一氏も浮世絵制作工程に関する資料的価値についてコメントされている（その詳細は「5 本資料の意義」の項で後述する）。

このような縁があり、北斎の専門館である当館に、資料の所蔵者が寄託を申し出てくださり、同年3月に墨田区に寄託された。そして、同7月20日から9月26日まで当館で開催した「THE北斎 一富嶽三十六景と幻の絵巻一」において初公開され、新聞各紙や美術番組で取り上げられるなど多くの注目を集めた。

4 本資料の版木部分と錦絵の比較結果

当館の学芸グループでは、寄託や展覧会出品にあたり、本資料の詳細な調査を行っている。江戸時代に摺られた完成品の錦絵と詳細な比較を行うことにより、A面とB面の版木に関してはオリジナルであることを確認した。以下に、各面の錦絵の情報、そして現在の所在がわかるものに関して、江戸時代のオリジナルと本資料の比較結果を記す。

A面 葛飾北斎「桜に鷹」【図2】

「桜に鷹」は、天保5年（1834）頃に版元の森屋治兵衛から出版された、落款の形式や書体を同じくする長大判の花鳥画のシリーズの1図で、美しく咲き誇る桜を背景に、豪華な架木（ほこぎ）に止まる鷹狩の鷹を描いたものである。他に「亀」「滝に鯉」「牧馬」「雪松に鶴」の全5図が確認



【図2】A面(左へ90度回転)



【図3】葛飾北斎「桜に鷹」すみだ北斎美術館

されている。いずれも長寿や立身出世など、めでたいことを象徴するシンボルでまとめられている。

本シリーズの現存自体が多くはなく、「桜に鷹」に関しては、現在のところ国内ではすみだ北斎美術館【図3】、東京国立博物館、日本浮世絵博物館に、また海外ではボストン美術館、大英博物館、ケルンのプルヴェラー・コレクション、ロードアイランドスクールオブデザイン美術館、シンドラー・コレクションに所蔵が確認される。

これらオリジナルの錦絵と版木を比較すると、全体の寸法は、【表1】にまとめたように錦絵に比べて版木がやや小さいが、版木は水分を与えて摺り、終わると乾燥させるため、乾燥による縮みや歪みが生じていることがままある。その変化によると思われ、ほぼ同寸といえるだろう。なお、錦絵の中でも寸法にばらつきがあるのは、伝来するうちに周囲が断ち落とされるこ

とが往々にしてあり、図柄の周囲の欠損が起こっているのもそのためと思われる。

続いて落款の形や寸法を比較したところ、【表2】のようにやや右上がり「筆」の字の下部の膨らみと線の薄れが、各館所蔵の錦絵の落款部分と一致する。寸法に関しては、調査の機会がなかなか得られなかったため、当館のものとの比較のみとなるが、版木のほうが3mm小さいが、縮みによるものと思われ、ほぼ同寸といえる。

輪郭線の比較については、学芸グループが版木全体にわたって調べたところ、ほぼ一致を確認しており、特に顕著な部分は【表3】のように鷹の胸元当たりの毛の一部である。版木で線が弱くなっている部分が、現存する各館の錦絵の輪郭線が途切れている部分と一致する。従って、版木A面は「桜に鷹」のオリジナルの版木といえる。

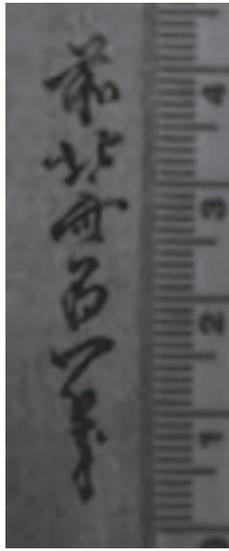
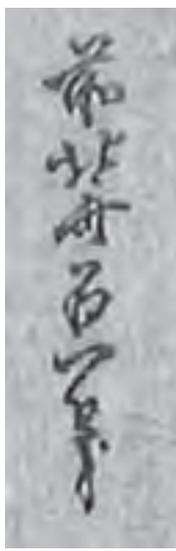
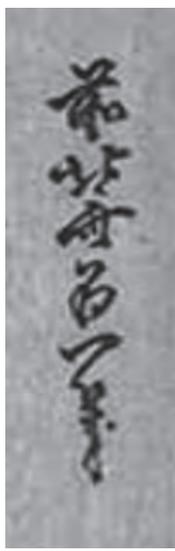
また、改印と版元印部分は、【表4】のように別板に彫ったものを、先に完成させていた全体の図柄の部分に彫った版木に、入木したと考えられる。例えば、すみだ北斎美術館やシンドラー・コレクションのものには、入木部分の盛り上がりで背景の紫色を摺るときに出た線のようなものが確認できる。なぜ入木を行ったかは、「5 本資料の意義」の項で後述する。

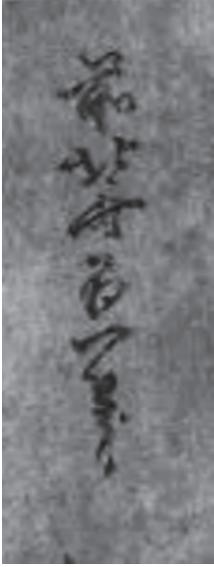
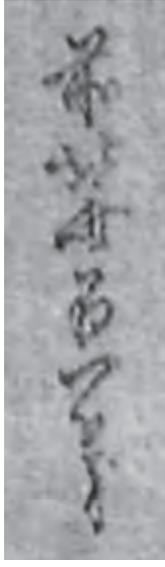
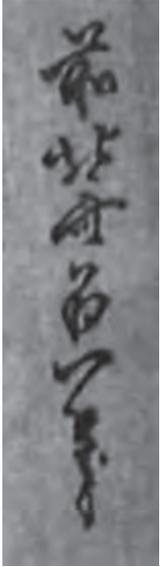
【表1】「桜に鷹」(長大判錦絵)の各館ごとの寸法

A面 版木部分	51.4 ~ 7 × 22.8cm
すみだ北斎美術館	52.0 × 23.6cm
ボストン美術館	52.9 × 23.5cm
大英博物館	50.8 × 23.4cm
ケルン、プルヴェラー・コレクション	50.2 × 22.2cm
シンドラー・コレクション	52.0 × 22.7cm
ロードアイランドスクールオブデザイン美術館	49.8 × 22.7cm

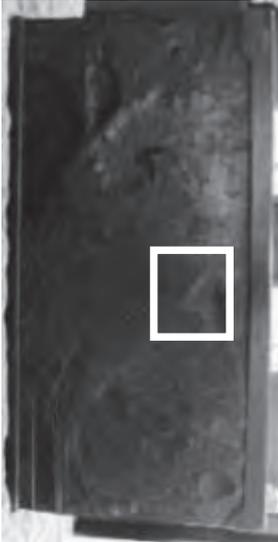
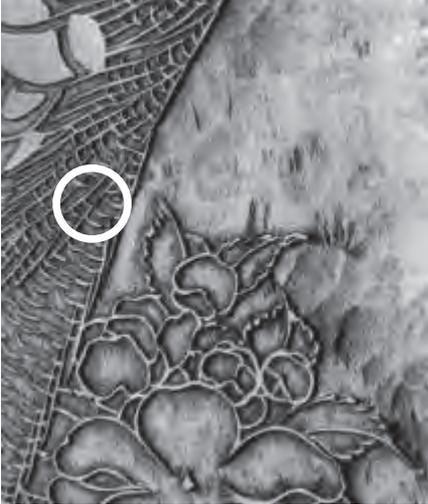
※現在、寸法が確認できるもののみ比較した。

【表2】版木A面と各館の「桜に鷹」(長大判錦絵)の落款部分の比較

			
A面 落款部分 (反転)	すみだ北斎美術館	東京国立博物館	ボストン美術館

			
大英博物館	ケルン、プルヴェラー・コレクション	シンドラー・コレクション	ロードアイランドスクールオブデザイン美術館

【表3】 版木A面と各館の「桜に鷹」(長大判錦絵)の輪郭線部分比較

	
A面 比較部分 (反転)	すみだ北斎美術館 比較部分
	
A面 (反転)	すみだ北斎美術館



東京国立博物館部分



ボストン美術館



大英博物館



ケルン、プルヴェラー・コレクション



シンドラー・コレクション



ロードアイランドスクールオブデザイン美術館

【表4】 版木A面と各館の「桜に鷹」(長大判錦絵)の極印・版元印部分の比較

	
<p>A面 極印・版元印部分(反転)</p>	<p>すみだ北斎美術館</p>
	
<p>大英博物館</p>	<p>シンドラー・コレクション</p>

B面 葛飾北斎「詩歌写真鏡 春道のつらき」【図4】

「詩歌写真鏡 春道のつらき」は、天保4～5年(1833-34)頃に森屋治兵衛から出版された、長大判の和漢の歌に因んだ画題からなるシリーズの1図で、現在10図が確認されている。本図は、平安前期の歌人である春道列樹をイメージした貴族の男性が従者を連れ、勢いのよい流れにかかる山中の橋を渡る情景が描かれている。列樹の歌では『古今和歌集』収載の「山川に風のかけたるしがらみは 流れもあへぬ紅葉なりけり」が知られるが、紅葉が描かれていないことから、「昨日といひ今日と暮らしてあすか川 流れてはやき月日なりけり」を題材とした可能性も指摘されている(註1)。



図4 B面(左へ90度回転)



図5 葛飾北斎「詩歌写真鏡 春道のつらき」
川崎・砂子の里資料館

現在のところ国内では川崎・砂子の里資料館【図5】、東京国立博物館、日本浮世絵博物館、城西国際大学水田美術館に、また海外ではボストン美術館のビゲロー・コレクションとスポルディング・コレクション、大英博物館、ホノルル美術館、ベルリン国立アジア美術館に所蔵が確認される。

これらオリジナルの錦絵と版木を比較すると、全体の寸法について、版木は下部3分の2のみの使用のため横寸のみを検討する。錦絵に比べて縮みの起こりやすい版木はやや小さくなっていると考えられるため、【表5】の通り、ほぼ一致しているといえるだろう。

続いて落款の形を比較したところ、【表6】のように、やや右上がり、「一」の字の突き出た入り方が、各館所蔵の錦絵の落款部分と一致する。そのうち日本浮世絵博物館、城西国際大学水田美術館、ボストン美術館（スポルディング・コレクション）は、版元印の上部の△形が途切れているが、版木の同じ部分が欠損しており、ある時点で欠損が起こったと考えられる。

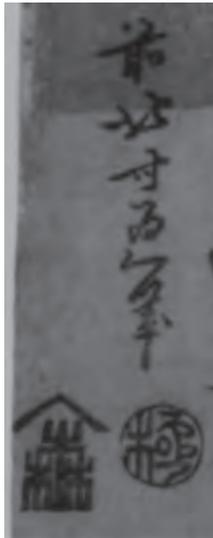
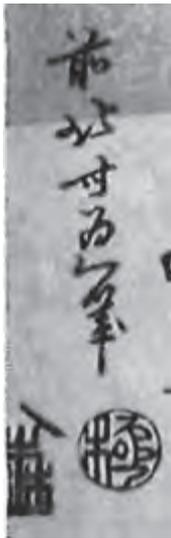
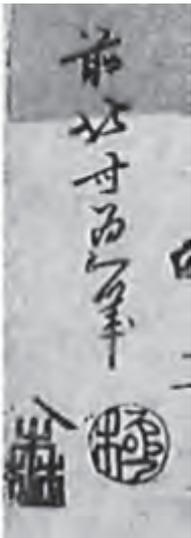
輪郭線の一致については、版木全体にわたって、学芸グループで調べたところ、ほぼ一致しており、特に顕著な部分は【表7】のように貴族男性と従者の稚児の間の波の線である。版木で線が弱くなっている部分が、現存する各館の錦絵の輪郭線が途切れている部分と一致する。そのうちボストン美術館のビゲロー・コレクションとベルリン国立アジア美術館-Aのものが線に欠損が見られないが、他の8点に見られることから、版木B面は「詩歌写真鏡 春道のつらき」のオリジナルの版木といえる。

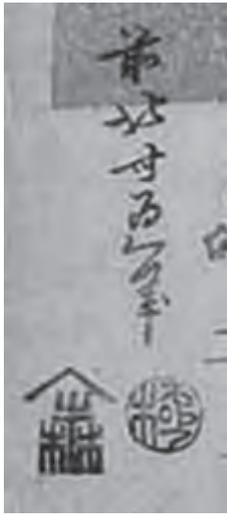
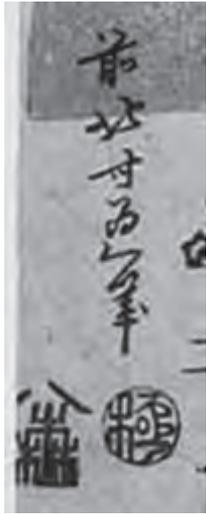
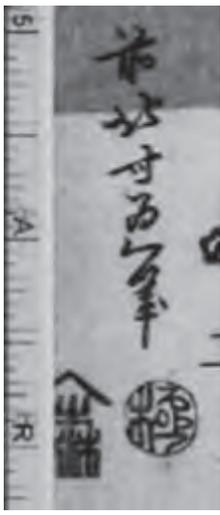
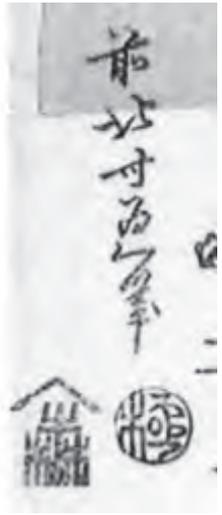
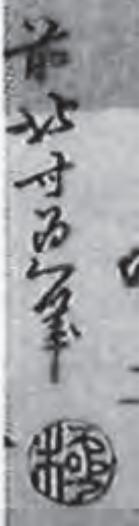
【表5】「詩歌写真鏡 春道のつらき」（長大判錦絵）の各館ごとの寸法

B面 版木部分	32.8 ~ 33.0 × 22.8cm
川崎・砂子の里資料館	51.1 × 23.2cm
城西国際大学水田美術館	51.8 × 23.0cm
ボストン美術館（ビゲロー・コレクション）	52.5 × 23.9cm
ボストン美術館（スポルディング・コレクション）	50.0 × 23.0cm
大英博物館	50.3 × 23.0cm
ホノルル美術館	52.2 × 23.7cm
ベルリン国立アジア美術館 - A	50.8 × 23.0cm
ベルリン国立アジア美術館 - B	48.5 × 21.7cm

※現在、寸法が確認できるもののみ比較した。

【表6】版木B面と各館の「詩歌写真鏡 春道のつらき」（長大判錦絵）の落款・極印・版元印部分の比較

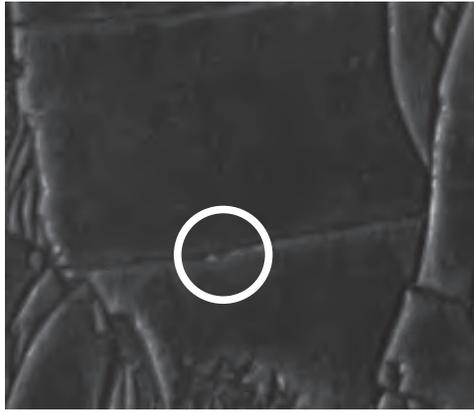
			
B面 落款部分（反転）	川崎・砂子の里資料館	日本浮世絵博物館	城西国際大学水田美術館

			
ボストン美術館 (ビゲロー)	ボストン美術館 (スポルディング)	大英博物館	ホノルル美術館
			
ベルリン国立アジア 美術館 - A	ベルリン国立アジア 美術館 - B		

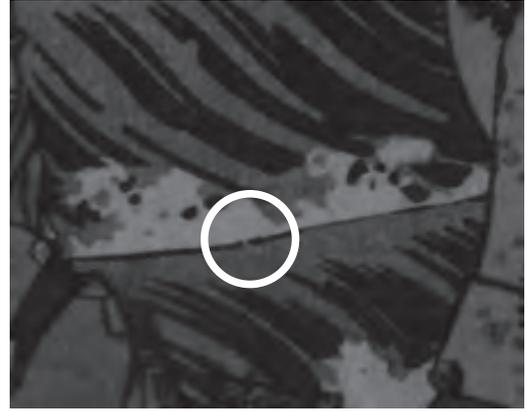
※落款部分にトリミングがある東京国立博物館は比較対象から除外した。

【表7】 版木B面と各館の「詩歌写真鏡 春道のつらき」(長大判錦絵)の輪郭線部分比較

	
B面 比較部分 (反転)	川崎・砂子の里資料館 比較部分



B面（反転）



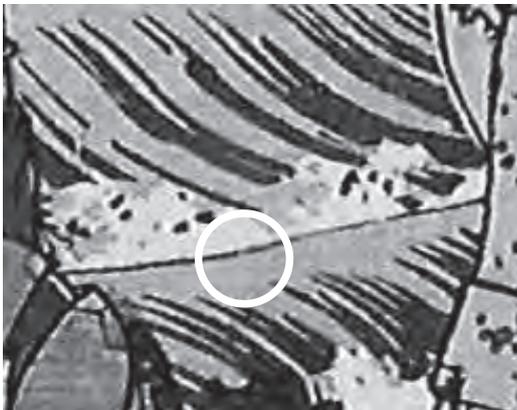
川崎・砂子の里資料館



東京国立博物館



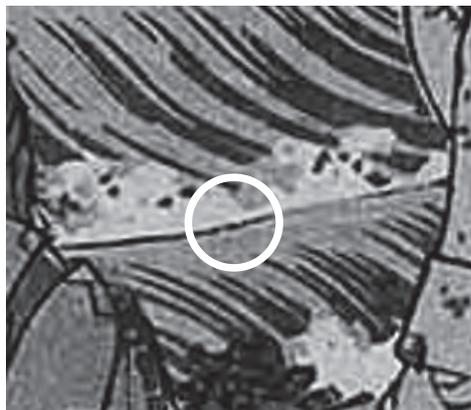
日本浮世絵博物館



城西国際大学水田美術館



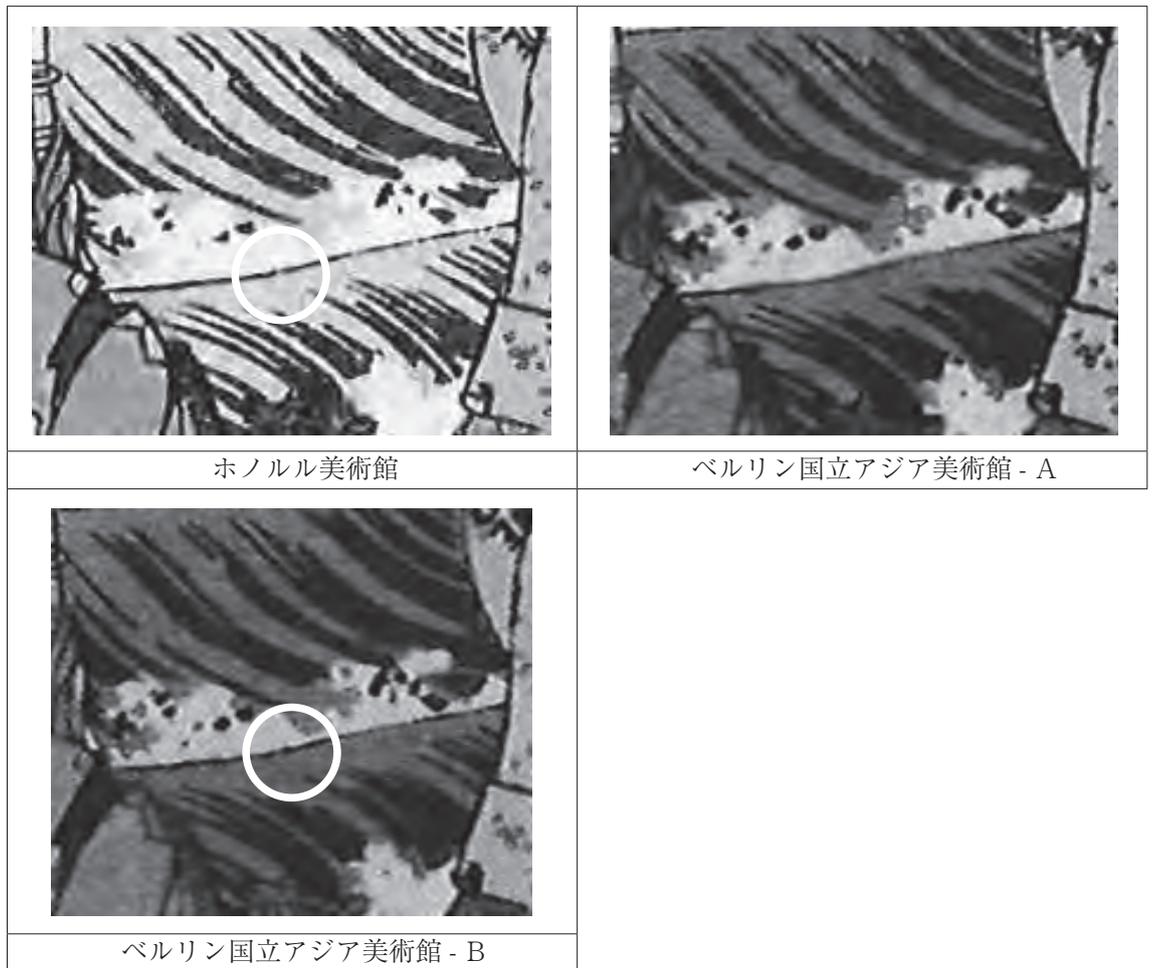
ボストン美術館（ビゲロー）



ボストン美術館（スポルディング）



大英博物館



C面 溪斎英泉「江戸名所之内 両国橋夕涼」【図6】

「江戸名所之内 両国橋夕涼」は、前述の2月4日の読売新聞朝刊で浅野氏が述べられているように、長大判を3枚並べて1画面とする、長大判3枚続という非常に特殊な判型である【図7】。内容は、花火見物の遊客で混雑する両国橋と、夜空にあがる花火、大小さまざまな涼み舟や物売りの舟で混み合う隅田川の情景を描いたものである。版元は、左の1枚の画面下部に「馬喰町二丁目 森屋治兵衛版」とあることや森屋の堂号である錦森堂をあらわす屋形舟の提灯の「錦森丸」の文字から、「桜に鷹」や「詩歌写真鏡 春道のつらき」と同じく森屋治兵衛から出版されたことがわかる。本資料の側板には、その「江戸名所之内 両国橋夕涼」の中央の版木1枚が用いられている【表8】。



図6 C面（左へ90度回転） 図7 溪斎英泉「江戸名所之内 両国橋夕涼」個人蔵 版木使用部分

現在のところ出版された錦絵は、浅野氏からご提供頂いた画像しか確認がとれず、非常に稀少な作品である。従って、A・B面で試みた複数の同図と比較することが難しいが、オリジナルの錦絵の画像と版木を比較すると、【表8】のように、両国橋の手すりの線の一部が薄くなっている部分に、輪郭線の傷みが一致している。墨の黒色が全体に残っていることや質感から、実際に摺られたものであり、A・B面と同じくオリジナルの可能性が高いものと考えられる。

【表8】 版木C面と溪斎英泉「江戸名所之内 両国橋夕涼」(長大判三枚続)の輪郭線部分比較

	
<p>C面(反転)比較部分</p>	<p>「江戸名所之内 両国橋夕涼」個人蔵 比較部分</p>
	
<p>C面(反転)</p>	<p>「江戸名所之内 両国橋夕涼」個人蔵</p>

D面 山水画に漢詩が配された主版の版木【図8】

山の麓に2軒の家があらわされた水墨山水画風の景色に、漢詩が付されている。漢詩は「密林蔽日青蒙茸 兩岸都歸烟霧中 分明罨画溪頭景 只□垂論一釣翁 甲寅夏日 雪城」と「朧々曙光斂 楓江白天空 爽氣清露滴 千峰碧微苾 莊三臣」と読み、景色を称えた七言絶句と五言絶句と考えられる。読み手は雪城と莊三臣と思われるが、調べた限り不明であり、著名な儒者や文筆家ではないものと思われる。なお「甲寅夏日」とあることから、甲寅の年でA・B面に近い時期である寛政6年(1794)か嘉永7年(安政元年・1854)の可能性はある。絵の作者は不明である。

一見したところ版本の挿絵に見えるが、匡郭が見られないため、一枚摺の可能性が高いだろう。またA・B・C面が森屋治兵衛から出版されたものであることから、D面も同版元の刊行物と考え、あたってみたが該当するものが見当たらなかった。



図8 D面

以上、本資料の版本部分—A・B・C・D面について細部を検討したが、いずれも江戸時代に作られた主版の版本と考えられる。オリジナルの浮世絵版画が存在するものは、刊行されたものと比較した結果、北斎の錦絵の版本であるA・B面は当時のオリジナルの版本であるだろう。C面については、現在の所在が不明で詳細な画像の入手が難しいが、オリジナルの版本の可能性が極めて高いものと思われる。また、D面については不明な部分が多く、今後の課題としたい。

主版の版本には細かな図柄が彫られるため美しいデザイン性から、火鉢に再利用されたと考えられる。特にA面の「桜に鷹」は、引き出しや取っ手で損なわれることのない面に使用されており、図柄を鑑賞できる大切な扱いがされたものと思われる。

5 本資料の意義

本資料の意義について、(1) 稀少性、(2) 伝承の形態、(3) 伝来の情報、(4) 浮世絵制作の背景、以上の4つの学術的価値に分けて述べ、本稿のまとめとする。

(1) 稀少性

浮世絵の版本の材料には、木目が細かく硬軟のむらが少ないということで、主に山桜の板目が使用される。質のよい板材を無駄にしないために、そこから摺られた作品の売れ行きが悪くなるとカンナで削り、別の版を起こして再利用される。また新しい版本はどんなに乾燥させても反りや歪みが生じるので、使用済みの版本を再び削って用いることもある。従って、版本が今日までそのまま残ることは稀である。さらに時代を経る中で廃棄されたり、震災や戦火に見舞われるなどして、今の世に伝わるものは稀少である。

このように版本の伝世自体が極めて稀である上、知られている浮世絵師の一枚摺の版本となるとさらに少なくなる。これまで確認されている事例は、初代鳥居清倍「初代市川団蔵と初代大谷広次の草摺曳」版木（東京国立博物館蔵）、歌川豊春「浮絵東都両国橋夕涼之図」版木（太田記念美術館蔵）、歌川国芳・三代歌川豊国・歌川広重の主版・色板合わせた345枚に及ぶ版木群「歌川派錦絵版木」（国立歴史民俗博物館蔵）、歌川国芳「誠忠義士伝 三十六 矢多五郎右衛門祐武」版木（個人蔵）、同「宇治川合戦 佐々木四郎高綱」版木（個人蔵）、歌川国芳「六波羅坂東寺合戦 妻鹿孫三郎長宗」〈表〉・落合芳幾「春遊源氏酒活花」〈裏〉版木（立命館アトリサーチセンター蔵）、三代豊国筆「二十四好今様美人 茶の会好」板木（同）などがある。

出版された膨大な数量に比すると、版木の現存は非常に少ない。

北斎に関しては、1986年にアメリカのボストン美術館で浮世絵の版木514枚のうち、北斎の代表的な絵本『絵本隅田川 兩岸一覽』『絵本東都遊』『東都勝景一覽』の版木が含まれていることが発見されている（註2）。また美術出版社の芸艸堂が、『北斎漫画』の版木を所蔵し、そのうち初編から13編は摩耗が激しく明治時代に補刻・再刻されたものだが、14編と15編は発行当時の版木が伝承されている（註3）。このように版本に関しては、多いとは言えないながらも事例があるが、錦絵の一枚物に関しては、天理大学附属天理図書館に「詩歌写真鏡 少年行」の、アメリカのボストン美術館に「詩歌写真鏡 融大臣」の主版の版木が、それぞれ国内外に1点ずつ所蔵されるのみで、現存自体が少ない。

このように極めて稀少な北斎の錦絵の版木が2点も、そして完成した錦絵の遺存も稀な溪斎英泉の版木まで含む本資料が発見されたことは貴重なことである。

（2）伝承の形態

次に本資料の意義として重要な点は、一枚摺の版木が火鉢となって伝承している姿をそのままとどめている点である。宝永3年(1706)刊行の浮世草子『御伽百物語』版木の角火鉢(個人蔵)、嘉永6年(1853)刊行の『狂歌百物語』版木の角火鉢(個人蔵)など、版本の版木を利用した火鉢の事例は発表されており(註4)、版本のほか暦類や唐紙などの版木を火鉢や煙草盆などに再利用したものは骨董市場などでもたびたび確認されている。

しかしながら、一枚摺の錦絵の版木となると、その図柄の美しさに注目が集まり、火鉢から再び版木の姿に戻そうとして解体する事例がある。例えば(1)で紹介した歌川国芳「誠忠義士伝 三十六 矢多五郎右衛門祐武」版木(個人蔵)は、上下に凹凸の切れ込みがあり、これは版木を角火鉢の箱に再利用する際に刻まれたほぞであると考えられている(註5)。また、同じく歌川国芳「宇治川合戦 佐々木四郎高綱」版木(個人蔵)は、大判サイズの上下を断ち落とし、四角い切り込みが一か所入れられており、何かに使用されている様子がある。角火鉢か長火鉢の短手の面などに利用された可能性が考えられる。

以上より本資料は、版木としての原型を失っていることは否めないが、貴重な一枚摺の版木が火鉢になって、板木伝承のひとつの形態をそのまま伝えるという点では注目すべきことだろう。

（3）伝来の情報

本資料のA～C面の北斎「桜に鷹」「詩歌写真鏡 春道のつらき」、英泉「江戸名所之内 両国橋夕涼」は、すべて馬喰町二丁目(現在の東京都中央区)に店を構えた版元の森屋治兵衛から出版されたものである。

そして、北斎の伝存する版木例として確認された天理大学附属天理図書館の「詩歌写真鏡 少年行」とボストン美術館の「詩歌写真鏡 融大臣」の版木も、本資料の「詩歌写真鏡 春道のつらき」と同じ「詩歌写真鏡」のシリーズに属し、当然版元は同じ森屋治兵衛である。

このことから本資料の4面の版木は、版權を所有する版元のもとにまとめて保管されていた可能性が考えられる。また、「詩歌写真鏡」10図のうちの3図の版木が伝存していることから、森屋治兵衛が、版木の多く、ないしは「詩歌写真鏡」シリーズに関しては、新図のために再利用することなく保存していた可能性なども想像される。

森屋治兵衛は明治年間まで存続しているため、森屋があるうちに火鉢に転用されたのか、廃絶後に版木が流出したのかは不明であるが、森屋の版木がまとまって伝存していることは注目すべきことである(註6)。今後、天理大学附属天理図書館とボストン美術館所蔵の版木も調査する機会を得て、これらが火鉢に利用された痕跡がないかを調べ、版木の伝来に関する情報をより多く集める必要があるだろう。

(4) 浮世絵制作の背景

最後に、本資料から読み取れる浮世絵制作の背景について触れておきたい。本資料A面の北斎「桜に鷹」の改印・版元印が入木であったということが、浮世絵制作の背景について興味深い情報を含んでいる点が注目される。

改印は、当時浮世絵を出版する前に、出版業界仲間から選ばれた行事らが、絵師が描いた下絵に幕府への批判ととられる表現がないか検閲し、問題がなければ検閲済みをあらわす「改」や「極」の字、行事らの名を刻んだ印を押したものであり、極印ともいう。「桜に鷹」の版木の改印と版元印は、通常の下絵に押された印影を彫ったのではなく、別に作って埋め込んだ入木であるという点が注目される。

版木に入木を施して内容を修正することはよく行われる。最も一般的なのは、版木の修正で、例えば役者絵の顔の部分を入木で差し替え、流行の役者の顔にすげ替える目的である。また、顔や髪の詳細なパーツを彫る頭彫は、桜より硬い材を用いるなどの理由から、入木前提で進めるといったこともある。しかしながら、本資料は改印と版元印の部分であり、入木を行った背景には、何らかの事情で出版を急ぎ、主版を先に彫り進め、後から改印を入木した可能性がある。

2021年2月4日の読売新聞朝刊にて、浅野氏は「桜に鷹」を含む長大判の花鳥画シリーズが、正月に飾る吉祥画でもあり、しかも浮世絵版画の新作の多くが正月に売り出されることから、秋から年末の多忙な中で彫り師を確保するため、主版を先に彫り、後から改印を埋め込んで摺ったためではないかと推察されている。こうした浮世絵の制作の背景は、なかなか文書等では残っておらず、貴重な情報を有している。

以上、本資料によって、北斎と英泉という有名浮世絵師の一枚摺の版木が3枚も見つかったということ、そしてそれが伝存の形態を留めること、3枚とも同じ版元が版權を所有するものであること、うち1枚がすでに確認されている北斎の一枚摺の版木と同シリーズであること、そして改印等が入木であり出版の工程を知る上で貴重な情報を含んでいることがわかった。

版本の版木に関する研究は比較的進展しており、2012年に立命館大学アート・リサーチセンターで「現代に伝わる板木展」が開催されており、立命館アートリサーチセンターや奈良大学などでデータベース化も進みつつある。しかしながら、浮世絵版画に関しては、2009年に国立歴史民俗博物館で「錦絵はいかにつくられたか」という展覧会が、前出の大久保氏により開催される他では、版木をメインに取り上げ、浮世絵制作や出版の背景に注目する研究は大きな進展を遂げているとはいえないだろう。

その理由は、浮世絵版画の版木の、圧倒的な現存の少なさがあり、研究の進展の見通しが困難となっている。また、実際に摺ってみることで見えてくるものがあるが、非常に稀少かつ貴重であるため、資料保存の観点からも慎重に検討しなければならない問題もある。そうしたさまざまな制約がある中ではあるが、北斎の浮世絵の制作過程、森屋治兵衛という版元についての情報を含む本資料の発見は重要である。この発見を契機に、まず今後の課題としては、本資料のデジタル化を進め、コロナ感染拡大の影響でままならなかった他館の作品調査を行い、細かな実測データを作るとともに質感などの確認も行う機会を得て行くことで、少しずつでも進展させていくことができると考える。まだまだ今後の課題が山積しているが、途中経過の報告として本紀要にて発表する。

謝辞

大和文華館館長の浅野秀剛氏をはじめ、町田市立国際版画美術館館長・国立歴史民俗博物館副館長の大久保純一氏、小布施・北斎館館長の安村敏信氏、鹿沼市立川上澄夫美術館元館長の河野実氏に、貴重なご助言を頂いた。また読売新聞東京本社文化部の井上晋治氏には、新聞記事の紹介や情報提供を頂いた。ギャラリー紅屋の高島匡夫氏をはじめ、江戸文物研究所の内村修一氏には、情報提供や様々なご協力を頂いたことを、ここに記して深く謝辞を表したい。

註

- 1 『葛飾北斎生誕 250 周年記念 ホノルル美術館所蔵北斎展』展図録（アートシステム、2011 年）。
- 2 定村忠士著・TBS 文化情報部編『いま、北斎が甦る 浮世絵版画が褶りあがるまで』（河出映像センター・河出書房新社、1987 年）。
- 3 芸艸堂「北斎漫画」WEB より <https://www.hanga.co.jp/shopdetail/003005000001/>（2021 年 9 月 28 日閲覧）。
- 4 # おうちで妖怪博物館 twitter より <https://twitter.com/chin25454/status/1252738120644096000#>（2021 年 9 月 28 日閲覧）。
- 5 立命館アトリサーチセンター「ちょっとマニアな版画展」WEB より「版画伝存のありさま」<https://www.arc.ritsumeikai.ac.jp/lib/vm/woodblockprintmania/A/A3/>（2021 年 9 月 28 日閲覧）。
- 6 『没後 150 年 歌川国芳展』図録（日本経済新聞社、2011 年）。
- 7 森屋治兵衛は、寛政ないし文化から営業する版元で、服部清道「森屋治兵衛とその後」（『日本古書通信』第 298 号、1969 年）によると、明治 4 年以降土屋氏を称し、明治初年まで続いていたが、一族の中で他家の石川氏に養子に出していた人物が本屋株を継承、明治 13 年に石川書店となる。しかしながらこの人物が明治 16 年に早世し、再び土屋治兵衛が書肆を営むが、明治 23 年に没し、その妻も 34 年に没したため、廃絶したとされる。また、一説に明治 14 年（1881）1 月 26 日に起こった両国の大火により類焼したとされるので、その時まで流出し、火鉢に仕立てられた可能性も考えられる。
- 8 金子貴明『近世出版の板木研究』（法藏館、2013 年）p6。

その他参考文献

- ・ 学校法人城西大学水田美術館、城西国際大学、城西大学、学校法人城西大学編『水田コレクション名品選』（城西大学水田美術館、2011 年）。
- ・ 『開館 25 周年記念 北斎と広重 きそいあう江戸の風景』展図録（町田市立国際版画美術館、2012 年）。
- ・ Paris, Grand Palais, Galeries nationales : 1er octobre 2014-20 novembre 2014, 1er décembre 2014-18 janvier 2015

すみだ北斎美術館における令和 2 年度の教育普及活動報告

千葉 椎 奈

1 はじめに

令和 2 年度以降、新型コロナウイルスの影響により、全国の博物館・美術館では展覧会をはじめとする様々な活動に大きな支障をきたしている。

すみだ北斎美術館（以下、当館）においても、予定されていた展覧会やスライドトーク、講演会等イベントの多くは中止や延期、企画の変更を余儀なくされた。令和 3 年度に入っても美術館の活動は依然制限されている状況である。

展覧会関連の情報が表に出やすいが、教育普及に関する活動にも大きな支障が出ている。墨田区内外問わず学校の団体見学の受け入れを行わないなど、学校対応についても異例の対応をせざるを得ない状況であった。そのため、この状況下で実施可能な活動や今後につながる活動を模索しながら可能な範囲で実施することとなった。

本稿では当館における令和 2 年度の教育普及活動についての報告を行う。併せて同年の活動により得られた成果と、今後の課題についても言及する。

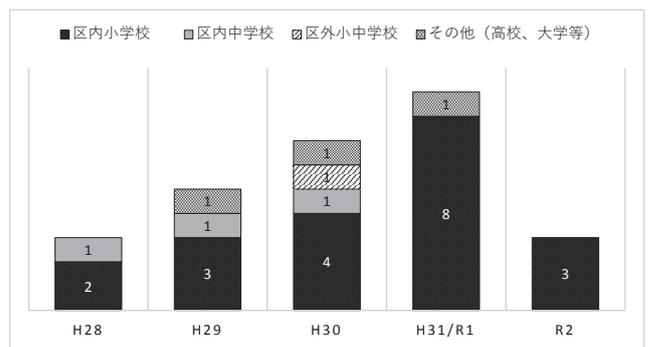
2 令和 2 年度の博学連携を主とする教育活動実施状況

(1) 活動報告

学校の団体見学については、例年平均 20 校程度受け入れていたが、令和 2 年度は受け入れを見合わせる方針をとった。4、5 人のグループごとに時間をあけて入館し、短時間で見学する形であれば可能とする場合もあった。しかしこれは事前に連絡を受けるのみであり、団体見学として受け入れるものではなく、従来の団体見学とは受付方法も見学方法も異なる。そのためここでは主に出前授業の報告を行う。

出前授業については、9 月以降申込受付を再開し、結果 3 校 7 組の出前授業を実施した。当館では平成 30 年度に教職員向け美術館活用研修を実施する等、博学連携による教育普及活動の案内にも力を入れていた経緯もあり、順調に出前授業申込みが増えていた。しかし令和 2 年度は区内の 3 校のみの実施に留まった【図 1】。

出前授業の内容については、密集、密着を避ける、同じ道具を使用しない等の感染症対策を考える必要もあった。そのため事前に担当教員と入念な打ち合わせを行った上で計画を立てた。以下、それぞれの事例について振り返る。



【図 1】平成 28 年度（11 月 22 日開館以降）から令和 2 年度の出前授業実施状況

A 小学校の事例【表 1】

A 小学校が新型コロナウイルス発生後、初めての出前授業であった。A 小学校は図画・工作の時間の出前授業であり、例年図工室で出前授業を行っていた。担当教員との打ち合わせの結果、換気、休憩時間の手洗い、うがい、話し合う時間の短縮、同じ道具を使わない等の感染症対策を十分に行いながら、今回も図工室で授業を行うことになった。また、A 小学校は例年、団体見学にも来ていたが、今回は難しいため、「北斎の作品を鑑賞しよう！」で書いた鑑賞カードを美術館に展示する提案をした。

学年/クラス数/人数/時間	6年生/2クラス/35人・36人/図画工作2時間	
内容	「北斎の作品を鑑賞しよう！」＋「北斎を描こう！」	
目的	地域の偉人葛飾北斎がどのような絵を描き、どのような表現をしたのか、作品鑑賞や模写をもって学んでもらうとともに、描くことの楽しさを実感してもらう。	
当日の計画		
時間配分	内容	備考
(5分)	業間休憩	
導入 (10分)	・あいさつ ・学芸員自己紹介	(2分)
	・すみだ北斎美術館について ・学芸員とはどんなお仕事？	(8分)
展開1 (35分)	「北斎の作品を鑑賞しよう！」	※各組 (1グループ4人) ごとに鑑賞作品 (5作品) 複写配布 ※鑑賞文は美術館で展示
	・説明一作品画像配布 ※PPTスライドで説明	(3分)
	・作業	(27分)
	・回収、片づけ	(5分)
(5分)	業間休憩	
展開2 (43分)	・DVD「北斎のまなざし」鑑賞	(10分)
	・『北斎漫画』について	(5分)
	・質疑応答	(3分)
	「北斎を描こう！」 (『巴細群多字画尺』後編を題材に)	※各組 (1グループ4人) ごとに墨汁と見本配布、筆は各自用意
	・説明	(2分)
	・準備	
	・作業	(22分)
・片づけ		
まとめ (2分)	・北斎の作品や表現方法についてまとめ	(1分)
	・あいさつ	(1分)

【表1】A 小学校授業計画

学年/クラス数/人数/時間	3年生/2クラス/27人・26人/総合2時間	
内容	「すみだと北斎」＋「北斎を描こう！」	
目的	地域の偉人葛飾北斎が国内外に影響を与えた人物だということ、様々な表現を用いて様々な絵を描いた絵師であることについて、DVD鑑賞、作品鑑賞、模写などの活動を通して、地域への愛着や絵を描く楽しさを感じながら学んでもらう。	
当日の計画		
時間配分	内容	備考
(5分)	業間休憩 (5分)	
導入 (8分)	・あいさつ ・自己紹介	(8分)
	・すみだ北斎美術館について ・北斎について	
展開1 (37分)	DVD「北斎のまなざし」鑑賞 (10分程度)	
	・質疑応答	(2分)
	アートカード 「伝え描きゲーム」	※「アートdeゲーム」(ふじみつる著 日本文教出版社 2017) 参考 ※列ごとに
	・説明	(2分)
	・実践	(23分)
(5分)	業間休憩 (5分)	
展開2 (43分)	「絵手本について」	(5分)
	「北斎を描こう！」 (『絵画早指図』を題材に)	※各自コンパス用意
	・説明	(1分)
	・準備	(2分)
	・作業 ・片づけ	(35分)
まとめ (2分)	・北斎の作品や表現方法についてまとめ	(1分)
	・あいさつ	(1分)

【表2】B 小学校授業計画

た様子であった。

B小学校も例年出前授業の後に来館し見学を行っていた。今回は来館による見学が難しいため、美術館に制作物を展示することを提案し、後日「北斎を描こう！」で描いた作品と、別の時間に行った調べ学習の成果を当館3階ホワイエに展示した。

C小学校の事例【表3】

C小学校においても、本来であれば団体見学と出前授業を組み合わせる予定であった。来館による見学が困難なことから、今回は校外学習の活動の際にバスで当館の前を通りながら北斎の生涯や当館について事前に学習していた。

この学校の近所には北斎が描いた場所があった。そのため導入では北斎がすみだで生まれ育ったことや、描いた場所、作品

について重点的に説明し、事前学習の確認と、場所や作品に対する知識量を確認した。「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」や「富嶽三十六景 凱風快晴」は大半の児童が知っている様子であり、さらに学校の近所を描いた北斎の作品に対しても反応があった。

この学校では前年度に北斎アートカード【図3】を用いた「探偵ゲーム」という作品推理のゲームを行っていた。これは、グループで犯人役を1人決め、その他の人が探偵役となって進めていく。ゲームの内容は、まず犯人役が好きなカードを1枚決め、そのカードに関して探偵役が1人1つ質問し、犯人が「はい」、「いいえ」のみ答える。全員の質問が終わったら探偵役が犯人役の好きなカードを当てるというものである。

会話を多く伴う「探偵ゲーム」の実施は、コロナ禍において適切ではないと判断した。そのため代替案として、『アートdeゲーム』（註1）を参考に、極力向かい合わず、同じカードを

学年/クラス数/人数/時間	3年生/3クラス/29人・29人・28人/総合1時間	
内容	「北斎を描こう！」	
目的	国内外から注目されている葛飾北斎がすみだで育ったこと、また北斎が描いた絵や表現方法について学んでもらうとともに、描くことの楽しさを実感してもらう。	
当日の計画		
時間	内容	備考
(5分)	業間休憩	
導入 (7分)	・あいさつ ・自己紹介	(7分)
	・すみだ北斎美術館について ・北斎について	
展開 (37分)	・DVD「北斎のまなざし」鑑賞	(8分)
	・「絵手本について」解説	(3分)
	・質疑応答	(2分)
	「北斎を描こう！」 (『一筆画譜』を題材に)	※班ごとに作業が各自で 作業かはクラスにより異なる ※筆・墨は各自用意
	・説明	(1分)
・準備/作業/片づけ	(23分)	
まとめ (1分)	・北斎の作品や表現方法についてまとめ	(1分)
	・あいさつ	

【表3】C 小学校授業計画

複数人が触ることなくできる「伝え書きゲーム」を縦1列1グループ（4,5人）として行った。このゲームは、1番目の児童が北斎アートカードを1分間よく見て、記憶したイメージを30秒で描く。描いた紙を次の順番の人に見せ、次の人はそれを記憶したものを描き、最後の人は渡された絵を見て、最初の人描いた作品のカードを選ぶという内容である。短時間で特徴的な部分を見つけて描く必要があるゲームであるため、富士山の位置や形、描かれる人の多さ等に焦点を絞って記憶し描こうとする姿勢がみられた。

「北斎を描こう！」では、絵手本について説明後、北斎が手掛けた絵手本『略画早指南』を題材に、各自コンパスや定規を用いて、円や三角形等の図形のみで絵を完成させる内容を行った。薄い色で印刷した見本を配布し、見本をなぞる形で進めた。あるクラスでは、円の中心点がわからず、忠実に見本をなぞることができないことで苦勞する児童が多くみられた。一方別のクラスでは、次から次に別の作品に挑戦し、図形を用いた自作の絵を考える児童が多かった。

各自のコンパスや定規を使用したため、準備や後片付けに比較的時間がかからなかった。また終業後、特に自作の絵を完成させた児童が多かったクラスでは、「行ってみたい」、「行ったことがある。また行きたい。」等の反応を示す児童が多くみられた。

（2） コロナ禍における博学連携教育活動による成果と課題

まず、「北斎作品を鑑賞しよう！」について振り返る。コロナ禍では、話し合いや発表を頻繁には行えないため、鑑賞カード記入および展示は良い代替案になったと考える。また、鑑賞カードを美術館に展示したことで、実際に家族で来館した児童もあり、新たな来館者の獲得にも繋がった。一般の来館者の中には、自身の持つイメージと照らし合わせているのか、指を差しながら鑑賞カードを見ていた方が多く、学校教育以外の広い教育普及にも繋がったように思われる。

一方で課題も残った。鑑賞教育について、茨城大学教育学部、金子一夫氏らの「作品を通して美術の方法論を体験的に理解させていくことを目的にすべき」であり、「必然的に方法論の理解に辿りつくような発問や作業課題を、教師は考案すべき」との研究（註2）がある。今回、鑑賞に選んだ作品それぞれの読み取るべき目標を吟味しきれておらず、作品理解へ誘導するような助言や発問を十分に行えなかった。また、今回は鑑賞に作品画像をコピー機で印刷したものを使用した。色合いに注目する児童が多かったことや、本来であれば出前授業後に来館して見学する流れであったことを考えると、コピーしたものよりも実物の浮世絵作品の色により近いものを使用すべきであったと考える。当館には、教育普及活動でも使用可能な所蔵作品の画像データから作成した作品パネルがある。現在は特に実物の作品に触れてもらいにくい状況であるので、作品パネル等も有効活用していきたい。

次に「北斎を描こう！」について振り返る。A小学校、B小学校では、各自筆を使っての作業となった。各自の筆を使うことで感染蔓延防止に努めながら授業を進めることができた。ま



【図 3-1】 北斎アートカード表面



【図 3-2】 北斎アートカード裏面

た、筆ペンを使用した活動について、中部学院大学短期大学部幼児教育学科の小室明久氏、千葉大学教育学部の佐藤真帆氏は、「描き直しができないため、短い時間の制約の中で思い切った活動できていた」との考察（註3）を述べている。同様にA小学校、B小学校の「北斎を描こう！」でも筆を用いたことで、限られた時間の中で筆表現による味わいを感じながら、思いの表現ができたように思われる。

但し、A小学校では今回の「北斎を描こう！」の内容を達成できたとはい切れないように感じた点がある。本来の目的通り、最初の説明と見本に示された方法に則り「文字を順に書いていくことで絵にしていける」ことを行う児童と、見本に描かれた絵にできるだけ似せるよう忠実に模写する児童に分かれた。本来の目的達成を促すためには、作品理解のための説明を丁寧に行い、写すだけでなく自作の作品にも挑戦させる等の工夫を考えるべきであった。

また、「本来図工・美術の科目は探求的な要素を持つ」ものであり、「活動を通して思考力や判断力を生み出す知的創造の方法」とする研究（註4）がある。6学年はその集大成であることを鑑みると、北斎の絵手本に則り学校生活に絡めた作品も描いてみる等の工夫も必要であったように思われる。

一方、B小学校、C小学校では、自作の工夫がみられたクラスとそうでないクラスがあった。特にC小学校の場合、自作の工夫がみられたクラスでは、楽しく取り組んでいた児童が多く、楽しさゆえに意欲的な活動ができていたような印象を受けた。他方のクラスでは、見本に忠実であることにこだわり、徐々に楽しくなくなり意欲が低下した児童が多い印象を受けた。今回は各自作業を行う形で進めたが、班ごとに作業を行えば隣同士で確認し合って協力したり、程よい妥協点を見つけられたりと、楽しみながら学びやすい環境をつくれた可能性もある。しかし、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くまでは、出前授業においても各自で作業をすることが多いと想定される。コロナ禍の出前授業でも楽しみながら作品理解に繋げるためには、作業を行いやすくするような北斎作品の解説、作業の準備と説明を行い、さらに自作の工夫に行き着くよう促すことが望ましいと感じた。

また、C小学校のみで行った北斎アートカードを使った伝え書きゲームは、感染防止対策をとれるものであり、且つ児童たちもゲームを楽しみながら北斎の作品を学べた様子であった。今回行ったゲームは制限時間内に特徴的な部分に焦点を絞って記憶して描く内容であった。美術作品を記憶して描くことについては、東京未来大学こども心理学部、高橋文子氏の「形や色、印象等の感覚の精度を高め、より質の高い認識や感受を生み出す」との研究（註5）があるように、教育的効果も期待できる。

ただし、C小学校も団体見学の予定を立てていたことを考えると、伝え書きゲームの最後に作品パネルを使用する等、実物により近い色味や形を感じてもらう必要があったと考える。

以上、令和2年度の学校教育関係活動実施状況についての振り返りを行った。未曾有の事態であり、学校と連携した教育活動がどの程度可能であるのか終始手探り状態であったが、結果的に出前授業による感染は一切報告されず、有意義な活動を行うことができた。

また出前授業の制作物を当館で展示できたことは、感染症対策等によりワークショップや展示関連企画を十分に行えなかったために、展示場所を確保でき、可能になったことでもある。新型コロナウイルスの影響を受けながらも、それを前向きな活動に変換できたことは大きな成果である。

しかし、同時にコロナ禍での出前授業だからこそ生まれた課題も多く見つかった。それぞれ改善策や、より適切な代替案等を熟考し、よりよい出前授業を行えるよう努めたい。

3 令和2年度の一般への教育普及に関する活動実施状況

(1) 活動報告

令和2年度上半期の展覧会は当初の予定か大幅な会期の延長、延期等の変更がなされ、普及に関する活動を積極的に行えなかった。予定通りに実施された「GIGA・MANGA 江戸戯画から近代漫画へ」展、「筆魂 線の引力・色の魔力—又兵衛から北斎・国芳まで—」展において、新型コロナウイルス感染防止対策を十分に行った上で普及に関する企画の実施を試みた。以下それぞれの内容について報告する。

11月25日から1月24日まで開催した「GIGA・MANGA 江戸戯画から近代漫画へ」展においては、出展作品『北斎漫画』三編に描かれた雀踊りの図でパラパラ漫画を作るワークショップ「北斎パラパラ漫画」【図4】をオンラインで開催した。対面形式でのワークショップ開催が困難なことから、当館公式 YouTube チャンネルにて作り方の動画を公開し、北斎パラパラ漫画の用紙は美術館公式ホームページからダウンロードできるようにした。絵の順番を自由に組み合わせて、自分だけの「北斎パラパラ漫画」の作成も促した。

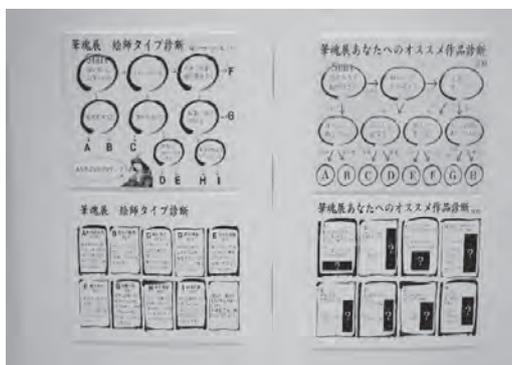
2月9日から4月4日まで開催した「筆魂 線の引力・色の魔力—又兵衛から北斎・国芳まで—」展においては、3階ホワイエに「筆魂展 絵師タイプ診断」、「筆魂展 あなたへのオススメ作品診断」を設置した【図5】。「筆魂展 絵師タイプ診断」では自分のタイプを「はい」、「いいえ」で迎えることで北斎をはじめとする絵師について知ることができ、「筆魂 あなたへのオススメ作品診断」ではどのような絵が好きか、見たいかを迎えることで出展作品に興味を持って展示室に入ってもらえることを期待した。「筆魂 あなたへのオススメ作品診断」は前期展示版、後期展示版で入れ替えを行った。



【図4-1】「北斎パラパラ漫画」用紙



【図42】「北斎パラパラ漫画」完成したものの



【図5-1】「筆魂展 絵師タイプ診断」「筆魂展 あなたへのオススメ作品診断」



【図5-2】「筆魂展 絵師タイプ診断」「筆魂展 あなたへのオススメ作品診断」

(2) コロナ禍における普及に関する活動実施の成果と課題

現在はコロナ禍でも参加可能、且つ北斎や作品理解に効果的な普及に関する企画を考える必要がある。これを考慮し、対面式でなく、来館者と来館できない方の両者が参加可能な形のワークショップとして「北斎パラパラ漫画」を、道具を使用せず、短時間で参加可能な企画として「筆魂展 絵師タイプ診断」、「筆魂展 あなたへのオススメ作品診断」を実施した。「北斎パラパラ漫画」は自宅で製作、体験を行い、北斎作品について理解してもらえるものであった。

この企画に対して、SNS では作ってみたいという反応もみられた。また、オリジナルの作成を促したことは、参加者が北斎作品に触れながら自分なりの製作、体験を行うことで、北斎や作品への興味・関心が高まり、「実物作品を見てみたい」、「他にも同様の作品はあるか」等の積極的な学習意欲の向上に繋がる契機にもなったのではないかと考える。

一方、「筆魂展 絵師タイプ診断」、「筆魂展 あなたへのオススメ作品診断」では、診断や心理テストへの興味・関心を利用し、展覧会導入とした企画である。自身の性格や好みと絵師、作品を重ね合わせることで、絵師、作品への興味を引くことができ、展覧会観覧前の良い導入にすることができた。また診断結果の作品画像をシルエットにしたことにより、展示室内で該当する作品の実物を見たいという気持ちをより一層駆り立てることができたようにも感じる。実際に診断を試してから展示室に入る方は多く、好評のようであった。

しかし、診断の企画については、展覧会観覧後の自発的、積極的な学びに結びつきにくい内容となってしまった。この展覧会観覧後にも浮世絵や北斎についてより知りたい、学びたい、すみだ北斎美術館に行きたいと思える活動をさらに模索し、展開していく必要がある。

また、両方の企画に共通する課題として、どちらも参加人数や参加者の反応がわかりにくかったことが挙げられる。普及に関する企画について、美術館のワークショップは「美術体験のおおもとである個人の文化的リソースを確認し、さらに発展させることを目標」とするものであり、「やがては個人の美術表現や鑑賞へと連続していく」ものであるとする茨城大学教育学部、小泉晋弥氏の研究（註6）や、国立歴史民俗博物館、小島道裕氏による「観客自身が学ぶ力をつけるための、トレーニングをする場所」であり、「学習の能力を身に着ければ、その対象は、博物館の外へとさらに広がっていくことができる」ため、「一緒に考える」という立場に観客を招くことが博物館、学芸員の教育的役割であるとの指摘（註7）もある。興味・関心を高め、その後の自発的・積極的学習を促すためには、企画自体に魅力が必要であり、それを測るための指標として参加人数や反応が不可欠である。コロナ禍では自宅でできる活動や対面式でない形の企画立案に意識が向きがちであるが、参加状況がおよそわかる形で企画を考える必要があると感じた。

コロナ禍における教育普及活動の目標は、現状で可能な範囲で自発的・積極的学習に繋がる活動を促すこと、新型コロナウイルス終息後に来館による見学をはじめ、学習の機会を広げられるよう促すことであると考えられる。

令和2年度は、自宅でも参加可能であり、来館の場合も道具を使わず短時間で参加可能な企画を実施した。これにより、新型コロナウイルス感染防止対策を行いながらも北斎作品や出展作品についての学習意欲・関心を高めるきっかけを作ることができた。

ここで得た成果と課題を糧に、さらに該当展覧会終了後、感染症終息後を見据えて、普及に関する活動がいかなる手段で可能且つ効果的かを考え続け、よりよい企画を実施していきたい。

4 おわりに

令和2年度は積極的な活動が大きく制限された。しかし教育普及活動の実施を諦めず、状況に応じて対策を考えながら挑戦した。コロナ禍においても可能な範囲内で効果的な活動を考え、試行錯誤しながら実施した。この挑戦により、多くの成果と今後の課題が得られた。

また、不利と思われる状況をよりよい形に変換できたことで、コロナ禍で活動が制限されるという消極的な見解ばかりでなく、この状況だからこそ可能にできる活動もあると気づかされた。

新型コロナウイルス感染症対策に気を遣うべき状況はしばらく続くことが想定される。しかし、コロナ禍であるからといって学びの時間は止められない。コロナ禍でも充実した内容の教育普及活動が実施できるよう、令和2年度の活動により得られた成果と課題を今後の活動を考えるための貴重な資料としていきたい。そして、終息後にコロナ禍で実施した活動がより効果的なものを生み出す材料となるような準備を整え続けたい。

註

- 1 ふじえみつる『アート de ゲーム』（日本文教出版社、2017年）p21。
- 2 金子一夫・小泉晋弥・鈴木修市・角谷直人「美術館鑑賞教育の方法論とその実践（1）」（『茨城大学教育実践研究』第16号、1997年）。
- 3 笠原広一、森本謙、他「Arts-Based Research に基づく小学校での探求的ワークショップ実践の開発—小学校5・6年生を対象とした図画工作科の関連実践として—」（『東京学芸大学紀要 芸術・スポーツ科学系』第72集、2020年）。
- 4 前掲註3 笠原広一、森本謙、他「Arts-Based Research に基づく小学校での探求的ワークショップ実践の開発—小学校5・6年生を対象とした図画工作科の関連実践として—」。
- 5 高橋文子「美術作品を記憶して描くことの教育的効果—児童の形状ストックという観点から—」（『美術教育学』第38号、2017年）。
- 6 小泉晋弥・川畑玲子・渡辺美保「美術館ワークショップの考察と実践報告」（『茨城大学教育実践研究』第19号、2000年）。
- 7 小島道裕「展示を学習の素材（リソース）とするには」（世界博物館会議（ICOM）の2004ソウル大会の分科会であるCECA〈教育と文化活動〉国際委員会、2004年10月6日に基調講演の一つとして報告したもの。原文は『ICOM 2004 Seoul CECA』に「Developing Exhibitions as Resources for Learning: in case of Worksheets and History Exhibits」として掲載）。

※本稿全体を通して、近年のことは和暦のみの表記とする。

「新収蔵品展 一学芸員が選んだおすすめ 50—」展 開催にあたって

中山 恵那

1 はじめに

令和2年度は、国内での新型コロナウイルスの流行によって各地の美術館が、休館を余儀なくされ、展覧会の延期・中止という対処がとられた。すみだ北斎美術館（以下当館）も1回目の緊急事態宣言が発令された初日の4月7日から6月2日まで臨時休館という措置をとり、その間に開催を予定していた企画展の延期を決定した。令和2年4月21日から6月14日の開催を予定していた「大江戸歳事記—北斎と楽しむ四季のイベント—」展を令和2年6月30日から8月30日に変更し、令和2年6月30日から8月30日の開催を予定していた「THE 北斎—富嶽三十六景と幻の絵巻—」展を次年度に延期し、急遽代わりの展覧会を企画することとなった。そして、館蔵品のみで企画できる展覧会を制作すること、北斎および門人の作品の収集の成果を広く人々に見ていただくことを目的とし、令和2年9月15日から11月8日の期間に「新収蔵品展 一学芸員が選んだおすすめ 50—」展を開催した。本稿では、以上の経緯で開催された本展覧会の内容と、感染防止対策等によって制限された中で行った取り組みについて報告する。

2 企画展の概要

当館の収蔵品は、世界有数の北斎コレクターであるピーター・モース氏によって収集された「ピーター・モースコレクション」（註1）、葛飾派の作品のみならず多種多様な美術資料を有する檜崎宗重氏による「檜崎宗重コレクション」（註2）、平成元年から現在まで墨田区が収集し続けている北斎および門人に関わる資料で構成されている。本展覧会では、その中でも平成28年の当館開館以降、新たに収集した肉筆画、版画、版本の作品の中から50点を紹介した。それらの多くが初公開の作品である。

3 展覧会の構成

本展覧会の構成は、作品の形態で区分し肉筆画、版画、版本の順番で展示をした。それらの割合は、前後期併せて肉筆画10点、版画24点、版本16点となる。以下にそれぞれのコーナーで出品した作品を紹介する。

（1）肉筆画

肉筆画のコーナーでは、平成31年度に寄託を受けた葛飾北斎画「鬼蓮に寒蟬」（吉野石膏コレクション すみだ北斎美術館寄託）【図1】、葛飾北一画「美人座姿図」（摘水軒記念文化振興財団蔵 すみだ北斎美術館寄託）を含む北斎とその門人の手がけた肉筆の掛け軸を前後期5点ずつ展示した。以下、出品した肉筆画の作品を数点紹介したい。

「鬼蓮に寒蟬」は、北斎が肉筆画に傾注していた天保11年（1840）に制作された作品で、寒蟬の透明感のある羽の描写、飛び出たように描かれる目、鬼蓮の葉脈や、曲がりくねる茎のフォルムやつぼみの形状などに、北斎の描法の特徴が見受けられる。

「蛤売り図」【図2】は、北斎宗理と名乗り摺物や狂歌絵本の挿絵を多く手掛けていた寛政9～10年（1797-98）頃に制作された作品である。画面の上部に寛延2～文政6年（1749-1823）の文人で、狂歌師としても活躍した大田南畝の画賛「蜆かと思ひの外の蛤はけにくりはまに思ひつき影」が記されている。大田南畝は、蜆かと思ったら蛤で、まさに「ぐりはま」であるとうたっている。「ぐりはま」とは、物事の手順や結果が食い違うという意味の、蛤の「はま」

と「ぐり」を逆さにした言葉である。月明かりのもと佇む棒手振の持つかごには月光に照らされる貝殻が胡粉で表されている。

また、北斎の門人の作品は、葛飾派の中でも魚屋北溪と並び称される蹄斎北馬による「梅花美人図」と「月下美人図」、北斎の孫弟子にあたる名古屋の絵師である森高雅が描いた「鹿図」、文化・文政期（1804-30）に活躍したと伝えられ、北斎の娘で絵師の応為との合作も残している葛飾北一が描いた「美人座姿図」と「大黒と大根図」等の軸物を展示した。



【図1】「鬼蓮に寒蟬」

(2) 版画

版画のコーナーでは、北斎とその門人の絵師が手掛けた錦絵や摺物、すみだを描いた錦絵を展示した。本展覧会の目玉作品として、天保2年（1831）頃に制作され、「富嶽三十六景」のシリーズでは三役と称される3点を出品した。「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」（吉野石膏コレクション すみだ北斎美術館寄託）【図3】は、画面左下の印からフランスの宝飾職人で日本美術の収集家としても知られるアンリ・ベベールの旧所蔵品とわかる。次に、「富嶽三十六景 凱風快晴」（吉野石膏コレクション すみだ北斎美術館寄託）【図4】は、色味が鮮やかな後摺とされるものである。「富嶽三十六景 山下白雨」（吉野石膏コレクション すみだ北斎美術館寄託）【図5】は、摺りが早いものとされる。また、「富嶽三十六景」からは三役の他に、藍摺の作品でシリーズのなかでも初期に刊行されたとされる「富嶽三十六景 相州七里浜」を展示した。いずれも北斎の代表作であるため、これらの作品を目的に訪れたという来館者の声も寄せられ、じっくりと鑑賞する姿が多数確認された。



【図2】「蛤売り図」

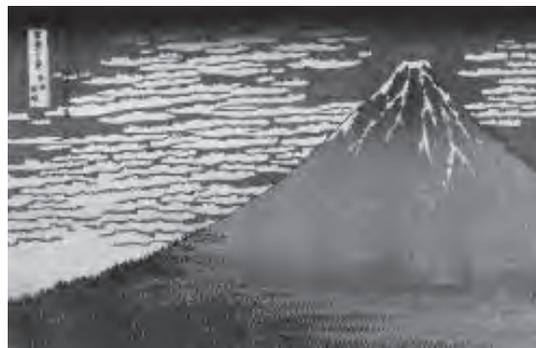
「富嶽三十六景」の他、北斎の作品としては、春朗と名乗っていた天明年間（1781-89）に制作された大判錦絵「新板浮絵浦島龍宮入の図」や、文化（1804-18）初中期頃に制作された中判錦絵「東海道五十三次 絵本駅路鈴」シリーズのうち「東海道五十三次 絵本駅路鈴 十五吉原」と「東海道五十三次 絵本駅路鈴 五十 土山」、『仮名手本忠臣蔵』の討入の瞬間を描いている文化3年（1806）に制作された大判錦絵「仮名手本忠臣蔵 十一段」、天保5年（1834）に制作された七福神が獅子舞を演じる様子が描かれた縁起の良い題材の摺物「七福神の獅子舞」等を展示した。「七福神の獅子舞」は三味線を伴奏とする語り物音楽である浄瑠璃の1種、常磐津公演の報状（通知文）であり、報状の文面が残されている希少な作品である。また、天保6年（1835）頃に制作された乳母が子どもに百人一首をわかりやすく絵解きするように歌意を絵画化した、北斎最後の大きな錦絵のシリーズである「百人一首うはかゑるとき」のうち「百人一首うはかゑるとき 安倍仲麿」【図6】、「百人一首うはかゑるとき 文屋朝康」も紹介した。

門人の作品としては、寛政（1789-1801）後期から文政（1818-30）前期にかけて活躍した柳々居辰斎による琴曲をシリーズ名に付けた摺物「琴曲表ノ三 乱りん舌」、寛政末から文政期にかけて活動し、風景版画を得意とした昇亭北寿による錦絵「江戸名所十景 新吉原桜の風景」

や「東都深川洲崎従弁天望海上」等を紹介した。また、文久3年(1863)に制作された「江戸の花名勝会」は、江戸の町火消の区分ごとの名所と歌舞伎役者を描いた貼交絵のシリーズであり、その中から月岡芳年、卍楼北対、三代歌川豊国が手掛けた「江戸の花名勝会 ぬ 十番組 吉原 新吉原月松桜 市川竹之丞」、葛飾為斎、三代歌川豊国、長谷川雪堤が手掛けた「江戸花名勝会 ち 十番組 花川戸 市川団十郎 花川戸嬉野里」を展示した。葛飾派と歌川派の合作であり、北斎没後の葛飾派の絵師たちの動向がうかがえる作品である。



【図3】「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」



【図4】「富嶽三十六景 凱風快晴」



【図5】「富嶽三十六景 山下白雨」



【図6】「百人一首うはかゑるとき 安倍仲磨」

(3) 版本

版本のコーナーでは、『東海道五十三次 絵本駅路鈴』、『北斎漫画』初編【図7】、『五拾人一首 五十鈴川狂歌車』、『勝鹿図志 手くりふね』といった北斎が絵手本や挿絵を手掛けた版本、北斎と画風が似ていることから同一人物という説がある是和斎による黄表紙『本性酷暑 有難通一字』、魚屋北溪が挿絵を寄せた狂歌絵本『画本駅路鈴』、柳川重信、二代柳川重信、歌川貞秀、溪斎英泉が挿絵を描いた読本『南総里見八犬伝』等を展示した。以下、いくつか作品を紹介したい。

文化前中期頃に伊勢屋利兵衛から出版された『東海道五十三次 絵本駅路鈴』は、画帖仕立ての作品である。「東海道五十三次 絵本駅路鈴」は、版画のコーナーで紹介した作品のように1枚1枚のばらでの作品が多く出回っているが、本書のように画帖仕立てのものも確認されている。この形態のものが現存しているのは珍しく、貴重な作品である。

本展覧会で出品した『北斎漫画』初編は、文政年間頃に永楽屋東四郎から出版されたものである。永楽屋は文政11年に初編を全て彫り直し、題箋や版心に「初編」の文字を入れて他の編と体裁を統一して再版しているため、版心に文字がないものが初摺の版本で摺られたものとされており、本書にはその特徴がみられる。また、本書末に永楽屋の広告が記載されているが、そこには「北斎漫画 北斎画 全十編」とあることから、本書の制作時期は、十編が刊された文政2年以降で、永楽屋に版木が渡った後であり、初編から十編の版木を揃えた永楽屋が、初編の体裁を整える文政11年までに制作されたものと推測される。現存する『北斎漫画』の中でも制作過程の変遷をうかがえる作品である。

葛飾北岱が挿絵を寄せる読本『十嘉栄利花』【図8】は、文化6年(1809)に伊勢屋治右衛門

から出版されたものである。内容は、山賊の鬼柳盗太によって家族を殺害された志津子らの仇討の物語であり、志津子が鬼柳盗太に復讐への執念を募らせる様子を描いていると思われる扉絵は、画面の半分を女性の顔面で占める大胆な構図が目を引く作品である。

『己痴群夢多字画尽』後編【図9】は、文化7年に蔦屋重三郎から出版された絵手本である。本書は、北斎が手掛けた最初の絵手本で、文字絵による絵の描き方を説くという内容である。『己痴群夢多字画尽』の摸刻色摺改題本として明治期に芳学館から出版された『北斎略画手ほどき』【図10】には、もとの北斎の序文に次いで芳学館の序文があり、北斎の絵手本が埋もれるのは惜しいため、彫り直し、手間をかけて摺り装丁したという旨が記されており、北斎死後も北斎の絵が受容されていたこと示す作品である。



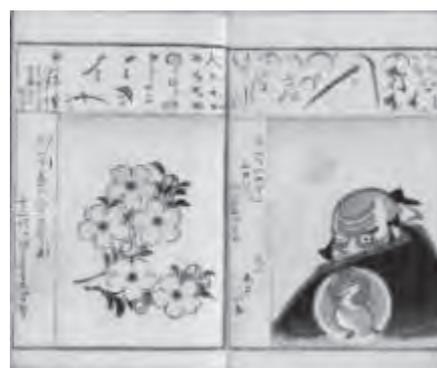
【図7】『北斎漫画』初編



【図8】『十嘉栄利花』



【図9】『己痴群夢多字画尽』後編



【図10】『北斎略画手ほどき』

(4) ホワイエ展示

ホワイエでは、特定非営利活動法人 京都文化協会とキャノン株式会社が推進する「綴プロジェクト」(正式名称：文化財未来継承プロジェクト)(註3)によって、フリーア美術館が所蔵する北斎の肉筆画コレクションの中から制作された13点の高精細複製画のうち、3点を3階ホワイエに展示した【図11】。富士山を奥に望む雄大な田園風景を描いた六曲一双の屏風「富士田園景図」を通期、滋賀県米原市の筑摩神社で古くから行われ、『伊勢物語』の中にも詠われる鍋冠祭を描いた二曲一隻の屏風「鍋冠祭図」を前期、北斎が亡くなった年に描かれた絶筆に近い双幅の掛け軸「漁樵問答図」を後期の期間に展示した。これらの作品は、複製画であるため、間近に鑑賞できるように床の間や畳を使用した露出展示を行った。また、撮影も可能なため、ベンチで休憩しながら鑑賞や撮影を楽しむ来館者の姿が見られた。

本展覧会開催中に行った両国小学校での出前授業では、本展覧会の出品作品の鑑賞を行った。そして、美術館での掲載の許可をいただいた児童の鑑賞シートを同じく3階ホワイエに掲示した【図12】。出前授業の成果を公表すると共に、これから展示を見る、或いは展示を見た来館者にとって出品作品をより注意深く鑑賞するきっかけを提供できたと考える。



【図 11】綴プロジェクトの高精細複製画
展示の様子



【図 12】鑑賞シートの掲示

4 感染防止対策

安全に展覧会を開催するために、入館者に手指の消毒や検温への協力をしていただき、館内のベンチの台数を減らし、展示室やエレベーター等、各フロアでの人数制限を継続するほか、展示室の作品の配置にも配慮した。

人々が距離を保ちつつ鑑賞できるように、作品ごとの間隔を2メートル程度離し、ゆつたりと余裕のある空間をとった【図 13】。掛け軸や版画はある程度距離が離れていても鑑賞できるが、版本は個人が手元で鑑賞するという性質から前者と同じ鑑賞方法は取れないため、キャプションに密集し兼ねないことを考慮し、シリーズ物の作品は数冊開いて展示した【図 14】。いくつかの版本は、閉じた状態で表紙を展示し、普段の展示では見せない部分も見せることがで



【図 13】展示室の様子



【図 14】版本の展示の様子



【図 15】閉じた状態での版本の展示

きた。『南総里見八犬伝』は、第一輯巻一から最終巻の第九輯第十一套九拾九下大尾まで106冊全てを、6点は開いた状態、それ以外は閉じた状態で展示し【図 15】、長大な物語のボリュームを視覚的にも感じられる展示とした。

また、1回目の緊急事態宣言以降、スライドトーク等の密集してしまうイベントを中止にしていたが、本展覧会では、通常時に行う対面でのスライドトークは実施せず、広報の企画により当館のYouTubeのチャンネルからYouTubeギャラリートークとして1本につき3分程度の作品紹介動画の投稿を行った。前期は「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」、「百人一首うはかゑとき 安倍仲麿」の2点、後期は「富嶽三十六景 山下白雨」、「蛤売り図」の2点、計4本を公開し、現在も視聴可能である。

5 おわりに

感染症の流行というこれまでに経験したことがない状況下で急遽企画された展覧会であったが、当館開館以降の新収蔵品を広く公開する機会となったため、美術館の収集活動の一部を人々にわかりやすい形で紹介することができた。そして、肉筆画、版画、版本というそれぞれ異な

る形態の資料に分類することで、北斎とその門人たちの多岐にわたる画業をバランスよく紹介できたと考える。また、新型コロナウイルス感染防止対策のために作品の展示数やギャラリートーク等が制限されたが、これまでとは異なる展示方法や You Tube を利用した作品解説といった新しい形態のものに挑戦する機会となった。

現在も新型コロナウイルスの終息は見えない状態であるが、本展覧会での対策を踏まえてさらに効果的な方法を模索しつつ、これからもより多くの人々に北斎やその門人の活躍を紹介できるよう努力していきたい。

註

- 1 参考：墨田区文化振興財団編『墨田区所蔵 ピーター・モースコレクション 北斎図録』（墨田区文化振興財団、2009年）。
- 2 参考：墨田区文化振興財団編『榎崎宗重博士収集美術品図録』（墨田区文化振興財団、2005年）。
- 3 「綴プロジェクト（正式名称：文化財未来継承プロジェクト、主催：特定非営利活動法人 京都文化協会、共催：キャンノン株式会社）」ホームページ <https://globalcanon/ja/tsuzuri>（2021年10月24日閲覧）

平成28年11月22日～令和3年3月31日

美術館館報

施設概要

所在地	東京都墨田区亀沢二丁目7番2号（墨田区立緑町公園内）
設置者	墨田区
開館年月日	平成28年（2016年）11月22日（竣工日：平成28年4月28日）
管理運営者	指定管理者：墨田区文化振興財団・丹青社共同企業体 代表者：公益財団法人 墨田区文化振興財団理事長 指定期間：平成28年11月22日～令和3年3月31日

建物

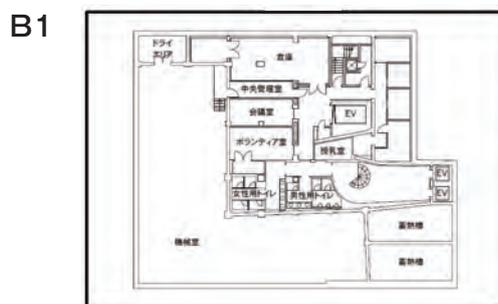
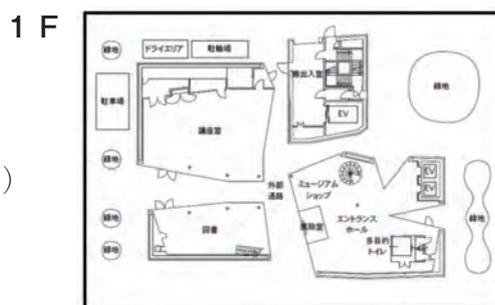
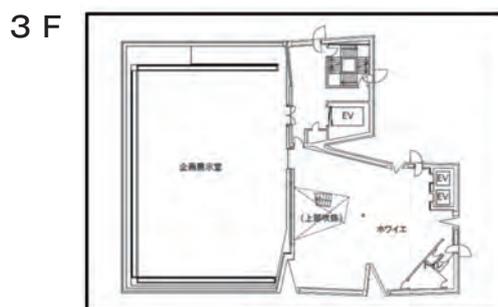
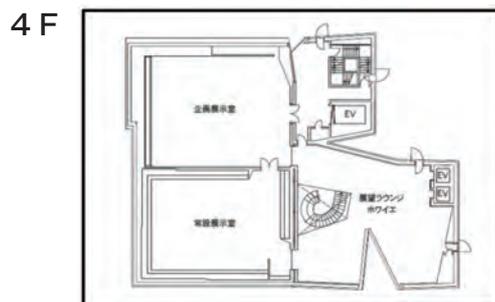
建築構造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造） 地上4階、地下1階
建築敷地	1254.1㎡
建築面積	699.7㎡ 緑町公園の「公園施設」（教養施設） としての位置付け

高さ	21.9 m
延床面積	3278.9㎡

建築設計者	株式会社妹島和世建築設計事務所
建築施工者	大林・東武谷内田建設共同企業体
展示設計・施工者	株式会社丹青社

主な諸室

4F	AURORA（常設展示室） / 企画展示室（常設展プラス）	189.2㎡	186.0㎡
3F	企画展示室	380.9㎡	
2F	事務室、学芸・教育普及室等 / 収蔵スペース	148.0㎡	291.8㎡
1F	エントランスホール・ミュージアムショップ	142.0㎡	
	MARUGEN100（講座室）	124.0㎡	
	図書室	70.3㎡	
B1	トイレ等		



運営基本方針

1. 美術館の位置づけ

(1) 区民の施設として

- ①墨田区の文化の再発見の場
- ②墨田区の伝統・文化の発信と普及の場
- ③区民への文化継承・教育普及の場
- ④区民が誇れる景観・文化施設

(2) 観光施設として

- ①墨田区および両国地区観光の集客施設
- ②墨田区の文化・産業のPR活動の場

2. 運営目標

- (1) 葛飾北斎を中心として門人や関連作家の作品を広く内外に発信し魅力を高める。
- (2) 墨田区の文化振興および文化伝承の場として機能させる。
- (3) 未来を見据えて成長する新たな美術館を創造する。

沿革

平成元年（1989年）	3月	墨田区基本計画で「北斎館」（仮称）の建設を計画
平成4年（1992年）	3月	「北斎館」（仮称）基本構想策定
平成5年（1993年）	11月	ピーター・モース コレクション取得
平成7年（1995年）	10月	檜崎宗重博士所蔵美術品受贈
平成19年（2007年）	3月	「北斎館」（仮称）施設整備方針策定
平成21年（2009年）	4月	正式名称「すみだ北斎美術館」決定
	6月	建設地が現在の緑町公園内に決定
平成26年（2014年）	7月	建築着工（～28年4月）
平成27年（2015年）	3月	美術館の管理運営に関する条例制定
	12月	指定管理者を墨田区文化振興財団・丹青社共同企業体に指定
平成28年（2016年）	4月	28日竣工
	11月	22日開館
	12月	入館者数3万人達成（8日）
平成29年（2017年）	9月	入館者数30万人達成（8日）
平成30年（2018年）	7月	入館者数50万人達成（31日）
平成31年（2019年）	2月	第59回BCS賞受賞
令和2年（2020年）	12月	入館者数80万人達成（11日）

展覧会概要

1. 常設展示

常設展示室は7つのエリアで構成されており、「すみだと北斎」から始まり、主な画号により6つに分けたエリアでは、各期の代表作（実物大高精細レプリカ）とエピソードを交えて、北斎の生涯を辿ることができる。白黒写真を基に推定復元した、『須佐之男命厄神退治之図』、『北斎漫画』などの絵手本をタッチパネルモニターで紹介する『北斎絵手本大図鑑』、高精細画面モニターでの錦絵鑑賞、錦絵の制作工程を映像も交えて紹介するコーナーなども見どころである。北斎アトリエの再現模型もあり、楽しみながら北斎についての理解を深めることができる。

- ・ 観覧料：一般 400 円、高大生・65 歳以上 300 円、中学生以下無料
- ・ 常設展示のみの観覧者数（平成 28 年度は平成 28 年 11 月 22 日～平成 29 年 3 月 31 日）
（平成 31 年度は令和 2 年 2 月 29 日～令和 2 年 3 月 31 日まで臨時休館）
（令和 2 年度は令和 2 年 4 月 7 日～令和 2 年 5 月 31 日まで臨時休館）

観覧者数	一般	65 歳以上	高大生	中学生	小学生以下	障がい者	年パス	招待視察等	ぐるっとパス	計
28 年度	19,022	9,757	1,325	1,086	494	1,854	114	138	0	33,790
29 年度	46,032	23,809	4,022	2,273	1,517	3,278	442	531	0	81,904
30 年度	30,084	12,938	3,624	2,680	1,197	1,965	129	477	6,797	59,891
31 年度	16,614	6,722	2,706	2,520	913	1,312	76	607	3,973	35,443
R2 年度	4,264	849	498	292	113	522	29	43	1,352	7,962
合計	116,016	54,075	12,175	8,851	4,234	8,931	790	1,796	12,122	218,990

2. 常設展プラス

企画展が開催されていない時でも来館者が北斎のオリジナル作品を鑑賞したり北斎作品をより身近なものとして親しんだりするために開館 2 年余り後に新設。（2019 年 2 月 5 日から 4 F 企画室が空いている期間に開催。）

- (1) オリジナル作品の版本を複数点展示
- (2) 北斎の肉筆画の中で最長とされている「隅田川兩岸景色図巻」（全長約 7m）の複製画実物大を展示
- (3) 『北斎漫画』15 編を手にとって読むことができる立ち読みコーナー

* 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため観覧前後の消毒等安全対策を講じる。

3. 企画展示

専門性と対外的魅力の両立を視野に入れた多様な切り口からの北斎及び門人や地域等と関連を持たせた内容の展覧会をはじめ、他館との交換展、新聞社企画展、民間企業とのコラボ展、重要文化財公開を含む借用作品をメインにした展覧会等々、期間中 25 企画実施した。

各展覧会の概要を次ページ以降に記載する。

- ・ 企画展の観覧者数 （平成 28 年度は平成 28 年 11 月 22 日～平成 29 年 3 月 31 日）
 （平成 31 年度は令和 2 年 2 月 29 日～令和 2 年 3 月 31 日まで臨時休館）
 （令和 2 年度は令和 2 年 4 月 7 日～令和 2 年 5 月 31 日まで臨時休館）

観覧者数	一般	65 歳以上	高大生	中学生	小学生以下	障がい者	年パス	招待視察等	計
28 年度 個人	74,958	45,420	3,800	568	2,890	5,828	2,996	3,833	140,293
28 年度 団体	1,324	1,851	184	46	198	21	0	0	3,624
小計	76,282	47,271	3,984	614	3,088	5,849	2,996	3,833	143,917
29 年度 個人	96,357	45,489	6,248	1,528	4,066	6,180	4,254	7,899	172,021
29 年度 団体	2,426	4,388	566	396	825	108	0	0	8,709
小計	98,783	49,877	6,814	1,924	4,891	6,288	4,254	7,899	180,730
30 年度 個人	69,312	21,339	6,148	1,174	3,969	3,660	2,227	4,103	111,932
30 年度 団体	1,609	1,834	660	256	872	134	0	0	5,365
小計	70,921	23,173	6,808	1,430	4,841	3,794	2,227	4,103	117,297
31 年度 個人	61,985	20,179	7,168	1,622	3,361	3,239	2,187	17,978	117,719
31 年度 団体	1,142	1,283	493	237	679	38	0	0	3,872
小計	63,127	21,462	7,661	1,859	4,040	3,277	2,187	17,978	121,591
R2 年度 個人	21,251	5,531	1,936	226	1,341	1,426	1,246	4,151	37,108
R2 年度 団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	21,251	5,531	1,936	226	1,341	1,426	1,246	4,151	37,108
合計	330,364	147,314	27,203	6,053	18,201	20,634	12,910	37,964	600,643

企画展示 1

開館記念展 I

「北斎の帰還

—幻の絵巻と名品コレクション—

北斎生誕地にその美術館がオープンすることを祝し、平成27年に海外から里帰りした北斎の絵巻「隅田川兩岸景色図巻」をはじめとする墨田区所蔵の北斎の肉筆画、版画、摺物約150点を一堂に展示した。

- 開催期間：平成28年11月22日（火）から平成29年1月15日（日）まで
- 開催施設：4階、3階企画展示室
- 観覧料：一般1,200円、高大生・65歳以上900円、中学生・障がい者400円
- 観覧者数：93,011人



開館記念展 北斎の帰還						
前期	後期	出品番号	作者名	作品名	判型・形状・員数	所蔵
序章 北斎のイメージ						
●		1	葛飾北斎	『竜將軍勘略巻』	中本	東京文化財研究所
	●	2	葛飾北斎	漁師図	摺物	すみだ北斎美術館
●	●	3	飯島虚心	『葛飾北斎伝』	半紙本2冊	すみだ北斎美術館
	●	4	飯島虚心	『葛飾北斎伝』	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	5	飯島虚心	『葛飾北斎伝』 袋	袋	すみだ北斎美術館
●		6	織田一磨	葛飾北斎肖像	リトグラフ（石版画）	すみだ北斎美術館
●		7	織田一磨	『アルス美術叢書 15 北斎』	書籍	すみだ北斎美術館
●		8	伊藤晴雨	葛飾北斎像	絹本着色一幅	すみだ北斎美術館
	●	9	伊藤晴雨	貧しき或る日の北斎老	絹本着色一幅	すみだ北斎美術館
	●	10	柄澤齊	肖像 XXXIX 葛飾北斎	木口木版画	すみだ北斎美術館
●		11		本所中絵図	絵図	すみだ北斎美術館
	●	12	子感	再刻新板 本所深川細見図	絵図	すみだ北斎美術館
●	●	13	井上安治	東京真画名所図解 本所割下水	四つ切判錦絵	すみだ北斎美術館
●		14		『当時現在 広益諸家人名録』 二編	中本	すみだ北斎美術館
	●	15		『当時現在 広益諸家人名録』	中本	すみだ北斎美術館
第1章 北斎の描いたすみだ						
	●	16	葛飾北斎	忠臣蔵討入	大判錦絵3枚続	すみだ北斎美術館
●		17	葛飾北斎	仮名手本忠臣蔵 十一段	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	18	葛飾北斎	新板浮絵両国橋夕涼花火見物之図	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		19	葛飾北斎	両国夕涼	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	20	葛飾北斎	すみだかは	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		21	葛飾北斎	風流隅田川八景 両国の夕照	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		22	葛飾北斎	風流隅田川八景 待乳の紅葉	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		23	葛飾北斎	風流隅田川八景 ミめぐりのせいらん	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		24	葛飾北斎	風流隅田川八景 梅若の秋月	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	25	葛飾北斎	風流隅田川八景 しゅびのまつの夕立	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	26	葛飾北斎	風流隅田川八景 こまかたのうりう	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	27	葛飾北斎	風流隅田川八景 浅草の晩鐘	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	28	葛飾北斎	風流隅田川八景 真崎ざんせつ	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		29	葛飾北斎	風流東都八景 両国の秋月	中判錦絵	すみだ北斎美術館
●		30	葛飾北斎	新板浮絵三囲牛御前両社之図	大判錦絵	すみだ北斎美術館

	●	31	葛飾北斎	馬尽 駒止石・御厩川岸・駒形堂	摺物3枚続	すみだ北斎美術館
●		32	葛飾北斎	富嶽三十六景 御厩川岸より両国橋夕陽見	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	33	葛飾北斎	富嶽三十六景 隅田川関屋の里	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		34	葛飾北斎	雪月花 隅田	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	35	葛飾北斎	千絵の海 宮戸川長繩	中判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●	36	葛飾北斎	『絵本隅田川 兩岸一覽』	大本3冊	すみだ北斎美術館
●	●	37	葛飾北斎	『東都名所一覽』	大本	すみだ北斎美術館
●	●	38	葛飾北斎	『画本東都遊』	大本3冊	すみだ北斎美術館
2章 幻の絵巻～隅田川兩岸景色図巻～						
●	●	39	小林文七	『浮世絵展覧会品目』	冊子	すみだ北斎美術館
●	●	40	P. シュヴァリエ	『Collection Hayashi. Objets d'art du Japon et la Chine.』	書籍	すみだ北斎美術館
●	●	41	葛飾北斎	『仮名手本 後日の文章』	半紙本5冊のうち	すみだ北斎美術館
●	●	42	葛飾北斎	『忠孝潮来府志』	半紙本5冊のうち	すみだ北斎美術館
●		43	葛飾北斎	『喜美談語』	中本	東京大学大学院人文社会科学系研究科国語研究室
●	●	44	烏亭焉馬	市川團十郎家譜伝来之記	家譜	服部仁氏
●	●	45	葛飾北斎	隅田川兩岸景色図巻	紙本着色一卷	すみだ北斎美術館
3章 名品ハイライト						
●		46	葛飾北斎	四代目岩井半四郎 かしく	細判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	47	葛飾北斎	仁和嘉狂言 九月 じどうのおとり屋たい	中判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	48	葛飾北斎	仁和嘉狂言 三月 赤坂やつこぎやうれつ	中判錦絵	すみだ北斎美術館
●		49	葛飾北斎	浮絵 元祖東都歌舞岐大芝居之図	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	50	葛飾北斎	浮絵 東叡山中堂之図	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		51	葛飾北斎	俳諧おた巻 植物の部	中判錦絵	すみだ北斎美術館
●		52	葛飾北斎	吉原妓楼の新年	大判錦絵5枚続	すみだ北斎美術館
	●	53	葛飾北斎	六玉川 山吹 大和井出	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	54	葛飾北斎	六玉川 手作 武蔵	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	55	葛飾北斎	六玉川 近江 野路	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	56	葛飾北斎	六玉川 どく 紀の国かうや	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	57	葛飾北斎	六玉川 ちどり 陸奥	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	58	葛飾北斎	六玉川 とうみ 摂津	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		59	葛飾北斎	賀奈川沖本空之図	間判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	60	葛飾北斎	総房海陸勝景奇覧	大大判錦絵	すみだ北斎美術館
11.22～12.11		61	葛飾北斎	富嶽三十六景 遠江山中	大判錦絵	すみだ北斎美術館
11.22～12.11		62	葛飾北斎	富嶽三十六景 山下白雨	大判錦絵	すみだ北斎美術館
12.13～12.25		63	葛飾北斎	富嶽三十六景 神奈川沖浪裏	大判錦絵	すみだ北斎美術館
12.13～12.25		64	葛飾北斎	富嶽三十六景 五百らかん寺さゝもどう	大判錦絵	すみだ北斎美術館
1.2～1.15		65	葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州三島越	大判錦絵	すみだ北斎美術館
1.2～1.15		66	葛飾北斎	富嶽三十六景 凱風快晴	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		67	葛飾北斎	諸国瀧廻り 木曾路ノ奥阿弥陀ヶ瀧	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		68	葛飾北斎	諸国瀧廻り 和州吉野義経馬洗滝	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	69	葛飾北斎	諸国瀧廻り 下野黒髪山きりふりの滝	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	70	葛飾北斎	諸国瀧廻り 美濃ノ国養老の滝	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		71	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 飛越の堺つりはし	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		72	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 三河の八つ橋の古図	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	73	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 足利行道山くものかけはし	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	74	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 摂州阿治川口天保山	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	75	葛飾北斎	千絵の海 五島鯨突	中判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	76	葛飾北斎	千絵の海 総州利根川	中判錦絵	すみだ北斎美術館
●		77	葛飾北斎	芥子	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		78	葛飾北斎	鴟 翠雀 虎耳草 蛇苺	中判錦絵	すみだ北斎美術館
●		79	葛飾北斎	鬼兒島弥太郎 西法院赤坊主	大判錦絵	すみだ北斎美術館

●		80	葛飾北斎	楠多門丸正重 八尾の別当常久	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	81	葛飾北斎	百物語 さらやしき	中判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	82	葛飾北斎	百物語 しうねん	中判錦絵	すみだ北斎美術館
●		83	葛飾北斎	詩歌写真鏡 少年行	長大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		84	葛飾北斎	詩歌写真鏡 在原業平	長大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	85	葛飾北斎	詩歌写真鏡 木賊菀	長大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	86	葛飾北斎	詩歌写真鏡 雪中人馬	長大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		87	葛飾北斎	桜に鷹	長大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	88	葛飾北斎	亀	長大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		89	葛飾北斎	百人一首うはかゑとき 三條院	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	90	葛飾北斎	百人一首うはかゑとき 源宗于朝臣	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		91	葛飾北斎	遊亀図	摺物	すみだ北斎美術館
	●	92	葛飾北斎	休茶屋	摺物	すみだ北斎美術館
●		93	葛飾北斎	踊り図	摺物二幅	すみだ北斎美術館
●		94	葛飾北斎	鎌倉の里	摺物	すみだ北斎美術館
	●	95	葛飾北斎	元禄歌仙貝合 あこや貝	摺物	すみだ北斎美術館
	●	96	葛飾北斎	元禄歌仙貝合 すゝめ貝	摺物	すみだ北斎美術館
●		97	葛飾北斎	馬尽 駒鳥	摺物	すみだ北斎美術館
●		98	葛飾北斎	馬尽 駒下駄	摺物	すみだ北斎美術館
	●	99	葛飾北斎	七里ヶ浜ヨリ腰越ヲ眺望	摺物	すみだ北斎美術館
	●	100	葛飾北斎	『男踏歌』	大本	すみだ北斎美術館
●		101	葛飾北斎	『画本狂歌 山満多山』	大本3冊	すみだ北斎美術館
●		102	葛飾北斎	『画本狂歌 山満多山』袋	袋	すみだ北斎美術館
	●	103	葛飾北斎	『復讐奇話 絵本東嫩錦』	半紙本5冊のうち	すみだ北斎美術館
	●	104	葛飾北斎	『椿説弓張月』前編 後編 続編	半紙本各6冊のうち	すみだ北斎美術館
●	●	105	葛飾北斎	『北越奇談』	半紙本6冊のうち	すみだ北斎美術館
●		106	葛飾北斎	『略画早指南』	中本2冊	すみだ北斎美術館
●		107	葛飾北斎	『北斎漫画』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●		108	葛飾北斎	『北斎漫画』二編	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	109	葛飾北斎	『北斎漫画』三編	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	110	葛飾北斎	『北斎漫画』十二編	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	111	葛飾北斎	『北斎写真画譜』	大本	すみだ北斎美術館
●		112	葛飾北斎	『今様櫛搔雛形』	横本3冊	すみだ北斎美術館
●	●	113	葛飾北斎	『富嶽百景』	半紙本3冊	すみだ北斎美術館
●	●	114	葛飾北斎	『画本彩色通』	半紙本2冊	すみだ北斎美術館
	●	115	葛飾北斎	見立文殊図	紙本着色一幅	すみだ北斎美術館
	●	116	葛飾北斎	千鳥の玉川図	紙本淡彩一幅	すみだ北斎美術館
●		117	葛飾北斎	ほととぎす聞く遊君図	紙本淡彩一幅	すみだ北斎美術館
	●	118	葛飾北斎	鮫鯨図	絹本着色一幅	すみだ北斎美術館
●		119	葛飾北斎	寒山拾得図	絹本着色一幅	すみだ北斎美術館
	●	120	葛飾北斎	貴人と官女図	絹本着色一幅	すみだ北斎美術館
●		121	葛飾北斎	南瓜花群虫図	絹本着色一幅	すみだ北斎美術館
●		122	葛飾北斎	朱描鐘馗図	絹本着色一幅	すみだ北斎美術館
	●	123	葛飾北斎	柳に燕図	紙本着色一幅	すみだ北斎美術館

企画展示2

開館記念展Ⅱ

「すみだ北斎美術館を支えるコレクター

ーピーター・モースと檜崎宗重二大コレクションー」

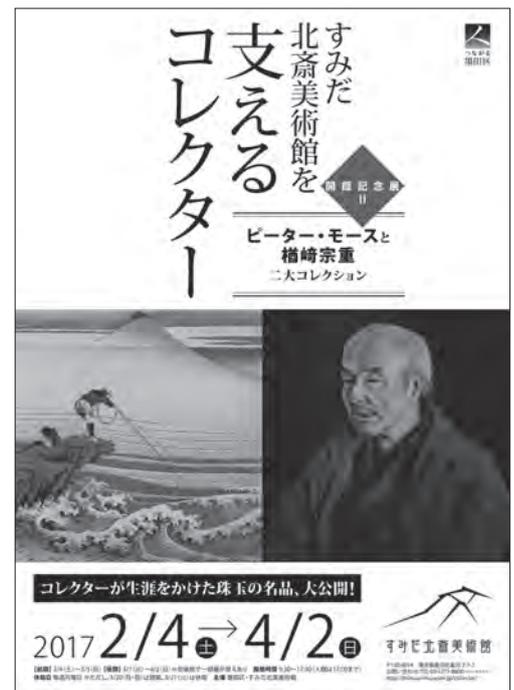
墨田区所蔵作品のうち特筆すべきものとして、故ピーター・モース氏（1935 - 93）や故檜崎宗重氏（1904 - 2001）をはじめ、高名な研究者から譲り受けた資料がある。それらコレクションから選りすぐりの作品約 140 点を展覧し、また優れた北斎研究者であったコレクターたちの業績を紹介した。

■開催期間：平成 29 年 2 月 4 日（土）から
4 月 2 日（日）まで

■開催施設：4 階、3 階企画展示室

■観覧料：一般 1,000 円、高大生・65 歳以上 700 円、中学生・障がい者 300 円

■観覧者数：53,469 人



開館記念展Ⅱ すみだ北斎美術館を支えるコレクター ピーター・モースコレクションと檜崎宗重 二大コレクション モースコレクション						
前期	後期	出品番号	作者名	作品名	判型・形状・員数	所蔵
●		1	葛飾北斎	四代目松本幸四郎 よどや手代新七	細判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	2	葛飾北斎	三代目瀬川菊之丞 鬼王女ほう月さよ	細判錦絵	すみだ北斎美術館
●		3	葛飾北斎	卯之方 東都方角 梅屋舗之図	中判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	4	葛飾北斎	豆まきをする金太郎	細判錦絵	すみだ北斎美術館
●		5	葛飾北斎	仁和嘉狂言 八月 びくに	中判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	6	葛飾北斎	仁和嘉狂言 同 秋のこま	中判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	7	葛飾北斎	新板浮絵忠臣蔵 初段鶴ヶ岡	間判錦絵	すみだ北斎美術館
●		8	葛飾北斎	新板浮絵忠臣蔵 第十一段目	間判錦絵	すみだ北斎美術館
●		9	葛飾北斎	あづま五郎の残雪・伊達与作せきの小万夕照	中判錦絵二丁掛	すみだ北斎美術館
●		10	葛飾北斎	上塾	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	11	葛飾北斎	今戸川	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	12	葛飾北斎	仮名手本忠臣蔵 十一段目	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		13	葛飾北斎	新板浮絵三囲牛御前両社之図	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	14	葛飾北斎	新板浮絵新吉原大門口之図	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		15	葛飾北斎	近江八景 せたのせきせう	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		16	葛飾北斎	近江八景 やばせのきはん	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	17	葛飾北斎	近江八景 いし山のあきの月	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	18	葛飾北斎	近江八景 かたゝのらくがん	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	19	葛飾北斎	新板近江八景 石山の秋月・三井の晩鐘	中判錦絵二丁掛	すみだ北斎美術館
●		20	葛飾北斎	三国妖狐伝 第一斑足王御てんのだん	大判錦絵 2 枚続	すみだ北斎美術館
●		21	葛飾北斎	風流おどけ百句 井戸替え	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		22	葛飾北斎	風流おどけ百句 あんまとり	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	23	葛飾北斎	謎かけ戯画集 下手な碁	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	24	葛飾北斎	謎かけ戯画集 孕んだ男	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		25	葛飾北斎	奥州塩竈松島之略図	大大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	26	葛飾北斎	富嶽三十六景 武州玉川	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		27	葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州石班沢	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	28	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 かうつけ佐野ふなはしの古づ	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		29	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 すほうの国きんたいはし	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		30	葛飾北斎	朝顔に小禽	中判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	31	葛飾北斎	琉球八景 衆村竹籬（泉崎夜月）	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	32	葛飾北斎	琉球八景 衆村竹籬	大判錦絵	すみだ北斎美術館

●		33	葛飾北斎	牡丹に胡蝶	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	34	葛飾北斎	百物語 小はだ小平二	中判錦絵	すみだ北斎美術館
●		35	葛飾北斎	百人一首乳母かゑとき 猿丸太夫	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	36	葛飾北斎	地方測量之図	大大判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●	37	葛飾北斎	勝景奇覽 房州鋸山	団扇絵校合摺	すみだ北斎美術館
●		38	葛飾北斎	懐通辰己楼	摺物	すみだ北斎美術館
	●	39	葛飾北斎	巳待	摺物	すみだ北斎美術館
●		40	葛飾北斎	上野花見帰り	摺物	すみだ北斎美術館
	●	41	葛飾北斎	舟上水汲み	摺物	すみだ北斎美術館
●		42	葛飾北斎	鶯と金太郎	摺物	すみだ北斎美術館
	●	43	葛飾北斎	六女草紙合 土佐日記	摺物	すみだ北斎美術館
●		44	葛飾北斎	休茶屋	摺物	すみだ北斎美術館
●		45	葛飾北斎	休茶屋〔墨摺〕	摺物	すみだ北斎美術館
	●	46	葛飾北斎	座敷狂言長柄二階傘踊	摺物	すみだ北斎美術館
	●	47	葛飾北斎	神田明神休茶屋	摺物	すみだ北斎美術館
●		48	葛飾北斎	桜花の掃除	摺物	すみだ北斎美術館
	●	49	葛飾北斎	座敷舞踊	摺物	すみだ北斎美術館
●		50	葛飾北斎	元禄歌仙貝合 さくら貝	摺物	すみだ北斎美術館
●		51	葛飾北斎	元禄歌仙貝合 かたし貝	摺物	すみだ北斎美術館
	●	52	葛飾北斎	馬尽 菖蒲駒	摺物	すみだ北斎美術館
	●	53	葛飾北斎	馬尽 三弦駒	摺物	すみだ北斎美術館
●		54	葛飾北斎	羅生門	摺物	すみだ北斎美術館
	●	55	葛飾北斎	寺島法泉寺詣	摺物	すみだ北斎美術館
●		56	葛飾北斎	『さむたらかすみ』	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	57	葛飾北斎	『初若菜』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	58	葛飾北斎	『画本東都遊』	大本 合本	すみだ北斎美術館
●	●	59	葛飾北斎	『新板 飛驒匠物語』	半紙本 6冊	すみだ北斎美術館
●	●	60	葛飾北斎	『略画早指南』初編	中本	すみだ北斎美術館
●	●	61	葛飾北斎	『北斎漫画』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	62	葛飾北斎	『をどり独稽古』	中本	すみだ北斎美術館
●	●	63	葛飾北斎	『画本千字文』	半紙本 合本	すみだ北斎美術館
●	●	64	葛飾北斎	『絵本和漢誉』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	65	ピーター・モース著	『Hokusai : One Hundred Poets』	書籍	すみだ北斎美術館
●	●	66	ジャック・ヒリアー著	『The Art of HOKUSAI in Book Illustration』	書籍	すみだ北斎美術館
檜崎宗重コレクション						
●	●	67	檜崎宗重著	『北斎論』	書籍	すみだ北斎美術館
●	●	68	イルマ・E・グラブホーン	檜崎宗重肖像画		すみだ北斎美術館
●		69	蹄斎北馬	夕立図	絹本一幅	すみだ北斎美術館
	●	70	高井鴻山	妖怪図	紙本一幅	すみだ北斎美術館
	●	71	葛飾北斎	江戸八景 飛鳥の落雁	中判錦絵	すみだ北斎美術館
●		72	魚屋北溪	唐詩画譜之内 江邨夜帰	中判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	73	月斎哥政(墨僊)	『画本二葉集』	半紙本	すみだ北斎美術館
●		74	魚屋北溪	『得吉方洒瀧』	大本	すみだ北斎美術館
●	●	75	魚屋北溪・抱亭五清	『狂歌評判記』	半紙本二切	すみだ北斎美術館
●	●	76	葛飾北斎	『東遊』	大本	すみだ北斎美術館
●	●	77	葛飾北斎	『略画早指南』後編	中本	すみだ北斎美術館
●	●	78	葛飾北斎	『富嶽百景』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●		79	滝和亭	野ざらし図	紙本一幅	すみだ北斎美術館
	●	80	貫名松翁	山水図	絹本一幅	すみだ北斎美術館
●		81	別人歌麿	芸妓図	紙本一幅	すみだ北斎美術館
	●	82	紀広成	鐘馗捉鬼図	紙本一幅	すみだ北斎美術館
●		83	川上冬崖	佐久間象山蟄居図	絹本一幅	すみだ北斎美術館
	●	84	椿椿山	水野忠啓像	絹本一幅	すみだ北斎美術館
●		85	高芙蓉	山水図	紙本一幅	すみだ北斎美術館
	●	86	黄慎	携琴図	紙本一幅	すみだ北斎美術館
●		87	韓天寿	山水図	紙本一幅	すみだ北斎美術館

	●	88	愛石	山中幽居図	紙本一幅	すみだ北斎美術館
●		89	青木夙夜	山水図	絹本一幅	すみだ北斎美術館
	●	90	愛石	層巒曉霽図	絹本一幅	すみだ北斎美術館
●		91	渡辺南岳	美人図	絹本一幅	すみだ北斎美術館
	●	92	石川孟高	椰子にライオン	紙本一幅	すみだ北斎美術館
●	●	93	高橋由一	三宅康直像	油彩	すみだ北斎美術館
●		94	長沢蘆雪	洋風母子犬図	紙本一幅	すみだ北斎美術館
	●	95	深江蘆舟	花卉図	紙本一幅	すみだ北斎美術館
●	●	96	森寛斎	耶馬溪図巻	絹本一卷	すみだ北斎美術館
	●	97	磯田湖龍斎	雛形若菜初模様 竹屋内小式部	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		98	歌川豊国	五代目松本幸四郎 武智光秀	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	99	歌川豊国	五代目松本幸四郎 仁木弾正	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		100	渡辺崋山	其角肖像真蹟	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	101	歌川国貞	当世美人合 身じまい芸者	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		102	歌川国安	松葉屋内 粧ひ にほひ とめき	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		103	磯野文斎	唐船入津の図	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	104	磯野文斎	阿蘭陀船入津ノ図	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		105	溪斎英泉	新吉原年中行事 十一月酉のまち初雪 扇屋内つかさ	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	106	歌川国芳	山海愛度図絵 三十八 えりをぬきたい 遠江 須之股川鱈	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		107	歌川広重	江戸名所之内 王子瀧の川 紅葉風景	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	108	歌川広重	尾州有松絞店の図	大大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	109	未詳	花競昇勝業	大判3枚続	すみだ北斎美術館
●		110	歌川国貞 (三代豊国)	堤婆の仁三 八太夫娘おき代 雁金紺屋文七	大判3枚続	すみだ北斎美術館
●		111	歌川芳藤	往来子供尽	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	112	三代歌川広重	北海道新道切開	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	113	二代歌川国輝	東京各大区之内 日本橋電信局	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		114	二代歌川国輝	東京名勝之内 あさくさはし	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	115	小林清親	両国雪中	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		116	豊原国周	開化人情鏡 写真	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		117	川瀬巴水	浅草の雪	木版画	すみだ北斎美術館
	●	118	川瀬巴水	中尊寺金色堂	木版画	すみだ北斎美術館
●	●	119	平塚運一	日蓮像	木版画	すみだ北斎美術館
	●	120	熊谷守一	鬼百合に蝶	木版画	すみだ北斎美術館
●		121	熊谷守一	猫	木版画	すみだ北斎美術館
●	●	122	金子孚水著	古今東西浮世絵数寄者総番附		すみだ北斎美術館
●	●	123	北尾政演 (山東京伝)	『百人一首 古今狂歌袋』	大本	すみだ北斎美術館
●	●	124	溪斎英泉	『浮世画譜』 初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	125	未詳	『富士山百景狂歌集』	中本	すみだ北斎美術館
●	●	126	河鍋暁斎	『暁斎画談』	大本6冊	すみだ北斎美術館
●	●	127	川端玉章	『隅田川叢誌』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	128	檜崎宗重編	『浮世絵芸術』 第2巻第7号	雑誌	すみだ北斎美術館
●	●	129・130	檜崎宗重編	『浮世絵界』 創刊号、第7巻第1号	雑誌2冊	すみだ北斎美術館
●	●	131	檜崎宗重編	『大和絵研究』 第1巻第1号	雑誌	すみだ北斎美術館

企画展示3

開館記念展Ⅲ「てくてく東海道

ー北斎と旅する五十三次ー

北斎は歌川広重に先駆けて7種類もの東海道五十三次を描いており、墨田区所蔵の東海道五十三次シリーズを中心に展示し、東海道の絵師としての北斎の側面を紹介した。

- 開催期間：平成29年4月18日（火）から6月11日（日）まで
- 開催施設：4階、3階企画展示室
- 観覧料：一般1,000円、高大生・65歳以上700円、中学生・障がい者300円
- 観覧者数：45,647人



開館記念展Ⅲ てくてく東海道ー北斎と旅する五十三次ー						
前期	後期	出品番号	作者名	作品名	判型・形状・員数	所蔵
1章 旅立ちの前に						
●	●	1	菱川師宣	『東海道分間絵図』府中より吉田迄 卷之三	折帖	国立歴史民俗博物館
●	●	2	十返舎一九著	『東海道中膝栗毛』	中本 18冊のうち	東京大学総合図書館
2章 北斎の名品 東海道シリーズ						
		3～65 (3～34)	葛飾北斎	春興五十三駄之内	摺物 71枚	すみだ北斎美術館
●				3. 日本橋、4. 品川、5. 品川宿、6. 川崎、7. 神奈川、8. 程ヶ谷、9. 戸塚、10. 藤沢、11. 平塚、12. 大磯、13. 小田原、14. 箱根、15. 三島、16. 沼津、17. 原、18. 吉原、19. 蒲原、20. 由井、21. 奥津、22. 江尻、23. 府中、24. 鞠子、25. 岡部、26. 藤枝、27. 島田、28. 金谷、29. 日坂、30. 掛川、31. 秋葉山之春屋、32. 鳳来寺春景、33. 袋井、34. 見附		
	●	(35～65)		35. 浜松、36. 舞坂、37. 荒井、38. 白須賀、39. 二川、40. 吉田、41. 御油、42. 赤坂、43. 藤川、44. 岡崎、45. 岡崎宿 其二、46. 岡崎池鯉鮒之間、47. 池鯉鮒、48. 鳴海、49. 宮、50. 桑名、51. 四日市、52. 石薬師、53. 庄野、54. 亀山、55. 関、56. 坂ノ下、57. 土山、58. 水口、59. 石部、60. 草津、61. 大津、62. 狂歌、63. 狂歌、64. 狂歌、65. 見返し		
		66～122 (66～96)	葛飾北斎	東海道五十三次絵尽	小判錦絵 60枚	すみだ北斎美術館
	●			66. 日本橋、67. 品川、68. 川崎、69. 神奈川、70. 程ヶ谷、71. 戸塚、72. 藤沢、73. 平塚、74. 大磯、75. 小田原、76. 箱根、77. 三島、78. 沼津、79. 原、80. 吉原、81. 神原、82. 由井、83. 沖津、84. 江尻、85. 府中、86. 鞠子、87. 岡部、88. 藤枝、89. 島田、90. 金谷、91. 西坂、92. 掛川、93. 袋井、94. 秋葉、95. 蓬萊寺、96. 見付		

●		(97～122)		97. 浜松、98. 舞坂、99. 荒井、100. 白須賀、101. 二ヶ川、102. 吉田、103. 御油、104. 赤坂、105. 藤川、106. 岡崎、107. 池鯉鮒、108. 鳴海、109. 宮、110. 桑名、111. 四日市、112. 石薬師、113. 庄野、114. 亀山、115. 関、116. 坂の下、117. 土山、118. 水口、119. 石部、120. 草津、121. 大津、122. 京		
●		123	葛飾北斎	東海道 彩色摺 五拾三次 かな川	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		124	葛飾北斎	東海道 彩色摺 五拾三次 程がや	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		125	葛飾北斎	東海道 彩色摺 五拾三次 戸つか	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		126	葛飾北斎	東海道 彩色摺 五拾三次 ふぢ沢	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		127	葛飾北斎	東海道 彩色摺 五拾三次 ひらつか	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		128	葛飾北斎	東海道 彩色摺 五拾三次 大いそ	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	129	葛飾北斎	東海道 彩色摺 五拾三次 おかべ	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	130	葛飾北斎	東海道 彩色摺 五拾三次 しまだ	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	131	葛飾北斎	東海道 彩色摺 五拾三次 ふじゑだ	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	132	葛飾北斎	東海道 彩色摺 五拾三次 につさか	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	133	葛飾北斎	東海道 彩色摺 五拾三次 ふくろい	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	134	葛飾北斎	東海道 彩色摺 五拾三次 みつけ	小判錦絵	すみだ北斎美術館
3章 北斎と旅する東海道						
旅の風景～トラベルシーン～						
●		135	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 藤枝	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		136	葛飾北斎	(東海道五十三次) 双川	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		137	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 箱根	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		138	葛飾北斎	東海道五十三次 絵本駅路鈴 日坂	中判錦絵	すみだ北斎美術館
●		139	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 草津	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		140	葛飾北斎	(東海道五十三次) 島田	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		141	葛飾北斎	(東海道五十三次) 金谷	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●	142	秋里籬島著	『東海道名所図会』巻之四	大本	東京大学総合図書館
●		143	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 三島	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		144	葛飾北斎	(東海道五十三次) 箱根	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		145	葛飾北斎	(東海道五十三次) 藤枝	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		146	葛飾北斎	(東海道五十三次) 藤川	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	147	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 袋井	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	148	葛飾北斎	東海道五十三次 絵本駅路鈴 双川	中判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	149	葛飾北斎	(東海道五十三次) 江尻	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	150	葛飾北斎	東海道五十三次 絵本駅路鈴 奥津	中判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	151	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 見附	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	152	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 島田	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	153	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 吉田	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	154	葛飾北斎	(東海道五十三次) 舞坂	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	155	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 舞坂	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	156	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 戸塚	小判錦絵	すみだ北斎美術館
文化～カルチャー～						
●		157	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 掛川	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		158	葛飾北斎	五十三次江都の往かい しな川	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		159	葛飾北斎	東海道五十三次 絵本駅路鈴 品川	中判錦絵	すみだ北斎美術館
●		160	葛飾北斎	(東海道五十三次) 御油	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		161	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 御油	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		162	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 池鯉鮒	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		163	秋里籬島著	『東海道名所図会』巻之三	大本	東京大学総合図書館
●		164	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 都	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		165	葛飾北斎	(東海道五十三次) 懸川	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	166	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 京	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	167	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 由井	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	168	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 日本橋	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	169	秋里籬島著	『東海道名所図会』巻之六	大本	東京大学総合図書館
	●	170	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 府中	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	171	葛飾北斎	(東海道五十三次) 府中	小判錦絵	すみだ北斎美術館

	●	172	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 岡崎	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	173	葛飾北斎	(東海道五十三次) 池鯉鮒	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	174	葛飾北斎	(東海道五十三次) 京	小判錦絵	すみだ北斎美術館
信仰～パワースポット～						
●		175	葛飾北斎	東海道五十三次 絵本駅路鈴 三島	中判錦絵	すみだ北斎美術館
●		176	葛飾北斎	東海道五十三次 絵本駅路鈴 藤枝	中判錦絵	すみだ北斎美術館
●		177	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 藤沢	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		178	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 程ヶ谷	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		179	葛飾北斎	(東海道五十三次) 四日市	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		180	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 関	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	181	葛飾北斎	東海道五十三次 絵本駅路鈴 関	中判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	182	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 平塚	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	183	葛飾北斎	東海道五十三次 絵本駅路鈴 袋井	中判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	184	葛飾北斎	(東海道五十三次) 石薬師	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	185	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 亀山	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	186	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 蒲原	小判錦絵	すみだ北斎美術館
トラベルグッズ						
●	●	187	八隅蘆庵著	『旅行用心集』	中本	国立歴史民俗博物館
●	●	188		『広駅道中記』	横本	国立歴史民俗博物館
●	●	189		樽型携帯燭台		国立歴史民俗博物館
●	●	190		腰下げ矢立		国立歴史民俗博物館
●	●	191		瓢箪		国立歴史民俗博物館
●	●	192		方位磁石		国立歴史民俗博物館
●	●	193		お守り入		国立歴史民俗博物館
●	●	194		携帯用枕		国立歴史民俗博物館
●	●	195		煙草入		国立歴史民俗博物館
特産品～グルメ&スーベニア～						
●		196	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 水口	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		197	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 石部	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		198	葛飾北斎	五十三次江都の往かい くわな	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	199	秋里籬島著	『東海道名所図会』 卷之二	大本	東京大学総合図書館
●		200	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 川崎	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		201	葛飾北斎	(東海道五十三次) 小田原	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		202	秋里籬島著	『東海道名所図会』 卷之五	大本	東京大学総合図書館
●		203	葛飾北斎	東海道五十三次 絵本駅路鈴 吉原	中判錦絵	すみだ北斎美術館
●		204	葛飾北斎	(東海道五十三次) 鳴海	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		205	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 赤坂	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	206	葛飾北斎	(東海道五十三次) 日坂	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	207	葛飾北斎	(東海道五十三次) 鞠子	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	208	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 石薬師	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	209	葛飾北斎	(東海道五十三次) 桑名	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	210	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 蒲原	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	211	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 吉原	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	212	葛飾北斎	東海道五十三次 絵本駅路鈴 鳴海	中判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	213	葛飾北斎	五十三次江都の往かい なるみ	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	214	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 大津	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	215	秋里籬島著	『東海道名所図会』 卷之一	大本	東京大学総合図書館
土地の暮らし～ローカルライフ～						
●		216	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 神奈川	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		217	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 江尻	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		218	葛飾北斎	(東海道五十三次) 奥津	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	219	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 奥津	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	220	葛飾北斎	(東海道五十三次) 石部	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	221	葛飾北斎	(東海道五十三次) 関	小判錦絵	すみだ北斎美術館
名所～ランドマーク～						
●		222	葛飾北斎	(東海道五十三次) 大磯	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		223	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 小田原	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		224	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 浜松	小判錦絵	すみだ北斎美術館

●		225	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 白須賀	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		226	葛飾北斎	(東海道五十三次) 岡崎	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		227	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 桑名	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		(199)	秋里籬島著	『東海道名所図会』 卷之二	大本	東京大学総合図書館
	●	228	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 大磯	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	229	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 二川	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	230	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 宮	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	231	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 石薬師	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	232	葛飾北斎	(東海道五十三次) 亀山	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	233	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 坂の下	小判錦絵	すみだ北斎美術館
4章 北斎と羽ばたく東海道						
●		234	葛飾北斎	東海道名所一覧	大大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	235	葛飾北斎	東海道名所一覧	大大判錦絵	国立歴史民俗博物館
5章 その先の東海道						
●		236	蓬萊春升	東海道絵図	大大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		237	魚屋北溪	『伝神開手 北斎道中画譜』	半紙本 合本	すみだ北斎美術館
●		238	葛飾北斎・柳川重信	『北斎翁道之志遠里』	横本	すみだ北斎美術館
	●	239	歌川芳虎	東海道名所図会	大判錦絵 12 枚 続	国立歴史民俗博物館
●		240	柳川重信	『北斎翁道之志遠里』 日本橋	横本	すみだ北斎美術館
●		241	葛飾北斎	『北斎翁道之志遠里』 大磯	横本	すみだ北斎美術館
●		242	葛飾北斎	『北斎翁道之志遠里』 小田原	横本	すみだ北斎美術館
●		243	葛飾北斎	『北斎翁道之志遠里』 奥津	横本	すみだ北斎美術館
●		244	柳川重信	『北斎翁道之志遠里』 鞠子	横本	すみだ北斎美術館
	●	245	葛飾北斎	『北斎翁道之志遠里』 鳴海	横本	すみだ北斎美術館
	●	246	柳川重信	『北斎翁道之志遠里』 鳴海	横本	すみだ北斎美術館
	●	247	葛飾北斎	『北斎翁道之志遠里』 桑名	横本	すみだ北斎美術館
	●	248	葛飾北斎	『北斎翁道之志遠里』 大津	横本	すみだ北斎美術館
	●	249	柳川重信	『北斎翁道之志遠里』 京	横本	すみだ北斎美術館
●		250	昇亭北寿	東都日本橋風景	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		251	昇亭北寿	東海道川崎宿六郷川渡之図	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	252	昇亭北寿	東都 品川宿 高輪大木戸	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	253	昇亭北寿	江之島 七里ヶ浜	大判錦絵	すみだ北斎美術館

企画展示4

開館記念展Ⅳ「北斎×富士」

～富嶽三十六景 富嶽百景 揃いぶみ～」

生涯に渡り富士山の様々な表情を描き続けた「富士の絵師」北斎の代表作「富嶽三十六景」をはじめ北斎や門人が描いた富士の作品を紹介した。

- 開催期間：平成29年6月27日（火）から
8月20日（日）まで
- 開催施設：4階、3階企画展示室
- 観覧料：一般1,200円、高大生・65歳以上900円、中学生・障がい者400円
- 観覧者数：34,872人



開館記念展Ⅳ 北斎×富士 ～富嶽三十六景 富嶽百景 揃いぶみ～							
I期	II期	III期	出品番号	作者名	作品名	判型・形状・員数	所蔵
第1章 富嶽三十六景							
			(1～46)	葛飾北斎	富嶽三十六景		
三役							
●			1	葛飾北斎	神奈川沖浪裏	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●		2	葛飾北斎	山下白雨	大判錦絵	すみだ北斎美術館
		●	3	葛飾北斎	凱風快晴	大判錦絵	すみだ北斎美術館
構図							
●			4	葛飾北斎	尾州不二見原	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●			5	葛飾北斎	江都駿河町三井見世略図	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●			6	葛飾北斎	甲州石班沢	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●		7	葛飾北斎	深川万年橋下	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●		8	葛飾北斎	江戸日本橋	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●		9	葛飾北斎	御厩川岸より両国橋夕陽見	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●		10	葛飾北斎	青山円座松	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●			11	葛飾北斎	五百らかん寺さゞらみどう	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●		12	葛飾北斎	甲州三島越	大判錦絵	すみだ北斎美術館
		●	13	葛飾北斎	遠江山中	大判錦絵	すみだ北斎美術館
		●	14	葛飾北斎	東都浅草本願寺	大判錦絵	すみだ北斎美術館
		●	15	葛飾北斎	信州諏訪湖	大判錦絵	すみだ北斎美術館
		●	16	葛飾北斎	甲州三坂水面	大判錦絵	すみだ北斎美術館
		●	17	葛飾北斎	登戸浦	大判錦絵	すみだ北斎美術館
自然							
●	●		18	葛飾北斎	甲州犬目峠	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●		19	葛飾北斎	駿州江尻	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●		20	葛飾北斎	相州七里浜	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●		21	葛飾北斎	甲州伊沢暁	大判錦絵	すみだ北斎美術館
		●	22	葛飾北斎	相州梅沢左	大判錦絵	すみだ北斎美術館
		●	23	葛飾北斎	武州玉川	大判錦絵	すみだ北斎美術館
		●	24	葛飾北斎	相州箱根湖水	大判錦絵	すみだ北斎美術館
		●	25	葛飾北斎	礪川雪ノ且	大判錦絵	すみだ北斎美術館
風俗							
●			26	葛飾北斎	東海道金谷ノ不二	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●		27	葛飾北斎	東海道品川御殿山ノ不二	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●		28	葛飾北斎	東海道吉田	大判錦絵	すみだ北斎美術館

●	●		29	葛飾北斎	隅田川関屋の里	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●		30	葛飾北斎	従千住花街眺望ノ不二	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●		31	葛飾北斎	身延川裏不二	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●		32	葛飾北斎	相州江の島	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●		33	葛飾北斎	駿州片倉茶園ノ不二	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●		34	葛飾北斎	東海道江尻田子の浦略図	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●		35	葛飾北斎	武陽佃島	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●		36	葛飾北斎	諸人登山	大判錦絵	すみだ北斎美術館
		●	37	葛飾北斎	東海道程ヶ谷	大判錦絵	すみだ北斎美術館
		●	38	葛飾北斎	相州仲原	大判錦絵	すみだ北斎美術館
		●	39	葛飾北斎	武州千住	大判錦絵	すみだ北斎美術館
		●	40	葛飾北斎	下目黒	大判錦絵	すみだ北斎美術館
		●	41	葛飾北斎	隠田の水車	大判錦絵	すみだ北斎美術館
		●	42	葛飾北斎	東都駿台	大判錦絵	すみだ北斎美術館
		●	43	葛飾北斎	本所立川	大判錦絵	すみだ北斎美術館
		●	44	葛飾北斎	駿州大野新田	大判錦絵	すみだ北斎美術館
		●	45	葛飾北斎	上総ノ海路	大判錦絵	すみだ北斎美術館
		●	46	葛飾北斎	常州牛堀	大判錦絵	すみだ北斎美術館
第2章 富嶽百景							
●	●	●	47	葛飾北斎	『富嶽百景』	半紙本3冊	すみだ北斎美術館
			(48～149)	葛飾北斎	『富嶽百景』	半紙本	
富士の歴史							
●	●		48	葛飾北斎	木花開耶姫命 初編より	半丁	浦上満氏
●	●		49	葛飾北斎	孝霊五年不二峰出現 初編より	1丁分	浦上満氏
●	●		50	葛飾北斎	役ノ優婆塞富嶽草創 初編より	1丁分	浦上満氏
●	●		51	葛飾北斎	快晴の不二 初編より	1丁分	浦上満氏
●	●		52	葛飾北斎	不二の山明キ 初編より	半丁	浦上満氏
●	●		53	葛飾北斎	辻リ 初編より	半丁	浦上満氏
●	●		54	葛飾北斎	宝永山出現 初編より	1丁分	浦上満氏
●	●		55	葛飾北斎	其二 初編より	1丁分	浦上満氏
自然							
		●	56	葛飾北斎	深雪の不二 三編より	1丁分	浦上満氏
		●	57	葛飾北斎	村雨の不二 三編より	1丁分	浦上満氏
		●	58	葛飾北斎	霧中の不二 初編より	1丁分	浦上満氏
		●	59	葛飾北斎	山亦山 初編より	半丁	浦上満氏
		●	60	葛飾北斎	松山の不二 初編より	1丁分	浦上満氏
		●	61	葛飾北斎	木枯の不二 初編より	1丁分	浦上満氏
		●	62	葛飾北斎	谷間の不二 二編より	半丁	浦上満氏
		●	63	葛飾北斎	夕立の不二 二編より	1丁分	浦上満氏
		●	64	葛飾北斎	月下の不二 二編より	1丁分	浦上満氏
		●	65	葛飾北斎	瀧越の不二 三編より	半丁	浦上満氏
構図							
●	●		66	葛飾北斎	村堺の不二 三編より	半丁	浦上満氏
●	●		67	葛飾北斎	窓中の不二 二編より	半丁	浦上満氏
●	●		68	葛飾北斎	七橋一覽の不二 二編より	1丁分	浦上満氏
●	●		69	葛飾北斎	橋下の不二 三編より	半丁	浦上満氏
●	●		70	葛飾北斎	海浜の不二 三編より	半丁	浦上満氏
		●	71	葛飾北斎	井戸浚の不二 二編より	半丁	浦上満氏
		●	72	葛飾北斎	洞中の不二 初編より	半丁	浦上満氏
		●	73	葛飾北斎	野州遠景の不二 男体山行者越の松 三編より	1丁分	浦上満氏
		●	74	葛飾北斎	甲斐の不二濃男 三編より	半丁	浦上満氏
		●	75	葛飾北斎	千金不二 初編より	半丁	浦上満氏
遠近							
●	●		76	葛飾北斎	江戸の不二 初編より	半丁	浦上満氏
●	●		77	葛飾北斎	紺屋町の不二 二編より	半丁	浦上満氏
●	●		78	葛飾北斎	網裏の不二 三編より	半丁	浦上満氏
●	●		79	葛飾北斎	市中の不二 三編より	半丁	浦上満氏
●	●		80	葛飾北斎	蘆中筏の不二 初編より	1丁分	浦上満氏
●	●		81	葛飾北斎	見切の不二 三編より	半丁	浦上満氏

●	●		82	葛飾北斎	刻不二 二編より	半丁	浦上満氏
		●	83	葛飾北斎	鳥越の不二 三編より	半丁	浦上満氏
		●	84	葛飾北斎	松越の不二 二編より	半丁	浦上満氏
		●	85	葛飾北斎	羅漢寺の不二 三編より	半丁	浦上満氏
		●	86	葛飾北斎	竹林の不二 二編より	1丁分	浦上満氏
		●	87	葛飾北斎	羅に隔るの不二 三編より	半丁	浦上満氏
		●	88	葛飾北斎	青山の不二 三編より	半丁	浦上満氏
伝説							
●	●		89	葛飾北斎	登龍の不二 二編より	1丁分	浦上満氏
●	●		90	葛飾北斎	夢の不二 二編より	1丁分	浦上満氏
●	●		91	葛飾北斎	三白の不二 二編より	半丁	浦上満氏
		●	92	葛飾北斎	武辺の不二 二編より	1丁分	浦上満氏
		●	93	葛飾北斎	文辺の不二 二編より	1丁分	浦上満氏
		●	94	葛飾北斎	赤沢の不二 三編より	半丁	浦上満氏
		●	95	葛飾北斎	福録寿 三編より	半丁	浦上満氏
年中行事							
●	●		96	葛飾北斎	元旦の不二 初編より	半丁	浦上満氏
●	●		97	葛飾北斎	隅田の不二 三編より	1丁分	浦上満氏
●	●		98	葛飾北斎	茅の輪の不二 三編より	半丁	浦上満氏
		●	99	葛飾北斎	七夕の不二 初編より	半丁	浦上満氏
		●	100	葛飾北斎	花間の不二 初編より	1丁分	浦上満氏
		●	101	葛飾北斎	豊作の不二 初編より	1丁分	浦上満氏
風景							
●	●		102	葛飾北斎	信州八ヶ嶽の不二 二編より	1丁分	浦上満氏
●	●		103	葛飾北斎	武蔵野の不二 三編より	半丁	浦上満氏
●	●		104	葛飾北斎	水道橋の不二 三編より	半丁	浦上満氏
●	●		105	葛飾北斎	袖ヶ浦 初編より	半丁	浦上満氏
●	●		106	葛飾北斎	兀良哈の不二 三編より	半丁	浦上満氏
		●	107	葛飾北斎	洲崎の不二 二編より	1丁分	浦上満氏
		●	108	葛飾北斎	大森 初編より	半丁	浦上満氏
		●	109	葛飾北斎	千束の不二 三編より	半丁	浦上満氏
		●	110	葛飾北斎	阿須見村の不二 三編より	半丁	浦上満氏
		●	111	葛飾北斎	島田か鼻夕陽不二 二編より	1丁分	浦上満氏
風俗							
●	●		112	葛飾北斎	暁の不二 三編より	半丁	浦上満氏
●	●		113	葛飾北斎	山気ふかく形を崩の不二 三編より	半丁	浦上満氏
●	●		114	葛飾北斎	遠江山中の不二 二編より	1丁分	浦上満氏
●	●		115	葛飾北斎	柳塘の不二 初編より	1丁分	浦上満氏
●	●		116	葛飾北斎	堤越の不二 二編より	1丁分	浦上満氏
●	●		117	葛飾北斎	笠不二 初編より	1丁分	浦上満氏
●	●		118	葛飾北斎	八堺廻の不二 三編より	1丁分	浦上満氏
●	●		119	葛飾北斎	狼煙の不二 三編より	1丁分	浦上満氏
●	●		120	葛飾北斎	来朝の不二 三編より	1丁分	浦上満氏
●	●		121	葛飾北斎	不二の麓 二編より	1丁分	浦上満氏
●	●		122	葛飾北斎	笥の不二 二編より	1丁分	浦上満氏
		●	123	葛飾北斎	足代の不二 三編より	半丁	浦上満氏
		●	124	葛飾北斎	山中の不二 初編より	1丁分	浦上満氏
		●	125	葛飾北斎	雲帯の不二 初編より	1丁分	浦上満氏
		●	126	葛飾北斎	不二の室 二編より	半丁	浦上満氏
		●	127	葛飾北斎	裏不二 初編より	1丁分	浦上満氏
		●	128	葛飾北斎	写真の不二 二編より	1丁分	浦上満氏
		●	129	葛飾北斎	大石寺の山中の不二 二編より	1丁分	浦上満氏
		●	130	葛飾北斎	大井川桶越の不二 三編より	半丁	浦上満氏
		●	131	葛飾北斎	稲毛領夏の不二 三編より	1丁分	浦上満氏
		●	132	葛飾北斎	貴家別荘砂村の不二 三編より	1丁分	浦上満氏
ユーモア							
●	●		133	葛飾北斎	掛物の発端 二編より	半丁	浦上満氏

●	●		134	葛飾北斎	曇天の不二 三編より	半丁	浦上満氏
●	●		135	葛飾北斎	蛇追沼の不二 三編より	1丁分	浦上満氏
●	●		136	葛飾北斎	跨キ不二 三編より	半丁	浦上満氏
●	●		137	葛飾北斎	雪の且の不二 二編より	1丁分	浦上満氏
●	●		138	葛飾北斎	烟中の不二 初編より	1丁分	浦上満氏
●	●		139	葛飾北斎	風情面白キ不二 三編より	半丁	浦上満氏
●	●		140	葛飾北斎	盃中の不二 二編より	半丁	浦上満氏
●	●		141	葛飾北斎	海上の不二 二編より	1丁分	浦上満氏
		●	142	葛飾北斎	椀穴の不二 三編より	半丁	浦上満氏
		●	143	葛飾北斎	鏡台不二 初編より	1丁分	浦上満氏
		●	144	葛飾北斎	田面の不二 初編より	1丁分	浦上満氏
		●	145	葛飾北斎	尾州不二見原 初編より	半丁	浦上満氏
		●	146	葛飾北斎	不斗見不二 三編より	1丁分	浦上満氏
		●	147	葛飾北斎	郭公の不二 三編より	半丁	浦上満氏
		●	148	葛飾北斎	容裔不二 二編より	1丁分	浦上満氏
		●	149	葛飾北斎	大尾一筆の不二 三編より	半丁	浦上満氏
●	●	●	150	葛飾北斎	『三体画譜』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	●	151	葛飾北斎	『今様櫛篋雛形』くしの部 下	横本	すみだ北斎美術館
●	●	●	152	葛飾北斎	『今様櫛篋雛形』くしの部 下	横本	すみだ北斎美術館
●	●	●	153	葛飾北斎	『今様櫛篋雛形』きせるの部	横本	すみだ北斎美術館
●	●	●	154	河村岷雪	『百富士』	大本 4 冊	すみだ北斎美術館
●	●	●	155	葛飾北斎	『北斎漫画』八編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	●	156	葛飾北斎	『北斎漫画』八編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	●	157	葛飾北斎	『北斎漫画』十三編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	●	158	葛飾北斎	『富嶽百景』初編	半紙本	すみだ北斎美術館

企画展示5

大ダルマ制作 200 年記念 パフォーマー☆北斎 ～江戸と名古屋を駆ける～

1817年に北斎は名古屋で百二十畳大の大ダルマを描くパフォーマンスを行っている。その大ダルマ制作200年を記念して、大ダルマ制作に関する資料、当時の見世物・祭礼に関する資料、『北斎漫画』等により、江戸と名古屋における北斎の活動を紹介した。

■開催期間：平成29年9月9日（土）から
10月22日（日）まで

■開催施設：3階、4階企画展示室

■観覧料：一般1,200円、高大生・65歳以上900円、
中学生・障がい者400円

■観覧者数：33,517人



大ダルマ制作 200 年記念 パフォーマー☆北斎 ～江戸と名古屋を駆ける～						
前期	後期	出品番号	作者名	作品名	判型・形状・員数	所蔵
1章 江戸と名古屋のにぎわい						
●		1	葛飾北斎	新板浮絵三芝居顔見世大入之図	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	2	葛飾北斎	新板浮絵新吉原大門口之図	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		3	葛飾北斎	新板浮絵浅草金龍山之図	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	4	魚屋北溪	東都金龍山浅草寺之図	大大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	5	昇亭北寿	東都金龍山浅草寺之図	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		6	葛飾北斎	新板浮絵両国橋夕涼花火見物之図	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	7	葛飾北斎	江都両国橋夕涼花火之図	大判錦絵	太田記念美術館
●		8	葛飾北斎	江戸八景 両国の夕照	中判錦絵	太田記念美術館
	●	9	葛飾北斎	新板浮絵両国橋夕涼夜見世之図	大判錦絵	太田記念美術館
●		10	葛飾北斎	東都十二景りやうごく	小判錦絵	太田記念美術館
●		11	昇亭北寿	東都 両国之風景	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	12	昇亭北寿	新板浮絵両国橋夕景色之図	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		13	葛飾北斎	『絵本隅田川 兩岸一覽』上冊	大本	すみだ北斎美術館
●		14	葛飾北斎	『絵本隅田川 兩岸一覽』中冊	大本	すみだ北斎美術館
	●	15	葛飾北斎	『東都勝景一覽』下巻 堺町	大本	すみだ北斎美術館
	●	16	葛飾北斎	『東都勝景一覽』下巻 深川八幡祭礼	大本	すみだ北斎美術館
●	●	17	斎藤月岑ほか著 長谷川雪旦画	『江戸名所図会』巻之一 両国橋	大本2冊	早稲田大学図書館 個人蔵
●	●	18	高力猿猴庵著・画	『猿猴庵江戸循覧記』	大本2冊	(公財) 東洋文庫
●		19	葛飾北斎	『北斎漫画』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●		20	葛飾北斎	『北斎漫画』十編 吹馬ほか	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	21	葛飾北斎	『北斎漫画』十編 無相ノ滝ほか	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	22	葛飾北斎	『北斎漫画』十編 手妻師ほか	半紙本	すみだ北斎美術館
●		23	葛飾北斎	『北斎漫画』八編 田楽法師	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	24	葛飾北斎	『北斎漫画』十四編 駱駝	半紙本	すみだ北斎美術館
●		25	葛飾北斎	『北斎漫画』十三編 駱駝 椰子	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	26	歌川国安	駱駝之図	大判錦絵2枚続	早稲田大学図書館

●		27	歌川国安	駱駝之図	大判錦絵	早稲田大学図書館
	●	28	葛飾北斎	『北斎漫画』八編	半紙本	すみだ北斎美術館
●		29	葛飾北斎	『北斎漫画』十三編 象	半紙本	すみだ北斎美術館
●		30	作者不詳	象之図	版画	早稲田大学図書館
	●	31	作者未詳	南地大評判の大象大都会婦し	中判錦絵	早稲田大学図書館
●		32	葛飾北斎	『北斎漫画』十四編 水豹	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	33	葛飾北斎	『北斎漫画』三編 人魚ほか	半紙本	すみだ北斎美術館
●		34	葛飾北斎	視機関	摺物	すみだ北斎美術館
●	●	35	鬼拉亭力丸編 松川半山画	『造物趣向種』初編	半紙本	早稲田大学図書館
●	●	36	鬼拉亭力丸編 松川半山画	『造物趣向種』第二編	半紙本	早稲田大学図書館
●	●	37	葛飾北斎	麦藁張細工絵番付	摺物2枚続	大田区立郷土博物館
●		38	葛飾北斎	麦藁細工の図	大判錦絵4枚続のうち3枚	太田記念美術館
●	●	39	斎藤月岑著	『武江年表』八編	大本	早稲田大学図書館
	●	40	葛飾北斎	百物語 さらやしき	中判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●	41	葛飾派	大坂下り 籠細工	摺物	すみだ北斎美術館
9.9～ 10.15		42・43	歌川国貞	籠細工（「観物画譜」一）	折帖	（公財）東洋文庫
	10.17 ～22	44	魚屋北溪	丸竹細工（「観物画譜」一）	折帖	（公財）東洋文庫
●	●	45	作者未詳	名古屋城下図	絵図	名古屋市博物館
●	●	46	森玉僊	名古屋東照宮祭礼図巻 第四巻	紙本着色一卷	名古屋市博物館
●	●	47- 1	森玉僊	名古屋名所団扇絵集 大須観音	版画	名古屋市博物館
●	●	47-2	森玉僊	名古屋名所団扇絵集 山王稲荷初蛭子	版画	名古屋市博物館
●	●	47-3	森玉僊	名古屋名所団扇絵集 堀川花盛	版画	名古屋市博物館
●	●	47-4	森玉僊	名古屋名所団扇絵集 桜天神植木市	版画	名古屋市博物館
●	●	47-5	森玉僊	名古屋名所団扇絵集 上材木町盆中燈籠	版画	名古屋市博物館
●	●	47-6	森玉僊	名古屋名所団扇絵集 榎権現祭礼	版画	名古屋市博物館
●	●	47-7	森玉僊	名古屋名所団扇絵集 若宮祇園祭礼	版画	名古屋市博物館
●	●	47-8	森玉僊	名古屋名所団扇絵集 七ツ寺紅葉	版画	名古屋市博物館
●	●	47-9	森玉僊	名古屋名所団扇絵集 広井八幡祭礼	版画	名古屋市博物館
●	●	47-10	森玉僊	名古屋名所団扇絵集 柳薬師夜開帳	版画	名古屋市博物館
●		48	大石真虎	開帳夕涼夜景図	紙本着色一幅	名古屋市博物館
●	●	49	岡田啓・野口道直編 小田切春江画	『尾張名所図会』前編 卷之一 広小路 夜見世	大本	名古屋市博物館
●	●	50	高力猿猴庵著・画 小 田切春江補訂	『尾張名陽図会』卷之三 広小路	大本	（公財）東洋文庫
●	●	51	高力猿猴庵著・画	『御嶽祭図略』	大本3冊のうち	（公財）東洋文庫
●	●	52	小田切春江著・画	『名陽見聞図会』卷之一 子供曲力持	大本	（公財）東洋文庫
●	●	53	小田切春江著・画	『名陽見聞図会』卷之二 人魚	大本	（公財）東洋文庫
●	●	54	小田切春江著・画	『名陽見聞図会』卷之三 若宮境内貝 細工観	大本	（公財）東洋文庫
●	●	55	小田切春江著・画	『名陽見聞図会』卷之四	大本	（公財）東洋文庫
●	●	56	小田切春江著・画	『名陽見聞図会』卷之六 広小路夜観 紙細工	大本	（公財）東洋文庫
●	●	57	小田切春江著・画	『名陽見聞図会』卷之八 蛇つかひ娘	大本	（公財）東洋文庫
●	●	58	小田切春江著・画	『名陽見聞図会』卷之九 柳薬師作物 蜘蛛	大本	（公財）東洋文庫
●	●	59	小田切春江著・画	『名陽見聞図会』卷之十 水がらくり桶 ぬけ	大本	（公財）東洋文庫
●	●	60		『新車姑舟文庫』初編より獅子の籠細工（復 元）	籠細工	名古屋市博物館
●	●	61	小寺玉晁著	『見世物雑誌』卷之二	大本	早稲田大学図書館

●	●	62	牧墨僊	『写真学筆 墨僊叢画』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	63	牧墨僊	『写真学筆 墨僊叢画』	半紙本	すみだ北斎美術館
2章 北斎漫画の誕生						
●	●	64	葛飾北斎	『北斎漫画』初編 序文	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	65	魚屋北溪	『北斎道中画譜』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	66	葛飾北斎	『一筆画譜』 袋	袋	名古屋市博物館
●	●	67	葛飾北斎	『一筆画譜』	半紙本	名古屋市博物館
●	●	68	葛飾北斎	『一筆画譜』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	69	葛飾北斎	『絵本 浄瑠璃絶句』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	70	葛飾北斎	『絵本 浄瑠璃絶句』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	71	牧墨僊	『狂歌黄金鳥』	中本	すみだ北斎美術館
●	●	72	牧墨僊	『薄雲奇伝廓物語』	半紙本4冊のうち	すみだ北斎美術館
●	●	73	牧墨僊	『復讐曠世奇談』	半紙本5冊のうち	すみだ北斎美術館
●	●	74	葛飾北斎	『北斎漫画』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	75	葛飾北斎	『北斎漫画』二編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	76	葛飾北斎	『北斎漫画』三編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	77	葛飾北斎	『北斎漫画』四編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	78	葛飾北斎	『北斎漫画』五編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	79	葛飾北斎	『北斎漫画』六編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	80	葛飾北斎	『北斎漫画』七編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	81	葛飾北斎	『北斎漫画』八編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	82	葛飾北斎	『北斎漫画』九編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	83	葛飾北斎	『北斎漫画』十編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	84	葛飾北斎	『北斎漫画』十一編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	85	葛飾北斎	『北斎漫画』十二編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	86	葛飾北斎	『北斎漫画』十三編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	87	葛飾北斎	『北斎漫画』十四編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	88	葛飾北斎	『北斎漫画』十五編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	89	葛飾北斎	『北斎漫画』初編 袋	袋	すみだ北斎美術館
●	●	90	葛飾北斎	『北斎漫画』二編 袋	袋	すみだ北斎美術館
●	●	91	葛飾北斎	『北斎漫画』三編 袋	袋	すみだ北斎美術館
●	●	92	葛飾北斎	『北斎漫画』四編 袋	袋	すみだ北斎美術館
●	●	93	葛飾北斎	『北斎漫画』五編 袋	袋	すみだ北斎美術館
●	●	94	葛飾北斎	『北斎漫画』八編 袋	袋	すみだ北斎美術館
●	●	95	葛飾北斎	『北斎漫画』九編 袋	袋	すみだ北斎美術館
●	●	96	葛飾北斎	『北斎漫画』十編 袋	袋	すみだ北斎美術館
●	●	97	葛飾北斎	『北斎漫画』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	98	葛飾北斎	『北斎漫画』七編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	99	葛飾北斎	『北斎漫画』八編 エトピリカ	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	100	牧墨僊	『写真学筆 墨僊叢画』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	101	魚屋北溪	『北溪漫画』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	102	葛飾北雲	『北雲漫画』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	103	作者不詳	『絵合たのしみ艸』上	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	104	作者不詳	『北斎略画』	中本	すみだ北斎美術館
●	●	105	作者不詳	北斎漫画風染付蓋茶碗 (家久連里)	茶碗	すみだ北斎美術館
3章 大パフォーマンズ—北斎、大ダルマを描く！						
●		106	葛飾北斎	新板浮絵三囲牛御前両社之図	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	107	葛飾北斎	東都十二景 ミめくり	小判錦絵	すみだ北斎美術館

●	●	108	斎藤月岑ほか著 長谷川雪旦画	『江戸名所図会』 卷之七 三囲稲荷	大本	個人蔵
●	●	109	飯島虚心	『葛飾北斎伝』 上巻	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	110	斎藤月岑ほか著 長谷川雪旦画	『江戸名所図会』 卷之六 浅草寺 (伝法院)	大本	個人蔵
●	●	111	向井大祐 勝川ピー	竜田川に紅葉の図	紙本着色一枚	すみだ北斎美術館
●	●	112	斎藤月岑ほか著 長谷川雪旦画	『江戸名所図会』 卷之七 回向院開帳参	大本	個人蔵
●	●	113	あき乃 (米粒工房)	雀図	着彩米粒 2 個	すみだ北斎美術館
●	●	114	斎藤月岑ほか著 長谷川雪旦画	『江戸名所図会』 卷之四 護国寺	大本	個人蔵
●	●	115	岡田啓・野口道直編 小田切春江画	『尾張名所図会』 前編 卷一 西本願寺掛所	大本	すみだ北斎美術館
●	●	47-11	森玉僊	名古屋名所団扇絵集 西本坊桜花	版画	名古屋市博物館
●	●	116	高力猿猴庵著・画 小田切春江補訂	『尾張名陽図会』 卷之五 西本願寺本坊	大本	(公財) 東洋文庫
●	●	117	高力猿猴庵著・画	『北斎大画即書細図』	半紙本	名古屋市博物館
●	●	118	葛飾北斎	北斎大画即書引札	摺物	名古屋市博物館
●	●	119	小田切春江	『小治田之真清水』 (『尾張名所図会』 附録) 卷之一 北斎席画の大達磨	大本	すみだ北斎美術館
●	●	120	飯島虚心	『葛飾北斎伝』 上巻	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	121	葛飾北斎	葛飾北斎書状 (永楽屋番頭藤助宛)	紙本墨書一幅	名古屋市博物館
●	●	122	葛飾北斎	『仮名手本 後日之文章』 卷之三	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	123	葛飾北斎	『略画早指南』 後編	中本	すみだ北斎美術館
●	●	124	葛飾北斎	面壁達磨図	紙本着色一幅	個人蔵
●	●	参考出品	堀江勤之助	北斎が描いた大ダルマ原寸復元図	着彩画 (布) 1 枚	名古屋市博物館
4 章 名古屋に残した北斎の足跡						
●	●	125	牧墨僊	西王母図	絹本着色一幅	名古屋市博物館
●	●	126	沼田月斎	雪中傘持ち美人図	絹本着色一幅	すみだ北斎美術館
●	●	127	沼田月斎	百人一首かるた	摺物	すみだ北斎美術館
●	●	128	沼田月斎	『絵本今川状』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	129	北鷹	美人図	墨画 1 枚	すみだ北斎美術館
●	●	130	北鷹	太夫と禿図	墨画 1 枚	すみだ北斎美術館
●	●	131	北鷹	神農図	墨画 1 枚	すみだ北斎美術館
●	●	132	北鷹	奪衣婆図	墨画 1 枚	すみだ北斎美術館
●	●	133	森玉僊	立美人図	紙本着色一幅	名古屋市博物館
●	●	134	森玉僊	二美人図	紙本着色一幅	名古屋市博物館
●	●	135	森玉僊	尾張名所団扇絵 桜天神植木市	紙本淡彩画 1 枚	名古屋市博物館
●	●	136	森玉僊	尾張名所団扇絵 大須観音	紙本淡彩画 1 枚	名古屋市博物館
●	●	137	森玉僊	尾張名所団扇絵 上材木町盆中灯籠	紙本淡彩画 1 枚	名古屋市博物館
●	●	138	森玉僊	尾張名所団扇絵 天王崎祭礼	紙本淡彩画 1 枚	名古屋市博物館
●	●	139	森玉僊	浪華眉月	絹本着色一幅	すみだ北斎美術館
●	●	140	森玉僊	婦人渡川の図	絹本着色一幅	すみだ北斎美術館
●	●	141	森高雅 (玉僊)	相撲人形達磨の図	紙本淡彩一幅	すみだ北斎美術館
●	●	142	森高雅 (玉僊)	書画会引札	摺物	名古屋市博物館
●	●	143	織田杏斎	夏山烟雨	紙本墨画一幅	すみだ北斎美術館
●	●	144	葛飾北斎	『北斎漫画』 十五編	半紙本	すみだ北斎美術館

企画展示6

妹島和世 SANAA × 北斎

当館を設計した建築家の妹島和世氏と葛飾北斎とを現代と江戸における革新的で人々を惹きつける関係性に着目した企画展である。当館の模型やドローイング、現在進行中の妹島和世ユニット SANAA のプロジェクトの模型や写真の展示、『北斎漫画』のレプリカなどを展示した。



■開催期間：平成 29 年 10 月 31 日（火）から
11 月 12 日（日）まで

■開催施設：4 階企画展示室、1 階 MARUGEN100(講座室)、3 階・4 階ホワイエ

■観覧料：一般 600 円、高大生・65 歳以上 450 円、中学生・障がい者 200 円

■観覧者数：6,127 人

■展示構成

1 階 MARUGEN100(講座室)

妹島がデザインしたフラワーチェアのレプリカ(発砲スチロール製)を 25 個展示して講座室がフラワーガーデンのような空間になり、その中で当館設計のプロセスをスライドで紹介。

3 階 ホワイエ

梅林の家や「金沢 21 世紀美術館」などの妹島と SANAA の過去のプロジェクトと共に「ニュー・ナショナル・ギャラリー・リゲット」(ハンガリー・ブタペスト)や「台中市文化センター」(台湾・台中市)といった最新のプロジェクトの模型も多数展示。

4 階 企画展示室・ホワイエ

すみだ北斎美術館の模型やドローイング、イメージ、工事写真により、コンペから始まったプロセスを展示。展示室自体がインスタレーションであり、北斎エリアも設置。実際に手に取って見ることができる『北斎漫画』のレプリカなどを用意して、妹島の世界観の中で葛飾北斎を味わえるようにした。

企画展示7

開館一周年記念 めでたい北斎

～まるっとまるごと福づくし～

美術館開館1周年を記念して、神仏や精神世界にも深い関心を抱いていた北斎とその門人が描いたおめでたい神様や縁起物を一堂に集めて紹介した。

■開催期間：平成29年11月21日（火）から

平成30年1月21日（日）まで

■開催施設：3階、4階企画展示室

■観覧料：一般1,000円、高大生・65歳以上700円、中学生・障がい者300円

■観覧者数：32,389人



開館一周年記念 めでたい北斎 ～まるっとまるごと福づくし～						
前期	後期	出品番号	作者名	作品名	判型・形状・員数	所蔵
1章 めでたい神様						
七福神オールスターズ						
●		1	葛飾北斎	大黒酒宴図	摺物	すみだ北斎美術館
●		2	葛飾北斎	東海道五十三次 袋井	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		3	北亭為直	福神春筵遊 草摺引のまなひ	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		4	昇亭北寿	七福神宝船	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		5	葛飾北斎	鶴と福祿寿	摺物	すみだ北斎美術館
●		6	魚屋北溪	見立七福神	摺物	すみだ北斎美術館
●		7	柳々居辰斎	七人猩々 筆初	摺物	すみだ北斎美術館
	●	8	葛飾北斎	『北斎翁道之志遠里』	横本	すみだ北斎美術館
	●	9	葛飾北斎	唐子の相撲	摺物	すみだ北斎美術館
	●	10	昇亭北寿	布袋図	中判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	11	魚屋北溪	三升福祿寿	摺物2枚	すみだ北斎美術館
	●	12	葛飾北斎	酒宴の男女	摺物	すみだ北斎美術館
	●	13	魚屋北溪	七番の内 福祿寿	摺物	すみだ北斎美術館
	●	14	柳々居辰斎	七人猩々 初舟	摺物	すみだ北斎美術館
●		15	葛飾北斎	布袋図	絹本着色一幅	すみだ北斎美術館
	●	16	魚屋北溪	七福神図	絹本着色一幅	すみだ北斎美術館
●	●	17	葛飾為斎	『花鳥山水細画図式』四編	横本	すみだ北斎美術館
●	●	18	蹄斎北馬	『笑画式』	中本	すみだ北斎美術館
●	●	19	葛飾北斎	『略画早指南』前編	中本	すみだ北斎美術館
●	●	20	葛飾北斎	『略画早指南』後編	中本	すみだ北斎美術館
●		21	葛飾北斎	『北斎漫画 草筆之部』布袋の戯れ	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	22	葛飾北斎	『北斎写真画譜』	大本	すみだ北斎美術館
●	●	23	葛飾北斎	『画本彩色通』初編	中本	すみだ北斎美術館
●	●	24	葛飾北斎	『北斎漫画』十三編 三面大黒天	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	25	魚屋北溪	『北溪漫画』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	26	葛飾北雲	『北雲漫画』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	27	魚屋北溪	『新居狂歌合』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	28	葛飾為斎	『花鳥山水図式』	横本	すみだ北斎美術館
●	●	29	葛飾北斎	『北斎漫画』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	30	葛飾北斎	『北斎漫画』十二編 笑門に福来る	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	31	葛飾北斎	『三体画譜』寿老 布袋 福祿	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	32	葛飾北樹	『花鳥山水 北樹画譜』	中本	すみだ北斎美術館
●		33	岳亭春信	『今春土産 福寿草』福の巻	中本	すみだ北斎美術館
	●	34	岳亭春信	『今春土産 福寿草』寿の巻	中本	すみだ北斎美術館

●	●	35	葛飾北斎	『飛騨匠物語』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	36	葛飾為斎	『万国図解 為斎画式』二帙 布袋 狸々	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	37	葛飾北斎	『北斎漫画』一編 刀八毘沙門天	半紙本	すみだ北斎美術館
神様オンパレード						
●	●	38	葛飾北斎	『釈迦御一代記図会』第二巻 悉達太子御誕生の図	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	39	葛飾北斎	『伝神開手 北斎画式』不動明王 役小角 後鬼 前鬼	大本	すみだ北斎美術館
●	●	40	葛飾北斎	『和漢 絵本魁』那智の滝に門覚荒行	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	41	二代葛飾戴斗	『画本西遊全伝』	半紙本 3冊	すみだ北斎美術館
●	●	42	葛飾北斎	『北斎漫画』六編 摩利支尊天	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	43	葛飾北斎	『北斎漫画』十編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	44	葛飾北斎	『北斎漫画』三編 雷 風	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	45	葛飾北斎	『北斎漫画』五編 猿田彦太神 天白女命	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	46	葛飾北斎	『諸職絵本 新鄙形』海神豊玉彦命 彦火々出見尊 后豊玉媛命	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	47	葛飾北斎	『北斎漫画』八編 稚産霊日神 黄帝元妃西陵氏	半紙本	すみだ北斎美術館
2章 めでたいシンボル						
めでたい生き物						
●		48	葛飾北斎	梅樹に鶴	摺物	すみだ北斎美術館
●		49	岳亭春信	亀と盃	摺物	すみだ北斎美術館
●		50	魚屋北溪	塩籠図	摺物	すみだ北斎美術館
●		51	葛飾北斎	葛飾玄武二番続 蛇	摺物	すみだ北斎美術館
●		52	葛飾北斎	床机の男女	摺物	すみだ北斎美術館
●		53	葛飾北斎	唐子と川を渡る虎	摺物	すみだ北斎美術館
●		54	柳々居辰斎	兔と土筆	摺物	すみだ北斎美術館
●		55	葛飾北斎	菅原の上	摺物	すみだ北斎美術館
●		56	魚屋北溪	花園番続 早梅	摺物	すみだ北斎美術館
●		57	二代葛飾戴斗	潮干狩り	摺物 2枚	すみだ北斎美術館
	●	58	魚屋北溪	鶴亀松竹之内 鶴 山辺赤人	摺物	すみだ北斎美術館
	●	59	魚屋北溪	尚齒会番続 倭姫	摺物	すみだ北斎美術館
	●	60	昇亭北寿	亀と巻物	中判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	61	二代葛飾戴斗	貼交絵 鯉魚	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	62	柳々居辰斎	鶏合 一番左 狸々	摺物	すみだ北斎美術館
	●	63	蹄斎北馬	義太夫連中奉納手拭図	摺物	すみだ北斎美術館
	●	64	柳川重信	猪の貴人	摺物	すみだ北斎美術館
	●	65	葛飾北斎	猿	摺物	すみだ北斎美術館
	●	66	魚屋北溪	兔の鹿島おどり	摺物	すみだ北斎美術館
	●	67	魚屋北溪	尚齒会番続 吉備大臣	摺物	すみだ北斎美術館
●	●	68	葛飾北斎	『北斎漫画』二編 かハほり	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	69	葛飾北斎	『北斎漫画』十四編 銀鼠	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	70	二代葛飾戴斗	『万職図考』初編 のぎくにとんぼう	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	71	葛飾北斎	『北斎漫画』十二編 鰻登り	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	72	葛飾北斎	『画本彩色通』二編 獅子	中本	すみだ北斎美術館
●	●	73	葛飾北斎	『絵本庭訓往来』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	74	二代葛飾戴斗	『花鳥画伝』初編 桐鳳凰	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	75	二代葛飾戴斗	『万職図考』三編 鯛中鯛	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	76	葛飾北斎	『北斎画苑』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●		77	森高雅	猿猴狙蜂図	紙本着色一幅	すみだ北斎美術館
めでたい草木						
	●	78	蹄斎北馬	白牡丹図	紙本着色一幅	すみだ北斎美術館
●	●	79	葛飾北斎	『今様櫛篋雛形』くしの部上 おひまつわかまつむめくわうりんのきりのはな	横本	すみだ北斎美術館
●	●	80	葛飾北斎	『北斎漫画』四編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	81	二代葛飾戴斗	『万職図考』五編 ふく寿草 深見草 梅 桔梗	半紙本	すみだ北斎美術館
めでたいお話						
●	●	82	葛飾北斎	『北斎漫画』十編 家久連里	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	83	葛飾北斎	『北斎漫画』九編 藤太秀郷竜宮城に至宝を得て帰る	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	84	葛飾北斎	『画本千字文』	半紙本	すみだ北斎美術館
●		85	葛飾北斎	翁と媪	摺物	すみだ北斎美術館
●		86	魚屋北溪	竜宮城	摺物	すみだ北斎美術館

	●	87	魚屋北溪	振々と美人	摺物	すみだ北斎美術館
めでたいバラエティー						
●	●	88	葛飾北斎	『新形小紋帳』 八ツ手麻の葉 網代組麻の葉	中本	すみだ北斎美術館
●	●	89	葛飾北斎	『占夢南柯後記』 六	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	90	葛飾北斎	『北斎漫画』 十一編	半紙本	すみだ北斎美術館
●		91	葛飾北斎	社前の綱引き	摺物	すみだ北斎美術館
●		92	葛飾北斎	貝合わせ	摺物	すみだ北斎美術館
●		93	葛飾北斎	吉田駒曳銭	摺物	すみだ北斎美術館
●		94	柳々居辰斎	松竹梅 竹	摺物	すみだ北斎美術館
	●	95	葛飾北斎	綱引き	摺物	すみだ北斎美術館
	●	96	葛飾北斎	川遊びの子供	摺物	すみだ北斎美術館
	●	97	葛飾北斎	貝合わせ	摺物	すみだ北斎美術館
	●	98	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 原	小判錦絵	すみだ北斎美術館
3章 めでたい新年						
新年のならわし						
●		99	葛飾北斎	井戸端の美人	摺物	すみだ北斎美術館
●		100	葛飾北斎	諸芸三十六のつゝき 小笠原礼式	摺物	すみだ北斎美術館
	●	101	葛飾北斎	羽子板の娘	摺物	すみだ北斎美術館
	●	102	葛飾戴斗	凧と芸者	摺物	すみだ北斎美術館
●		103	葛飾北斎	門松	摺物	すみだ北斎美術館
●		104	蹄斎北馬	門松と遊女	摺物	すみだ北斎美術館
●		105	魚屋北溪	花園番続 かといてよし	摺物	すみだ北斎美術館
●		106	葛飾北斎	三囲の初霞	摺物	すみだ北斎美術館
	●	107	葛飾北斎	年礼	摺物	すみだ北斎美術館
	●	108	魚屋北溪	春の長歌	摺物	すみだ北斎美術館
	●	109	葛飾北斎	水を汲む美人	摺物	すみだ北斎美術館
	●	110	葛飾北斎	己未美人合之内 屠蘇を運ぶ婦人	摺物	すみだ北斎美術館
●		111	葛飾北斎	小松引	摺物	すみだ北斎美術館
●		112	柳々居辰斎	七種の美人	摺物	すみだ北斎美術館
●		113	葛飾北斎	若菜つみの美人	摺物	すみだ北斎美術館
	●	114	葛飾北斎	十千の内	摺物	すみだ北斎美術館
	●	115	葛飾北斎	手紙を取り合う女たち	摺物	すみだ北斎美術館
	●	116	葛飾北斎	若菜五番の内	摺物	すみだ北斎美術館
●		117	葛飾北斎	己未美人合之内 若菜の籠を負う美人	摺物	すみだ北斎美術館
●		118	雪斎	門松と遊女	摺物	すみだ北斎美術館
●		119	蹄斎北馬	六芸 御	摺物	すみだ北斎美術館
●		120	葛飾北斎	十千の内	摺物	すみだ北斎美術館
●		121	蹄斎北馬	小松引き	紙本着色一幅	すみだ北斎美術館
	●	122	葛飾北斎	鞠と玩具	摺物	すみだ北斎美術館
	●	123	葛飾北斎	己未美人合之内 羽子板を持つ美人	摺物	すみだ北斎美術館
	●	124	葛飾北斎	塗師と凧揚げの子供	摺物	すみだ北斎美術館
新年の芸能						
●		125	魚屋北溪	宝合 右二番 小烏丸	摺物	すみだ北斎美術館
●		126	柳々居辰斎	猿まわし	摺物	すみだ北斎美術館
	●	127	菱川宗理	鼠のよめ入 五十二枚続 道具	摺物	すみだ北斎美術館
	●	128	葛飾北斎	万歳囃	紙本着色一幅	すみだ北斎美術館
	●	129	葛飾北斎	新春の舞	摺物	すみだ北斎美術館
	●	130	葛飾北斎	座敷万歳	摺物	すみだ北斎美術館
●	●	131	岳亭春信	『狂言歌仙集』 中	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	132	葛飾北斎	『略画早指南』 初編	中本	すみだ北斎美術館
●	●	133	柳川重信	『柳川画帖』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	134	柳々居辰斎	『狂歌関東百題集』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	135	二代葛飾戴斗	『画本柳樽』 七編	中本	すみだ北斎美術館
●	●	136	二代柳川重信	『柳川漫画』 初編	半紙本	すみだ北斎美術館
4章 めでたいスポット						
●	●	137	葛飾北斎	『最明寺殿教訓仮名式目』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	138	葛飾北斎	『東遊』 王子稲荷社	大本	すみだ北斎美術館
●	●	139	葛飾北斎	『東都勝景一覽』	大本	すみだ北斎美術館
●		140	葛飾北斎	目黒不動尊詣	摺物	すみだ北斎美術館
●		141	葛飾北斎	三弁天 はねた	摺物	すみだ北斎美術館

●		142	昇亭北寿	東叡山麓 不忍池 弁財天図	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		143	葛飾北斎	七小町 あまこひ	摺物	すみだ北斎美術館
	●	144	葛飾北斎	富岡八幡門前	摺物	すみだ北斎美術館
	●	145	葛飾北斎	三弁天 洲崎	摺物	すみだ北斎美術館
	●	146	昇亭北寿	勢州 二見ヶ浦	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	147	葛飾北斎	東都十景 あさくさ	小判錦絵	すみだ北斎美術館

企画展示8

「ちょっと可笑しな ほぼ三十六景
しりあがり寿 北斎と戯れる」

ゆるいタッチの画風でギャグ漫画から社会派の作品まで幅広い作品を送り出してきた漫画家しりあがり寿が、本展覧会では尊敬してやまぬ北斎の絵にちょっとイタズラを加えた作品ほぼ36枚（目標）を北斎のレプリカ作品との比較で紹介した。思わず笑いがこぼれ、北斎を身近に感じる展覧会にした。

- 開催期間：平成30年1月27日（土）から
2月4日（日）まで
- 開催施設：4階企画展示室、3階ホワイエ
- 観覧料：一般600円、高大生・65歳以上450円、
中学生・障がい者200円
- 観覧者数：4,725人



企画展示9

Hokusai Beauty ～華やぐ江戸の女たち～

時流を捉え、各期において画風やスタイルを変え、特徴的な美人画のスタイルを確立した北斎とその門人が描いた華やかな美人画を紹介した。

■開催期間：平成30年2月14日（水）から

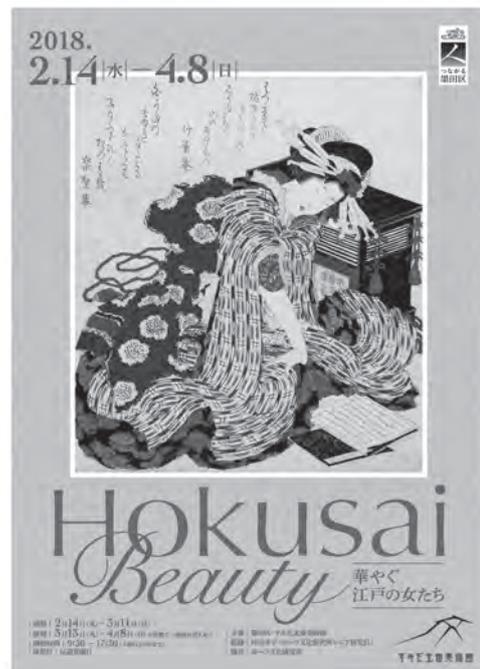
4月8日（日）まで

■開催施設：3階、4階企画展示室

■観覧料：一般1,000円、高大生・65歳以上700円、

中学生・障がい者300円

■観覧者数：25,208人



HOKUSAI BEAUTY ～華やぐ江戸の女たち～						
前期	後期	出品番号	作者名	作品名	判型・形状・員数	所蔵
1章 北斎美人七変化—美人様式のうつりかわり—						
●		1	葛飾北斎	俳諧秀逸 水うてや	中判錦絵	すみだ北斎美術館
●		2	葛飾北斎	風流男達八景 濡髪放駒の夕照	中判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	3	葛飾北斎	風流男達八景 伝吉の晴嵐	中判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	4	葛飾北斎	湯治場八景 しゆぜんじのぼんせふ	中判錦絵	すみだ北斎美術館
●		5	葛飾北斎	俳諧おた巻 植物の部	中判錦絵	すみだ北斎美術館
●		6	葛飾北斎	仁和嘉狂言 しゝのきやり 大いさミ	中判錦絵	すみだ北斎美術館
●		7	葛飾北斎	仁和嘉狂言 二月 ゑま売の所作	中判錦絵	すみだ北斎美術館
●		8	葛飾北斎	仁和嘉狂言 八月 びくに	中判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	9	葛飾北斎	仁和嘉狂言 三月 花すもう	中判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	10	葛飾北斎	仁和嘉狂言 三月 赤坂やつこぎやうれつ	中判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	11	葛飾北斎	仁和嘉狂言 同 秋のこま	中判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	12	葛飾北斎	巳待	摺物	すみだ北斎美術館
●		13	葛飾北斎	見立文殊図	紙本着色一幅	すみだ北斎美術館
	●	14	葛飾北斎	おはつ徳兵へ 秋月	中判錦絵	すみだ北斎美術館
●		15	葛飾北斎	『画本狂歌 山満多山』 袋	袋	すみだ北斎美術館
	●	16	葛飾北斎	ほととぎす聞く遊君図	紙本淡彩一幅	すみだ北斎美術館
●		17	葛飾北斎	唐人笛を持つ美人	摺物	すみだ北斎美術館
	●	18	葛飾北斎	手紙を持つ遊女	摺物	すみだ北斎美術館
●	●	19	葛飾北斎	『標注その、ゆき』 前編 卷一	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	20	葛飾北斎	『三七全伝南柯夢』 卷之一	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	21	葛飾北斎	『絵本 浄瑠璃絶句』	半紙本	すみだ北斎美術館
●		22	葛飾北斎	『北斎漫画』 十編 殷の妲己	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	23	葛飾北斎	『北斎漫画』 九編 傾城 傾国 女伶	半紙本	すみだ北斎美術館
●		24	葛飾北斎	元禄歌仙貝合 うらうつ具	摺物	すみだ北斎美術館
	●	25	葛飾北斎	五歌仙 月	摺物	すみだ北斎美術館
●		26	葛飾北斎	五歌仙 香	摺物	すみだ北斎美術館
●		27	葛飾北斎	『盆画独稽古』 初編	横本	すみだ北斎美術館
	●	28	葛飾北斎	美人と蛭狩図	紙本着色一面	すみだ北斎美術館
●		29	葛飾北斎	貴人と官女図	絹本着色一幅	すみだ北斎美術館
	●	30	葛飾北斎	百人一首乳母か絵と起 参議篁	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		31	葛飾北斎	『北斎漫画』 十二編 千人切	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	32	葛飾北斎	『北斎漫画』 十二編 風呂屋	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	33	葛飾北斎	『絵本女今川』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	34	葛飾北斎	『画本千字文』	半紙本	すみだ北斎美術館

●		35	鳥居清長	誹風柳多留 おさらばを障子のうちでたんと言ひ	中判錦絵	回向院
	●	36	鳥居清長	当世遊里美人合 花下醉美人	大判錦絵 2枚続のうち	回向院
●	●	37	鳥文齋栄之喜多川歌麿	『男踏歌』	折本	すみだ北斎美術館
2章 華麗なるファッション・ヘアスタイルの世界						
●		38	葛飾北斎	江戸見坂夜雨	中判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	39	葛飾北斎	誹諧秀逸 日に濡れて	中判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	40	葛飾北斎	己未美人合之内 常磐津本を見る美人	摺物	すみだ北斎美術館
●		41	葛飾北斎	助六と揚巻	摺物	すみだ北斎美術館
●		42	葛飾北斎	目かくし	摺物	すみだ北斎美術館
●		43	葛飾北斎	新春の手習い	摺物	すみだ北斎美術館
●		44	葛飾北斎	あづまと五郎の残雪	中判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	45	葛飾北斎	のろま狂言 犬山伏	摺物	すみだ北斎美術館
	●	46	葛飾北斎	椿と美人	摺物	すみだ北斎美術館
	●	47	葛飾北斎	爪を切る美人	摺物	すみだ北斎美術館
●		48	葛飾北斎	花魁と禿	摺物	すみだ北斎美術館
	●	49	葛飾北斎	花魁と禿	摺物	すみだ北斎美術館
●		50	葛飾北斎	上笠	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	51	葛飾北斎	亀井戸開帳	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	52	葛飾北斎	風流隅田川八景 しゅびのまつの夕立	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	53	葛飾北斎	風流隅田川八景 真崎さんせつ	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	54	葛飾北斎	風流隅田川八景 こまかたののうりう	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	55	葛飾北斎	風流隅田川八景 浅草の晩鐘	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	56	葛飾北斎	風流隅田川八景 ミめぐりのせいらん	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	57	葛飾北斎	風流隅田川八景 梅若の秋月	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	58	葛飾北斎	風流隅田川八景 両国の夕照	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	59	葛飾北斎	風流隅田川八景 待乳の紅葉	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		60	葛飾北斎	六玉川 山吹 大和井出	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		61	葛飾北斎	六玉川 手作 武蔵	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		62	葛飾北斎	六玉川 近江 野路	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		63	葛飾北斎	六玉川 ちどり 陸奥	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		64	葛飾北斎	六玉川 とうる 摂津	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		65	葛飾北斎	六玉川 どく 紀の国かうや	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	66	葛飾北斎	上野花見帰り	摺物	すみだ北斎美術館
●		67	葛飾北斎	休茶屋	摺物	すみだ北斎美術館
●		68	葛飾北斎	神田明神休茶屋	摺物	すみだ北斎美術館
●		69	葛飾北斎	諸芸三十六 つゝき 茶湯	摺物	すみだ北斎美術館
●		70	葛飾北斎	枕草子を読む娘	摺物	すみだ北斎美術館
	●	71	葛飾北斎	七里ヶ浜ヨリ腰越ヲ眺望	摺物	すみだ北斎美術館
	●	72	葛飾北斎	不動詣	摺物	すみだ北斎美術館
	●	73	葛飾北斎	高輪休茶屋	摺物	すみだ北斎美術館
●		74	葛飾北斎	飲中八仙 焦遂	摺物	すみだ北斎美術館
	●	75	葛飾北斎	楊枝屋店先	摺物	すみだ北斎美術館
●	●	76		燈籠髻の結綿 (鳥田鬘)	結髪雛形	ポーラ文化研究所
●	●	77		横兵庫	結髪雛形	ポーラ文化研究所
●	●	78		丸髻	結髪雛形	ポーラ文化研究所
●		79	溪斎英泉	新吉原年中行事十一月酉のまち初雪扇屋内つかさ	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	80	溪斎英泉	大文字屋内 本津江	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		81	葛飾北斎	髪飾り図	摺物	すみだ北斎美術館
	●	82	葛飾北斎	東海道五十三次 土山	摺物	すみだ北斎美術館
●	●	83	葛飾北斎	『今様櫛篋雛形』くしの部 上・下	横本 2冊	すみだ北斎美術館
●	●	84	葛飾北斎	『今様櫛篋雛形』くしの部 下	横本	すみだ北斎美術館
●	●	85		鬼灯羊歯模様珊瑚象嵌象牙櫛	櫛	ポーラ文化研究所
●	●	86		雪輪卷子牡丹波千鳥模様象牙櫛	櫛	ポーラ文化研究所
●	●	87		珊瑚付き花模様蒔絵木櫛	櫛	ポーラ文化研究所
●	●	88		鼈甲製櫛・筭	櫛 筭	ポーラ文化研究所
●	●	89		葵模様蒔絵木櫛	櫛	ポーラ文化研究所
●	●	90		松竹梅珊瑚飾りびらびら簪	簪	ポーラ文化研究所

●	●	91		結び葵びらびら簪	簪	ポーラ文化研究所
●	●	92		玉簪・菊花簪・平打簪	簪各1本	ポーラ文化研究所
●		93	葛飾北斎	元禄歌仙貝合 いろ貝	摺物	すみだ北斎美術館
	●	94	溪斎英泉	美艶仙女香	大判錦絵	ポーラ文化研究所
●		95	葛飾北斎	鏡美人	摺物	すみだ北斎美術館
	●	96	抱亭五清	懐中鏡の美人	摺物	すみだ北斎美術館
●		97	三代歌川豊国	百人一首絵抄 七十八 待賢門院堀川	大判錦絵	ポーラ文化研究所
	●	98	葛飾北斎	春興五十三駄之内 御油	摺物	すみだ北斎美術館
●		99	葛飾北斎	合わせ鏡	摺物	すみだ北斎美術館
	●	100	魚屋北溪	宝合 右三番 虎の皮	摺物	すみだ北斎美術館
●		101	歌川国芳	山海愛度図絵 えりをぬきたい 遠江須之股 川鯉 廿八	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	102	歌川国貞	当世美人合 身じまい芸者	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●	103		鏡台	鏡台	ポーラ文化研究所
●	●	104		手鏡 (菊水模様)	手鏡	ポーラ文化研究所
●	●	105		紅皿・紅猪口	陶器4枚	ポーラ文化研究所
●	●	106		白粉三段重	陶器3組	ポーラ文化研究所
●	●	107		白粉包み	畳紙包み2点	ポーラ文化研究所
●	●	108		白粉の刷毛類 (牡丹刷毛・水刷毛)	刷毛3本	ポーラ文化研究所
●	●	109		庶民用お歯黒道具 (①菊蒔絵耳盥②台輪③お歯黒壺④嗽茶碗⑤五倍子箱⑥渡し金⑦歯黒筆⑧鉄漿つぎ⑨童子)	お歯黒道具一式	ポーラ文化研究所
●	●	110		元結	元結	ポーラ文化研究所
●	●	111	葛飾北斎	『新形小紋帳』	中本	すみだ北斎美術館
●	●	112	葛飾北斎	『北斎模様画譜』	中本	すみだ北斎美術館
●	●	113		北斎模様「かくのしつほう」小紋着物	着物	すみだ北斎美術館
●	●	114	葛飾北斎	『絵本庭訓往来』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	115	葛飾北斎	『絵本庭訓往来』下編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	116	速水春暁斎	『都風俗化粧伝』	半紙本3冊	ポーラ文化研究所
●	●	117	葛飾北斎	『春のミヤひ』	折本	すみだ北斎美術館
●	●	118	葛飾北斎	『潮来絶句集』上	中本	すみだ北斎美術館
●	●	119	葛飾北斎	『画本狂歌 山満多山』上巻	大本	すみだ北斎美術館
●	●	120	葛飾北斎	『画本狂歌 山満多山』中巻	大本	すみだ北斎美術館
●	●	121	葛飾北斎	『画本狂歌 山満多山』下巻	大本	すみだ北斎美術館
3章 北斎スクールの美人たち						
●		122	昇亭北寿	大磯のとら 梶原平三	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	123	魚屋北溪	三体三番続 真	摺物	すみだ北斎美術館
●		124	北鼎如連	文書く遊女と折鶴を持つ禿	摺物	すみだ北斎美術館
	●	125	昇亭北寿	三はんの内	摺物	すみだ北斎美術館
●	●	126	葛飾応為	『女重宝記』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	127	葛飾応為	『女重宝記』一之巻	大本	すみだ北斎美術館
●	●	128	葛飾応為	『女重宝記』一之巻	大本	すみだ北斎美術館
●		129	蹄斎北馬	二美人図	絹本着色一幅	すみだ北斎美術館
●		130	柳々居辰斎	遊君図	紙本淡彩一幅	すみだ北斎美術館
	●	131	抱亭五清	砧打ちの母子	絹本着色一幅	すみだ北斎美術館
	●	132	葛飾北嬰	花魁図	絹本着色一幅	すみだ北斎美術館

企画展示 10

変幻自在！北斎のウォーターワールド

北斎の鋭い観察眼や幅広い学習の痕跡を、北斎とその一門の描く変幻自在な水の姿を通して紹介し、代表作の1つ「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」を全期間展示するほか、「諸国瀧廻り」シリーズ全点を前後期に分けて展示した。

■開催期間：平成30年4月24日（火）から

6月10日（日）まで

■開催施設：3階、4階企画展示室

■観覧料：一般1,000円、高大生・65歳以上700円、
中学生・障がい者300円

■観覧者数：23,479人



変幻自在！北斎のウォーターワールド							
前期	後期	出品番号	作者名	作品名	判型・形状	所蔵	
一章 北斎水の都すみだに暮らす							
●	●	1	子感	再刻新板 本所深川細見図	絵図	すみだ北斎美術館	
●	●	2	葛飾北斎	『絵本隅田川 兩岸一覽』	大本3冊	すみだ北斎美術館	
●	●	3	葛飾北斎	『東都名所一覽』	大本	すみだ北斎美術館	
●	●	4	葛飾北斎	『東遊』 隅田川春雪	大本	すみだ北斎美術館	
●		5	葛飾北斎	雪月花 隅田	大判錦絵	すみだ北斎美術館	
●		6	葛飾北斎	すみだかは	大判錦絵	すみだ北斎美術館	
●		7	葛飾北斎	仮名手本忠臣蔵 十一段目	大判錦絵	すみだ北斎美術館	
	●	8	葛飾北斎	新板浮絵三囲牛御前両社之図	大判錦絵	すみだ北斎美術館	
	●	9	葛飾北斎	東都十二景 すみだ川	小判錦絵	すみだ北斎美術館	
	●	10	葛飾北斎	仮名手本忠臣蔵 十一段	大判錦絵	すみだ北斎美術館	
二章 グレートウェーブ							
●	●	11	尾形光琳 酒井抱一編	『光琳百図』 金地二枚打屏風彩色浪	大本	すみだ北斎美術館	
●	●	12	葛飾北斎 曲亭馬琴作	『椿説弓張月』 後編 三	半紙本	すみだ北斎美術館	
●	●	13	葛飾北斎 曲亭馬琴作	『椿説弓張月』 続編 卷一	半紙本	すみだ北斎美術館	
●	●	14	葛飾北斎 曲亭馬琴作	『椿説弓張月』 続編 一	半紙本	すみだ北斎美術館	
●	●	15	葛飾北斎 柳亭種彦作	『近世怪談 霜夜星』 三卷	半紙本	すみだ北斎美術館	
●	●	16	葛飾北斎 烏亭馬琴作	『忠孝潮来府志』 卷之三	半紙本	すみだ北斎美術館	
●	●	17	蹄齋北馬 小枝繁作	『卅三間堂棟材奇伝 柳の糸』 卷之二	半紙本	すみだ北斎美術館	
●	●	18	葛飾北斎 橘崑崙作	『北越奇談』 四	半紙本	すみだ北斎美術館	
●	●	19	葛飾北斎	『北斎漫画』 七編 阿波の鳴門	半紙本	すみだ北斎美術館	
●	●	20	葛飾北斎	『北斎画式』 在郷	大本	すみだ北斎美術館	
●	●	21	二代葛飾戴斗 南里亭其楽編	『英雄図会』 畠山重忠	半紙本	すみだ北斎美術館	
●	●	22	葛飾北斎	『忠義水滸伝画本』 浪裡白跳 張順	半紙本	すみだ北斎美術館	

●	●	23	抱亭五清 高井蘭山作	『孝子嫩物語』二	半紙本	すみだ北斎美術館
●		24	昇亭北寿	上総九十九里地引網大漁獵正写之図	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		25	昇亭北寿	江之嶋 七里ヶ浜	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	26	昇亭北寿	勢州 二見ヶ浦	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	27	柳々居辰斎	相州七里浜	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		28	葛飾北斎	賀奈川沖本空之図	間判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	29	葛飾北斎	鎌倉の里	摺物	すみだ北斎美術館
●	●	30	葛飾北斎	『略画早指南』初編	中本	すみだ北斎美術館
●		31	葛飾北斎	富嶽三十六景 神奈川沖浪裏	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	32	葛飾北斎	富嶽三十六景 神奈川沖浪裏	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		33	葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州石班沢	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	34	葛飾北斎	富嶽三十六景 武陽佃島	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●	35	作者不詳	富士山出水之図		すみだ北斎美術館
	●	36	春梅斎北英	嵐璃寛 漁師浪七 岩井紫若 照手ノまへ	大判錦絵二枚続	すみだ北斎美術館
	●	37	葛飾北斎	勝景奇覧 相州袖ヶ浦	団扇絵判錦絵	すみだ北斎美術館
●		38	葛飾北斎	百人一首乳母かゑと起 柿の本人磨	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		39	魚屋北溪	諸国名所 親志らづ	横長判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●	40	葛飾北斎	『富嶽百景』二編 海上の不二	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	41	葛飾北斎	『画本千字文』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	42	二代葛飾戴斗 岳亭春信訳	『画本西遊全伝』四編 六	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	43	葛飾北斎	『絵本武蔵鑑』 渋谷の金丸正俊	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	44	葛飾北斎	『和漢絵本魁』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	45	葛飾北斎	『画本武蔵鑑』下 那須の与市宗高	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	46	葛飾北斎	『和漢絵本魁』二編 田原の復太郎忠綱	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	47	二代葛飾戴斗 瀬川恒成作	『神功皇后 三韓退治図会』一	大本	すみだ北斎美術館
●	●	48	二代葛飾戴斗 瀬川恒成作	『神功皇后 三韓退治図会』二	大本	すみだ北斎美術館
●	●	49	二代葛飾戴斗 瀬川恒成作	『神功皇后 三韓退治図会』三	大本	すみだ北斎美術館
●	●	50	葛飾北斎	『絵本和漢誉』 新田左中将源の義貞	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	51	葛飾北斎 緑亭川柳編	『義烈百人一首』	中本	すみだ北斎美術館
●		52	葛飾北為	撰州大物浦平家怨霊踊る図	大判錦絵三枚続	すみだ北斎美術館
●	●	53	葛飾為斎 松亭金水編	『観音経和訓図会』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	54	葛飾為斎 松亭金水編	『観音経略図解』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	55	市川甘斎	『甘斎画譜』第三	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	56	市川甘斎	『甘斎画譜』第四	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	57	市川甘斎	『甘斎画譜』第五	半紙本	すみだ北斎美術館
三章 北斎と瀧廻り						
●		58	葛飾北斎	諸国瀧廻り 和州吉野義経馬洗滝	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		59	葛飾北斎	諸国瀧廻り 木曾路ノ奥阿弥陀ヶ瀧	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		60	葛飾北斎	諸国瀧廻り 東海道坂ノ下清滝くわんおん	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		61	葛飾北斎	諸国瀧廻り 木曾海道小野ノ瀑布	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	62	葛飾北斎	諸国瀧廻り 相州大山ろうべんの瀧	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	63	葛飾北斎	諸国瀧廻り 美濃ノ国養老の滝	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	64	葛飾北斎	諸国瀧廻り 東都葵ヶ岡の滝	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	65	葛飾北斎	諸国瀧廻り 下野黒髪山きりふりの滝	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		66	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 坂の下	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●	67	魚屋北溪	『五十三次 北斎道中画譜』下 坂ノ下	半紙本	すみだ北斎美術館

●	●	68	葛飾北斎	『北斎漫画』七編 信濃小野の滝	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	69	魚屋北溪	養老の滝	摺物	すみだ北斎美術館
●	●	70	葛飾北斎	『北斎画譜』下編 霧降滝	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	71	松本交山 植田孟縉作	『日光山志』三 霧降瀧	大本	すみだ北斎美術館
●		72	魚屋北溪	諸国名所 上州三国越不動峠	横長判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	73	葛飾北斎	目黒不動尊詣	摺物	すみだ北斎美術館
●	●	74	葛飾北斎 植田孟縉作	『日光山志』四 龍頭瀧其一	大本	すみだ北斎美術館
●	●	75	葛飾北斎 植田孟縉作	『日光山志』四 其二	大本	すみだ北斎美術館
●		76	森高雅	秋景之図	絹本着色一幅	すみだ北斎美術館
	●	77	蹄齋北馬	巡礼観瀑図	紙本淡彩一幅	すみだ北斎美術館
●	●	78	葛飾北斎 烏亭焉馬作	『忠孝潮来府志』卷之一	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	79	葛飾北斎	『富嶽百景』三編 瀧越の不二	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	80	葛飾北斎	『北斎漫画』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	81	葛飾北斎	『北斎漫画』十三編 飛泉八鉢の図	半紙本	すみだ北斎美術館
四章 北斎の描く水 いろは						
●	●	82	葛飾北斎	『北斎漫画』二編 寄浪 引浪	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	83	葛飾北斎	『諸職雛形 北斎図式』初編 磯部の浪 打廻す浪	横本	すみだ北斎美術館
●	●	84	葛飾北斎	『諸職絵本新鄙形』打下ろすなみ うち上る浪	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	85	葛飾北斎	『画本彩色通』初編	中本	すみだ北斎美術館
●	●	86	葛飾北斎	『三体画譜』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	87	葛飾北斎	『三体画譜』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	88	葛飾北斎	『北斎漫画』二編 渦卷水 浅瀬	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	89	葛飾北斎	『絵本 彩色通』初編 瀑泉 瀑布	中本	すみだ北斎美術館
●	●	90	葛飾為齋	『山水花鳥 早引漫画』第三編 釜山海 布施ノ海 風下ノ浪	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	91	葛飾為齋	『山水花鳥 早引漫画』第四編 厚木川 熱川木曾 鮎釣り 安宅ノ港加舟 荒浪 山中のながれ	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	92	葛飾為齋	『花鳥山水図式』風の浪 波 大波 瀧 深き波 風に向ふ波	横本	すみだ北斎美術館
●	●	93	葛飾北斎	『今様櫛箏雛形』くしの部 上 さいくなみ 大沢川 打合せのなみ	横本	すみだ北斎美術館
●	●	94	葛飾北斎	『今様櫛箏雛形』くしの部 上 かぜをおとすなみ あさき水 たき	横本	すみだ北斎美術館
●	●	95	葛飾為齋	『花鳥山水細画図式』四編 湖水ゆふなぎ いそのなみ 山中のながれ	横本	すみだ北斎美術館
●	●	96	葛飾為齋	『花鳥山水細画図式』三編 松に虎 滝	横本	すみだ北斎美術館
●	●	97	葛飾為齋	『花鳥山水細画図式』四編 滝 枯あしに鴨 源氏うきふね	横本	すみだ北斎美術館
●	●	98	二代葛飾戴斗	『万職図考』四編 なみ なみにちどり	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	99	葛飾北斎	『諸職 絵本新鄙形』滝潜りの千鳥 犀	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	100	葛飾北斎	『葛飾為一遺墨 北斎新雛形』干珠満珠の玉	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	101	葛飾北斎	『新形小紋帳』はけめかんせいみづ たてわき かんせいみづ	中本	すみだ北斎美術館
●	●	102	二代葛飾戴斗	『万職図考』三編 おとは	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	103	葛飾北斎 高井蘭山作	『唐詩選画本 五言律』五	半紙本	すみだ北斎美術館
●		104	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 島田	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	105	昇亭北寿	東海道川崎宿六郷川渡之図	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●	106	牧墨僊	『写真学筆 墨僊叢画』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	107	葛飾北斎	『絵本和漢誉』仁田の四郎忠常	半紙本	すみだ北斎美術館
●		108	魚屋北溪	諸国名所 肥前稻佐山	横長判錦絵	すみだ北斎美術館

	●	109	魚屋北溪	諸国名所 伊豆手石の弥陀	横長判錦絵	すみだ北斎美術館
●		110	葛飾北斎	富嶽三十六景 隠田ノ水車	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	111	葛飾北斎	百人一首う波かゑと幾 大納言経信	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●	112	葛飾北斎	『北斎漫画』四編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	113	葛飾北斎 曲亭馬琴作	『墨田川梅柳新書』二	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	114	二代葛飾戴斗 瀬川恒成作	『神功皇后 三韓退治図会』四	大本	すみだ北斎美術館
●		115	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 沼津	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	116	葛飾北斎	東海道五十三次 沼津	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●	117	葛飾北斎	『早指南 四編 画本早引』流	中本	すみだ北斎美術館
●	●	118	葛飾北斎 曲亭馬琴作	『墨田川梅柳新書』五	半紙本	すみだ北斎美術館
●		119	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 見附	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	120	葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道金谷ノ不二	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●	121	葛飾北斎	『北斎漫画』十編 柿本の貴僧正加茂川の水を 逆に流	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	122	葛飾北斎	『絵本孝経』上 武将右幕下源の頼朝公	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	123	葛飾北斎	『富嶽百景』初編 田面の不二	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	124	葛飾北斎	『絵本和漢誉』鄭芝龍	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	125	葛飾北斎	『富嶽百景』三編 貴家別荘砂村の不二	半紙本	すみだ北斎美術館
●		126	魚屋北溪	船上の月見	摺物	すみだ北斎美術館
	●	127	葛飾北斎	詩歌写真鏡 伯楽天	長大判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●	128	葛飾北斎	『絵本魁』初編 夏の禹王	半紙本	すみだ北斎美術館
●		129	葛飾北斎	富嶽三十六景 身延川裏不二	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	130	葛飾北斎	百人一首うはかゑと起 持統天皇	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●	131	葛飾北斎	『画本武蔵鑑』上 余五將軍平の惟茂 沢復太郎	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	132	葛飾北斎	『絵本武蔵鑑』下 秀衡の五男樋爪の五郎高衡	半紙本	すみだ北斎美術館

企画展示 11

ますむらひろしの北斎展

ATAGOAL × HOKUSAI

北斎の浮世絵を模写し、ますむらひろしの漫画「アタゴオル」の要素が加わった「アタゴオル×北斎」や、北斎の浮世絵「富嶽三十六景」シリーズをはじめとした浮世絵を比較紹介し、そのほか「アタゴオル」シリーズ漫画原稿などの貴重な資料と合わせて展示を行った。

- 開催期間：平成30年6月26日（火）から8月26日（日）まで
- 開催施設：3階、4階企画展示室
- 観覧料：一般1,000円、高大生・65歳以上700円、中学生・障がい者300円
- 観覧者数：21,589人



ますむらひろしの北斎展						
前期	後期	出品番号	作者名	作品名	材質・技法・判型・形状	所蔵
1章 ますむらひろしの仕事 - ATAGOALの世界						
●		1	ますむらひろし	青猫島コスモス紀	墨汁	ますむらひろし
●		2	ますむらひろし	青猫島コスモス紀	墨汁	ますむらひろし
	●	3	ますむらひろし	青猫島コスモス紀	墨汁	ますむらひろし
●	●	4	ますむらひろし	青猫島コスモス紀	墨汁	ますむらひろし
	●	5	ますむらひろし	青猫島コスモス紀	墨汁	ますむらひろし
	●	6	ますむらひろし	青猫島雨床通り	墨汁	ますむらひろし
●		7	ますむらひろし	青猫島雨床通り	墨汁	ますむらひろし
●		8	ますむらひろし	青猫島雨床通り 酔いどれ鉄の肖像	墨汁	ますむらひろし
●		9	ますむらひろし	ヨネザアド物語	墨汁	ますむらひろし
	●	10	ますむらひろし	ヨネザアド物語	墨汁	ますむらひろし
●	●	11	ますむらひろし	神経旋律	墨汁	ますむらひろし
●		12	ますむらひろし	影きり森の銀ハーブ	墨汁	ますむらひろし
	●	13	ますむらひろし	汗っかきかきかき氷	墨汁	ますむらひろし
●		14	ますむらひろし	星街つり	墨汁	ますむらひろし
	●	15	ますむらひろし	金星コーヒー店	墨汁	ますむらひろし
	●	16	ますむらひろし	時ノ目彦	墨汁	ますむらひろし
●		17	ますむらひろし	宇宙回帰の水巡り	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	18	ますむらひろし	見張りで一杯	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	19	ますむらひろし	花粉旋律	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		20	ますむらひろし	タコの園からの凱旋	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		21	ますむらひろし	米沢市市制100周年記念ポスター	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	22	ますむらひろし	内緒話	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		23	ますむらひろし	あむちゃん	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	24	ますむらひろし	悲観花粉	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		25	ますむらひろし	楽しい庭作り	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	26	ますむらひろし	月を祭る	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		27	ますむらひろし	降る降る降る	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		28	ますむらひろし	地層に舌を	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	29	ますむらひろし	スマイル画伯	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	30	ますむらひろし	水晶睡眠	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		31	ますむらひろし	踊る縫合線	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	32	ますむらひろし	かき氷の祈り	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		33	ますむらひろし	西瓜ちゃん	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし

	●	34	ますむらひろし	水色の吸引	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	35	ますむらひろし	三松正夫翁バンザイ	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		36	ますむらひろし	ヒデヒデ新山の心象噴煙	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	37	ますむらひろし	暖々浮遊	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		38	ますむらひろし	静寂捕り	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		39	ますむらひろし	氷の旋律	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	40	ますむらひろし	阿蘇に捧ぐ	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	41	ますむらひろし	野田市市制 50 周年記念ポスター	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		42	ますむらひろし	「ヨネザアド凱旋」原画展ポスター	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		43	ますむらひろし	冬釣り	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	44	ますむらひろし	氷の旋律	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		45	ますむらひろし	かまくら作り	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	46	ますむらひろし	お月見サイコー	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		47	ますむらひろし	三日月尻尾	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	48	ますむらひろし	枝葉演奏会	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		49	ますむらひろし	眠り橋	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	50	ますむらひろし	かな氷滑り	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	51	ますむらひろし	秋色を釣る	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	52	ますむらひろし	キノコ相撲	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		53	ますむらひろし	満天風呂	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		54	ますむらひろし	居酒屋べんけえ支店	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		55	ますむらひろし	ユラユラ睡眠	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	56	ますむらひろし	火山観察乱れ節	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●	●	57		ますむら氏制作道具（筆、シャーペン、万年筆、ペン先、絵具皿、墨汁、定規）		ますむらひろし
●		58		招きヒデオシ 食いだおれ明神	陶器	ますむらひろし
	●	59		招きヒデオシ せれそん日本に招き明神	陶器	ますむらひろし
	●	60		招きヒデオシ ダラケ明神	陶器	ますむらひろし
●		61		アタゴオル物語 ヒデオシ貯金箱	陶器	ますむらひろし

2章 ATAGOAL × 北斎 - 富嶽三十六景の世界

富嶽三十六景

●		62	ますむらひろし	甲州石班沢（富嶽三十六景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	63	ますむらひろし	駿州江尻（富嶽三十六景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		64	ますむらひろし	常州牛堀（富嶽三十六景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	65	ますむらひろし	甲州三鳥越（富嶽三十六景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		66	ますむらひろし	神奈川沖浪裏（富嶽三十六景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		67	ますむらひろし	御厩川岸より両国橋夕陽見（富嶽三十六景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	68	ますむらひろし	甲州犬目峠（富嶽三十六景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	69	ますむらひろし	東海道品川御殿山ノ不二（富嶽三十六景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	70	ますむらひろし	江都駿河町三井見世略図（富嶽三十六景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		71	ますむらひろし	相州仲原（富嶽三十六景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	72	ますむらひろし	相州梅沢庄（富嶽三十六景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		73	ますむらひろし	上総ノ海路（富嶽三十六景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	74	ますむらひろし	下目黒（富嶽三十六景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		75	ますむらひろし	武陽佃島（富嶽三十六景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	76	ますむらひろし	礪川雪ノ旦（富嶽三十六景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		77	ますむらひろし	東都駿台（富嶽三十六景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		78	ますむらひろし	登戸浦（富嶽三十六景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	79	ますむらひろし	東海道保土ヶ谷（富嶽三十六景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし

すみだ北斎美術館の作品とともに

●		80	ますむらひろし	遠江山中（富嶽三十六景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		81	葛飾北斎	富嶽三十六景 遠江山中	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●	82	ますむらひろし	山下白雨（富嶽三十六景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●	●	83	ますむらひろし	米沢市立興譲小学校創立 130 周年記念ポスター	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		84	葛飾北斎	富嶽三十六 山下白雨	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	85	葛飾北斎	富嶽三十六 山下白雨	大判錦絵	すみだ北斎美術館

	●	86	ますむらひろし	凱風快晴（富嶽三十六景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	87	葛飾北斎	富嶽三十六景 凱風快晴	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		88	ますむらひろし	尾州不二見原（富嶽三十六景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		89	葛飾北斎	富嶽三十六景 尾州不二見原	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	90	ますむらひろし	隅田川関屋ノ里（富嶽三十六景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	91	葛飾北斎	富嶽三十六景 隅田川関屋の里	大判錦絵	すみだ北斎美術館
新作描き下ろし						
●	●	92	ますむらひろし	漁師図	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		93	葛飾北斎	漁師図	摺物	すみだ北斎美術館
	●	94	葛飾北斎	千絵の海 五島鯨突	中判錦絵	すみだ北斎美術館
3章 ATAGOAL ×北斎 - さまざまなシリーズ						
すみだ北斎美術館の作品とともに						
●		95	ますむらひろし	両国夕涼	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		96	葛飾北斎	両国夕涼	大判錦絵	すみだ北斎美術館
富嶽百景						
	●	97	ますむらひろし	遠江山中ノ不二（富嶽百景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	98	葛飾北斎	『富嶽百景』二編 遠江山中の不二	半紙本	すみだ北斎美術館
●		99	ますむらひろし	海上ノ不二（富嶽百景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		100	葛飾北斎	『富嶽百景』二編 海上の不二	半紙本	すみだ北斎美術館
●		101	ますむらひろし	蘆中筏ノ不二（富嶽百景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		102	葛飾北斎	『富嶽百景』初編 蘆中筏の不二	半紙本	すみだ北斎美術館
●		103	ますむらひろし	宝永山出現（富嶽百景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		104	葛飾北斎	『富嶽百景』初編 宝永山出現其二	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	105	ますむらひろし	野州遠景ノ不二 男体山行者越ノ松（富嶽百景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	106	葛飾北斎	『富嶽百景』三編 野州遠景の不二 男体山行者越の松	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	107	ますむらひろし	写真ノ不二（富嶽百景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	108	葛飾北斎	『富嶽百景』二編 写真の不二（明治版）	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	109	ますむらひろし	島田か鼻夕陽不二（富嶽百景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	110	葛飾北斎	『富嶽百景』二編 嶋田か鼻夕陽不二（明治版）	半紙本	すみだ北斎美術館
●		111	ますむらひろし	郭公ノ不二（富嶽百景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		112	葛飾北斎	『富嶽百景』三編 郭公の不二	半紙本	すみだ北斎美術館
●		113	ますむらひろし	月下ノ不二（富嶽百景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		114	葛飾北斎	『富嶽百景』二編 月下の不二	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	115	ますむらひろし	瀧越ノ不二（富嶽百景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	116	葛飾北斎	『富嶽百景』三編 瀧越の不二	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	117	ますむらひろし	窓中ノ不二（富嶽百景）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	118	葛飾北斎	『富嶽百景』二編 窓中の不二	半紙本	すみだ北斎美術館
北斎漫画						
●		119	ますむらひろし	群盲撫象（北斎漫画）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		120	葛飾北斎	『北斎漫画』八編	半紙本	すみだ北斎美術館
●		121	ますむらひろし	出羽秋田の落（北斎漫画）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		122	葛飾北斎	『北斎漫画』七編 出羽秋田の落	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	123	ますむらひろし	肥後五ヶの庄（北斎漫画）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	124	葛飾北斎	『北斎漫画』七編 肥後五ヶの庄	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	125	ますむらひろし	沼津千貫樋（道中画譜）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●	●	126	魚屋北溪	『伝神開手 北斎道中画譜』 沼津	半紙本	すみだ北斎美術館
アタゴオル ×北斎 第1号						
	●	127	ますむらひろし	羽根田弁天之図	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
諸国名橋奇覧						
●		128	ますむらひろし	飛越の堺つりはし（諸国名橋奇覧）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		129	ますむらひろし	三河のハツ橋の古図（諸国名橋奇覧）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		130	ますむらひろし	かめんど天神たいこばし（諸国名橋奇覧）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
諸国瀧廻り						
	●	131	ますむらひろし	下野黒髪山きりふりの瀧（諸国瀧廻り）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	132	ますむらひろし	木曾路ノ奥阿弥陀ヶ瀧（諸国瀧廻り）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	133	ますむらひろし	和州吉野義経馬洗瀧（諸国瀧廻り）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	134	ますむらひろし	美濃ノ国養老の瀧（諸国瀧廻り）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし

千絵の海						
●		135	ますむらひろし	総州銚子（千絵の海）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		136	ますむらひろし	相州浦賀（千絵の海）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
●		137	ますむらひろし	甲州火振（千絵の海）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
百人一首うばかゑとき						
	●	138	ますむらひろし	源宗于朝臣（百人一首うはか恵と幾）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし
	●	139	ますむらひろし	文屋朝康（百人一首うはか恵と幾）	水彩・インク・イラストボード	ますむらひろし

企画展示 12

北斎の橋 すみだの橋

北斎の作品に加え、生涯の多くを過ごしたすみだという地域にも焦点を当て、橋の文化的側面を紹介した。様々な橋の構造に着目して描き分けた「諸国名橋奇覧」全11図を中心に、門人の作品や絵葉書、図面、関連資料を展示した。

■開催期間：平成30年9月11日(火)から

11月4日(日)まで

■開催施設：3階、4階企画展示室

■観覧料：一般1,200円、高大生・65歳以上900円、中学生・障がい者400円

■観覧者数：21,673人



北斎の橋 すみだの橋						
前期	後期	出品番号	作者名	作品名	判型・形状	所蔵
第一章 北斎の橋						
「諸国名橋奇覧」北斎風景版画の傑作						
	●	1	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 足利行道山くものかけはし	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		2-1	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 かうつけ佐野ふなはしの古づ	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	2-2	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 かうつけ佐野ふなはしの古づ	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		3	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 かめんど天神たいこぼし	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		4-1	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 東海道岡崎矢はきのはし	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	4-2	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 東海道岡崎矢はきのはし	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		5-1	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 三河の八つ橋の古図	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	5-2	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 三河の八つ橋の古図	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		6	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 飛越の堺つりはし	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	7	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 めちぜんふくみの橋	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	8	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 山城あらし山吐月橋	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		9-1	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 摂州阿治川口天保山	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	9-2	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 摂州阿治川口天保山	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		10	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 摂州天満橋	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		11-1	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 すほうの国きんたいはし	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	11-2	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 すほうの国きんたいはし	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		12	北妙	諸国名橋奇覧 東海道岡崎矢はきのはし	豆判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	13	北妙	諸国名橋奇覧 めちぜんふくみの橋	豆判錦絵	すみだ北斎美術館
●		14	葛飾北斎	新板浮絵亀井戸天満宮之図	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	15	岳亭春信	大阪安治川天保山石橋	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	16	葛飾為斎	『花鳥山水図式』五編 行道山	横本	すみだ北斎美術館
●		17	二代柳川重信	『理斎随筆』三 詠歌天神ヲ感ス	大本	すみだ北斎美術館
●		18	岳亭春信	『金石狂歌集』春之部	半紙本	すみだ北斎美術館
●		19	岳亭春信	『山水画帖』	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	20	葛飾為斎	『山水花鳥 早引漫画』第四編 京嵐山	中本	すみだ北斎美術館
	●	21	岳亭春信	『天保山俳諧句集』上	中本	すみだ北斎美術館
北斎の描いた橋の形						
●		22	葛飾北斎	百橋一覧	大々判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	23	葛飾北斎	諸国名橋一覧	大々判錦絵	すみだ北斎美術館
●		24	葛飾北斎	東都十景 あさくさ	小判錦絵	すみだ北斎美術館

	●	25	葛飾北斎	東都十二景 おちやのミツ	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		26	葛飾北斎	富嶽三十六景 深川万年橋下	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	27	葛飾北斎	富嶽三十六景 江戸日本橋	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		28	葛飾北斎	琉球八景 長虹秋霽	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	29	葛飾北斎	琉球八景 臨海湖声	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		30	葛飾北斎	百人一首うはかゑるとき 春道列樹	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	31	葛飾北斎	百人一首乳母か絵説 在原業平	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		32	葛飾北斎	『富嶽百景』二編 七橋一覽の不二	半紙本	すみだ北斎美術館
●		33	蹄齋北馬	『柳の糸』一	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	34	魚屋北溪	『北斎道中画譜』	半紙本	すみだ北斎美術館
『北斎漫画』『諸職絵本 新鄙形』で描き分け						
●	●	35	葛飾北斎	『北斎漫画』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	36	葛飾北斎	『北斎漫画』四編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	37	葛飾北斎	『北斎漫画』四編	半紙本	すみだ北斎美術館
●		38	葛飾北斎	『北斎漫画』十四編 南海長蛇橋	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	39	葛飾北斎	『北斎漫画』十四編 雨	半紙本	すみだ北斎美術館
●		40	葛飾北斎	『北斎漫画』十四編 山中ノ橋	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	41	葛飾北斎	『北斎漫画』十四編 田ノ舎ノ橋	半紙本	すみだ北斎美術館
●		42	葛飾北斎	『北斎漫画』十四編 浅瀬ノ橋	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	43	葛飾北斎	『北斎漫画』十四編 驢馬	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	44	葛飾北斎	『諸職絵本 新鄙形』 疎ノ嬾サ橋	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	45	葛飾北斎	『諸職絵本 新鄙形』 辺鄙谷の渡	半紙本	すみだ北斎美術館
●		46	葛飾北斎	『葛飾為一遺墨 北斎新雛形』 般橋	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	47	葛飾北斎	『葛飾為一遺墨 北斎新雛形』 廊下橋	半紙本	すみだ北斎美術館
門人たちの描いた橋						
●		48	二代葛飾戴斗	貼交絵 猿橋	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		49	昇亭北寿	甲斐国猿橋ノ真沔之図	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	50	昇亭北寿	東叡山麓不忍池弁才天図	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	51	昇亭北寿	東都日本橋風景	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		52	昇亭北寿	武州千住大橋之景	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	53	昇亭北寿	東都御茶之水風景	大判錦絵	すみだ北斎美術館
本のなかの多様な橋々						
●	●	54	葛飾北斎	『絵本庭訓往来』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	55	葛飾北斎	『唐詩選画本 五言律』五	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	56	葛飾為斎	『興歌当夢化廻花』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	57	葛飾北斎	『富嶽百景』三編 橋下の不二	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	58	岳亭春信	『俳諧和歌四阿集』 かけはし	中本	すみだ北斎美術館
●	●	59	魚屋北溪	『画本駅路鈴』上 吉原	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	60	葛飾北斎	『略画早指南』初編 とうさんすいのはし	中本	すみだ北斎美術館
●	●	61	葛飾北斎	『早指南 四編 画本早引』 橋 橋姫	中本	すみだ北斎美術館
●	●	62	葛飾北斎	『新累解脱物語』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	63	葛飾北斎	『今様櫛篋雛形』くしの部 上 川がり	横本	すみだ北斎美術館
●	●	64	葛飾為斎	『花鳥山水 細画図式』四編 瞽目 夏の景	横本	すみだ北斎美術館
●	●	65	葛飾北斎	『貧福両道中之記』 しあんばし	中本	すみだ北斎美術館
●	●	66	葛飾北斎	『新板 飛驒匠物語』一 飛驒匠機巧の図	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	67	葛飾北斎	『新板 飛驒匠物語』二	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	68	二代葛飾戴斗	『英雄図会』 瀬田の橋	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	69	蹄齋北馬	『星月夜顕晦録』残編 三 佐々木信綱宇治川先陣の図	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	70	二代葛飾戴斗	『画本西遊全伝』四編 九 凌雲渡の独橋	半紙本	すみだ北斎美術館
●		71-1	魚屋北溪	『水滸画伝』上 飛雲浦	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	71-2	魚屋北溪	『水滸画伝』上 飛雲浦	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	72	二代葛飾戴斗	『絵本通俗三国志』三編 九 長坂橋	半紙本	すみだ北斎美術館
第二章 すみだの橋						
両国橋 江戸から現在へ						
両国橋（木橋）						
	●	73	葛飾北斎	江戸八景 両国暮雪	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		74	葛飾北斎	風流東都八景 両国の秋月	中判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	75	葛飾北斎	富嶽三十六景 御厩川岸より両国橋夕陽見	大判錦絵	すみだ北斎美術館

●		76	歌川広重	名所江戸百景 両国橋大川ばた	大判錦絵	江戸東京博物館
	●	77	昇亭北寿	東都両国之風景	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		78-1	葛飾北斎	『絵本隅田川 両岸一覽』中 両国納涼 一の橋弁天 無縁の日中	大本2冊	すみだ北斎美術館
	●	78-2	葛飾北斎	『絵本隅田川 両岸一覽』中 両国納涼 一の橋弁天 無縁の日中	大本2冊	すみだ北斎美術館
●		79-1	葛飾北斎	『東都勝景一覽』上 両国	大本	すみだ北斎美術館
	●	79-2	葛飾北斎	『東都名所一覽』上 両国	大本	すみだ北斎美術館
●	●	80	魚屋北溪	『狂歌三都名所図会』 両国橋 深川木場	半紙本	すみだ北斎美術館
●		81	葛飾北斎	新板浮絵両国喬夕涼花火見物之図	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	82	昇亭北寿	新板浮絵両国橋夕景色之図	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●	83	岳亭春信	『金石狂歌集』	半紙本	すみだ北斎美術館
●		84	三代歌川豊国	大角力両国橋渡図	大判錦絵三枚続	江戸東京博物館
	●	85	二代歌川広重	東都両国橋渡初寿之図	大判錦絵三枚続	江戸東京博物館
●		86	歌川国芳	安政乙卯十一月廿三日 両国橋渡初之図	大判錦絵三枚続	すみだ北斎美術館
●		87	歌川国芳	忠臣蔵十一段目両国橋勢揃図	大判錦絵三枚続	江戸東京博物館
	●	88	歌川貞秀	義士両国橋退去図	大判錦絵三枚続	江戸東京博物館
	●	89	三代歌川広重	東京三十六景 両国橋夕すゞみ	大判錦絵	紅林章央氏
両国橋（明治8年架橋、西洋式方杖木橋）						
●	●	90		両国橋	古写真（鶏卵紙）	紅林章央氏
●		91	三代歌川広重	東京名勝両国橋新築図	大判錦絵三枚続	紅林章央氏
	●	92	三代歌川広重	古今東京名所 両国花火御船蔵 両国橋大川のすゞみ舟	小判錦絵二丁掛	江戸東京博物館
●		93	小林幾英	東京名所之内川開之図 両国橋大花火	大判錦絵三枚続	江戸東京博物館
	●	94	永島春暁	東京両国橋 川開大花火之図	大判錦絵三枚続	江戸東京博物館
●		95	小林清親	明治十四年一月廿六日出火 浜町より写両国大火	大判錦絵	江戸東京博物館
●		96	井上安治	東京真画名所図解 両国大火浜町川岸ニテ写ス	四つ切判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	97	小林清親	千ほんくい両国橋	大判錦絵	江戸東京博物館
	●	98	井上安治	東京真画名所図解 両国百本杭之景	四つ切判錦絵	すみだ北斎美術館
両国橋（明治37年架橋、鋼ブラットトラス橋）						
●	●	99		両国橋開橋式 其一	絵葉書	紅林章央氏
●	●	100		両国橋	絵葉書	紅林章央氏
●	●	101		東京両国橋	絵葉書	紅林章央氏
●	●	102		（大東京の十六大橋）両国橋	絵葉書	紅林章央氏
●	●	103		大東京）両国橋と隅田川及び国技館	絵葉書	紅林章央氏
●	●	104		『土木工学 橋梁編』附図	書籍	紅林章央氏
●	●	105		両国橋 橋名板	橋名板	東京都復興記念館所蔵資料
●	●	106		橋梁装飾物の被害品（両国橋 エンドポスト キャップ）	装飾物2基	東京都復興記念館所蔵資料
	●	107	葛西虎次郎	東京名所 両国橋之夕色	石版画	江戸東京博物館
●	●	108		（大正十二年九月一日関東震災）両国橋破壊ノ惨状	絵葉書	紅林章央氏
両国橋（昭和7年架橋、鋼ゲルバー・鋅桁橋）						
●	●	109		両国橋開橋記念（封筒）	封筒	紅林章央氏
●	●	110		両国橋正面	絵葉書	紅林章央氏
●	●	111		両国橋側面	絵葉書	紅林章央氏
●	●	112		東都八景 両国の夕照	絵葉書	紅林章央氏
●	●	113		（大東京）隅田川の名橋両国橋より国技館を望む	絵葉書	紅林章央氏
●	●	114		（大東京）両国橋及国技館を望む	絵葉書	紅林章央氏
●		115	ノエル・ヌエット	東京風景 両国橋	木版画	江戸東京博物館
すみだの橋々諸相						
絵図・地図						
●	●	116		本所北絵図	絵図	すみだ北斎美術館
●	●	117		本所中絵図	絵図	すみだ北斎美術館
●	●	118		本所南絵図	絵図	すみだ北斎美術館
●	●	119		本所区史附録 対照本所区全区	地図	すみだ北斎美術館
●	●	120		東京市（中部）河川水路並橋梁一覽図	地図	東京都建設局

三之橋						
●	●	121	葛飾北斎	『諸職絵本 新鄙形』 無杭橋	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	122	昇斎一景	東京名所四十八景 本所三ッ目橋より一ッ目遠景	大判錦絵	江戸東京博物館
曳舟川						
	●	123	歌川広重	名所江戸百景 小梅堤	大判錦絵	江戸東京博物館
●		124	井上安治	東京真画名所図解 小梅挽舟の雪	四つ切判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●	125		中堰橋 構造図	図面	墨田区
綾瀬橋						
●		126	河村岷雪	『百富士』 一 綾瀬橋	大本	すみだ北斎美術館
撞木橋						
	●	127	河村岷雪	『百富士』 一 撞木橋	大本	すみだ北斎美術館
弥勒寺橋						
●		128	長谷川雪旦	『江戸名所図会』 十八 本所弥勒寺	大本	すみだ北斎美術館
天神橋						
	●	129	長谷川雪旦	『江戸名所図会』 十八 其二 (亀戸宰府天満宮)	大本	すみだ北斎美術館
石原橋						
	●	130	葛飾北斎	馬尽 駒形堂 御厩川岸 駒止石	摺物三枚続	すみだ北斎美術館
●		131	小林清親	大川端石原橋	大判錦絵	江戸東京博物館
●		132	井上安治	東京真画名所図解 大川端石原橋	四つ切判錦絵	すみだ北斎美術館
御蔵橋						
●		133	小林清親	本所御蔵橋	大判錦絵	江戸東京博物館
	●	134	井上安治	東京真画名所図解 本所御蔵橋	四つ切判錦絵	すみだ北斎美術館
枕橋						
●		135	蹄齋北馬	『狂歌隅田川名所図会 東岸之部』 隅田川之図 其二	大本	すみだ北斎美術館
●		136	井上安治	東京真画名所図解 小梅枕橋	四つ切判錦絵	江戸東京博物館
	●	137	井上安治	東京真画名所図解 枕橋	四つ切判錦絵	江戸東京博物館
●		138	昇斎一景	東京名所四十八景 中の郷枕はし	大判錦絵	江戸東京博物館
●	●	139		枕橋 一般構造図 (竣功図)	図面	東京都建設局
柳島橋						
	●	140	小林清親	柳島日没	大判錦絵	江戸東京博物館
	●	141	井上安治	東京真画名所図解 柳島妙見	四つ切判錦絵	すみだ北斎美術館
●		142	昇斎一景	東京名所四十八景 柳しま橋もと	大判錦絵	江戸東京博物館
割下水						
●		143-1	井上安治	東京真画名所図解 本所割下水	四つ切判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	143-2	井上安治	東京真画名所図解 本所割下水	四つ切判錦絵	すみだ北斎美術館
吾妻橋 (木橋)						
●		144	魚屋北溪	東都金龍山浅草寺図	大々判錦絵	すみだ北斎美術館
●		145-1	葛飾北斎	『絵本隅田川 兩岸一覽』 中 小梅の泊船 大川橋の月	大本	すみだ北斎美術館
	●	145-2	葛飾北斎	『絵本隅田川 兩岸一覽』 中 小梅の泊船 大川橋の月	大本	すみだ北斎美術館
●	●	146	長谷川雪旦	『江戸名所図会』 十九 大川橋	大本	すみだ北斎美術館
吾妻橋 (明治20年架橋、錬鉄プラットラス橋)						
●		147	井上安治	大日本東京吾妻橋真画	大判錦絵三枚続	江戸東京博物館
	●	148	歌川重清	東京吾妻橋ヨリ金龍山及ヒ向島眺望之図	大判錦絵三枚続	紅林章央氏
●	●	149		吾妻橋橋脚レンガ	レンガ	個人蔵
●	●	150	楊洲周延 楊齋延一	隅田花吾妻賑	大判錦絵三枚続 (軸装一幅)	紅林章央氏
	●	151	作者不詳	日本第一之名橋 東京吾妻橋之真図	石版画	江戸東京博物館
●		152	井上安治	東京真画名所図解 吾妻橋	四つ切判錦絵	江戸東京博物館
●		153	井上安治	東京真画名所図解 吾妻橋	四つ切判錦絵	江戸東京博物館
●	●	154		(東京名勝) 吾妻橋	絵葉書	紅林章央氏
●	●	155		(東都名勝) 吾妻橋	絵葉書	紅林章央氏
●	●	156		(東京名所) 吾妻橋	絵葉書	紅林章央氏
●	●	157		大正12.9.1. 東京大震災実況 (吾妻橋の惨状)	絵葉書	紅林章央氏
●	●	158		(大東京シン害火災の実況) 吾妻橋の惨状	絵葉書	紅林章央氏
●	●	159		(鉄道第二連隊) 吾妻仮橋架橋作業	絵葉書	紅林章央氏
●	●	160		浅草雷門より吾妻橋及本所方面全景	絵葉書	紅林章央氏
吾妻橋 (昭和6年架橋、鋼アーチ橋)						
●	●	161		吾妻橋開通記念絵葉書 (封筒)	封筒	吉田匠氏
●	●	162		旧吾妻橋	絵葉書	吉田匠氏
●	●	163		吾妻橋正面	絵葉書	吉田匠氏

●	●	164		吾妻橋側面	絵葉書	吉田匠氏
●	●	165		吾妻橋竣功 カフス	カフス一対	紅林章央氏
●	●	166		(東京十六大橋) 吾妻橋	絵葉書	紅林章央氏
白鬚橋						
●	●	167		白鬚橋竣工記念 大正三年五月三日	絵葉書	紅林章央氏
●	●	168		向島 白鬚橋	絵葉書	紅林章央氏
●	●	169		(大東京の十六大橋) 白鬚橋	絵葉書	紅林章央氏
厩橋						
●		170	歌川房種	東京名勝之内 おん馬屋ばし	大判錦絵	紅林章央氏
	●	171	井上安治	東京真画名所図解 厩橋	四つ切判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●	172		(東京名所) 厩橋	絵葉書	紅林章央氏
●	●	173		本所ノ上空ヨリ俯瞰セル厩橋ノ偉観	絵葉書	紅林章央氏
●	●	174		(東京大地震大火災の実況) 厩橋	絵葉書	紅林章央氏
●	●	175		厩橋 大正十二年九月一日大震災	絵葉書	紅林章央氏
●	●	176		(東京大十六橋) 厩橋	絵葉書	紅林章央氏
駒形橋						
●	●	177		駒形橋開通記念絵葉書 (封筒)	封筒	紅林章央氏
●	●	178		橋脚基礎締切全景	絵葉書	紅林章央氏
●	●	179		中央径間架設全景	絵葉書	紅林章央氏
●	●	180		駒形橋全景 (其ノ一)	絵葉書	紅林章央氏
●	●	181		駒形橋全景 (其ノ二)	絵葉書	紅林章央氏
●	●	182		(東京大十六橋) 駒形橋	絵葉書	紅林章央氏
●	●	183		(大東京の十六大橋) 駒形橋	絵葉書	紅林章央氏
蔵前橋						
●	●	184		(大東京の十六大橋) 蔵前橋	絵葉書	紅林章央氏
●	●	185		(東京大十六橋) 蔵前橋	絵葉書	紅林章央氏
言問橋						
●	●	186		言問橋開通記念絵葉書 (封筒)	封筒	紅林章央氏
●	●	187		言問橋 橋脚潜函工事	絵葉書	紅林章央氏
●	●	188		言問橋 橋桁架設工事	絵葉書	紅林章央氏
●	●	189		(大東京の十六大橋) 言問橋	絵葉書	紅林章央氏
法恩寺橋						
●	●	190		法恩寺橋 5	図面	東京都建設局
●	●	191		法恩寺橋開通記念	絵葉書	紅林章央氏
●	●	192		法恩寺橋開通記念	絵葉書	紅林章央氏
●	●	193		大正十四年十二月一日 法恩寺橋開通記念	絵葉書	紅林章央氏
●	●	194		『法恩寺橋開通記念写真帖』 清祓式 其一	冊子	紅林章央氏
菊川橋						
●	●	195		菊川橋開通記念絵葉書 (封筒)	封筒	紅林章央氏
●	●	196		菊川橋開通記念	絵葉書	紅林章央氏
●	●	197		菊川橋開通記念	絵葉書	紅林章央氏
江東橋						
●	●	198		江東橋開通記念	絵葉書	紅林章央氏
●	●	199		江東橋 舗装一般図	図面	東京都建設局
四之橋						
●	●	200		本所四之橋 一般構造図 (竣功図)	図面	東京都建設局
横川橋						
●	●	201		横川橋落成記念	絵葉書	紅林章央氏
●	●	202		横川橋落成記念	絵葉書	紅林章央氏
松井橋						
●	●	203		松井橋 一般構造図 縦断面図 横断面図 (竣功図)	図面	東京都建設局
●	●	204		松井橋 橋梁台帳 (『橋梁台帳 廃橋分』より)	冊子	墨田区
四ツ木橋						
●	●	205		幹線放射第十三号線 新四ツ木橋 一般図 其ノ一	図面	東京都建設局
●	●	206		幹線放射第十三号線 新四ツ木橋 一般図 其ノ二	図面	東京都建設局

企画展示 13

大江戸グルメと北斎

和食文化は江戸時代に大きく発展し、平成30年にはユネスコ無形文化遺産登録5周年を迎え、世界からも関心を集めている。本展では浮世絵のみならず、料理の再現レプリカや当時のレシピ本を交え、江戸時代の食のあり方を紹介した。

- 開催期間：平成30年11月20日（火）から
令和元年1月20日（日）まで
- 開催施設：3階、4階企画展示室
- 観覧料：一般1,000円、高大生・65歳以上700円、
中学生・障がい者300円
- 観覧者数：21,756人



大江戸グルメと北斎						
前期	後期	出品番号	作者名	作品名	判型・形状	所蔵
1章 江戸グルメ繁栄の背景						
農業						
●		1	葛飾北斎	百人一首うはかゑとき 天智天皇	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	2	葛飾北斎	行楽図	摺物	すみだ北斎美術館
●	●	3	葛飾北斎	『北斎漫画』三編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	4	葛飾北斎	『北斎漫画』三編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	5	牧墨僊	『墨僊叢画』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	6	市川甘斎	『甘斎画譜』	半紙本	すみだ北斎美術館
漁業						
●		7	葛飾北斎	百人一首乳母か絵と起 参議篁	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		8	葛飾北斎	千絵の海 総州利根川	中判錦絵	すみだ北斎美術館
●		9	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 神奈川	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	10	葛飾北斎	勝景奇覧 甲州身延川	団扇絵判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	11	葛飾北斎	千絵の海 宮戸川長縄	中判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	12	葛飾北斎	春興五十三駄之内 蒲原	摺物	すみだ北斎美術館
●	●	13	蓆関月	『山海名産図会』三 広島牡蠣畜養之法	大本	すみだ北斎美術館
●	●	14	斎藤月峯ほか著 長谷川雪旦画	『江戸名所図会』十九 中川釣鱒	大本	すみだ北斎美術館
調味料の生産						
●		15	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 蒲原	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	16	葛飾北斎	東海道五十三次 吉原	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●	17	葛飾北斎	『北斎漫画』十三編 砂糖製	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	18	蓆関月	『山海名産図会』二 熊野蜂蜜	大本	すみだ北斎美術館
●	●	19	蓆関月	『山海名産図会』一 伊丹酒造 米あらひの図	大本	すみだ北斎美術館
●	●	20	蓆関月	『山海名産図会』四 蒸して乾魚に制す	大本	すみだ北斎美術館
2章 江戸の食材						
魚						
●		21	葛飾北斎	鯰鱈図	絹本着色一幅	すみだ北斎美術館
●		22	魚屋北溪	魚菜図	絹本着色一幅	すみだ北斎美術館
	●	23	葛飾北斎	魚介図	絹本着色一幅	すみだ北斎美術館
	●	24	蹄斎北馬	布袋の月見 河豚図	絹本着色対幅	すみだ北斎美術館

●	●	25	葛飾北斎	『北斎漫画』二編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	26	市川甘斎	『甘斎画譜』第四	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	27	葛飾北斎	『北斎画式』 桜花交魚	大本	すみだ北斎美術館
野菜、果物						
●		28	魚屋北溪	つれつれ艸 土おほね	摺物	すみだ北斎美術館
	●	29	魚屋北溪	キセルに蜜柑	摺物	すみだ北斎美術館
●	●	30	葛飾北斎	『北斎漫画』三編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	31	葛飾北斎	『北斎漫画』四編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	32	二代葛飾戴斗	『万戦図考』五編 きさわし柿	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	33	葛飾為斎	『花鳥山水 細画図式』三編	横本	すみだ北斎美術館
食材の流通						
●		34	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 日本橋	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	35	葛飾北斎	東海道五十三次 日本橋	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●	36	斎藤月岑ほか著 長谷川雪旦画	『江戸名所図会』一 日本橋魚市	大本	すみだ北斎美術館
●	●	37	岳亭春信	『狂歌昼夜行事集』乾	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	38	市川甘斎	『甘斎画譜』第二	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	39	葛飾北斎	『絵本庭訓往来』中編	半紙本	すみだ北斎美術館
3章 江戸の料理帖						
料理人たち						
●	●	40	葛飾北斎	『北斎漫画』九編 士卒英気養図	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	41	葛飾北斎	『北斎漫画』八編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	42	葛飾北斎	『絵本庭訓往来』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	43	鳥亭焉馬著 葛飾北斎画	『忠孝潮来府志』卷之一	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	44	鳥亭焉馬著 葛飾北斎画	『仮名手本後日之文章』卷之五	半紙本	すみだ北斎美術館
レシピ本						
●	●	45	醒狂道人何必醇著	『豆腐百珍』	半紙本	味の素食の文化センター
●	●	46	醒狂道人何必醇著	『豆腐百珍』続編	半紙本	味の素食の文化センター
●	●	47	東京家政学院生活文化博物館	鶏卵様	再現レプリカ	東京家政学院生活文化博物館
●	●	48	東京家政学院生活文化博物館	すり流し豆腐	再現レプリカ	東京家政学院生活文化博物館
●	●	49	東京家政学院生活文化博物館	豆腐かゆ	再現レプリカ	東京家政学院生活文化博物館
●	●	50	器土堂主人著	『万宝料理秘密箱』前篇 一	半紙本	味の素食の文化センター
●	●	51	器土堂主人著	『万宝料理秘密箱』前篇 二	半紙本	味の素食の文化センター
●	●	52	器土堂主人著	『万宝料理秘密箱』前篇 三	半紙本	味の素食の文化センター
●	●	53	器土堂主人著	『万宝料理秘密箱』前篇 四	半紙本	味の素食の文化センター
●	●	54	器土堂主人著	『万宝料理秘密箱』前篇 五	半紙本	味の素食の文化センター
●	●	55	東京家政学院生活文化博物館	鳥はんぺい	再現レプリカ	東京家政学院生活文化博物館
●	●	56	東京家政学院生活文化博物館	源氏卵	再現レプリカ	東京家政学院生活文化博物館
●	●	57	東京家政学院生活文化博物館	磯菜卵	再現レプリカ	東京家政学院生活文化博物館
●	●	58	東京家政学院生活文化博物館	鳥団子汁	再現レプリカ	東京家政学院生活文化博物館
●	●	59	東京家政学院生活文化博物館	長崎鳥田楽	再現レプリカ	東京家政学院生活文化博物館
●	●	60	東京家政学院生活文化博物館	茶巾卵	再現レプリカ	東京家政学院生活文化博物館
●	●	61	東京家政学院生活文化博物館	卵鱈	再現レプリカ	東京家政学院生活文化博物館
●	●	62	作者未詳	『大根一式料理秘密箱』	半紙本	味の素食の文化センター
●	●	63	東京家政学院生活文化博物館	揚げ出し大根	再現レプリカ	東京家政学院生活文化博物館
●	●	64	東京家政学院生活文化博物館	おぼろ大根葛かけ	再現レプリカ	東京家政学院生活文化博物館

●	●	65	小田原屋主人著 関文川画	『四季漬物塩嘉言』	中本	味の素食の文化センター
●	●	66	葛飾北斎	『早指南 四編 画本早引』 糠味噌	中本	すみだ北斎美術館
4章 江戸の人気料理						
江戸のいちおしグルメ						
●		67	歌川国芳	縞揃女弁慶 安宅の松	大判錦絵	味の素食の文化センター
●	●	68	東京家政学院生活文化 博物館	鯛の香物鮓	再現レプリ カ	東京家政学院生活文化博物 館
●		69	三代歌川豊国	三長寿人	大判錦絵三 枚続	味の素食の文化センター
●	●	70	東京家政学院生活文化 博物館	鯛の刺身・煎り酒	再現レプリ カ	東京家政学院生活文化博物 館
●		71	三代歌川豊国	勸進大相撲休日遊宴ノ図 西ノ方	中判錦絵三 枚続	味の素食の文化センター
●		72	歌川国芳	木曾街道六十九次之内 守山 達磨大師	大判錦絵	味の素食の文化センター
●		73	月岡芳年	風俗三十二相 むまさう	大判錦絵	味の素食の文化センター
●		74	三代歌川豊国	やつしけんじ 雨夜のしな定	大判錦絵三 枚続	味の素食の文化センター
	●	75	三代歌川豊国	子福長者	大判錦絵三 枚続	味の素食の文化センター
	●	76	三代歌川豊国	浮世五色合 赤	大判錦絵	味の素食の文化センター
	●	77	三代歌川豊国	勸進大相撲休日遊宴ノ図 東ノ方	中判錦絵三 枚続	味の素食の文化センター
	●	78	菊川英山	花あやめ五人揃	大判錦絵	味の素食の文化センター
	●	79	三代歌川豊国	十二月之内 文月 二十六夜待	大判錦絵三 枚続	味の素食の文化センター
	●	80	歌川広重	名所江戸百景 びくにはし雪中	大判錦絵	味の素食の文化センター
●	●	81	葛飾北斎	『北斎漫画』 初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	82	葛飾北斎	『絵本庭訓往来』 下編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	83	葛飾北斎	『北斎漫画』 十二編 素麺	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	84	好花堂野亭著 葛飾北雲画	『新編女水滸伝』 二之巻	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	85	東京家政学院生活文化 博物館	豆腐田楽	再現レプリ カ	東京家政学院生活文化博物 館
季節のグルメ						
●		86	葛飾北斎	正月の台所	摺物	すみだ北斎美術館
●		87	三代歌川豊国	十二月之内 水無月 土用干	大判錦絵三 枚続	味の素食の文化センター
●		88	勝川春亭	江戸大かばやき	大判錦絵三 枚続	味の素食の文化センター
●		89	三代歌川豊国、二代歌川 国久	江戸名所百人美女 日本はし	大判錦絵	味の素食の文化センター
	●	90	葛飾北斎	正月料理の器	摺物	すみだ北斎美術館
	●	91	三代歌川豊国	花遊びの図	大判錦絵三 枚続	味の素食の文化センター
	●	92	三代歌川豊国	東都名所四季之内 両国夜陰光景	大判錦絵三 枚続	味の素食の文化センター
	●	93	三代歌川豊国	夜商内六夏撰 水売り	大判錦絵	味の素食の文化センター
●		94	葛飾北斎	『東都勝景一覽』 上 飛鳥山	大本	すみだ北斎美術館
	●	95	葛飾北斎	『東都名所一覽』 上 飛鳥山	大本	すみだ北斎美術館
●	●	96	東京家政学院生活文化 博物館	さくらずし	再現レプリ カ	東京家政学院生活文化博物 館
●	●	97	石川雅望判 葛飾北岱 画	『忠臣蔵当振舞』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	98	葛飾北斎	『北斎漫画』 十二編 鰻登り	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	99	魚屋北溪	『婦人画像集』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	100	葛飾北斎	『北斎画』 餅搗	大本	すみだ北斎美術館
●	●	101	葛飾北斎	『北斎漫画』 二編	半紙本	すみだ北斎美術館
江戸のスイーツ						
●		102	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 水口	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		103	葛飾北斎	東海道五十三次 金谷	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		104	葛飾北斎	東海道 彩色摺 五拾三次 につさか	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	105	葛飾北斎	東海道五十三次 日坂	小判錦絵	すみだ北斎美術館

●	106	葛飾北斎	春興五十三駄之内 白須賀	摺物	すみだ北斎美術館	
●	107	葛飾北斎	東海道 彩色摺 五拾三次 戸つか	小判錦絵	すみだ北斎美術館	
●	●	108	斎藤月峯ほか著 長谷川雪旦画	『江戸名所図会』二	大本	すみだ北斎美術館
●	●	109	斎藤月峯ほか著 長谷川雪旦画	『江戸名所図会』七 目黒飴	大本	すみだ北斎美術館
●	●	110	東京家政学院生活文化博物館	柿衣	再現レプリカ	東京家政学院生活文化博物館
●	●	111	東京家政学院生活文化博物館	ふのやき	再現レプリカ	東京家政学院生活文化博物館
●	●	112	東京家政学院生活文化博物館	かすてらいも	再現レプリカ	東京家政学院生活文化博物館
●	●	113	東京家政学院生活文化博物館	けんびん	再現レプリカ	東京家政学院生活文化博物館
●	●	114	東京家政学院生活文化博物館	玲瓏豆腐	再現レプリカ	東京家政学院生活文化博物館
江戸の高級料亭グルメ巡り						
●		115	歌川広重、三代歌川豊国	東都高名会席尽 橋本 牛若丸	大判錦絵	味の素食の文化センター
●		116	歌川広重、三代歌川豊国	東都高名会席尽 青柳 小野道風	大判錦絵	味の素食の文化センター
●		117	歌川広重、三代歌川豊国	東都高名会席尽 甲子屋 惣六	大判錦絵	味の素食の文化センター
●		118	歌川広重、三代歌川豊国	東都高名会席尽 二葉屋 葵の前	大判錦絵	味の素食の文化センター
●		119	歌川広重、三代歌川豊国	東都高名会席尽 万久 髻の意休	大判錦絵	味の素食の文化センター
●		120	歌川広重、三代歌川豊国	東都高名会席尽 海老屋 海老ざこの十	大判錦絵	味の素食の文化センター
●		121	歌川広重、三代歌川豊国	東都高名会席尽 八百善 八百屋半兵衛	大判錦絵	味の素食の文化センター
	●	122	歌川広重、三代歌川豊国	東都高名会席尽 植半 猿島惣太	大判錦絵	味の素食の文化センター
	●	123	歌川広重、三代歌川豊国	東都高名会席尽 平清 清盛	大判錦絵	味の素食の文化センター
	●	124	歌川広重、三代歌川豊国	東都高名会席尽 百川 浮世伊之助	大判錦絵	味の素食の文化センター
	●	125	歌川広重、三代歌川豊国	東都高名会席尽 小倉庵 梅の由兵衛	大判錦絵	味の素食の文化センター
	●	126	歌川広重、三代歌川豊国	東都高名会席尽 八百半 お千代	大判錦絵	味の素食の文化センター
	●	127	歌川広重、三代歌川豊国	東都高名会席尽 瀧そば 飯沼勝五郎	大判錦絵	味の素食の文化センター
	●	128	歌川広重、三代歌川豊国	東都高名会席尽 魚太 太郎左衛門	大判錦絵	味の素食の文化センター
●	●	129	葛飾北斎	『東遊』 王子海老屋	大本	すみだ北斎美術館
●	●	130	八百屋善四郎著 葛飾北斎画	『江戸流行 料理通』二編	中本	すみだ北斎美術館

企画展示 14

北斎アニマルズ

北斎とその門人の描いた動物や、デザイン化された動物、物語や伝記などの文脈と共に描かれた動物、創造上の生き物など、多彩な表現であらわされた絵画の中のさまざまな動物を紹介した。

■開催期間：令和元年2月5日（火）から

4月7日（日）まで

■開催施設：3階企画展示室

■観覧料：一般1,000円、高大生・65歳以上700円、

中学生・障がい者300円

■観覧者数：26,502人



北斎アニマルズ						
前期	後期	出品番号	作者名	作品名	判型・形状	所蔵
1章 生けるがごときアニマル						
鳥						
●		1	葛飾北斎	桜に鷹	長大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	2	葛飾北斎	富嶽三十六景 相州梅沢左	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		3	葛飾北斎	芙蓉に雀	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	4	葛飾北斎	文鳥 辛夷花	中判錦絵	すみだ北斎美術館
●		5	葛飾北斎	鴟 小薊	中判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	6	葛飾北斎	鴟 翠雀 虎耳草 蛇苺	中判錦絵	すみだ北斎美術館
●		7	葛飾北斎	馬尽 駒鳥	摺物	すみだ北斎美術館
	●	8	葛飾北斎	小禽	摺物	すみだ北斎美術館
●	●	9	葛飾北斎	『北斎漫画』三編 風鳥、ペラ鷺 他	半紙本	すみだ北斎美術館
●		10	魚屋北溪	『狂歌草垣集』	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	11	魚屋北溪	『奉額狂歌紅鏡集』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	12	二代葛飾戴斗	『花鳥画伝』二編 鶉 八頭 白雲雀	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	13	葛飾北斎	『独発句』下	大本	すみだ北斎美術館
●	●	14	葛飾北斎	『唐詩選画本 七言律』五	半紙本	すみだ北斎美術館
●		15-1	葛飾北斎	『北斎画苑』初編 鶉	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	15-2	葛飾北斎	『北斎画苑』初編 烏骨鶉	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	16	葛飾北斎	『唐詩選画本 七言律』一 駝鳥	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	17	葛飾北斎	『略画早指南』初編 さぎ がん おなが	中本	すみだ北斎美術館
●	●	18	葛飾北斎	『富嶽百景』二編 夢の不二	半紙本	すみだ北斎美術館
動物						
●		19	葛飾北斎	猿	摺物	すみだ北斎美術館
	●	20	葛飾北斎	富嶽三十六景 駿州大野新田	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		21	二代 葛飾北斎	俵に鼠	紙本淡彩一幅	すみだ北斎美術館
	●	22	蹄斎北馬	秋草に狸図	紙本淡彩一幅	すみだ北斎美術館
●		23	森高雅	鹿図	紙本淡彩一幅	すみだ北斎美術館
	●	24	森高雅	猿猴狙蜂図	紙本淡彩一幅	すみだ北斎美術館
●	●	25	葛飾北斎	『北斎漫画』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	26	葛飾北斎	『富嶽百景』三編 福録寿	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	27	葛飾北斎	『北斎写真画譜』	大本	すみだ北斎美術館
●	●	28	葛飾北斎	『富嶽百景』二編 月下の不二	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	29	葛飾北斎	『諸職絵本新鄙形』 神馬	半紙本	すみだ北斎美術館
●		30-1	葛飾北斎	『北斎漫画』十四編 水牛 唐犬	半紙本	すみだ北斎美術館

	●	30-2	葛飾北斎	『北斎漫画』十四編 豚 麩	半紙本	すみだ北斎美術館
●		31-1	葛飾北斎	『北斎漫画』十四編 狐 水豹	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	31-2	葛飾北斎	『北斎漫画』十四編 狸 野牛 胡羊 綿羊	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	32	葛飾北斎	『絵本孝経』上 牛	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	33	葛飾北斎	『北斎漫画』八編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	34	葛飾北斎	『唐詩選画本 七言律』二 駱駝	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	35	葛飾北斎	『北斎漫画』十三編 虎	半紙本	すみだ北斎美術館
動物 (猫)						
●	●	36	葛飾北斎	『北斎漫画』十四編 猫 狼	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	37	葛飾北斎	『北斎漫画』二編 もゝんぢいむじな 他	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	38	葛飾北斎	『頼豪阿闍梨恠鼠伝』六	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	39	葛飾北斎	『三七全伝南柯夢』第三卷	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	40	葛飾北斎	『飛騨匠物語』六	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	41	葛飾北斎	『北斎漫画』十五編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	42	葛飾北斎	『三体画譜』栗鼠 猫 鼠 獅子	半紙本	すみだ北斎美術館
動物 (干支)						
●	●	43	葛飾北斎	『北斎漫画』四編 十二支	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	44	葛飾北斎	『北斎画鑑』野豕 仁田の四郎	大本	すみだ北斎美術館
魚介						
●		45	二代葛飾戴斗	鯉魚	摺物	すみだ北斎美術館
	●	46	二代葛飾戴斗	貼交絵 鯉魚	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		47	葛飾北斎	亀	長大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	48	葛飾北斎	遊亀図	摺物	すみだ北斎美術館
●	●	49	葛飾北斎	『北斎漫画』二編 きんぎよはぜ 他	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	50	葛飾為斎	『花鳥山水図式』五編 たかのはやから 他	横本	すみだ北斎美術館
●	●	51	葛飾為斎	『花鳥山水図式』五編 ゑびあわび 他	横本	すみだ北斎美術館
●	●	52	葛飾北斎	『絵本庭訓往来』中編	半紙本	すみだ北斎美術館
●		53-1	葛飾北斎	『三体画譜』亀 沢蟹 他	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	53-2	葛飾北斎	『三体画譜』河蝦 蝦姑 他	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	54	葛飾北斎	『北斎画式』	大本	すみだ北斎美術館
●	●	55	葛飾北斎	『唐詩選画本 七言律』三 万年蟹	半紙本	すみだ北斎美術館
虫・爬虫類・両生類						
●		56	葛飾北斎	桔梗にとんぼ	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	57	葛飾北斎	風流おどけ百句 かたつむり	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		58	葛飾北斎	葛飾玄武二番続 蛇	摺物	すみだ北斎美術館
	●	59	葛飾北斎	百物語 しょうねん	中判錦絵	すみだ北斎美術館
●		60	葛飾北斎	南瓜花群虫図	絹本着色一幅	すみだ北斎美術館
	●	61	葛飾北斎	南瓜花に虻図	紙本着色一幅	すみだ北斎美術館
●	●	62	葛飾北斎	『北斎漫画』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	63	葛飾北斎	『近世怪談 霜夜星』式	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	64	葛飾北斎	『蓮華台』	半紙本	すみだ北斎美術館
●		65	魚屋北溪	『狂歌草野集 秋之部』下巻	半紙本	すみだ北斎美術館
2章 かわいらしいアニマル						
●		66	魚屋北溪	三十六禽続 子犬	摺物	すみだ北斎美術館
	●	67	魚屋北溪	兎の鹿島おどり	摺物	すみだ北斎美術館
●		68	柳川重信	猪の貴人	摺物	すみだ北斎美術館
	●	69	柳々居辰斎	兎と土筆	摺物	すみだ北斎美術館
●		70-1	葛飾北斎	『北斎漫画 草筆之部』山鴉	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	70-2	葛飾北斎	『北斎漫画 草筆之部』山鴉	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	71	魚屋北溪	『酔竹連 狂歌獣七題七評合』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	72	葛飾北斎	『三体画譜』泥鰍 鱒 他	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	73	葛飾北斎	『三体画譜』馬 兎 猿 狗 猫	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	74	葛飾北斎	『唐詩選画本 七言律』四 仁魚	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	75	葛飾北斎	『画本彩色通』二編	中本	すみだ北斎美術館
●	●	76	魚屋北溪	『狂歌百花鳥』あふむ	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	77	葛飾北斎	『略画早指南』初編	中本	すみだ北斎美術館
●	●	78	二代葛飾戴斗	『画本柳樽』七編 猫 蜂 ばつた 土龍	中本	すみだ北斎美術館
●	●	79	葛飾北斎	『絵本庭訓往来』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	80	葛飾北斎	『絵本庭訓往来』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	81	葛飾北斎	『北斎漫画』十一編 鶏 犬	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	82	葛飾北斎	『江戸流行 料理通』二編	中本	すみだ北斎美術館

3章 絵ならではのアニマル						
こわいアニマル						
●	●	83	葛飾北斎	『化物和本草』 人面の鯰	中本	すみだ北斎美術館
●	●	84	葛飾北斎	『椿説弓張月』続編 卷之六 禍獣	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	85	葛飾北斎	『近世怪談 霜夜星』 一卷	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	86	葛飾北斎	『北越奇談』 四 怪物	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	87	葛飾北斎	『絵本漢楚軍談』 二編 六 毒蛇	半紙本	すみだ北斎美術館
物語・伝説のなかのアニマル						
●	●	88	葛飾北斎	『北斎漫画』 十編 家久連里	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	89	葛飾北斎	『画本千字文』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	90	葛飾北斎	『秀画一覽』 浦島	大本	すみだ北斎美術館
●	●	91	葛飾北斎	『北斎漫画』 十編 孫悟空 殷の王妃	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	92	葛飾北斎	『唐詩選画本 七言律』 一	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	93	葛飾北斎	『唐詩選画本 七言律』 二	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	94	葛飾北斎	『和漢絵本魁』 和唐内国性爺猛虎を随る	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	95	葛飾北斎	『忠義水滸伝画本』 行者武松景陽岡に虎を殺す	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	96	葛飾北斎	『画本武蔵鑑』 下 渋谷の金丸正後魚獵手柄	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	97	葛飾北斎	『絵本魁』 初篇 平井の保昌 土蜘蛛退治	半紙本	すみだ北斎美術館
未確認アニマル						
●	●	98	葛飾北斎	『北斎漫画』 二編 白沢 猿	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	99	二代葛飾戴斗	『花鳥画伝』 初編 鵬	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	100	葛飾北斎	『北斎漫画』 二編 むさ、び かはほり 他	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	101	葛飾北斎	『北斎漫画』 二編 このしろ さかまた 他	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	102	葛飾北斎	『椿説弓張月』 続編 一 沙魚	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	103	葛飾北斎	『北斎漫画』 三編 人魚 水獺 他	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	104	葛飾北斎	『北斎漫画』 十二編 釣の名人 河童を釣ル の法	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	105	岳亭春信	『狂歌水滸伝』 河童	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	106	葛飾北斎	『椿説弓張月』 残編 五 人魚	半紙本	すみだ北斎美術館
デザイン化されたアニマル						
●		107	葛飾北斎	鞠と玩具	摺物	すみだ北斎美術館
	●	108	葛飾北斎	馬尽 初午詣	摺物	すみだ北斎美術館
●		109	葛飾北斎	楊枝屋店先	摺物	すみだ北斎美術館
	●	110	葛飾北斎	馬尽 駒菖蒲	摺物	すみだ北斎美術館
●	●	111	葛飾北斎	『諸職絵本新鄙形』 唐破風華型	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	112	葛飾北斎	『新形小紋帳』 ふじのまひつる 花たちばなまひ つる 他	中本	すみだ北斎美術館
●		113-1	柳川重信	『狂歌百千鳥』 上	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	113-2	柳川重信	『狂歌百千鳥』 下	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	114	葛飾為斎	『花鳥山水細画図式』 四編 ごまめふぐ松魚 鯉 丸竜	横本	すみだ北斎美術館
●	●	115	葛飾為斎	『花鳥山水細画図式』 四編 蟬 鶏 鹿 雁 使	横本	すみだ北斎美術館
●		116-1	二代葛飾戴斗	『万職図考』 四編 亀 あさり 他	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	116-2	二代葛飾戴斗	『万職図考』 四編 雀 くいあひもうを 他	半紙本	すみだ北斎美術館

企画展示 15

北斎のなりわい大図鑑

北斎の新発見の肉筆画「蛤売り図（はまぐりうりず）」をはじめとした、北斎一門により江戸時代の生業（なりわい）が描き出された作品を展示し、江戸時代の生業を紹介した。

■開催期間：令和元年4月23日（火）から

6月9日（日）まで

■開催施設：3階企画展示室

■観覧料：一般1,000円、高大生・65歳以上700円、
中学生・障がい者300円

■観覧者数：23,467人



北斎のなりわい大図鑑						
前期	後期	出品番号	作者名	作品名	判型・形状	所蔵
1章 ものを売る生業						
●		1	葛飾北斎	東海道五十三次 桑名	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	2	葛飾北斎	扇屋の店先	摺物	すみだ北斎美術館
●		3	葛飾北斎	不動詣	摺物	すみだ北斎美術館
	●	4	葛飾北斎	朝日の佃島	摺物	すみだ北斎美術館
●		5-1	葛飾北斎	『絵本隅田川 兩岸一覽』上 築地の凧 佃住吉恵方	大本	すみだ北斎美術館
	●	5-2	葛飾北斎	『絵本隅田川 兩岸一覽』上 三俣の白魚 永代春風	大本	すみだ北斎美術館
●		6-1	葛飾北斎	『画本狂歌 山満多山』下	大本	すみだ北斎美術館
	●	6-2	葛飾北斎	『画本狂歌 山満多山』中	大本	すみだ北斎美術館
●	●	7	曲亭馬琴著 葛飾北斎画	『新累解脱物語』	半紙本	すみだ北斎美術館
●		8-1	二代葛飾戴斗	『万職図考』五編 手遊 売人	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	8-2	二代葛飾戴斗	『万職図考』五編 評ばん俵	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	9	葛飾北斎	『富嶽百景』三編 村堺の不二	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	10	岳亭春信	『狂歌昼夜行事集』坤	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	11	葛飾北斎	『北斎画』隅田川遠桜	大本	すみだ北斎美術館
●	●	12	牧墨僊	『写真学筆 墨僊叢画』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	13	曲亭馬琴著 葛飾北斎画	『三七全伝南柯夢』第二卷 笠松平三奈良に膏薬を売る	半紙本	すみだ北斎美術館
●		14	葛飾北斎	蛤売り図	紙本淡彩一幅	すみだ北斎美術館
	●	15	葛飾北為	茶せん売り図	紙本淡彩一幅	すみだ北斎美術館
●	●	16	魚屋北溪	『北斎道中画譜』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	17	葛飾北斎	『東遊』絵草紙店	大本	すみだ北斎美術館
●	●	18	南里亭其楽増補 二代葛飾戴斗画	『和語陰陽文絵鈔』下	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	19	寿福軒真鏡著 二代柳川重信画	『日用心法鈔』後編 上	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	20	小田切春江著 森高雅画	『尾張名所図会』前編 四 熱田の浜夕上り魚市	大本	すみだ北斎美術館
●	●	21	小田切春江著 森高雅画	『尾張名所図会』前編 二 青物市	大本	すみだ北斎美術館

2章 自然の恵みをいただく生業						
●		22	葛飾北斎	百人一首うはかゑとき 源宗于朝臣	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		23	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 江尻	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		24	葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道江尻田子の浦略図	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	25	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 飛越の堺つりはし	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	26	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 奥津	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	27	葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道江尻田子の浦略図	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●	28	葛飾北斎	『北斎漫画』十一編 猿の編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	29	葛飾北斎	『富嶽百景』初編 山中の不二	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	30	葛飾北斎	『北斎画式』	大本	すみだ北斎美術館
●	●	31	大蔵永常著 蹄齋北馬画	『製葛録』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	32	葛飾北斎	『北斎漫画』三編	半紙本	すみだ北斎美術館
3章 人を楽しませる生業						
●		33	葛飾北斎	視機関	摺物	すみだ北斎美術館
●		34	魚屋北溪	能十五番 山姥	摺物	すみだ北斎美術館
●		35	二代葛飾戴斗	三番統 鳥追	摺物	すみだ北斎美術館
	●	36	葛飾北斎	浮絵元祖 東都歌舞伎大芝居之図	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	37	葛飾北斎	東海道五十三次 懸川	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	38	葛飾北斎	碁盤人形	摺物	すみだ北斎美術館
●	●	39	葛飾為斎	『万物図解 為斎画式』初帙 羯鼓獅子	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	40	葛飾北斎	『北斎漫画』十五編 雪中	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	41	牧墨僊	『写真学筆 墨僊叢画』	半紙本	すみだ北斎美術館
●		42	葛飾北斎	『一筆画譜』網渡り 逆立 輪抜 枕の曲 神楽獅子	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	43	葛飾北斎	『一筆画譜』網渡り 逆立 輪抜 枕の曲 神楽獅子	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	44	八隅景山著 葛飾北秀画	『養生一言草』	中本	すみだ北斎美術館
●	●	45	葛飾北斎	『北斎漫画』十編 香具師	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	46	葛飾北斎	『絵本庭訓往来』下編	半紙本	すみだ北斎美術館
4章 ものを運ぶ生業						
●		47	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 三島	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		48	葛飾北斎	百人一首字波か縁説 藤原道信朝臣	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		49	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 袋井	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		50	葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道金谷ノ不二	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		51	葛飾北斎	東海道五十三次 川崎	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	52	葛飾北斎	東海道五十三次 舞坂	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	53	葛飾北斎	富嶽三十六景 東海路程ヶ谷	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	54	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 岡部	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	55	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 島田	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	56	葛飾北斎	東海道五十三次 島田	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	57	葛飾北斎	東海道五十三次 蒲原	小判錦絵	すみだ北斎美術館
5章 ものを作る生業						
●		58	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 大津	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	59	葛飾北斎	東海道五十三次 鳴海	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●	60	葛飾北斎	『絵本庭訓往来』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	61	葛飾北斎	『絵本庭訓往来』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	62	二代葛飾戴斗	『万職図考』三編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	63	魚屋北溪	『狂歌三都名所図会』西陣	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	64	葛飾為斎	『花鳥山水 細画図式』五編 かざりし 蒔絵師	横本	すみだ北斎美術館
●	●	65	葛飾北斎	『東遊』鍔匠	大本	すみだ北斎美術館
●	●	66	石川雅望著 葛飾北斎画	『新板 飛驒匠物語』一 飛驒の匠	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	67	二代葛飾戴斗	『万職図考』二編 鍔鑄師	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	68	葛飾北斎	『北斎漫画』九編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	69	寿福軒真鏡著 二代柳川重信画	『主従心得草』四編 下	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	70	葛飾北斎	『北斎漫画』十三編	半紙本	すみだ北斎美術館
●		71	葛飾北斎	富嶽三十六景 尾州不二見原	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		72	葛飾北斎	百人一首字波かゑとき 春道列樹	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		73	葛飾北斎	今戸川	大判錦絵	すみだ北斎美術館

●		74	葛飾北斎	元禄歌仙貝合 うらうつ貝	摺物	すみだ北斎美術館
●		75	葛飾北斎	東海道五十三次 絵本駅路鈴 鳴海	中判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	76	葛飾北斎	富嶽三十六景 遠江山中	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	77	菱川宗理	職人三十六番 かはらけし	摺物	すみだ北斎美術館
	●	78	葛飾北斎	百人一首うばがゑとき 伊勢	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	79	葛飾北斎	元禄歌仙貝合 きぬた貝	摺物	すみだ北斎美術館
	●	80	葛飾北斎	木版画を摺る娘	摺物	すみだ北斎美術館
6章 生業いろいろ						
●		81	葛飾北斎	東海道五十三次 御油	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	82	葛飾北斎	髪結いの武士	摺物	すみだ北斎美術館
●	●	83	曲亭馬琴著 葛飾北斎画	『頼豪阿闍梨怪鼠伝』巻一	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	84	葛飾北斎	『北斎漫画』十二編 治療	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	85	寿福軒真鏡著 二代柳川重信画	『主従心得草』三編 上	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	86	牧墨僊	『写真学筆 墨僊叢画』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	87	鳥亭焉馬著 葛飾北斎画	『仮名手本後日之文章』巻之四	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	88	岳亭春信	『狂歌昼夜行事集』乾	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	89	岳亭春信	『略画職人尽』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	90	魚屋北溪	『職人尽狂歌合』角力 陰陽師	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	91	葛飾北斎	『絵本庭訓往来』中編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	92	葛飾北斎	『北斎漫画』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	93	葛飾北斎	『早指南 四編 画本早引』骨接 本屋 干物 彫物師 干海苔 帆綱	中本	すみだ北斎美術館
●	●	94	葛飾北樹	『花鳥山水 北樹画譜』	中本	すみだ北斎美術館
●	●	95	寿福軒真鏡著 二代柳川重信画	『主従心得草』後編 上	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	96	寿福軒真鏡著 二代柳川重信画	『主従心得草』五編 上	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	97	葛飾北斎	『三体画譜』工商	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	98	葛飾北雲	『北雲漫画』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	99	葛飾北斎	『画本早引』二編 浦人 漆師 鞆猿 裏打 瓜 畑 牛飼 碓眼切 鶉飼	中本	すみだ北斎美術館
●	●	100	葛飾北斎	『北斎漫画』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	101	葛飾北斎	『北斎漫画』二編	半紙本	すみだ北斎美術館
●		102-1	二代柳川重信	『柳川漫画』初編 托鉢 玉屋 六部 飴壳 金 物屋 車力	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	102-2	二代柳川重信	『柳川漫画』初編 作花 納豆壳 馬士 焼芋 顔 見世番付 徳平 小間物屋 紙屑拾	半紙本	すみだ北斎美術館

企画展示 16

「綴プロジェクト」－高精細複製画で綴る－

スミソニアン協会フリーア美術館の北斎展

本展では、フリーア美術館（米国ワシントン D.C.）の協力のもと、特定非営利活動法人 京都文化協会とキヤノン株式会社が推進する「綴(つづり)プロジェクト」によって、同館が誇る世界最大級の北斎の肉筆画コレクションの中から 13 点の高精細複製画を制作、これをすみだ北斎美術館が所蔵する約 130 点の関連作品と共に展示した。



■開催期間：令和元年6月25日（火）から
8月25日（日）まで

■開催施設：3階、4階企画展示室

■観覧料：一般1,000円、高大生・65歳以上700円、中学生・障がい者300円

■観覧者数：29,134人

「綴プロジェクト」 高精細複製画で綴るスミソニアン協会フリーア美術館の北斎展						
前期	後期	出品番号	作者名	作品名	判型・形状	所蔵
1章 「玉川六景図」の研究						
●	●	1	葛飾北斎	玉川六景図（高精細複製画）	紙本着色六曲一双	原画 フリーア美術館
●	●	2	アーネスト F. フェノロサ著 小林文七 編輯	『北斎肉筆画展図録』	冊子	すみだ北斎美術館
●	●	3		『日本美術画報』初編巻九	冊子	すみだ北斎美術館
●		4	葛飾北斎	千鳥の玉川図	紙本着色一幅	すみだ北斎美術館
	●	5	葛飾北斎	柳に燕図	紙本着色一幅	すみだ北斎美術館
●		6	葛飾北斎	詩歌写真鏡 在原業平	長大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	7	葛飾北斎	秀逸六玉川 津の国打衣	中判錦絵	すみだ北斎美術館
●		8	葛飾北斎	百人一首姥かゑとき 菅家	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	9	葛飾北斎	百人一首姥かゑとき 大中臣能宣朝臣	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		10	二代葛飾戴斗	鯉魚	摺物	すみだ北斎美術館
	●	11	二代葛飾戴斗	貼交絵 鯉魚	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		12	葛飾北斎	詩歌写真鏡 安倍の仲麿	長大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	13	葛飾北斎	百人一首うはかゑとき 安倍仲麿	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		14	葛飾北斎	六玉川 ちどり 陸奥	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	15	葛飾北斎	六玉川 近江 野路	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		16	葛飾北斎	六玉川 手作 武蔵	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	17	葛飾北斎	六玉川 山吹 大和井出	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		18	葛飾北斎	六玉川 どく 紀の国かうや	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	19	葛飾北斎	六玉川 とうる 撰津	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●	20	葛飾北斎	『北斎漫画』十編 越後入方の奇火	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	21	葛飾北斎	『略画早指南』後編	中本	すみだ北斎美術館
●	●	22	葛飾北斎ほか	『秀雅百人一首』	中本	すみだ北斎美術館

●	●	23	葛飾北斎	『北斎漫画』十三編 魚籃觀世音	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	24	葛飾北斎	『諸職絵本 新鄙形』唐破風華形	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	25	葛飾北斎	『北斎漫画』十三編 飛泉八体の凶	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	26	葛飾北斎	『北斎漫画』五編 安部仲麿	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	27	葛飾北斎	『絵本庭訓往来』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	28	葛飾北斎ほか	『義烈百人一首』義嗣公	中本	すみだ北斎美術館
●	●	29	葛飾北斎	『絵本女今川』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	30	葛飾北斎	『北斎漫画』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	31	葛飾北斎	『北斎漫画』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	32	葛飾北斎	『椿説弓張月』前編 六	半紙本	すみだ北斎美術館
●		33-1	葛飾北斎	『富嶽百景』二編 海上の不二	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	33-2	葛飾北斎	『富嶽百景』二編 海上の不二 (明治版)	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	34	葛飾北斎	『今様櫛篋雛形』きせるの部	横本	すみだ北斎美術館
●	●	35	葛飾北斎	『略画早指南』後編	中本	すみだ北斎美術館
●	●	36	葛飾北斎	『絵本庭訓往来』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	37	葛飾北斎ほか	『秀雅百人一首』一路居士	中本	すみだ北斎美術館
2章 古典と伝説						
●		38	葛飾北斎	源氏物語 早嵐図 (高精細複製画)	絹本着色一幅	原画 フリーア美術館
●		39	葛飾北斎	貴人と官女図	絹本着色一幅	すみだ北斎美術館
●		40	葛飾北斎	五歌仙 檜扇	摺物	すみだ北斎美術館
●		41	葛飾北斎	五歌仙 衣	摺物	すみだ北斎美術館
●		42	葛飾北斎	五歌仙 梅花	摺物	すみだ北斎美術館
●		43	葛飾北斎	鯉の滝登りを眺める貴人	摺物	すみだ北斎美術館
●		44	葛飾北斎	滝に薪を投げる仕丁と貴人	摺物	すみだ北斎美術館
●		45	葛飾北斎	『北斎漫画』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●		46	葛飾北斎	『北斎漫画』五編 柿本貴僧正	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	47	葛飾北斎	漁礁問答図 (高精細複製画)	絹本着色二幅	原画 フリーア美術館
	●	48	葛飾北斎	漁師図	摺物	すみだ北斎美術館
	●	49	葛飾北斎	百人一首乳母かゑるとき 柿の本人麿	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	50	葛飾北斎	勝景奇覧 甲州身延川	団扇絵判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	51	葛飾北斎	春興五十三駄之内 蒲原	摺物	すみだ北斎美術館
	●	52	葛飾北斎	天の羽衣	摺物	すみだ北斎美術館
	●	53	葛飾北斎	詩歌写真鏡 木賊刈	長大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	54	葛飾北斎	仙人	摺物	すみだ北斎美術館
	●	55	葛飾北斎	『北斎漫画』十四編 山水	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	56	葛飾北斎	雷神図 (高精細複製画)	紙本着色一幅	原画 フリーア美術館
●	●	57	葛飾北斎	『画本武蔵鑑』上 悪源太義平の霊 難波の六郎を引割く	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	58	葛飾北斎	『北斎漫画』三編 雷	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	59	葛飾北斎	『北斎漫画』十二編 雷の怪我	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	60	葛飾北斎	『絵本和漢誉』足柄山 怪童丸	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	61	葛飾北斎	『絵本和漢誉』大江山の鬼賊酒顔童子を退治す 源の頼光朝臣	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	62	葛飾北斎	『絵本武蔵鑑』茨木童子 渡辺の綱	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	63	葛飾北斎	『和漢絵本魁』藤原広嗣の霊 玄暴僧正	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	64	葛飾北斎	『釈迦御一代記図会』六	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	65	葛飾北斎	琵琶に白蛇図 (高精細複製画)	絹本着色一幅	原画 フリーア美術館
●		66	葛飾北斎	葛飾玄武二番続 蛇	摺物	すみだ北斎美術館
	●	67	葛飾北斎	百物語 しうねん	中判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●	68	葛飾北斎	『北斎漫画』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	69	葛飾北斎	『狂歌画譜 藐姑射山』	大本	すみだ北斎美術館
●	●	70	葛飾北斎	『絵本漢楚軍談』初輯 三	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	71	葛飾北斎	『北斎漫画』二編 蚬蛇	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	72	葛飾北斎	『絵本武蔵鑑』下 北条の四郎時政	半紙本	すみだ北斎美術館
3章 美人画						
●		73	葛飾北斎	遊女図 (高精細複製画)	紙本着色一幅	原画 フリーア美術館
●		74	葛飾北斎	風流男達八景 伝吉の晴嵐	中判錦絵	すみだ北斎美術館
●		75	葛飾北斎	仁和嘉狂言 二月 糸ま売の所作	中判錦絵	すみだ北斎美術館
●		76	葛飾北斎	己未美人合之内 常磐津本を見る美人	摺物	すみだ北斎美術館
●		77	葛飾北斎	『実語教幼稚講釈』	中本	すみだ北斎美術館

	●	78	葛飾北斎	年始まわりの遊女図 (高精細複製画)	絹本着色一幅	原画 フリーア美術館
	●	79	葛飾北斎	枕草子を読む娘	摺物	すみだ北斎美術館
	●	80	葛飾北斎	花魁と禿	摺物	すみだ北斎美術館
	●	81	葛飾北斎	『絵本浄瑠璃絶句』夕ぎり伊左衛門廓文章	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	82	葛飾北斎	『盆画独稽古』初編	横本	すみだ北斎美術館
●	●	83	葛飾北斎	新年風俗図(初夢・朝化粧) (高精細複製画)	絹本着色双幅	原画 フリーア美術館
●		84	葛飾北斎	手紙を読む遊女	摺物	すみだ北斎美術館
	●	85	葛飾北斎	仮名手本忠臣蔵 六段目	中判錦絵	すみだ北斎美術館
●		86	葛飾北斎	春興五十三駄之内 庄野	摺物	すみだ北斎美術館
	●	87	葛飾北斎	八はん続 辰巳の里	摺物	すみだ北斎美術館
	●	88	葛飾北斎	春興五十三駄之内 鳴海	摺物	すみだ北斎美術館
●		89	葛飾北斎	『絵本浄瑠璃絶句』小野道風青柳硯	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	90	葛飾北斎	『経島履歴 松王物語』上	半紙本	すみだ北斎美術館
●		91	葛飾北斎	『飛驒匠物語』四	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	92	葛飾北斎	鍋冠祭図 (高精細複製画)	紙本着色二曲一隻	原画 フリーア美術館
●		93	葛飾北斎	『画本狂歌 山満多山』上	大本	すみだ北斎美術館
	●	94	葛飾北斎	『三体画譜』神祇	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	95	葛飾北斎	『富嶽百景』初編 豊作の不二	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	96	葛飾北斎	『北斎漫画』二編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	97	葛飾北斎	『富嶽百景』三編 茅の輪の不二 (明治版)	半紙本	すみだ北斎美術館
4章 動物と植物						
●		98	葛飾北斎	十二ヶ月花鳥図 (高精細複製画)	紙本着色六曲一双	原画 フリーア美術館
●		99	葛飾北斎	富嶽三十六景 相州梅沢左	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		100	葛飾北斎	『北斎漫画』十五編 鶴	半紙本	すみだ北斎美術館
●		101	葛飾北斎	『北斎画鑑』桜 歳魚	大本	すみだ北斎美術館
●		102	葛飾北斎	『北斎漫画』十四編 狐	半紙本	すみだ北斎美術館
●		103	葛飾北斎	『画本彩色通』二編 郭公	中本	すみだ北斎美術館
●		104	葛飾北斎	亀	長大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		105	葛飾北斎	『画本彩色通』初編 鷺	中本	すみだ北斎美術館
●		106	葛飾北斎	『諸職雛形 北斎図式』初編 鶏 (明治版)	横本	すみだ北斎美術館
●		107	葛飾北斎	『北斎漫画』十五編 雀 駝鳥	半紙本	すみだ北斎美術館
●		108	葛飾北斎	『絵本唐詩選五言絶句』坤	半紙本	すみだ北斎美術館
●		109	葛飾北斎	『北斎写真画譜』	大本	すみだ北斎美術館
●		110	葛飾北斎	『唐詩選画本 七言律』卷二	半紙本	すみだ北斎美術館
●		111	葛飾北斎	『略画早指南』初編	中本	すみだ北斎美術館
●		112	魚屋北溪	三十六禽続 子犬	摺物	すみだ北斎美術館
●	●	113	葛飾北斎	蟹尽し図 (高精細複製画)	絹本着色一幅	原画 フリーア美術館
●	●	114	葛飾北斎	『三体画譜』沢蟹ほか	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	115	葛飾北斎	『北斎画式』	大本	すみだ北斎美術館
●	●	116	葛飾北斎	『北斎漫画』十五編 蟹	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	117	葛飾北斎	『今様櫛篋雛形』くしの部 上 まつもにかに	横本	すみだ北斎美術館
●	●	118	葛飾北斎	『諸職雛形 北斎図式』松藻蟹	横本	すみだ北斎美術館
●	●	119	葛飾北斎	『唐詩選画本 七言律』三 万年蟹	半紙本	すみだ北斎美術館
5章 自然と風景						
	●	120	葛飾北斎	富士田園景図 (高精細複製画)	紙本着色六曲一双	原画 フリーア美術館
	●	121	葛飾北斎	富嶽三十六景 下目黒	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	122	葛飾北斎	百人一首乳母か絵説 在原業平	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	123	葛飾北斎	『画本東都遊』下	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	124	葛飾北斎	『北斎漫画』十三編 猶略	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	125	葛飾北斎	『富嶽百景』三編 稲毛領夏の不二	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	126	葛飾北斎	『北斎漫画』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	127	葛飾北斎	富嶽三十六景 駿州片倉茶園ノ不二	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	128	葛飾北斎	百人一首うはかゑとき 小野の小町	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●	129	葛飾北斎	波濤図 (高精細複製画)	絹本着色一幅	原画 フリーア美術館
●		130	葛飾北斎	富嶽三十六景 神奈川沖浪裏	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	131	葛飾北斎	富嶽三十六景 神奈川沖浪裏	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		132	葛飾北斎	勝景奇覧 相州袖ヶ浦	団扇絵判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	133	春梅斎北英	嵐璃寛 漁師浪七 岩井紫若 照手ノまへ	大判錦絵二枚続	すみだ北斎美術館
●	●	134	葛飾北斎	『北斎漫画』五編 三尊屈	半紙本	すみだ北斎美術館

●	●	135	葛飾北斎	『北斎漫画』七編 阿波の鳴戸	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	136	葛飾北斎	『富嶽百景』二編 海上の不二	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	137	葛飾北斎	『諸職絵本 新鄙形』 打下ろすなみ うち上る浪	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	138	葛飾北斎	『椿説弓張月』続編 卷一	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	139	葛飾北斎	『北斎漫画』七編 奥州外ヶ浜	半紙本	すみだ北斎美術館

企画展示 17

北斎没後 170 年記念

茂木本家美術館の北斎名品展

茂木本家美術館はキッコーマン創業家の一つである茂木本家十二代当主茂木七左衛門氏が収集した美術品を展示する美術館であり、同館の多岐にわたる所蔵品の中から、北斎や門人たちの稀少な作品、簀内佐斗司氏による1点ものの北斎の彫刻など、前後期あわせて116点の北斎関連作品を紹介した。

- 開催期間：令和元年9月10日（火）から11月4日（日）まで
- 開催施設：3階、4階企画展示室
- 観覧料：一般1,200円、高大生・65歳以上900円、中学生・障がい者400円
- 観覧者数：24,467人



北斎没後170年記念 茂木本家美術館の北斎名品展						
前期	後期	出品番号	作者名	作品名	判型・形状	所蔵
1 富士を旅する - 富嶽三十六景 -						
I 斬新な構図・工夫された構図						
●		1	葛飾北斎	富嶽三十六景 江戸日本橋	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	2	葛飾北斎	富嶽三十六景 江都駿河町三井見世略図	大判錦絵	茂木本家美術館
●		3	葛飾北斎	富嶽三十六景 東都浅草本願寺	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	4	葛飾北斎	富嶽三十六景 深川万年橋下	大判錦絵	茂木本家美術館
●		5	葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州三島越	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	6	葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州石班沢	大判錦絵	茂木本家美術館
●		7	葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州三坂水面	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	8	葛飾北斎	富嶽三十六景 遠江山中	大判錦絵	茂木本家美術館
●		9	葛飾北斎	富嶽三十六景 尾州不二見原	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	10	葛飾北斎	富嶽三十六景 常州牛堀	大判錦絵	茂木本家美術館
II 厳かな自然と時						
●		11	葛飾北斎	富嶽三十六景 凱風快晴	大判錦絵	茂木本家美術館
●		12	葛飾北斎	富嶽三十六景 凱風快晴 (藍摺版)	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	13	葛飾北斎	富嶽三十六景 神奈川沖浪裏	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	14	葛飾北斎	富嶽三十六景 山下白雨	大判錦絵	茂木本家美術館
●		15	葛飾北斎	富嶽三十六景 相州江の島	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	16	葛飾北斎	富嶽三十六景 相州七里浜	大判錦絵	茂木本家美術館
●		17	葛飾北斎	富嶽三十六景 相州箱根湖水	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	18	葛飾北斎	富嶽三十六景 相州梅沢左	大判錦絵	茂木本家美術館
●		19	葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州伊沢暁	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	20	葛飾北斎	富嶽三十六景 信州諏訪湖	大判錦絵	茂木本家美術館
III 江戸のシンボル・旅情の演出						
●		21	葛飾北斎	富嶽三十六景 武州千住	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	22	葛飾北斎	富嶽三十六景 従千住花街眺望ノ不二	大判錦絵	茂木本家美術館
●		23	葛飾北斎	富嶽三十六景 礪川雪ノ旦	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	24	葛飾北斎	富嶽三十六景 武陽佃島	大判錦絵	茂木本家美術館
●		25	葛飾北斎	富嶽三十六景 東都駿台	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	26	葛飾北斎	富嶽三十六景 隠田の水車	大判錦絵	茂木本家美術館
●		27	葛飾北斎	富嶽三十六景 御厩川岸より両国橋夕陽見	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	28	葛飾北斎	富嶽三十六景 青山円座松	大判錦絵	茂木本家美術館
●		29	葛飾北斎	富嶽三十六景 上総ノ海路	大判錦絵	茂木本家美術館

	●	30	葛飾北斎	富嶽三十六景 下目黒	大判錦絵	茂木本家美術館
●		31	葛飾北斎	富嶽三十六景 登戸浦	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	32	葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道程ヶ谷	大判錦絵	茂木本家美術館
●		33	葛飾北斎	富嶽三十六景 武州玉川	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	34	葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州犬目峠	大判錦絵	茂木本家美術館
●		35	葛飾北斎	富嶽三十六景 相州仲原	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	36	葛飾北斎	富嶽三十六景 隅田川関屋の里	大判錦絵	茂木本家美術館
●		37	葛飾北斎	富嶽三十六景 五百らかん寺さゝもどう	大判錦絵	茂木本家美術館
●		38	葛飾北斎	富嶽三十六景 本所立川	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	39	葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道吉田	大判錦絵	茂木本家美術館
●		40	葛飾北斎	富嶽三十六景 駿州片倉茶園ノ不二	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	41	葛飾北斎	富嶽三十六景 駿州江尻	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	42	葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道江尻田子の浦略図	大判錦絵	茂木本家美術館
●		43	葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道金谷ノ不二	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	44	葛飾北斎	富嶽三十六景 駿州大野新田	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	45	葛飾北斎	富嶽三十六景 身延川裏不二	大判錦絵	茂木本家美術館
●		46	葛飾北斎	富嶽三十六景 諸人登山	大判錦絵	茂木本家美術館
2 瀧をめぐる - 諸国瀧廻り -						
●		47	葛飾北斎	諸国瀧廻り 下野黒髪山きりふりの滝	大判錦絵	茂木本家美術館
●		48	葛飾北斎	諸国瀧廻り 東都葵ヶ岡の滝	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	49	葛飾北斎	諸国瀧廻り 相州大山ろうべんの瀧	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	50	葛飾北斎	諸国瀧廻り 木曾路ノ奥阿弥陀ヶ瀧	大判錦絵	茂木本家美術館
●		51	葛飾北斎	諸国瀧廻り 木曾海道小野ノ瀑布	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	52	葛飾北斎	諸国瀧廻り 美濃ノ国養老の滝	大判錦絵	茂木本家美術館
●		53	葛飾北斎	諸国瀧廻り 東海道坂ノ下清滝くわんおん	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	54	葛飾北斎	諸国瀧廻り 和州吉野義経馬洗滝	大判錦絵	茂木本家美術館
3 奇しき橋をのぞむ - 諸国名橋奇覧 -						
	●	55	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 足利行道山くものかけはし	大判錦絵	茂木本家美術館
●		56	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 かうつけ佐野ふなはしの古づ	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	57	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 かめんど天神たいこぼし	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	58	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 東海道岡崎矢はきのはし	大判錦絵	茂木本家美術館
●		59	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 三河の八つ橋の古図	大判錦絵	茂木本家美術館
●		60	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 ちちぜんふくろの橋	大判錦絵	茂木本家美術館
●		61	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 飛越の堺つりはし	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	62	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 摂州阿治川口天保山	大判錦絵	茂木本家美術館
●		63	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 摂州天満橋	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	64	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 すほうの国きんたいはし	大判錦絵	茂木本家美術館
4 北斎さまざま						
●		65	葛飾北斎	琉球八景 筍崖夕照	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	66	葛飾北斎	千絵の海 総州利根川	中判錦絵	茂木本家美術館
●		67	葛飾北斎	詩歌写真鏡 春道のつらき	長大判錦絵	茂木本家美術館
	●	68	葛飾北斎	詩歌写真鏡 融大臣	長大判錦絵	茂木本家美術館
●		69	葛飾北斎	詩歌写真鏡 木賊刈	長大判錦絵	茂木本家美術館
	●	70	葛飾北斎	木曾路名所一覽	大々判錦絵	茂木本家美術館
●		71	葛飾北斎	江都両国橋夕涼花火之図	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	72	葛飾北斎	百人一首うはかゑと起 持統天皇	大判錦絵	茂木本家美術館
●		73	葛飾北斎	両国夕涼	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	74	葛飾北斎	不式之峯	大判錦絵	茂木本家美術館
●		75	葛飾北斎	農夫芋洗い	中判錦絵	茂木本家美術館
	●	76	葛飾北斎	東海道五十三次 絵本駅路鈴 日本橋	中判錦絵	茂木本家美術館
●		77	葛飾北斎	狂歌五色摺 鉄棒を磨く美人と漢武人	摺物	茂木本家美術館
●	●	78	簀内佐斗司	画狂老人己 (北斎)	彫刻	茂木本家美術館
●	●	79	葛飾北斎	『北斎漫画』 初編	半紙本	茂木本家美術館
●	●	80	葛飾北斎	『北斎漫画』 二編	半紙本	茂木本家美術館
●	●	81	葛飾北斎	『北斎漫画』 三編	半紙本	茂木本家美術館
●	●	82	葛飾北斎	『北斎漫画』 四編	半紙本	茂木本家美術館
●	●	83	葛飾北斎	『北斎漫画』 五編	半紙本	茂木本家美術館
●	●	84	葛飾北斎	『北斎漫画』 六編	半紙本	茂木本家美術館
●	●	85	葛飾北斎	『北斎漫画』 七編	半紙本	茂木本家美術館
●	●	86	葛飾北斎	『北斎漫画』 八編	半紙本	茂木本家美術館
●	●	87	葛飾北斎	『北斎漫画』 九編	半紙本	茂木本家美術館

●	●	88	葛飾北斎	『北斎漫画』十編	半紙本	茂木本家美術館
●	●	89	葛飾北斎	『北斎漫画』十一編	半紙本	茂木本家美術館
●	●	90	葛飾北斎	『北斎漫画』十二編	半紙本	茂木本家美術館
●	●	91	葛飾北斎	『北斎漫画』十三編	半紙本	茂木本家美術館
●	●	92	葛飾北斎	『北斎漫画』十四編	半紙本	茂木本家美術館
●	●	93	葛飾北斎	『北斎漫画』十五編	半紙本	茂木本家美術館
●	●	94	葛飾北斎	『北斎写真画譜』	大本	茂木本家美術館
●	●	95	葛飾北斎	『富嶽百景』初編	半紙本	茂木本家美術館
●	●	96	葛飾北斎	『富嶽百景』二編	半紙本	茂木本家美術館
●	●	97	葛飾北斎	『富嶽百景』三編	半紙本	茂木本家美術館
●	●	98	葛飾北斎	『富嶽百景』二編 七橋一覽の不二		茂木本家美術館
5 門人へのまなざし						
●		99	昇亭北斎	勢州 二見ヶ浦	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	100	昇亭北斎	勢州 二見ヶ浦	大判錦絵	茂木本家美術館
●		101	柳々居辰斎	六郷渡	大判錦絵	茂木本家美術館
	●	102	魚屋北溪	諸国名所 駿州大宮口登山	大短冊判錦絵	茂木本家美術館
●		103	柳々居辰斎	寅まへて酒のましよ	摺物	茂木本家美術館
	●	104	柳々居辰斎	丑紅	摺物	茂木本家美術館
●		105	柳々居辰斎	砂絵	摺物	茂木本家美術館
	●	106	柳々居辰斎	虎戴と装束	摺物	茂木本家美術館
●		107	柳々居辰斎	重箱と正月飾	摺物	茂木本家美術館
●		108	魚屋北溪	蘭陵王	摺物	茂木本家美術館
	●	109	魚屋北溪	古言梯十八番続 うやまひ 恭	摺物	茂木本家美術館
●		110	魚屋北溪	坂田金時と鬼	摺物	茂木本家美術館
	●	111	魚屋北溪	鶴亀松竹之内 松 天の羽衣	摺物	茂木本家美術館
	●	112	魚屋北溪	片口鯛 山椒 黒豆	摺物	茂木本家美術館
	●	113	二代柳川重信	花合 一 高嶺の花	摺物	茂木本家美術館
●		114	二代柳川重信	名馬揃 六 摺墨	摺物	茂木本家美術館
●		115	二代柳川重信	龍の都 三番続 猿と亀	摺物	茂木本家美術館
	●	116	魚屋北溪	『北斎道中画譜』 日本橋		茂木本家美術館

企画展示 18

北斎没後 170 年記念

北斎 視覚のマジック 小布施・北斎館名品展

長野県上高井郡小布施町に開館した北斎館の所蔵作品約 130 点を展示した。北斎の初期から晩年に至る肉筆画をはじめ、祭屋台の天井絵「鳳凰」「男浪」、代表作の錦絵などを紹介し、北斎の構図に存在する構築的要素の魅力を伝えた。

- 開催期間：令和元年 11 月 19 日（火）から
令和 2 年 1 月 19 日（日）まで
- 開催施設：3 階、4 階企画展示室
- 観覧料：一般 1,200 円、高大生・65 歳以上 900 円、
中学生・障がい者 400 円
- 観覧者数：26,201 人



北斎没後 170 年記念 北斎 視覚のマジック 小布施北斎館名品展						
前期	後期	出品番号	作者名	作品名	判型・形状	所蔵
《肉筆画》						
●	●	1	葛飾北斎	東町祭屋台天井絵 鳳凰	桐板着色一面	小布施町東町自治会所蔵、北斎館寄託
●	●	2	葛飾北斎	上町祭屋台天井絵 男浪	桐板着色一面	小布施町上町自治会所蔵、北斎館寄託
	●	3	葛飾北斎	柳下傘持美人	絹本着色一幅	北斎館
●		4	葛飾北斎	二美人	絹本着色一幅	北斎館
●		5	葛飾北斎	三島の玉川	紙本淡彩一幅	北斎館
	●	6	葛飾北斎	調布の玉川	紙本淡彩一幅	北斎館
	●	7	葛飾北斎	吉原遊君八朔の行事	絹本着色一幅	北斎館
●		8	葛飾北斎	桔梗図	紙本着色一幅	北斎館
●		9	葛飾北斎	お福	絹本着色一幅	北斎館
●		10	葛飾北斎	白拍子	絹本着色一幅	北斎館
●		11	葛飾北斎	『肉筆画帖』 福寿草と扇	紙本着色一帖のうち	北斎館
●		12	葛飾北斎	『肉筆画帖』 鷹匠の鷹	紙本着色一帖のうち	北斎館
●		13	葛飾北斎	『肉筆画帖』 はさみと雀	紙本着色一帖のうち	北斎館
●		14	葛飾北斎	『肉筆画帖』 器と梨の花	紙本着色一帖のうち	北斎館
●		15	葛飾北斎	『肉筆画帖』 蛇と小鳥	紙本着色一帖のうち	北斎館
	●	16	葛飾北斎	『肉筆画帖』 ほととぎす	紙本着色一帖のうち	北斎館
	●	17	葛飾北斎	『肉筆画帖』 かれいと撫子	紙本着色一帖のうち	北斎館
	●	18	葛飾北斎	『肉筆画帖』 ゆきのしたと蛙	紙本着色一帖のうち	北斎館
	●	19	葛飾北斎	『肉筆画帖』 鮎	紙本着色一帖のうち	北斎館
	●	20	葛飾北斎	『肉筆画帖』 塩鮭と白鼠	紙本着色一帖のうち	北斎館
	●	21	葛飾北斎	菊図	絹本着色双幅	北斎館
●		22	葛飾北斎	日新除魔 十月十日	紙本墨画一枚	北斎館
	●	23	葛飾北斎	日新除魔 十月十一日	紙本墨画一枚	北斎館
●		24	葛飾北斎	日新除魔 十月廿五日	紙本墨画一枚	北斎館
	●	25	葛飾北斎	日新除魔 十月廿六日	紙本墨画一枚	北斎館
●		26	葛飾北斎	日新除魔 十一月五日	紙本墨画一枚	北斎館
	●	27	葛飾北斎	日新除魔 霜月十三日	紙本墨画一枚	北斎館
	●	28	葛飾北斎	日新除魔 霜月十八日	紙本墨画一枚	北斎館

●		29	葛飾北斎	日新除魔 霜月廿五日	紙本墨画一枚	北斎館
	●	30	葛飾北斎	渡船山水	紙本着色一幅	北斎館
●		31	葛飾北斎	富士越龍	絹本着色一幅	北斎館
《摺物》						
●		32	菱川宗理	宝船	摺物	北斎館
	●	33	葛飾北斎	舟に橋	摺物	北斎館
●		34	葛飾北斎	梅樹	摺物	北斎館
●		35	葛飾北斎	琵琶を弾く弁天	摺物	北斎館
	●	36	葛飾北斎	霞む吉原	摺物	北斎館
	●	37	葛飾北斎	座敷狂言春駒	摺物	北斎館
	●	38	葛飾北斎	金時酒宴	摺物	北斎館
	●	39	葛飾北斎	洗い張り	摺物	北斎館
●		40	葛飾北斎	垣の内	摺物	北斎館
●		41	葛飾北斎	庭先の二美人	摺物	北斎館
●		42	葛飾北斎	舟から降りる深川芸者	摺物	北斎館
●		43	葛飾北斎	伊勢暦を見る娘	摺物	北斎館
	●	44	葛飾北斎	坪庭の鶯	摺物	北斎館
	●	45	葛飾北斎	諸芸三十六のつゝき 笛	摺物	北斎館
●		46	葛飾北斎	隅田川兩岸一覽 駒形	摺物	北斎館
	●	47	葛飾北斎	□□天神(千金の春)	摺物	北斎館
	●	48	葛飾北斎	神功皇后と武内宿禰	摺物	北斎館
	●	49	葛飾北斎	女行列の囃	摺物	北斎館
●		50	葛飾北斎	遠眼鏡	摺物	北斎館
《版画》						
●		51	葛飾北斎	三代目瀬川菊之丞 おそめ	細判錦絵	北斎館
	●	52	葛飾北斎	三代目瀬川菊之丞 大いそのとら	細判錦絵	北斎館
	●	53	葛飾北斎	風流見立狂言 柿山状	小判錦絵	北斎館
●		54	葛飾北斎	三代目大谷廣次 新がた二郎	細判錦絵	北斎館
	●	55	葛飾北斎	新板浮繪忠臣藏 オ七段目	大判錦絵	北斎館
●		56	葛飾北斎	三夕 しき立さわ まきたつ山 うらの苫屋	小判錦絵三枚	北斎館
●		57	葛飾北斎	阿蘭陀画鏡 江戸八景 吉原	小判錦絵	北斎館
●		58	葛飾北斎	阿蘭陀画鏡 江戸八景 高縄	小判錦絵	北斎館
	●	59	葛飾北斎	阿蘭陀画鏡 江戸八景 両国	小判錦絵	北斎館
	●	60	葛飾北斎	阿蘭陀画鏡 江戸八景 観音	小判錦絵	北斎館
	●	61	葛飾北斎	阿蘭陀画鏡 江戸八景 堺町	小判錦絵	北斎館
●		62	葛飾北斎	江都兩國橋夕涼花火之圖	大判錦絵	北斎館
●		63	葛飾北斎	新板浮繪日本橋肴市繁昌之圖	大判錦絵	北斎館
●		64	葛飾北斎	風流おどけ百句 井戸替	小判墨摺絵	北斎館
	●	65	葛飾北斎	妊婦	小判墨摺絵	北斎館
●		66	葛飾北斎	富嶽三十六景 凱風快晴	大判錦絵	北斎館
	●	67	葛飾北斎	富嶽三十六景 山下白雨	大判錦絵	北斎館
	●	68	葛飾北斎	富嶽三十六景 東都駿墓	大判錦絵	北斎館
●		69	葛飾北斎	富嶽三十六景 武州千住	大判錦絵	北斎館
	●	70	葛飾北斎	富嶽三十六景 武州玉川	大判錦絵	北斎館
	●	71	葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州犬目峠	大判錦絵	北斎館
●		72	葛飾北斎	富嶽三十六景 武陽佃島	大判錦絵	北斎館
●		73	葛飾北斎	富嶽三十六景 相州七里濱	大判錦絵	北斎館
●		74	葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州石班澤	大判錦絵	北斎館
●		75	葛飾北斎	富嶽三十六景 相州梅澤左	大判錦絵	北斎館
	●	76	葛飾北斎	富嶽三十六景 東都淺艸本願寺	大判錦絵	北斎館
	●	77	葛飾北斎	富嶽三十六景 信州諏訪湖	大判錦絵	北斎館
	●	78	葛飾北斎	富嶽三十六景 常州牛堀	大判錦絵	北斎館
	●	79	葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州三寫越	大判錦絵	北斎館
●		80	葛飾北斎	富嶽三十六景 江都駿河町三井見世略圖	大判錦絵	北斎館
●		81	葛飾北斎	富嶽三十六景 下目黒	大判錦絵	北斎館
●		82	葛飾北斎	富嶽三十六景 登戸浦	大判錦絵	北斎館
	●	83	葛飾北斎	富嶽三十六景 上總ノ海路	大判錦絵	北斎館
●		84	葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道吉田	大判錦絵	北斎館
	●	85	葛飾北斎	富嶽三十六景 江戸日本橋	大判錦絵	北斎館
●		86	葛飾北斎	富嶽三十六景 御厩川岸の兩國橋夕陽見	大判錦絵	北斎館
	●	87	葛飾北斎	富嶽三十六景 五百らかん寺さゞみどう	大判錦絵	北斎館

	●	88	葛飾北斎	富嶽三十六景 礪川雪ノ旦	大判錦絵	北斎館
●		89	葛飾北斎	富嶽三十六景 隠田の水車	大判錦絵	北斎館
	●	90	葛飾北斎	富嶽三十六景 相州江の鳶	大判錦絵	北斎館
●		91	葛飾北斎	富嶽三十六景 相州箱根湖水	大判錦絵	北斎館
	●	92	葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道江尻田子の浦略畷	大判錦絵	北斎館
●		93	葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道の程ヶ谷	大判錦絵	北斎館
●		94	葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州三坂水面	大判錦絵	北斎館
	●	95	葛飾北斎	富嶽三十六景 従千住花街眺望ノ不二	大判錦絵	北斎館
●		96	葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道品川御殿山ノ不二	大判錦絵	北斎館
●		97	葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州伊沢眺	大判錦絵	北斎館
	●	98	葛飾北斎	富嶽三十六景 身延川裏不二	大判錦絵	北斎館
	●	99	葛飾北斎	富嶽三十六景 相州仲原	大判錦絵	北斎館
	●	100	葛飾北斎	富嶽三十六景 駿州片倉茶園ノ不二	大判錦絵	北斎館
●		101	葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道金谷ノ不二	大判錦絵	北斎館
●		102	春婦斎北妙	富嶽三十六景 信州諏訪湖	豆判錦絵	北斎館
●		103	春婦斎北妙	富嶽三十六景 甲州石班澤	豆判錦絵	北斎館
●		104	春婦斎北妙	富嶽三十六景 東都浅州本願寺	豆判錦絵	北斎館
	●	105	春婦斎北妙	富嶽三十六景 遠江山中	豆判錦絵	北斎館
	●	106	春婦斎北妙	富嶽三十六景 下目黒	豆判錦絵	北斎館
	●	107	春婦斎北妙	富嶽三十六景 上総海路	豆判錦絵	北斎館
	●	108	春婦斎北妙	富嶽三十六景 登戸浦	豆判錦絵	北斎館
	●	109	春婦斎北妙	富嶽三十六景 江戸日本橋	豆判錦絵	北斎館
●		110	春婦斎北妙	富嶽三十六景 隅田川関屋の里	豆判錦絵	北斎館
●		111	春婦斎北妙	富嶽三十六景 東海道の程ヶ谷	豆判錦絵	北斎館
	●	112	春婦斎北妙	富嶽三十六景 御厩川岸の両国橋夕陽	豆判錦絵	北斎館
●		113	春婦斎北妙	富嶽三十六景 相州江の鳶	豆判錦絵	北斎館
	●	114	葛飾北斎	諸國名橋奇覽 山城あらし山吐月橋	大判錦絵	北斎館
●		115	葛飾北斎	諸國名橋奇覽 かめると天神たいこばし	大判錦絵	北斎館
●		116	葛飾北斎	諸國名橋奇覽 足利行道山くものかけはし	大判錦絵	北斎館
	●	117	葛飾北斎	諸國名橋奇覽 攝州天満橋	大判錦絵	北斎館
	●	118	葛飾北斎	諸國名橋奇覽 摂州阿治川口天保山	大判錦絵	北斎館
●	●	119	葛飾北斎	諸國名橋奇覽 ちちぜんふくろの橋	大判錦絵	北斎館
●		120	葛飾北斎	諸國名橋奇覽 すほうの国きんたいはし	大判錦絵	北斎館
●		121	葛飾北斎	諸國名橋奇覽 東海道岡崎矢はきのはし	大判錦絵	北斎館
	●	122	葛飾北斎	諸國名橋奇覽 飛越の堺つりはし	大判錦絵	北斎館
●		123	葛飾北斎	諸國名橋奇覽 かうづけ佐野ふなはしの古づ	大判錦絵	北斎館
●		124	葛飾北斎	琉球八景 城嶽靈泉	大判錦絵	北斎館
	●	125	葛飾北斎	琉球八景 糸村竹籬	大判錦絵	北斎館
	●	126	葛飾北斎	琉球八景 中島蕉園	大判錦絵	北斎館
《版本》						
●		127	葛飾北斎	『春の曙』	折帖一帖	北斎館
●	●	128	葛飾北斎	『潮来絶句集』	中本	北斎館
●	●	129	葛飾北斎	『絵本隅田川兩岸一覽』	大本 3冊	北斎館
●	●	130	葛飾北斎	『百囀』	大本	北斎館
●	●	131	葛飾北斎	『智恵次第箱根結』	中本	北斎館
●	●	132	葛飾北斎	『新編水滸画伝』初編	半紙本 11冊	北斎館
●	●	133	葛飾北斎	『近世怪談霜夜星』	半紙本 5冊	北斎館
●	●	134	葛飾北斎	『勢田橋竜女本地』	半紙本 3冊	北斎館
●	●	135	葛飾北斎	『絵本浄瑠璃絶句』	半紙本	北斎館
●	●	136	葛飾北斎	『今様櫛篋雛形』	横本 3冊	北斎館
	●	137	葛飾北斎	『富嶽百景』	半紙本 3冊	北斎館

企画展示 19

北斎師弟対決！

北斎とその門人の作品を同じテーマで比較展示し、両者のそれぞれの画風や特徴、影響関係に迫った。

画題ごとに北斎と弟子の作品を分け、4つの章で両者の作品を見比べ、北斎のみならず弟子たちの作品の魅力を紹介した。

■開催期間：令和2年2月4日（火）から
4月5日（日）まで

■開催施設：3階、4階企画展示室

■観覧料：一般1,000円、高大生・65歳以上700円、
中学生・障がい者300円

■観覧者数：8,156人
(2月4日～4月5日まで)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2020年2月29日（土）から3月15日（日）まで臨時休館、翌16日（月）は通常休館日のため休館。3月20（金）より再開（後期展示に展示替えして開館）、終了日は変更なし。



北斎師弟対決！						
前期	後期	出品番号	作者名	作品名	判型・形状	所蔵
1章 人物						
●		1	葛飾北斎	大黒酒宴図	摺物	すみだ北斎美術館
●		2	雪斎	門松と遊女	摺物	すみだ北斎美術館
	●	3	葛飾北斎	鼠なき	摺物	すみだ北斎美術館
	●	4	葛飾北斎	七番の内 あけまき	摺物	すみだ北斎美術館
●	●	5	葛飾北斎	『北斎漫画』三編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	6	葛飾北斎	『略画早指南』初編 すゝめおどり	中本	すみだ北斎美術館
●	●	7	葛飾北斎	『北斎漫画』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●		8	岳亭春信	かつしか六番つゞき	摺物	すみだ北斎美術館
	●	9	岳亭春信	かつしか六番つゞき	摺物	すみだ北斎美術館
●	●	10	葛飾北斎	『北斎漫画』六編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	11	岳亭春信	『狂歌水滸伝』歌林堂糸道	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	12	葛飾北斎	『椿説弓張月』前編 三 紀平治大洋に船を追ふ	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	13	葛飾正久	『絵本為朝一代記』	小本	すみだ北斎美術館
●		14	葛飾北斎	春興五十三駄之内 白須賀	摺物	すみだ北斎美術館
	●	15	葛飾北斎	春興五十三駄之内 白須賀	摺物	すみだ北斎美術館
●	●	16	葛飾応為	『女重宝記』四 女ぼう香きく処	大本	すみだ北斎美術館
●		17	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 土山	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●		18	魚屋北溪	『画本駅路鈴』中 鞠子	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	19	葛飾北斎	五十三次江都の往かい 赤坂	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	20	魚屋北溪	『五十三次 北斎道中画譜』下 藤川	半紙本	すみだ北斎美術館
●		21	葛飾北斎	雪中二美人	摺物	すみだ北斎美術館
●		22	柳々居辰斎	兎手柄斬 六	摺物	すみだ北斎美術館
	●	23	葛飾北斎	春興五十三駄之内 藤沢	摺物	すみだ北斎美術館
	●	24	葛飾北斎	若菜五番の内	摺物	すみだ北斎美術館
●		25	葛飾北斎	鎌倉の権五郎景政 鳥の海弥三郎保則	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		26	卍楼北斎	椿説弓張月巻中略図 山雄（狼ノ名也）主のために 蟒蛇を嚙て山中に軀を止む	大判錦絵三枚続	すみだ北斎美術館
	●	27	葛飾北斎	鏡美人	摺物	すみだ北斎美術館
	●	28	抱亭五清	懐中鏡の美人	摺物	すみだ北斎美術館

2章 風景						
●		29	葛飾北斎	『東遊』 新吉原	大本	すみだ北斎美術館
●		30	昇亭北寿	江戸名所十景 新吉原桜の風景	中判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	31	葛飾北斎	『東遊』 王子稲荷社	大本	すみだ北斎美術館
	●	32	昇亭北寿	江戸名所十景 王子稲荷社の風景	中判錦絵	すみだ北斎美術館
●		33	葛飾北斎	『画本東都遊』 佃 白魚網	大本	すみだ北斎美術館
●		34	昇亭北寿	江戸名所十景 佃島白魚網風景	中判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	35	葛飾北斎	『画本東都遊』 待乳山	大本	すみだ北斎美術館
	●	36	昇亭北寿	江戸名所十景 待乳山風景	中判錦絵	すみだ北斎美術館
●		37	葛飾北斎	富嶽三十六景 隠田の水車	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		38	春婦齋北妙	富嶽三十六景 隠田の水車	豆判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	39	葛飾北斎	富嶽三十六景 武州千住	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	40	春婦齋北妙	富嶽三十六景 武州千住	豆判錦絵	すみだ北斎美術館
●		41	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 ちぢぜんふくみの橋	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		42	春婦齋北妙	諸国名橋奇覧 ちぢぜんふくみの橋	豆判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	43	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 東海道岡崎矢はきのはし	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	44	春婦齋北妙	諸国名橋奇覧 東海道岡崎矢はきのはし	豆判錦絵	すみだ北斎美術館
●		45	葛飾北斎	新板浮絵両国喬夕涼花火見物の凶	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		46	昇亭北寿	新板浮絵両国橋夕景色之凶	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	47	葛飾北斎	東都十二景 おちやのミツ	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	48	昇亭北寿	東都御茶之水風景	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		49	葛飾北斎	諸国瀧廻り 美濃ノ国養老の滝	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		50	魚屋北溪	養老の滝	摺物	すみだ北斎美術館
	●	51	葛飾北斎	富嶽三十六景 御厩川岸より両国橋夕陽見	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	52	魚屋北溪	諸国名所 伊豆手石の弥陀	横長判錦絵	すみだ北斎美術館
3章 動物						
●	●	53	葛飾北斎	『標注そののゆき』 一 第二節婦薄雪姫	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	54	柳斎重春	『秋葉霊験 絵本金石譚』 前編 二	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	55	葛飾北斎	『北斎漫画』 初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	56	二代葛飾戴斗	『画本柳樽』 七編	中本	すみだ北斎美術館
●	●	57	葛飾北斎	『唐詩選画本 五言律』 二	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	58	二代葛飾戴斗	『神功皇后 三韓退治図会』 三 翠燕孤児を将て猛虎に逢	大本	すみだ北斎美術館
●	●	59	葛飾北斎	『北斎漫画』 十三編 奔虎	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	60	葛飾為斎	『山水花鳥早引漫画』 第三編 猛虎	中本	すみだ北斎美術館
●	●	61	葛飾北斎	『北斎漫画』 二編 ねこ	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	62	魚屋北溪	『北里十二時』	大本	すみだ北斎美術館
●	●	63	葛飾為斎	『山水花鳥早引漫画』 第二編 猫	中本	すみだ北斎美術館
●	●	64	葛飾北斎	『北斎漫画』 二編 てん	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	65	葛飾為斎	『山水花鳥早引漫画』 第三編 粘	中本	すみだ北斎美術館
●	●	66	葛飾北斎	『北斎漫画』 初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	67	葛飾為斎	『山水花鳥早引漫画』 第二編 連獅子	中本	すみだ北斎美術館
●	●	68	葛飾北斎	『絵本庭訓往来』 初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	69	二代柳川重信	『狂歌言葉のやちまた』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	70	葛飾北斎	『北斎漫画』 三編 河童 海馬	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	71	葛飾為斎	『山水花鳥早引漫画』 第二編 河童 海馬	中本	すみだ北斎美術館
●		72	葛飾北斎	小禽	摺物	すみだ北斎美術館
●		73	二代葛飾戴斗	『花鳥画伝』 初編 加奈阿利	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	74	葛飾北斎	『北斎漫画』 初編	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	75	二代葛飾戴斗	『万職図考』 初編 をしどり	半紙本	すみだ北斎美術館
●		76	葛飾北斎	『北斎漫画』 三編 錦鶏	半紙本	すみだ北斎美術館
●		77	二代葛飾戴斗	『花鳥画伝』 二編 錦鶏	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	78	葛飾北斎	『三体画譜』 燕	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	79	二代葛飾戴斗	『花鳥画伝』 初編 鶯 乙鳥	半紙本	すみだ北斎美術館
4章 エトセトラ						
●	●	80	葛飾北斎	『椿説弓張月』 前編 一 木綿山に雷公重季を撃	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	81	葛飾北斎	『唐金藻右衛門 金華夕映』 五 日親弘法して釜中に煮らるゝ	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	82	葛飾北斎	『椿説弓張月』 前編 六	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	83	葛飾北斎	『唐金藻右衛門 金華夕映』 四 泉二郎隠形の術をもて身を逃る	半紙本	すみだ北斎美術館

●	●	84	葛飾北斎	『近世怪談 霜夜星』四卷	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	85	二代葛飾戴斗	『絵本通俗三国志』二編 十 于吉靈王清観に出現して孫策を悩す	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	86	葛飾北斎	『新編水滸画伝』十一編 五十五 時遷火を放て翠雲楼を焼	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	87	二代葛飾戴斗	『絵本通俗三国志』五編 七 傅士仁糜芳悞て失火す	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	88	葛飾北斎	『経島履歴 松王物語』上 尊恵夢に森羅殿昇る	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	89	二代葛飾戴斗	『画本西遊全伝』四編 三 悟空們妖怪が洞門をやく	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	90	葛飾北斎	『墨田川梅柳新書』四 天狗源吾們を劫して松稚をすくふ	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	91	蹄斎北馬	『柳の糸』三 平太郎九原に怪獣を斬る	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	92	葛飾北斎	『近世怪談 霜夜星』一	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	93	二代葛飾戴斗	『神功皇后 三韓退治図会』二 陳倫孤児を韓土へ送らんと祈念して自害す 鵬阿誤と剣を圃空中へさる	大本	すみだ北斎美術館
●	●	94	葛飾北斎	『春宵奇譚 絵本壁落穂』前編 一 義興の靈江戸兄弟を亡す	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	95	二代葛飾戴斗	『画本西遊全伝』三編 六	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	96	葛飾北斎	『椿説弓張月』続編 卷一 讃岐院の冥助為朝の船を行る	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	97	葛飾北斎	『十嘉栄利花』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	98	葛飾北斎	『近世怪談 霜夜星』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	99	二代葛飾戴斗	『絵本通俗三国志』初編 七 董卓が樞雷電に碎る	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	100	葛飾北斎	『椿説弓張月』続編 卷三 石櫃を破て矇雲出現す	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	101	二代葛飾戴斗	『画本西遊全伝』四編 五 青竜山の妖怪三蔵を撰去	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	102	葛飾北斎	『北斎漫画』九編 仁田の四郎忠常富士の巖窟に至る	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	103	葛飾北斎	『忠兵衛梅川赤繩奇縁伝 古之花双紙』 忠兵衛刃太が幽棲を搜索	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	104	葛飾北斎	『墨田川梅柳新書』三	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	105	蹄斎北馬	『報讎奇談 自来也説話』後編 肆 汀の靈魂怨采男代々衣図	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	106	葛飾北斎	『近世怪談 霜夜星』四	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	107	葛飾北明	『復讐奇談 幸物語』四	半紙本	すみだ北斎美術館

企画展示 20

大江戸歳事記

北斎と楽しむ四季のイベント

江戸時代の人々の年中行事に焦点を当て、北斎や門人たちの描いた当時の風俗を紹介し、季節ごとの行事や行商などの風俗を描いた作品を展示した。

- 開催期間：令和2年4月21日（火）から5月17日（日）まで
- 開催施設：3階企画展示室
- 観覧料：一般1,000円、高大生・65歳以上700円、中学生・障がい者300円
- 観覧者数：6,358人
(6月30日～8月30日まで)

※新型コロナウイルス感染症対策の為、会期を2020年6月30日から8月30日に変更。

前期：6月30日（火）～8月2日（日）、後期：8月4日（火）～8月30日（日）に変更。



大江戸歳事記 北斎と楽しむ四季のイベント						
前期	後期	出品番号	作者名	作品名	判型・形状	所蔵
12か月						
●		1	蹄齋北馬	江戸町人風俗図	絹本着色一幅	公益財団法人 摘水軒 記念文化振興財団 すみだ北斎美術館寄託
	●	2	蹄齋北馬	十二か月物売図	絹本着色一幅	すみだ北斎美術館
春						
●	●	3	葛飾北斎	『富嶽百景』初編 元旦の不二	半紙本	すみだ北斎美術館
●		4	葛飾北斎	年礼	摺物	すみだ北斎美術館
	●	5	葛飾北斎	年始の武士	摺物	すみだ北斎美術館
●	●	6	魚屋北溪	『北溪漫画』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●		7	蹄齋北馬	門松と遊女	摺物	すみだ北斎美術館
	●	8	葛飾北斎	門松	摺物	すみだ北斎美術館
●		9	葛飾北斎	狂歌師像集 鳴子綱彦	摺物	すみだ北斎美術館
	●	10	葛飾北斎	元禄歌仙貝合 あこや貝	摺物	すみだ北斎美術館
●		11	葛飾北斎	井戸端の美人	摺物	すみだ北斎美術館
	●	12	葛飾北斎	水を汲む美人	摺物	すみだ北斎美術館
●		13	葛飾北斎	六女草紙合 土佐日記	摺物	すみだ北斎美術館
	●	14	葛飾北斎	己未美人合之内 屠蘇を運ぶ婦人	摺物	すみだ北斎美術館
●		15	葛飾北斎	万歳図	紙本着色一幅	すみだ北斎美術館
	●	16	蹄齋北馬	酩酊の万歳図	紙本着色一幅	すみだ北斎美術館
●		17	葛飾北斎	座敷万歳	摺物	すみだ北斎美術館
	●	18	蹄齋北馬	正月料理を食べる万歳	摺物	すみだ北斎美術館
●	●	19	葛飾北秀	『養生一言草』	中本	すみだ北斎美術館
●	●	20	長谷川雪旦	『江戸名所図会』二	大本	すみだ北斎美術館
●		21	柳々居辰斎	猿曳	摺物	すみだ北斎美術館
	●	22	柳々居辰斎	猿曳	摺物	すみだ北斎美術館
●	●	23	蹄齋北馬	『化粧阪閨中仇討』	中本	すみだ北斎美術館
●	●	24	葛飾北斎	『三七全伝南柯夢』第五巻 絃歌を売って三勝良人を看病す	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	25	歌川貞秀	『南総里見八犬伝』第九輯第七套 七拾九	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	26	二代柳川重信	『日用心法鈔』後編 中	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	27	魚屋北溪	『評判飲食狂歌合』下	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	28	蹄齋北馬	『狂歌続歓娛集』	半紙本	すみだ北斎美術館
●		29	柳々居辰斎	七草の美人	摺物	すみだ北斎美術館

	●	30	葛飾北斎	七草の母子	摺物	すみだ北斎美術館
●		31	辰川	福寿草と茶碗になずな	摺物	すみだ北斎美術館
	●	32	柳々居辰斎	鉢と茶碗になずな	摺物	すみだ北斎美術館
●	●	33	葛飾北斎	『画本武蔵鑑』下	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	34	葛飾北斎	『北斎漫画』二編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	35	葛飾北樹	『花鳥山水 北樹画譜』	中本	すみだ北斎美術館
●	●	36	葛飾北秀	『養生一言草』 二日灸	中本	すみだ北斎美術館
●	●	37	二代葛飾戴斗	『万職図考』五編 於事始	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	38	葛飾北斎	『北斎漫画』三編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	39	二代葛飾戴斗	『画本柳樽』七編	中本	すみだ北斎美術館
●	●	40	葛飾北斎	『北斎漫画』三編 吒积尼天 稻荷大明神	半紙本	すみだ北斎美術館
●		41	葛飾北斎	『画本狂歌 山満多山』上	大本	すみだ北斎美術館
	●	42	葛飾北斎	『画本狂歌 山満多山』上	大本	すみだ北斎美術館
●	●	43	葛飾北斎	『春宵奇譚 絵本壁落穂』前編 三 花見の庭にて弥生求馬をみそめる	半紙本	すみだ北斎美術館
●		44	大山北李	享保雛図	絹本着色一幅	すみだ北斎美術館
	●	45	葛飾北斎	雛祭り	摺物	すみだ北斎美術館
●	●	46	葛飾北斎	『東遊』十軒店雛市	大本	すみだ北斎美術館
●	●	47	抱亭五清	『狂歌年中行事』上	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	48	二代葛飾戴斗	『万職図考』二編 たちひみな	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	49	長谷川雪旦	『江戸名所図会』一 鎌倉町豊島屋酒店 白酒を商ふ図	大本	すみだ北斎美術館
●	●	50	葛飾北斎	『北斎漫画』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●		51	葛飾北斎	『画本東都遊』浅草祭	大本	すみだ北斎美術館
	●	52	葛飾北斎	『画本東都遊』中 浅草祭	大本	すみだ北斎美術館
夏						
●	●	53	葛飾北斎	『北斎画』目に青葉山郭公初松魚	大本	すみだ北斎美術館
●	●	54	葛飾北斎	『釈迦御一代記図会』二 悉達太子御誕生の図	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	55	岳亭春信	『金石狂歌集』	半紙本	すみだ北斎美術館
●		56	蹄齋北馬	初鰹を盗られる男図	紙本着色一幅	すみだ北斎美術館
	●	57	葛飾北斎	朱描鍾馗図	絹本着色一幅	すみだ北斎美術館
●	●	58	岳亭春信	『金石狂歌集』上	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	59	十返舎一九	『狂歌関東百題集』 五月五日	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	60	二代柳川重信	『南総里見八犬伝』第九輯第三套 五拾九六拾合本	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	61	葛飾北秀	『養生一言草』 雛 菖蒲太刀	中本	すみだ北斎美術館
●	●	62	岳亭春信	『狂歌五老峯』下	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	63	葛飾為斎	『山水花鳥早引漫画』第初編 とそ 年神ちまき	中本	すみだ北斎美術館
●	●	64	魚屋北溪	『狂歌 東都十二景』	半紙本	すみだ北斎美術館
●		65	葛飾北斎	『画本狂歌 山満多山』上	大本	すみだ北斎美術館
	●	66	葛飾北斎	『画本狂歌 山満多山』上	大本	すみだ北斎美術館
●	●	67	長谷川雪旦	『江戸名所図会』十二 落合螢	大本	すみだ北斎美術館
●	●	68	葛飾北斎	『富嶽百景』三編 茅の輪の不二	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	69	葛飾北斎	『略画早指南』後編	中本	すみだ北斎美術館
●	●	70	葛飾北斎	『富嶽百景』二編 井戸浚の不二	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	71	蹄齋北馬	『狂歌新手集』乾	半紙本	すみだ北斎美術館
●		72	葛飾北斎	『東都勝景一覧』上 山王祭	大本	すみだ北斎美術館
	●	73	葛飾北斎	『東都名所一覧』上 山王祭	大本	すみだ北斎美術館
秋						
●	●	74	葛飾北斎	『富嶽百景』初編 七夕の不二	半紙本	すみだ北斎美術館
●		75	葛飾北斎	『画本狂歌 山満多山』中	大本	すみだ北斎美術館
	●	76	葛飾北斎	『画本狂歌 山満多山』中	大本	すみだ北斎美術館
●	●	77	葛飾応為	『女重宝記』五 たなばたまつり	大本	すみだ北斎美術館
●	●	78	葛飾北斎	『唐詩選画本 七言律』一	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	79	葛飾北斎	『北斎漫画』十二編 素麺	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	80	葛飾北斎	『一筆画譜』盆踊	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	81	葛飾北斎	『環魂紙料』下 正保のころ画卷に載たる七夕踊の図	大本	すみだ北斎美術館
●	●	82	柳川重信	『柳川画帖』	半紙本	すみだ北斎美術館

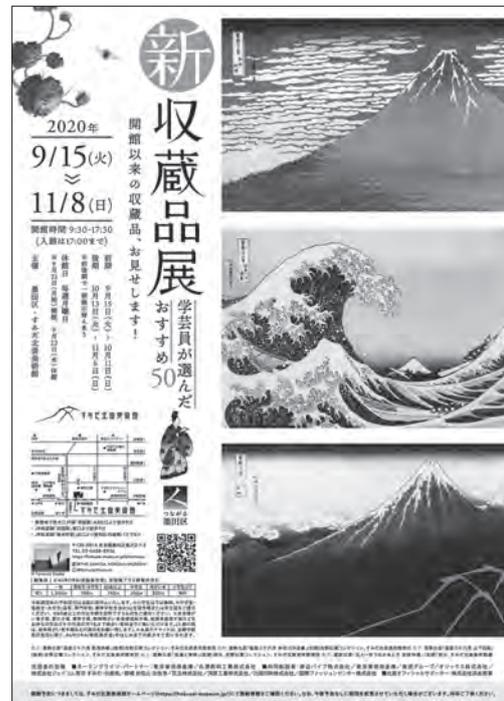
●	●	83	岳亭春信	『俳諧画譜集』下	中本	すみだ北斎美術館
●		84	葛飾北斎	『東都勝景一覽』下 深川八幡祭礼	大本	すみだ北斎美術館
	●	85	葛飾北斎	『東都勝景一覽』下 深川八幡祭礼	大本	すみだ北斎美術館
●		86	葛飾北斎	『絵本狂歌 山満多山』中	大本	すみだ北斎美術館
	●	87	葛飾北斎	『絵本狂歌 山満多山』中	大本	すみだ北斎美術館
●	●	88	二代柳川重信	『国宝大雑書』	中本	すみだ北斎美術館
●		89	葛飾北斎	勝景雪月花 東都隅田の月	小判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	90	葛飾北斎	雪月花 淀川	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		91	葛飾北斎	菊慈童	摺物	すみだ北斎美術館
	●	92	葛飾北斎	仁和嘉狂言 九月 じどうのおどり屋たい	中判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●	93	魚屋北溪	『北溪漫画』初編	半紙本	すみだ北斎美術館
●		94	葛飾北斎	『東都名所一覽』下 芝神明	大本	すみだ北斎美術館
	●	95	葛飾北斎	『東都勝景一覽』下 芝神明	大本	すみだ北斎美術館
●	●	96	長谷川雪旦	『江戸名所図会』十四 神田明神祭礼	大本	すみだ北斎美術館
冬						
●	●	97	葛飾為斎	『山水花鳥 早引漫画』第初編 いのこ	中本	すみだ北斎美術館
●		98	葛飾北斎	『東都名所一覽』下 堀之内雑司谷会式詣	大本	すみだ北斎美術館
	●	99	葛飾北斎	『東都勝景一覽』下 堀之内雑司谷会式詣	大本	すみだ北斎美術館
●	●	100	葛飾為斎	『日蓮上人一代図会』陸 日蓮上人池上に於て御入滅御座之図	大本	すみだ北斎美術館
●		101	葛飾北斎	新板浮絵三芝居顔見世大人之図	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	102	葛飾北斎	為朝と汐汲	摺物	すみだ北斎美術館
●	●	103	二代柳川重信	『狂歌言葉のやちまた』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	104	蹄齋北馬	袴着の祝い図	紙本着色一幅	個人蔵
●	●	105	長谷川雪旦	『江戸名所図会』十六 報恩講	大本	すみだ北斎美術館
●		106	葛飾北斎	雪月花 隅田	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	107	葛飾北斎	勝景雪月花 東都品川の雪	小判錦絵	すみだ北斎美術館
●	●	108	葛飾北斎	『狂歌三愛集』雪	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	109	葛飾北斎	『北斎漫画』四編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	110	岳亭春信	『狂歌吉原形四季細見』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	111	柳川重信	『柳川画帖』	半紙本	すみだ北斎美術館
●		112	葛飾北斎	『東都勝景一覽』下 浅草年市	大本	すみだ北斎美術館
	●	113	葛飾北斎	『東都名所一覽』下 浅草年市	大本	すみだ北斎美術館
●	●	114	葛飾北斎	『忠臣蔵当振舞』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	115	岳亭春信	『略画職人尽』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	116	葛飾北斎	『北斎画譜』上編	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	117	葛飾北斎	『絵本 小倉百句』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	118	葛飾北斎	『皿皿郷談』壺	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	119	牧墨僊	『写真学筆 墨僊叢画』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	120	岳亭春信	『今春土産 福寿草』 壽の巻	中本	すみだ北斎美術館
●	●	121	作者不詳	『落嘶仕立おろし』 かけ取	中本	すみだ北斎美術館
●	●	122	二代柳川重信	『柳川漫画』初編 賃餅 ほか	中本	すみだ北斎美術館

企画展示 21

新収蔵品展 学芸員が選んだおすすめ50

平成28年(2016)の開館以降に収集した肉筆画、版画、版本の中から、当館学芸員が選んだ50点の作品を展示した。本展の展示作品の多くが初公開となり、開館以来の収蔵品を紹介した。

- 開催期間：令和2年9月15日(火)から
11月8日(日)まで
- 開催施設：3階企画展示室
- 観覧料：一般1,000円、高大生・65歳以上700円、
中学生・障がい者300円
- 観覧者数：9,265人



新収蔵品展 学芸員が選んだおすすめ50						
前期	後期	出品番号	作者名	作品名	判型・形状	所蔵
肉筆画						
●		1	葛飾北斎	鬼蓮と寒蟬	紙本着色一幅	吉野石膏コレクション すみだ北斎美術館寄託
	●	2	葛飾北斎	蛤売り図	紙本淡彩一幅	すみだ北斎美術館
●		3	葛飾北一	美人座姿図	紙本着色一幅	滴水軒記念文化振興財団 すみだ北斎美術館寄託
	●	4	葛飾北一	大黒と大根図	絹本淡彩一幅	すみだ北斎美術館
●		5	抱亭五清	鯉魚遊泳図	紙本淡彩一幅	すみだ北斎美術館
	●	6	蹄斎北馬	梅下美人図	絹本着色一幅	すみだ北斎美術館
●		7	蹄斎北馬	月下美人図	絹本着色一幅	すみだ北斎美術館
	●	8	葛飾為斎	角兵衛獅子図	紙本着色一幅	すみだ北斎美術館
	●	9	葛飾為斎	渡船山水図	絹本淡彩一幅	すみだ北斎美術館
●		10	森高雅	鹿図	紙本淡彩一幅	すみだ北斎美術館
版画						
●		11	葛飾北斎	狂歌師像集 棚珍厚丸	摺物	すみだ北斎美術館
●		12	葛飾北斎	虎皮の煙草入れと暦	摺物	すみだ北斎美術館
	●	13	葛飾北斎	七福神の獅子舞	摺物	すみだ北斎美術館
	●	14	柳々居辰斎	琴曲表ノ三 乱りん舌	摺物	すみだ北斎美術館
●		15	岳亭春信	かつしか六番つゞき	摺物二枚続	すみだ北斎美術館
	●	16	葛飾北斎	新板浮絵浦島龍宮入の図	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		17	葛飾北斎	百人一首うはかゑとき 安倍仲麿	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	18	葛飾北斎	仮名手本忠臣蔵 十一段	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		19	葛飾北斎	百人一首うはかゑとき 文屋朝康	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	20	北亭為直	頼光大江山凱陣 源頼光朝臣 卜部季武	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		21	葛飾北斎	富嶽三十六景 相州七里浜	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	22	葛飾北斎	富嶽三十六景 凱風快晴	大判錦絵	吉野石膏コレクション すみだ北斎美術館寄託
●		23	葛飾北斎	富嶽三十六景 神奈川冲浪裏	大判錦絵	吉野石膏コレクション すみだ北斎美術館寄託
	●	24	葛飾北斎	富嶽三十六景 山下白雨	大判錦絵	吉野石膏コレクション すみだ北斎美術館寄託
●		25	昇亭北寿	江戸名所十景 新吉原桜の風景	中判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	26	昇亭北寿	江戸名所十景 待乳山風景	中判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	27	昇亭北寿	東都御茶之水風景	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		28	昇亭北寿	東都深川洲崎従弁天望海上	大判錦絵	すみだ北斎美術館

	●	29	月岡芳年、己 楼北対、三代 歌川豊国	江戸の花名勝会 ぬ 十番組 吉原 新 吉原月松桜 市川竹之丞	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		30	葛飾為斎、三 代歌川豊国、 長谷川雪堤	江戸花花名勝会 ち 十番組 花川戸 市川団十郎 花川戸嬉野里	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		31	昇斎一景	東京名所四十八景 御厩河岸あすまばし	大判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	32	昇斎一景	東京名所四十八景 隅田堤つゝき木母寺 遠景	大判錦絵	すみだ北斎美術館
●		33	葛飾北斎	東海道五十三次 絵本駅路鈴 十五 吉原	中判錦絵	すみだ北斎美術館
	●	34	葛飾北斎	東海道五十三次 絵本駅路鈴 五十 土山	中判錦絵	すみだ北斎美術館
版本						
●	●	35	葛飾北斎	『東海道五十三次 絵本駅路鈴』	画帖仕立一帖	すみだ北斎美術館
●	●	36	魚屋北溪	『画本駅路鈴』	半紙本 3 冊	すみだ北斎美術館
●	●	37	是和斎	『本性酷暑 有難通一字』	中本	すみだ北斎美術館
●	●	38	葛飾北周	『返咲八重之仇討』	中本	すみだ北斎美術館
●	●	39	葛飾北岱	『十嘉栄利花』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	40	蹄斎北馬	『田村物語』	半紙本 6 冊	すみだ北斎美術館
●	●	41	葛飾北嵩	『唐金藻右衛門 金華夕映』	半紙本 6 冊	すみだ北斎美術館
●	●	42	葛飾北雲	『夕霧書替文章』	半紙本 5 冊	すみだ北斎美術館
●	●	43	柳川重信、二 代柳川重信、 歌川貞秀、溪 斎英泉	『南総里見八犬伝』	半紙本 106 冊	すみだ北斎美術館
●	●	44	葛飾北斎	『五拾人一首 五十鈴川狂歌車』	大本	すみだ北斎美術館
●	●	45	葛飾北斎	『勝鹿図志 手くりふね』	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	46	葛飾北斎	『北斎漫画』 初篇	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	47	二代葛飾戴斗	『山水花鳥早引漫画』 第二編	中本	すみだ北斎美術館
●	●	48	葛飾為斎	『花鳥山水図式』 初編～二編 『花鳥山水 細画図式』 三編～五編	横本 5 冊	すみだ北斎美術館
●	●	49	葛飾北斎	『己痴群夢多字画尽』 後編	中本	すみだ北斎美術館
●	●	50	葛飾北斎	『北斎略画手ほどき』	中本	すみだ北斎美術館

企画展示 22

GIGA・MANGA 江戸戯画から近代漫画へ

いまや世界共通言語となった日本の漫画=MANGA。本展では、江戸時代の風刺表現である戯画を現代認識されている漫画的表現の出発点として日本の漫画の変遷を展覧し、江戸時代の浮世絵版画から明治・大正時代の諷刺漫画雑誌、昭和戦中期の子ども漫画等を紹介した。

■開催期間：令和2年11月25日（火）から

1月24日（日）まで

■開催施設：3、4階企画展示室

■観覧料：一般1,200円、高大生・65歳以上900円、
中学生・障がい者400円

■観覧者数：6,290人



GIGA・MANGA 江戸戯画から近代漫画へ							
前期	中期	後期	出品番号	作者名	作品名	判型・形状	所蔵
第1章 商品としての量産漫画の誕生 江戸中期からの戯画の大衆化 ～戯画本・戯画浮世絵～							
1-1 江戸の出版 「鳥羽絵」本の登場と様々な戯画スタイル							
●	●	●	1	竹原春潮斎	『鳥羽絵欠とめ』	半紙本	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●			2	大岡春卜	『鳥羽絵三国志』	半紙本	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	3	作者不詳	『軽筆鳥羽車』	半紙本	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●		4	長谷川光信	『鳥羽絵筆ひやうし』	半紙本	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
		●	5	河村文鳳	『文鳳画』	半紙本	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●			6	作者不詳	鳥羽絵風戯画 腕相撲	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●		7	作者不詳	鳥羽絵風戯画 唄の稽古	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
		●	8	歌川国貞（初代）	鳥羽絵の升六 四代目中村芝翫 大きな児鼠	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
		●	9	寿好堂よし国	鳥羽絵 三代目中村歌右衛門 九変化の内	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●			10	有楽斎長秀	後篇 大新板文字画姿	大判墨摺絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●		11	有楽斎長秀	大新板文字画姿	大判墨摺絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
		●	12	歌川小芳盛	しん板文字絵つくし	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
		●	13	歌川広重（初代）	狂筆蝠寿の姿見	間判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●			14	歌川国利	有が多気御代の蔭絵	大判錦絵二枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●		15	河鍋暁斎	新板かげづくし	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●			16	歌川広重（初代）	即興かけぼしづくし	大判錦絵二丁掛	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム

	●		17	歌川国輝 (二代)	しんはんかげゑんし	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●			18	歌川国芳	人をばかにした人だ	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●		19	河鍋暁斎	曲結雅画手本	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●			20	歌川国芳	浮世よしづ久志	大判錦絵二 枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
		●	21	歌川国芳	人かたまつて人になる	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●		22	歌川国芳	としよりのよふな若い人 だ	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
		●	23	歌川国芳	みかけハこハゐがとんだ いい人だ	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
		●	24	作者不詳	北国のおばけ	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
		●	25	歌川貞房	寿三面布袋	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●		26	歌川広重 (初 代)	狂戯芸づくし 三	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
		●	27	歌川広重 (初 代)	狂戯芸づくし 五	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●			28	作者不詳	大津絵 酒呑み猿	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●		29	作者不詳	大津絵 鷹匠	錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
		●	30	歌川国貞 (初 代)	大津絵 鬼の念仏	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●			31	歌川国貞 (初 代)	大津絵所作ノ内 げほふは しごずり 大こく ふくろ く	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●		32	河鍋暁斎	「狂斎百図」 大津絵の東 下り	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
		●	33	歌川広重 (三 代)	浮世又平師匠の追善ニ 百万べんをする図	大判錦絵二 枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●			34	作者不詳	死絵 八代目市川團十郎 行年三十二才	大判錦絵二 枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●		35	作者不詳	死絵 八代目市川團十郎	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
		●	36	作者不詳	鹿島神、鯰を制す	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
		●	37	作者不詳	流行三人生酔	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●		38	作者不詳	名石千歳剣	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●		39	作者不詳	古今まれなる大地しん	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●			40	作者不詳	死者におびえる鯰の親子	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●			41	作者不詳	骨抜どうせう なまづ大家 破焼	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●			42	歌川芳豊 (初 代)	道戯手遊合戦	大判錦絵三 枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●		43	歌川国芳	墨戦之図	大判錦絵三 枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●			44	作者不詳	鳥羽画卷物之内尻合戦	大判錦絵二 枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●		45	作者不詳	尻合戦兵糧之図	大判錦絵二 枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
		●	46	歌川芳虎	病と薬の大合戦	大判錦絵三 枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
		●	47	作者不詳	名物合戦之図	大判錦絵二 枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●		49	作者不詳	尾上松助と叶福助	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム

●			50	作者不詳	源平首引戯図	大判錦絵三枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
		●	51	梅の本鶯齋	麻疹護調延寿鑑	大判錦絵二枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●			52	歌川芳盛（初代）	諸人麻疹退治之図	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●			53	歌川国綱	こかねの花たからの蔵入	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
		●	54	歌川国盛（二代）	大福吉日 福神婚礼の図	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
	●		55	歌川芳綱	しん板福神あそび	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
	●		57	歌川周重	けんざらへ戯歌	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
		●	58	歌川芳艶（初代）	けんのけいこ	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム

1 - 2 漫画の源流『北斎漫画』

●	●	●	59-2	葛飾北斎	『北斎漫画』初編（明治版） 幽霊に驚く	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	●	60-2	葛飾北斎	『北斎漫画』二編（明治版） 地獄	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●	●	61-2	葛飾北斎	『北斎漫画』三編（明治版） 雀踊り図	半紙本	すみだ北斎美術館
●			64-1	葛飾北斎	『北斎漫画』六編 格闘の ための手の使い方	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	●	64-2	葛飾北斎	『北斎漫画』六編（明治版） 格闘のための手の使い方	半紙本	すみだ北斎美術館
		●	66-1	葛飾北斎	『北斎漫画』八編 無礼講	半紙本	すみだ北斎美術館
●			67-1	葛飾北斎	『北斎漫画』九編 士卒英 気養図	半紙本	すみだ北斎美術館
●			68-1	葛飾北斎	『北斎漫画』十編 芸競べ 図	半紙本	すみだ北斎美術館
	●	●	68-2	葛飾北斎	『北斎漫画』十編（明治版） 芸競べ図	半紙本	すみだ北斎美術館
		●	69-1	葛飾北斎	『北斎漫画』十一編 夢	半紙本	すみだ北斎美術館
		●	70-1	葛飾北斎	『北斎漫画』十二編 屎別 所	半紙本	すみだ北斎美術館
●	●		70-2	葛飾北斎	『北斎漫画』十二編（明治 版） 屎別所	半紙本	すみだ北斎美術館
●			71-1	葛飾北斎	『北斎漫画』十三編 銃眼 縮	半紙本	すみだ北斎美術館
	●		72-1	葛飾北斎	『北斎漫画』十四編 風下 の獅子	半紙本	すみだ北斎美術館
	●		73-1	葛飾北斎	『北斎漫画』十五編 桃太 郎	半紙本	すみだ北斎美術館

1 - 3 江戸のヒットメーカー・歌川国芳と諷刺画

●			74	歌川国芳	源頼光公館土蜘蛛妖怪図	大判錦絵三枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
	●		75	歌川国芳	きたいなめい医難病療治	大判錦絵三枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●			76	歌川国芳	浮世又平名画奇特	大判錦絵二枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
	●		77	作者不詳	雷鳴遠近図画	大判錦絵二枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
		●	78	歌川国芳	ねむけざまし	大判錦絵三枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
		●	79	歌川国芳	地獄図	大判錦絵三枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●			80	歌川国芳	心学稚絵得（誠と嘘）	一枚絵（中短冊版）	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
		●	81	歌川国芳	心学稚画得（天に口あり 壁に耳あり）	一枚絵（中短冊版）	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
	●		82	歌川国芳	道外浄瑠璃尽 けいせみ返 魂香／昔八丈	間版錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム

	●	84	歌川芳虎	道外武者御代の若餅	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●	85	金堂	三職よろこび餅	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●	86	歌川芳員	道化狂画	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●	87	作者不詳	道化狂画 解説図	紙本着色一枚	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●		88	作者不詳	当時流好諸喰商人尽	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●		89	作者不詳	大そふじ	大判錦絵二枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●		90	作者不詳	夏の夜虫合戦	大判錦絵二枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●	91	作者不詳	神恵朋世記	大判錦絵三枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●	92	作者不詳	おそろししのけだもの	大判錦絵二枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●	94	作者不詳	月見之たわむれ	大判錦絵二枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●	95	作者不詳	浮世風呂一ト口文句	大判錦絵二枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●	96	隅田了古	道外西遊記	大判錦絵二枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●	98	作者不詳	茶番狂言忠臣蔵	大判錦絵二枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●		99	作者不詳	官金取立寄合	大判錦絵二枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●		101	作者不詳	御ぞんじ戯勝負	大判錦絵二枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●		102	作者不詳	子供遊勇当独楽	大判錦絵二枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●	103	作者不詳	子供遊端午のにぎわい	大判錦絵二枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●	105	隅田了古	子供戯三人生酔	大判錦絵二枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●		106	作者不詳	節分	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●	107	作者不詳	近世やかま獅子退散図	間倍版錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●	108	作者不詳	権兵へ種蒔かへ歌	中判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
1 - 4 江戸戯画で多用された表現方法						
●		110	歌川芳藤	心夢吉凶鏡	大判錦絵三枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●		111	作者不詳	諸職吾沢銭	大判錦絵二枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●	112	歌川国芳	阿沙丸後二景清 十二代目市村羽左衛門、法作後二天日坊 四代目中村歌右衛門、内海 三代目藤川花友	大判錦絵三枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●	113	作者不詳	浮世ハ夢だ夢だ	大判錦絵二枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●	114	菊水茂広	子かへしをする人の地獄図	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●	115	歌川国芳	四代目中村歌右衛門、初代中村福助、三代目関三十郎	大判錦絵三枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●		116	歌川広重（初代）	教訓人間一生貧福両道中之図	大判錦絵三枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●	117	歌川貞重	教訓三界図会	大判錦絵三枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●		118	作者不詳	往生要集	大判墨摺絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム

●			119	作者不詳	新板当世一口ばなし	間倍版錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●		120	歌川国芳	道化武者づくし	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
		●	121	歌川芳虎	狐にばかされる	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
		●	122	歌川芳藤	婦人一代出世双六	大倍版錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●			123	玉川舟調	新版日蓮上人御一生記	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●			124	歌川芳虎	鎌倉星月夜	大判錦絵三 枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●		125	歌川広景	青物魚軍勢大合戦之図	大判錦絵三 枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
		●	126	作者不詳	道化狂けん尽し	大判錦絵二 枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
		●	127	歌川国貞 (初代)	春夕美女の湯かゑり	大判錦絵三 枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●		128	歌川国貞 (初代)	踊形容楽屋之図／踊形容 新開入之図	大判錦絵六 枚続 (変型)	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
		●	129	歌川国貞 (初代)	奴風平 三代目市川市蔵、 小林朝比奈 初代中村福 助、手越喜瀬川、左衛門 祐経 六代目市川團蔵	大判錦絵三 枚続 (変型)	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●			130	歌川豊春	浮絵鼠嫁入図	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●			131	葛飾北斎	『北斎漫画』三編	半紙本	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
1 - 5 歌川広重の「江戸名所道戯尽」							
	●	●	132	葛飾北斎	『北斎漫画』十二編	半紙本	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●			133	歌川広景	江戸名所道戯尽 二 両国 の夕立	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●		134	歌川広景	江戸名所道戯尽 三 浅草 反甫の奇怪	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●		135	歌川広景	江戸名所道化尽 七 新シ 橋の大風	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
		●	136	歌川広景	江戸名所道化尽 十一 下 谷御成道	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●		137	歌川広景	江戸名所道化尽 十七 通 一丁目祇園会	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
		●	138	歌川広景	江戸名所道戯尽 二十二 御蔵前の雪	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●			139	歌川広景	江戸名所道外尽 二十八 妻恋こみ坂の景	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●		140	歌川広景	江戸名所道戯尽 三十一 砂村せんき稲荷	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
		●	141	歌川広景	江戸名所道戯尽 三十四 筋違御門うち	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
		●	142	歌川広景	江戸名所道外尽 四十九 内藤しん宿	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
1 - 6 河鍋曉斎の「曉斎百図」							
●			143	河鍋曉斎	「狂斎百図」 小坊主に天 狗八人／ふぐハ喰たし命 はおしし	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●			144	河鍋曉斎	「狂斎百図」 地獄デ仏	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●		145	河鍋曉斎	「狂斎百図」 やぶからぼ ふ／七賢人	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●		146	河鍋曉斎	「狂斎百図」 かげ弁慶／ 盗人にをいせん	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●			147	河鍋曉斎	「狂斎百図」 鰯のあたま もしんじから／娘ひとり に聳八人	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム

●			148	河鍋曉斎	「狂斎百図」 馬のみみニ風／牛にひかれて善光寺まいり	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
	●		149	河鍋曉斎	「狂斎百図」 鳩に三枝のれいあり／鳥にはんほの考あり	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
	●		150	河鍋曉斎	「狂斎百図」 にくまれ物世にはばかる／うのまねするからす	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
		●	151	河鍋曉斎	「狂斎百図」 ながいものにはまかれろ	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
		●	152	河鍋曉斎	「狂斎百図」 ぬかにくぎ／とうふにかすがい	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
		●	153	河鍋曉斎	「狂斎百図」 馬士ニモ位装	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
		●	154	河鍋曉斎	「狂斎百図」 蛙の児はかへるニなる／かゑるのつらへ水	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●			155	河鍋曉斎	「狂斎百図」 やぶにまくわ	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●			156	河鍋曉斎	「狂斎百図」 捨る紙あれバたすける神有	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
	●		158	河鍋曉斎	「狂斎百図」 貧すればどんする	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
	●		159	河鍋曉斎	「狂斎百図」 かべに馬をのりかける／めしの上のはい	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
		●	160	河鍋曉斎	「狂斎百図」 なす時の焰魔かほ かりる時の地蔵かほ	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
		●	161	河鍋曉斎	「狂斎百図」 銭ヲヘガス人／爪へ火をとます人／老れノ学文	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●			162	河鍋曉斎	「狂斎百図」 ぶたのかるわざ	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●			163	河鍋曉斎	「狂斎百図」 あいた口へおはき／恋に上下のへだてなし	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
	●		164	河鍋曉斎	「狂斎百図」 百物かたり	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
	●		165	河鍋曉斎	「狂斎百図」 灰吹から大蛇	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●			166	河鍋曉斎	「狂斎百図」 書の大天狗／象の鼻引	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●			167	河鍋曉斎	「狂斎百図」 すずめ踊り	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
		●	168	河鍋曉斎	「狂斎百図」 おたふくに白酒／ばかにつける薬はない	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
		●	169	河鍋曉斎	「狂斎百図」 あたまかくして尻かくさず	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
		●	170	河鍋曉斎	「狂斎百図」 義理トふんとし／盆ト正月	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
		●	171	河鍋曉斎	「狂斎百図」 てふちんニつり鐘／三人よれば文殊ノ知恵	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
	●		172	河鍋曉斎	「狂斎百図」 鬼の留主にせんたく／をやににぬ子ハ鬼児	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
	●		173	河鍋曉斎	「狂斎百図」 地蔵のかをも三度なずればはらヲタツ／をれはいわぬがわれ云ナ	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●			174	河鍋曉斎	「狂斎百図」 とふとい寺ハ門から知れる	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム

●			175	河鍋暁斎	「狂斎百図」 かべにミミあり／ごんべが種まきやからすがほぢくる	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
	●		176	河鍋暁斎	「狂斎百図」 をへそか茶をわかす／親のすねかぢり	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
	●		177	河鍋暁斎	「狂斎百図」 学者の不身もち／朱にまじわれハ赤くなる	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
	●		179	河鍋暁斎	「狂斎百図」 魚心あれば水こころあり／あまり物には福か有	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
	●		180	河鍋暁斎	「狂斎百図」 笑ふ門にハ福来たる	小判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
第2章 職業漫画家の誕生 ～ポンチ・漫画の時代～							
2-1 最後の戯画錦絵の時代							
●			181	昇斎一景	娘教訓二面鏡 四	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
	●		183	昇斎一景	東京名所三十六戯撰 根岸の里	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
		●	184	昇斎一景	東京名所三十六戯撰 数寄屋河岸	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●			185	昇斎一景	東京名所三十六戯撰 芝増上寺	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●			187	河鍋暁斎	暁斎楽画 第三号 化々学校	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
	●		189	小林清親	清親ポンチ 東京芳町	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
		●	190	小林清親	三十二相追加百面相 かなしひ／けむい／むせた／くやしひ	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
		●	192	笹木芳滝	大阪錦画新聞 第三号	中判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●			193	歌川芳雪	流行鳥獸興廃競	大判錦絵三枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
	●		194	歌川芳虎	当世流行咄し	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
		●	196	歌川国利	流行星の珍説	大判錦絵二枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●			197	大森清風	善悪蛙珍聞	大判錦絵二枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
	●		199	小林清親	酒機嫌十二相之内 独言を云ふ酒癖	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
		●	202	月岡芳年	東京開化狂画名所 尾張町日報社田舎者の旧法／有楽町無法の生酔	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
	●		203	月岡芳年	芳年略画 桃太郎鬼ヶ島行／丹前姿	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●			204	月岡芳年	芳年略画 蝙蝠之五段目／鐘之世界	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
		●	205	月岡芳年	芳年略画 応挙之幽霊／雪舟活画	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
	●		208	歌川芳虎	士族の商法	大判錦絵二枚続	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
	●		209	長谷川貞信(二代)	大阪新聞錦画 第九号	中判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
		●	211	落合芳幾	弱虫コロコロ五豕十豕之図	大判錦絵	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
2-2 西欧からの影響と雑誌ブーム							
●	●	●	212	チャールズ・ワーグマン	『THE JAPAN PUNCH』1883年5月号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	213	仮名垣魯文	『絵新聞日本地』第1号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	214	仮名垣魯文	『絵新聞日本地』第2号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム

●	●	●	215		『團圓珍聞』第1号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●			216		『團圓珍聞』第508号 眼を廻す器械	一枚絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●	●	217		『團圓珍聞』第530号 思想の積荷	一枚絵	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	218		『驥尾團子』第63号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	221		『驥尾團子』第133号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	222		『月とスツポンチ』第18号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	223	ジョルジュ・ビゴー	『TÔBAÉ』10号／33号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	224		『滑稽新聞』第109号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●			225		『滑稽新聞』第120号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●		226		『滑稽新聞』第122号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
		●	227		『滑稽新聞』第124号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	228		『大阪滑稽新聞』第1号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	229		第1次『東京パック』第1巻第4号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●			233		第1次『東京パック』第3巻第1号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
		●	237		第1次『東京パック』第7巻第2号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●		238		第1次『東京パック』第7巻第26号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	241		『大阪パック』第7年第23号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	242		『大阪パック』第8年第6号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	243		『漫画日本』第38巻第3号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	244		『読物と漫画』第41巻第14号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
2-3 ポンチ本ブームから漫画本へ							
●	●	●	245	牧金之助	『日露ポンチ』其六	書籍	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●			246	牧金之助	『戦勝ポンチ』其二	書籍	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●		247	作者不詳	『ハイカラポンチ』	書籍	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
		●	248	作者不詳	『日露大戦争 仁川ポンチ』	書籍	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	249	田口米作	『滑稽画談 長短の巻』	書籍	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●			250	小杉未醒	『漫画一年』	書籍	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
	●		251	小川芋銭	『草汁漫画』	書籍	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
		●	252	森田太三郎	『名流漫画』	書籍	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
2-4 大正時代の漫画家と雑誌 その1							
●	●	●	253		第2次『東京パック』第10巻第13号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	256		第3次『東京パック』第12巻第3号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム
●	●		257		第3次『東京パック』第15巻第2号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター ／京都国際マンガミュージアム

		●	258		第3次『東京パック』第15巻第7号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	259		『楽天パック』第1巻第1号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	260		『トバエ』第2巻第1号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●		261		『トバエ』第2巻第2号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
		●	262		『トバエ』第2巻第3号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	263		『トバエ』第2巻第4号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	264		『漫画』第1巻第1号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●			265		『漫画』第1巻第2号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
	●	●	267		『漫画』第1巻第5号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	269		時事新報日曜付録『時事漫画』第132号	新聞	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	270		時事新報日曜付録『時事漫画』第137号	新聞	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	272		『子供パック』第1巻第1号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
2-5 大正時代の漫画家と雑誌 その2							
●	●	●	273	飯沢天羊	『諷刺漫画』	書籍	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	274	岡本一平	『漫画小説 人の一生』	書籍	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	276	成沢玲川編	『西洋漫画 安楽椅子』	書籍	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	277	伊東忠太ほか	『阿修羅帖』第1巻	書籍	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	278	日本漫画会	『大震災画集』	書籍	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	279	小星・東風人	『お伽 正チャンの冒険』一の巻	書籍	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	280	小星・東風人	『お伽 正チャンの冒険』二の巻	書籍	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	281	ジョージ・マクマナス	『親爺教育』第1集	書籍	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	282	麻生豊	『長編漫画 ノンキナトウサン』巻ノ三	書籍	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	283	麻生豊	『長編漫画 ノンキナトウサン』	書籍	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
第3章 ストーリー漫画の台頭 ～昭和初期から終戦まで～							
3-1 昭和初期の漫画雑誌とナンセンス漫画の流行							
●	●	●	284		『漫画雑誌』第1巻第2号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●			285		『漫画雑誌』第1巻第5号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
	●		286		『漫画雑誌』第1巻第6号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
		●	288		『漫画雑誌』第3巻第5号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	289		第4次『東京パック』第18巻第3号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	291		第4次『東京パック』第18巻第6号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	295		『月刊マンガ・マン』第2年第3号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●			296		読売新聞日曜付録『読売サンデー漫画』1931(昭和6)年1月1日号	新聞	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム

	●		297		読売新聞日曜付録『読売サンデー漫画』1931（昭和6）年2月1日号	新聞	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
		●	298		読売新聞日曜付録『読売サンデー漫画』1931（昭和6）年2月15日号	新聞	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	299		『漫画の国』第1巻第3号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●			300		『漫画の国』第1巻第5号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
	●		302		『漫画の国』第4巻第49号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
		●	303		『漫画の国』第4巻第54号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	304		『漫画』第8巻第9号	雑誌	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
3-2 昭和戦前の漫画本							
●	●	●	305	岡本一平編	『児童漫画集』	書籍	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	306		『現代漫画大観』全10編のうち第1編から第3編、第6編から第8編、第10編	書籍	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	307	下川凹天	『裸の世相と女』	書籍	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	308	岡本一平	『一平全集』全15巻	書籍	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	309	北沢楽天	『楽天全集』全7巻	書籍	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	310	宍戸左行	『スピード太郎』	書籍	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	311	横山隆一	『江戸ッ子健ちゃん』	書籍	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	312	平井房人	『家庭報国 思ひつき夫人』全3集	書籍	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	313	秋玲二	『勉強漫画』	書籍	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	315	杉浦幸雄	『ハナ子さん』	書籍	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	316	日本漫画奉公会編著	『決戦漫画集』	書籍	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	317	田河水泡	『のらくろ鬼少尉』（『少年倶楽部』第24巻第1号付録）	書籍	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	319	田河水泡	『珍品のらくろ草』	書籍	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	320	阪本牙城	『タンク・タンクロー』（『幼年倶楽部』第9巻第4号付録）	書籍	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
●	●	●	321	島田啓三	『冒険ダン吉』	書籍	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム

企画展示 23

筆魂 線の引力・色の魔力

- 又兵衛から北斎・国芳まで -

本展では、浮世絵の先駆とされる岩佐又兵衛をはじめ、60人に及ぶ浮世絵師の肉筆画約125点を展覧した。重要文化財、重要美術品、新発見、再発見、初公開作品約40点を含み、浮世絵の源流である肉筆画を通して、浮世絵の歴史や絵師の巧みな線の引力、色の魔力、そして絵に宿る筆魂を紹介した。

■開催期間：令和3年2月9日（火）から
4月4日（日）まで

■開催施設：3、4階企画展示室

■観覧料：一般1,200円、高大生・65歳以上900円、
中学生・障がい者400円

■観覧者数：13,247人



筆魂 線の引力・色の魔力 - 又兵衛から北斎・国芳まで -						
前期	後期	作品番号	作者名	作品名	判型・形状	所蔵
1章 浮世絵の黎明から18世紀前期まで						
1節 岩佐又兵衛と近世初期風俗画						
●		1	岩佐又兵衛	弄玉仙図 (旧 金谷屏風)	紙本墨画淡彩一幅	摘水軒記念文化振興財団 千葉市美術館寄託
	●	2	岩佐又兵衛	龐居士図 (旧 金谷屏風)	紙本着色一幅	福井県立美術館
	●	3	岩佐又兵衛	和漢故事説話図 祇王	紙本着色一幅	福井県立美術館
●		4	岩佐又兵衛	和漢故事説話図 浮舟	紙本着色一幅	福井県立美術館
●		5	岩佐又兵衛	本間孫四郎遠矢図	紙本着色一幅	大谷美術館
●		6	作者不詳	遊楽図	紙本着色六曲一隻	個人蔵
	●	7	作者不詳	貴船神社参詣図	紙本着色一幅	個人蔵
●		8	作者不詳	紅葉狩り図	紙本着色一幅	個人蔵
●		9	作者不詳	寛文美人図	絹本着色一幅	遠山記念館
	●	10	作者不詳	寛文美人図	紙本着色一幅	個人蔵
	●	11	作者不詳	寛文美人図	絹本着色一幅	個人蔵
	●	12	作者不詳	上野浅草吉原図	紙本着色六曲一隻	摘水軒記念文化振興財団
2節 師宣・安度・長春とその流派						
●		13	菱川師宣	二美人と若衆図	絹本着色一幅	個人蔵 福井県立美術館寄託
	●	14	菱川師宣	馬上若衆図	絹本着色一幅	個人蔵
	●	15	菱川師宣	美人弾琴図	絹本着色一幅	個人蔵
●		16	菱川師平	髪結い図	絹本着色一幅	個人蔵
●		17	古山師重	娘と若衆の垣根越しの恋	紙本着色一幅	個人蔵
	●	18	古山師政	雪兔図	紙本着色一幅	個人蔵
●		19	懐月堂安度	やじろべえをもつ立美人図	紙本着色一幅	個人蔵
	●	20	懐月堂安度	七福神図	絹本着色一幅	個人蔵
●		21	懐月堂安度	草摺引 曾我物語	絹本着色一幅	個人蔵
	●	22	懐月堂度種	美人立姿図	紙本着色一幅	個人蔵 福井県立美術館寄託
	●	23	松野親信	縁台美人図	紙本着色一幅	個人蔵 福井県立美術館寄託
●		24	松野親信	立美人姿図	絹本着色一幅	個人蔵 福井県立美術館寄託
	●	25	梅翁軒永春	芝居図 嵐和歌野	紙本着色一幅	個人蔵
●		26	梅祐軒勝信	立ち美人図	紙本着色一幅	個人蔵
●		27	田村水鷗	義経 静御前	絹本着色一幅	個人蔵
	●	28	山崎龍女	蚊帳内美人文読みの図	紙本着色一幅	個人蔵
●		29	宮川長春	立美人図	絹本着色一幅	個人蔵

	●	30	宮川長春	立美人図	紙本着色一幅	個人蔵
●		31	宮川長春	万歳図	絹本着色一幅	個人蔵
	●	32	宮川長春	身支度の図	紙本着色一幅	個人蔵
●		33	宮川一笑	遊女聞香図	紙本着色一幅	個人蔵
	●	34	宮川長亀	正月賑わいの図	紙本着色一幅	個人蔵
2章 浮世絵の繁栄						
1節 政信・清長・湖龍斎・春章とその流派						
●		35	奥村政信	見立小督図	絹本着色一幅	川崎・砂子の里資料館
	●	36	川又常行	月旦図	紙本着色一幅	個人蔵 福井県立美術館寄託
●		37	川又常正	見立羅生門図	紙本着色一幅	個人蔵
●		38	川又常正	ほおずきを持つ美人	紙本着色一幅	個人蔵
	●	39	鳥居清春	踊りの図	紙本着色一幅	個人蔵 福井県立美術館寄託
●		40	鳥居清長	恵美須屋見世先図	絹本着色一幅	江戸東京博物館
	●	41	鳥居清長	徒然草画卷	53図貼全3巻のうち紙本着色一図	東京藝術大学
●		42	磯田湖龍斎	桜下美人図	絹本着色一幅	個人蔵
	●	43	磯田湖龍斎	三番叟	絹本着色一幅	個人蔵
	●	44	窪俊満	桜柳下二美人図	絹本着色一幅	個人蔵
●		45	窪俊満	花魁図	紙本着色一幅	個人蔵
	●	46	北尾政演	花魁と禿図	絹本着色一幅	回向院
●		47	勝川春水	縁先美人立姿図	絹本着色一幅	個人蔵
	●	48	勝川春章	文読む美人図	絹本着色一幅	個人蔵
	●	49	勝川春章	青楼遊宴図	絹本着色一幅	個人蔵
	●	50	勝川春章	竹林七妍図	絹本着色一幅	東京藝術大学
●		51	勝川春章	吾妻風流図	絹本着色双幅	東京藝術大学
	●	52	勝川春好	おやま図	紙本着色一幅	個人蔵
前後期頁替		53	一筆斎文調	東海道画帖	紙本着色一帖	個人蔵
2節 上方浮世絵						
●		54	西川祐信	美人生花の図	絹本着色一幅	個人蔵
	●	55	西川祐信	二美人蛭狩之図	紙本着色一幅	個人蔵
●		56	西川祐信	野道別れの図	紙本着色一幅	個人蔵 福井県立美術館寄託
	●	57	西川祐信	邸内遊宴図	紙本着色一幅	個人蔵 福井県立美術館寄託
	●	58	川枝豊信	若衆立姿図	紙本着色一幅	個人蔵 福井県立美術館寄託
●		59	月岡雪鼎	白拍子	絹本着色一幅	個人蔵 福井県立美術館寄託
	●	60	桂宗信	白拍子図	絹本着色一幅	個人蔵
●		61	祇園井特	美人図	紙本着色双額	摘水軒記念文化振興財団 千葉市美術館寄託
3節 歌麿・栄之・写楽とその流派						
●		62	鳥山石燕	関羽図	紙本着色一幅	摘水軒記念文化振興財団 千葉市美術館寄託
	●	63	東燕斎寛志	水辺の美人と神農	紙本着色一幅	個人蔵
	●	64	喜多川歌麿	隈取する童子と美人図	紙本着色一幅	個人蔵
●		65	喜多川歌麿	雪兎図	絹本着色一幅	個人蔵
●		66	喜多川歌麿	夏姿美人図	絹本着色一幅	遠山記念館
●		67	藤麿、依田竹谷	松に大原女図	絹本着色一幅	個人蔵
	●	68	観雪斎月麿	楊枝をくわえた美人	絹本着色一幅	個人蔵
●		69	鳥文斎栄之	傾城図	絹本着色一幅	個人蔵
●		70	鳥文斎栄之	美人立姿図	絹本着色一幅	個人蔵
	●	71	鳥文斎栄之	読書する美人	絹本着色一幅	個人蔵
●		72	月斎峨眉丸	品川月下美人図	絹本着色双幅	個人蔵
	●	73	酔夢亭蕉鹿	三美人図	絹本着色三幅対	摘水軒記念文化振興財団 千葉市美術館寄託
	●	74	鳥羽広丸	邯鄲の夢	紙本着色一幅	個人蔵
	●	75	東洲斎写楽	中山富三郎・市川男女蔵・市川高麗蔵図	版下絵（紙本淡彩）	摘水軒記念文化振興財団 千葉市美術館寄託
●		76	東洲斎写楽	岩井喜代太郎・中村助五郎・坂東彦三郎図	版下絵（紙本淡彩）	摘水軒記念文化振興財団 千葉市美術館寄託
3章 幕末を彩る領袖 葛飾派と歌川派						
1節 歌川派と菊川派						
●		77	歌川豊春	美人図	絹本着色一幅	摘水軒記念文化振興財団 千葉市美術館寄託

	●	78	伝 歌川豊春	見立竹林七賢人図	紙本着色一幅	摘水軒記念文化振興財団 千葉市美術館寄託
●		79	歌川豊広	両国橋下舟遊び二美人図	絹本着色一幅	摘水軒記念文化振興財団 千葉市美術館寄託
●		80	歌川豊国	立美人と若衆図	絹本着色双幅	摘水軒記念文化振興財団 千葉市美術館寄託
	●	81	祇園井特、歌川豊国、梅林斎雪山	花魁立姿図 平安 花魁立姿図 江戸 三味線を持つ芸妓 浪国	絹本着色三幅対	川崎・砂子の里資料館
	●	82	歌川豊国	七代目市川団十郎芝居姿絵男之助・助六・暫	絹本着色三幅対	江戸東京博物館
●		83	歌川豊国	三代目中村歌右衛門の九変化図屏風	絹本着色六曲一双	個人蔵
●		84	歌川国貞	立美人図	絹本着色一幅	摘水軒記念文化振興財団 千葉市美術館寄託
	●	85	歌川国貞	七代目市川団十郎の荒獅子男之助と五代目松本幸四郎の仁木弾正左衛門	絹本着色一幅	江戸東京博物館
	●	86	歌川国長	桜下太夫と禿	絹本着色一幅	個人蔵
●		87	歌川広重	飛鳥山図	絹本着色額一面	個人蔵
	●	88	歌川広重	湯上り美人図	絹本着色一幅	摘水軒記念文化振興財団 千葉市美術館寄託
	●	89	二代目歌川広重	立田川紅葉筏流し図	絹本着色一幅	個人蔵
	●	90	歌川国芳	十返舎一九像	紙本着色一幅	個人蔵
	●	91	歌川国芳	文読美人図	絹本着色一幅	摘水軒記念文化振興財団 千葉市美術館寄託
●		92	歌川国芳	立美人図	絹本着色一幅	個人蔵
●		93	歌川国芳	興津由井図・織部弥平と勝田真左衛門図	絹本着色一幅	個人蔵
	●	94	菊川英山	娘と風車を持つ童子図	紙本着色一幅	川崎・砂子の里資料館
●		95	菊川英山	歌妓立姿図	絹本着色一幅	個人蔵
●		96	溪斎英泉	月下美人図	絹本着色一幅	古美術きょう Art Kiun
	●	97	溪斎英泉	遊女と禿図	紙本着色一幅	大倉集古館
2節 葛飾北斎とその流派						
	●	98	葛飾北斎	魚介図	絹本着色一幅	すみだ北斎美術館
●		99	葛飾北斎	来燕帰雁図	絹本着色一幅	吉野石膏コレクション すみだ北斎美術館寄託
	●	100	葛飾北斎	恵比寿大黒	紙本着色一幅	個人蔵
●		101	葛飾北斎	都鳥図	紙本着色扇一面	摘水軒記念文化振興財団 すみだ北斎美術館寄託
●		102	葛飾北斎、勝川春英、歌川豊国、勝川春扇、勝川春周、勝川春好	青楼美人繁昌図	絹本着色一幅	個人蔵
	●	103	葛飾北斎	韓信の股くぐり	絹本着色一幅	すみだ北斎美術館
●		104	葛飾北斎	杣人春秋山水図	絹本着色三幅対	福井県立美術館
●		105	葛飾北斎	鯨鱈図	絹本着色一幅	すみだ北斎美術館
●		106	葛飾北斎	糸瓜に雀図	絹本着色一幅	摘水軒記念文化振興財団 府中市美術館寄託
	●	107	葛飾北斎	花籠に蝶図	紙本着色一幅	個人蔵
	●	108	葛飾北斎	面壁達磨図	絹本着色一幅	すみだ北斎美術館
●		109	葛飾北斎	芋の図	紙本着色扇一面	個人蔵
	●	110	葛飾北斎	烏賊に山椒図	紙本着色扇一本	すみだ北斎美術館
	●	111	葛飾北斎	立美人図	絹本着色一幅	個人蔵
●		112	葛飾北斎	合鏡美人図	絹本着色一幅	個人蔵
	●	113	葛飾北斎	団扇と美人図	絹本着色一幅	個人蔵
	●	114	葛飾北斎	生首の図	絹本着色一幅	摘水軒記念文化振興財団 千葉市美術館寄託
	●	115	葛飾北斎	日の出と双兔	紙本着色額一面	個人蔵
	●	116	葛飾北斎	芋とききょう	紙本着色額一面	川崎・砂子の里資料館
●		117	葛飾北斎	登龍図	絹本着色一幅	個人蔵
●		118	葛飾北斎	宝珠を搗く月兎	紙本着色一幅	個人蔵
	●	119	葛飾北斎	雲龍図	絹本着色一幅	個人蔵

●		120	蹄斎北馬	名妓聴杜鵑	絹本着色一幅	個人蔵
●		121	蹄斎北馬	隅田川蚩狩図	絹本着色一幅	回向院
	●	122	魚屋北溪	杜鵑図	絹本墨画一幅	摘水軒記念文化振興財団 すみだ北斎美術館寄託
	●	123	北鼎如連	鯉図	絹本着色一幅	摘水軒記念文化振興財団 府中市美術館寄託
	●	124	安田雷洲	鷹図	絹本着色一幅	摘水軒記念文化振興財団 府中市美術館寄託

資料収集・保管業務

1. 資料収集

墨田区の資料収集の補助、情報収集の継続、収集検討資料の調査を行った。

2016(平成28)年度

- 12月 収蔵品棚卸、すみだ北斎美術館資料収集委員会・評価委員会運営補助

2017(平成29)年度

- 3月 収蔵作品データベース修正点に関する検討会議実施、収蔵環境コンサルの委託実施
墨田区による新規作成版本レプリカの納品と確認
- 4月 収集検討作品調査
- 5月 府中市美術館収集委員会事例ヒアリング調査、収集予定作品調査
- 6,7,9,10月 収集検討作品実見、調査、新規購入予定作品納品
- 11月 収集検討作品実見、すみだ北斎美術館資料収集委員会・評価委員会運営補助
- 12,1,2月 収集検討作品実見、調査、作品(図書)寄贈希望者との打合
- 3月 収集検討作品調査、新規収蔵品及び要再撮作品の撮影

2018(平成30)年度

- 4月 資料寄贈の打ち合わせ、収集検討作品の調査、収集委員及び評価員の人選と調整
資料の寄贈対応収集予定作品の調査
- 5月 資料寄贈の対応、収集検討作品の調査
- 6月 収集検討作品の調査・収集検討作品集荷
- 7月 収集委員会開催・運営補助、評価委員会開催・運営補助
収集検討作品の調査
- 8,9月 収集検討作品の情報収集
- 10,11月 収集検討作品の情報収集、研究調査作品実見
- 12月 収集検討作品の情報収集、研究調査作品実見、収集検討資料の情報収集
- 1月 収集検討作品の情報収集、収集検討資料の情報収集
- 2月 収集検討作品の情報収集、墨田区へ収集情報の現状報告(報告対象:墨田区)
収集検討資料の調査、情報収集
- 3月 収集検討作品の情報収集、寄託希望者の館の見学対応

2019(平成31、令和元)年度

- 4月 収集検討作品の情報収集
- 5月 収集検討作品の情報収集・交渉及び調査、寄託検討作品の調査
- 6月 収集検討作品の情報収集、収集作品の調査
- 7月 収集検討作品の情報収集、収集作品の調査、寄託作品の調査
収集及び寄託予定作品の搬入と確認
- 8月 収集検討作品の情報収集
すみだ北斎美術館資料収集委員会開催及び運営補助
すみだ北斎美術館資料評価委員会開催及び運営補助
- 9月 収集検討作品の情報収集
- 10月 収集検討作品の情報収集、寄託打合せ、寄託作品の調査
- 11,12月 収集検討作品の情報収集及び調査
- 1月 収集検討作品の情報収集、寄託予定作品の搬入対応、収集予定作品の調査
- 2月 収集検討作品の情報収集及び調査、収集予定作品の調査
すみだ北斎美術館資料収集委員会開催及び運営補助
- 3月 収集検討作品の情報収集、収集予定作品の調査

2020(令和2)年度

- 4月 収集検討作品の情報収集、収集予定作品の調査
- 5~9月 収集検討作品の情報収集
- 10月 収集検討作品の情報収集、作品収集のための業者との調整
- 11月 収集検討作品の情報収集、収集検討作品の実見調査、収集予定作品の輸送
寄託予定作品の調査

- 12月 すみだ北斎美術館資料収集委員会及び評価員会開催準備補
収集検討作品の情報収集、寄託予定作品の輸送
- 1,2月 すみだ北斎美術館資料収集委員会開催及び運営補助
- 3月 すみだ北斎美術館資料評価員会開催及び運営補助
収集検討作品の情報収集
収集検討作品の情報収集
収集委員会にはかる作品の輸送
すみだ北斎美術館資料収集委員会開催及び運営補助

2. 資料保管

環境整備

2016(平成28)年度

- 12月 (公財)文化財虫菌害研究所による調査実施
- 1,2月 保存環境調査及びIPM計画(防除対策)コンサルタントの実施
(公財)文化財虫菌害研究所による調査実施

2017(平成29)年度

- 4,8月 丹青研究所によるワイヤレスエコセンサーの整備、調整
- 5,6,9,10,12,1月 (公財)文化財虫菌害研究所による調査実施
- 8,12月 丹青研究所によるIPMコンサル及び点検
- 12,3月 資料保存容器作成のための資料の計測、納品

2018(平成30)年度

- 5,6,9,10,12,1月 (公財)文化財虫菌害研究所による虫菌害調査実施
- 10月 丹青研究所によるIPMコンサル及び点検
- 1月 資料保存容器作成のため作品及び資料の計測
- 3月 資料保存容器の納品

2019(平成31、令和元)年度

- 通年 空調対応
- 4月 文化財虫菌害研究所への捕獲昆虫同定依頼(※結果、文化財害虫ではないことを確認)
- 5,6,9,10,12,1月 (公財)文化財虫菌害研究所による虫菌害調査実施
- 6月 丹青研究所によるIPMコンサル及び点検
- 7月 文化財虫菌害研究所によるコンサル
- 10月 (株)バーテックによる調査
- 1月 展示室内及びケースのパッシブ検査
保存容器作成のため作品及び資料の計測
- 2月 環境調査器材の搬入
- 3月 保存容器納品、環境調査器材の設置と測定
クマヒラ収蔵庫点検

2020(令和2)年度

- 通年 空調対応
- 4月 一時保管庫のパッシブ検査、展示ケースのパッシブ検査
- 4,6,9,10,12月 (公財)文化財虫菌害研究所による虫菌害調査実施
- 7月 収蔵資料データベース打合せ、ワイヤレスエコセンサーの調整
- 8月 ワイヤレスエコセンサーの調整
- 1月 保存容器制作のための計測作業
「筆魂 線の引力・色の魔力ー又兵衛から北斎・国芳までー」展への重要文化財出品のため
設備委託先と事前打合せ
- 3月 温湿度・空気環境管理のコンサル会議(丹青研究所)

資料修復

2016(平成28)年度

墨田区による資料修復の納品と確認

2017(平成29)年度

肉筆3点、摺物帖1冊の修復実施

2018(平成30)年度

肉筆7点、版画1点の修復実施

2019(平成31、令和元)年度

肉筆8点の修復実施

2020(令和2)年度

肉筆3点の修復実施

燻蒸

2016(平成28)年度

■3月 新規作品資料等の燻蒸実施

2017(平成29)年度

■1,2月 新規作品資料等の燻蒸実施

2018(平成30)年度

■7月 新規作品資料等の燻蒸実施

2019(平成31、令和元)年度

■10月 新規作品資料等の燻蒸実施

2020(令和2)年度

■新規作品資料等の燻蒸実施なし

学術研究等のための資料撮影及び熟覧

2016(平成28)年度

■1,2月 墨田区による常設展示室用レプリカ作成協力

■3月 収蔵作品のデジタル画像撮影実施

2017(平成29)年度

■5月 京都古典会による北斎作品5件の熟覧

■6月 大田区立郷土博物館による北斎作品1件の熟覧

海外研究者による北斎作品1件の熟覧

■10月 海外研究者による北斎作品1件の熟覧

2018(平成30)年度

■9月 NHK作品撮影

2019(平成31、令和元)年度

■実施なし

2020(令和2)年度

■11月 凸版/富士フィルムの作品撮影

■12月 NHK「歴史探偵」の作品撮影

図書室の運營業務

1. 利用状況

	図書室利用者数	レファレンス数
平成 28 年 11 月	1,527 人	48 件
12 月	2,504 人	59 件
平成 29 年 1 月	2,427 人	82 件
2 月	1,224 人	41 件
3 月	1,137 人	33 件
平成 28 年度計	8,819 人	263 件
平成 29 年 4 月	1,140 人	43 件
5 月	1,692 人	36 件
6 月	1,109 人	22 件
7 月	1,070 人	15 件
8 月	1,436 人	45 件
9 月	1,299 人	47 件
10 月	1,872 人	33 件
11 月	2,014 人	29 件
12 月	927 人	12 件
平成 30 年 1 月	1,415 人	40 件
2 月	1,109 人	12 件
3 月	1,140 人	46 件
平成 29 年度計	16,223 人	380 件
平成 30 年 4 月	1,270 人	42 件
5 月	1,217 人	16 件
6 月	1,262 人	19 件
7 月	1,632 人	15 件
8 月	1,698 人	10 件
9 月	1,260 人	8 件
10 月	1,217 人	29 件
11 月	2,255 人	10 件
12 月	897 人	12 件
平成 31 年 1 月	1,400 人	29 件
2 月	1,074 人	15 件
3 月	1,228 人	28 件
平成 30 年度計	16,410 人	233 件
平成 31 年 4 月	1,369 人	38 件
令和元年 5 月	1,463 人	54 件
6 月	1,261 人	73 件
7 月	1,308 人	51 件
8 月	1,926 人	66 件
9 月	1,093 人	39 件
10 月	1,101 人	37 件
11 月	1,207 人	26 件
12 月	740 人	18 件
令和 2 年 1 月	1,244 人	30 件
2 月	882 人	17 件
平成 31 年度計	13,594 人	449 件
平成 28 ~ 31 年度計	55,046 人	1,325 件

- 平成 31 年度 令和 2 年 2 月 29 日～3 月 31 日 臨時休館のため休室
- 令和 2 年度 令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日 臨時休室

2. 展覧会連動誘客活動

2016 (平成 28) 年度

- 12 月～1 月 忠臣蔵関連資料展示

2017 (平成 29) 年度

- 2 月～4 月 2 大コレクター 資料展示「蒐集家の世界」
- 4 月～6 月 てくてく東海道 図書特設展示 / 資料展示「今旅・江戸旅」
ミニパネル展示「今旅・江戸旅」 / 来室者「旅人しおり」無料配布
- 5 月～9 月 てくてく東海道 展示パネル「東海道今昔地図」
- 6 月～9 月 北斎×富士 関連資料 / 貴重書展示
- 6 月～11 月 北斎×富士 室内装飾パネル「神奈川沖浪裏」
- 6 月～3 月 北斎×富士 室内装飾ボックスオブジェ「凱風快晴」
- 8 月～9 月 北斎×富士 企画展関連資料貴重書展示
「Fugakuhiyaku-kei=one hundred views of Fuji 富嶽百景」
- 9 月～10 月 パフォーマー☆北斎
展示パネル「尾府名古屋図」 / 関連貴重書展示 4 点 /
関連資料展示 /
室内装飾展示「2 分の一だるま絵」「ゆらゆらだるま」 /
来室者「ゆらゆらだるま」制作キット無料配布
- 10 月～3 月 妹島和世 企画展 関連資料展示
- 11 月～1 月 めでたい北斎 来室者「エンボスはがき」無料配布 /
関連資料展示
- 11 月～3 月 めでたい北斎・Hokusai Beauty
室内装飾パネル「隅田川兩岸景色図絵巻」
- 2 月～3 月 Hokusai Beauty 関連資料 / 貴重書展示

2018 (平成 30) 年度

- 4 月 隅田川兩岸景色図巻室内装飾
- 4 月～3 月 北斎×富士 凱風快晴ボックスオブジェ
- 4 月～8 月 富嶽三十六景 神奈川沖浪裏室内装飾
「変幻自在！北斎のウォーターワールド」展
関連資料・版本の展示
- 4 月～5 月 「変幻自在！北斎のウォーターワールド」展
瀧廻りシリーズ図柄の葉配布 (800 枚)
- 6 月～8 月 「ますむらひろしの北斎展」関連資料の展示
- 9 月～10 月 『絵本隅田川兩岸一覽』書棚壁面装飾
- 9 月～11 月 「北斎の橋 すみだの橋」展 関連資料・版本の展示
「北斎の橋 すみだの橋」展 作品図柄の葉の配布 (1,000 枚)
- 11 月～1 月 版本『北斎漫画』『絵本庭訓往来』書棚壁面装飾
「大江戸グルメと北斎」展 関連版本の展示
「大江戸グルメと北斎」展 作品図柄の葉の配布 (200 枚)
- 2 月～3 月 狂歌絵本『絵本隅田川 兩岸一覽』書棚壁面装飾

- 2月～3月 「北斎アニマルズ」展 関連版本の展示
「北斎アニマルズ」展 作品図柄の葉の配布 (100 枚)

2019 (平成 31、令和元) 年度

- 4月～5月 北斎×富士 凱風快晴ボックスオブジェ
狂歌絵本『絵本隅田川 兩岸一覽』書棚壁面装飾
- 4月 「北斎アニマルズ」展 関連版本の展示
「北斎アニマルズ」展 作品図柄の葉の配布 (計 100 枚)
- 4月～6月 「北斎のなりわい大図鑑」展 関連版本の展示
「北斎のなりわい大図鑑」展 作品図柄の葉の配布 (計 200 枚)
- 7月～8月 「フリーア」展 作品図柄の葉の配布 (計 100 枚)
- 7月～9月 「フリーア」展 関連版本の展示
- 9月～11月 「茂木本家」展 関連版本の展示
「茂木本家」展 作品図柄の葉の配布 (計 100 枚)
- 11月～1月 「小布施」展 作品図柄の葉の配布 (計 200 枚)
- 11月～2月 「小布施」展 関連貴重書の展示
- 2月 「北斎師弟対決！」展 関連貴重書の展示
「北斎師弟対決！」展 作品図柄の葉の配布 (計 100 枚)

2020 (令和 2) 年度

- 臨時休室のため実施なし

調査研究業務

1. 葛飾北斎を主とした浮世絵に関する調査研究事業

各企画展準備のための調査研究を行った他、調査研究結果の還元も行った。

調査研究結果の還元（抜粋）

2016（平成 28）年度

名古屋市博物館による北斎作品調査情報提供・協力

2017（平成 29）年度

大英博物館の北斎展関連ドキュメンタリーへの取材協力

小布施ケーブルテレビの北斎展関連ドキュメンタリーへの取材協力

小布施町への説明会

「回向院清長忌」リーフレット北斎関係原稿執筆、図録への寄稿

NHK歴史秘話ヒストリア収録対応

BS11「北斎ミステリー」番組制作について専門的内容の相談対応

日本原子力文化財団月刊誌「原子力文化」の質問・取材対応

日英協会会員向け講演会

フリーア美術館学芸員への展示説明

ギメ美術館図書館研究員への展示説明

2018（平成 30）年度

回向院第七回鳥居清長忌展覧会の北斎と門人に関する解説執筆

フランス Oonops 社によるルーブルアブダビへの出品映像作品に関する協力

大蔵陶園からの北斎作品に関する調査依頼対応

月刊『教育美術』へ執筆活動

2019（平成 31、令和元）年度

キッコーマン食文化センターへの作品保管方法の助言

北斎の屏風表装について京都文化協会への情報提供

北斎と門人に関する問い合わせへの対応

2020（令和 2）年度

北斎と門人に関する問い合わせへの対応

BS日テレ「ぶらぶら美術館・博物館」の問い合わせ対応、台本修正

北斎生誕 260 年記念シンポジウム「世界の北斎 すみだにあり」

第 1 部「北斎 富嶽三十六景 天才の技術と着想」研究報告発表

青富士復刻プロジェクト-摺師作業場における摺り監修

東京コミュニケーションアート専門学校作成新聞のインタビュー

青富士復刻プロジェクト-完成品贈呈

新聞社取材

墨田区道路公園課による「豎川に架かる橋梁の整備デザイン方針策定」への助言

国際的な学会やシンポジウム、視察など

2017(平成29)年度

- 5月 大英博物館・ロンドン大学主催の北斎シンポジウムへの学芸員派遣

2018(平成30)年度

- 11月 国際北斎学会発足、翌2019年2月「第1回 国際北斎学会 in Tokyo 2019」において大英博物館客員研究員、ライデン国立民族学博物館シニア研究員、ロンドン大学教授、ミラノ大学准教授等と交流
- 2019年2月 ポーランド共和国の日本美術技術博物館(通称マンガ館)及びクラクフ国立美術館視察のため学芸員派遣(文化庁補助金の活用)

2. 調査図書出版

2016(平成28)年度

- 開館記念展Ⅰ「北斎の帰還—幻の絵巻と名品コレクション—」図録発行
- 開館記念展Ⅱ「すみだ北斎美術館を支えるコレクター—ピーター・モースと梶崎宗重—」リーフレット発行

2017(平成29)年度

- 開館記念展Ⅲ「てくてく東海道—北斎と旅する五十三次—」普及用双六発行
- 「すみだ北斎美術館 北斎画 富嶽三十六景」パンフレット発行
- 「大ダルマ制作200年記念 パフォーマー☆北斎 ～江戸と名古屋を駆ける～」図録発行
- 開館一周年記念「めでたい北斎～まるっとまるごと福づくし～」リーフレット発行
- 「葛飾北斎 すみだが生んだ 世界の画人」【改訂新版】発行
- 「Hokusai Beauty ～華やぐ江戸の女たち～」リーフレット発行
- 「葛飾北斎 すみだが生んだ 世界の画人」【英語版】発行

2018(平成30)年度

- 「北斎ウォーターワールド」展リーフレット発行
- 「北斎の橋 すみだの橋」展図録発行
- 「大江戸グルメと北斎」展リーフレット発行
- 「北斎アニマルズ」展リーフレット発行

2019(平成31、令和元)年度

- 「北斎のなりわい大図鑑」展リーフレット発行
- 『「綴プロジェクト」—高精細複製画で綴る—スミソニアン協会フリーア美術館の北斎展』リーフレット発行
- 「北斎没後170年記念 茂木本家美術館の北斎名品」展図録発行
- 「北斎師弟対決!」リーフレット発行

2020(令和2)年度

- 「大江戸歳事記」リーフレット発行
- 「GIGA MANGA—江戸戯画から近代漫画へ—」図録(毎日新聞社)発行
- 「THE 北斎—富嶽三十六景 ART BOX」図録(講談社)発行
- 「筆魂 線の引力・色の魔力—又兵衛から北斎・国芳まで—」図録(青幻舎)発行

教育普及業務

1. 館に親しみを持つ層の拡大

2016(平成28)年度

事業名	事業内容等	実施日	会場	入場者
開館記念シンポジウム	第一部「はくの北斎 わたしの北斎」 第二部「須佐之男命厄神退治之図復元プロジェクト」	12/10	YKK60ビル AZI ホール	177人
公演	宮本亜門氏演出「画狂人 北斎」 リーディング公演	1/7	講座室	70人
お正月イベント	祝！北斎元年初春再廻隅田賑	1/2、3	講座室	各100人
講演会	開館記念展Ⅰ「葛飾北斎とすみだ」	12/3	講座室	73人
	開館記念展Ⅰ「江戸絵画の中の北斎」	12/17	講座室	66人
	開館記念展Ⅱ 「コレクターの個性と版画が持つ力」	2/18	講座室	60人
	「寺島なすと御前裁畑」	3/11	講座室	30人
スライドトーク	開館記念展Ⅰ「北斎の帰還展の見どころ」	11/26	講座室	58人
		12/24	講座室	68人
	開館記念展Ⅱ「すみだ北斎美術館の2つのコレクションについて」	2/11	講座室	68人
		3/25	講座室	48人
常設展示解説	美術館見学(亀戸文化センター)	1/18	常設展示室	40人
作品解説	「すみだと北斎」 (墨田区教育委員会 教員対象)	1/19	講座室	17人
	「すみだと北斎」(文京区中学研修会)	1/24	講座室	5人
	「すみだと北斎」 (墨田区教育委員会 管理職対象)	1/31	講座室	25人
	「すみだと北斎」 (シルバー人材センター事務局)	2/8	講座室	8人
	「すみだと北斎」(森の学園)	2/8	講座室	25人
	「すみだと北斎」(聖心女子学院高等科)	2/16	講座室	74人
	「すみだと北斎」(相模原公民館協議会)	2/21	講座室	20人
	「すみだと北斎」 (東京私立中学高等学校協議会)	2/25	講座室	26人
	「すみだと北斎」(東日本ヤマハOB会)	3/2	講座室	48人
	「すみだと北斎」 (本所地区青少年育成委員会)	3/12	講座室	30人
	「すみだと北斎」(東海東京証券)	3/15	講座室	30人
	「すみだと北斎」(行政相談員支部研修)	3/22	講座室	19人
	「すみだと北斎」(旅エール)	3/31	講座室	37人
	講師派遣	「北斎が印象派に与えた影響について」	1/17	東海東京証券
「葛飾北斎の富嶽三十六景」		1/19	千代田区 和泉小学校	60人
「美術館の概要について」		1/23	サントウン 立花	20人
「錦糸町の今昔とすみだ北斎美術館」		1/24	江東橋 三丁目会館	30人
「すみだ北斎美術館」～百倍楽しむお話～		2/14	庁舎 131会議室	200人
鑑賞上映会	「須佐之男命厄神退治之図」DVD上映	11/22～1/15	3階ホワイエ	—
	「隅田川兩岸景色図巻」 帰ってきた幻の絵巻」DVD上映	11/22～1/15	講座室	—
	「ピーター・モース・コレクション」 DVD上映	2/4～3/26	3階ホワイエ	—
たてものツアー	建築からみる「北斎美術館」	1/28	講座室/館内	15人

2017(平成29)年度

事業名	事業内容等	実施日	会場	入場者		
フォーラム	東京新聞フォーラム「パフォーマー☆北斎の挑戦～大都市江戸と名古屋を舞台に～」	9/1	国際ファッションセンターホール	480人		
スライドトーク	「てくてく東海道」展 見どころレクチャー	5/3 5/20	講座室	74人 54人		
	「富嶽三十六景」と 「富嶽百景」の見どころ	7/8 8/5		57人 95人		
	「パフォーマー☆北斎」の見どころ	9/30 10/7		65人 56人		
	妹島和世講演会	11/3		74人		
	「めでたい北斎～まるっとまるごと福づくし～」 の見どころ	12/9 1/6		47人 55人		
	「HokusaiBeauty～ 華やぐ江戸の女たち～」の見どころ	2/17 3/17		52人 50人		
	イベント	夜間イベント 閉館後の美術館に何かが起こる!?夜のすみだ北斎美術館『百物語』		8/24 8/25 8/26	講座室	45人 50人 52人
		絵馬復元イベント 特別上映 須佐之男命厄神退治之図		9/15 9/16 9/17	牛嶋神社	170人 166人 37人
～葛飾北斎のパフォーマンスに挑む～ 現代の画狂人・山口晃、大ダルマを描く!!		10/14	YKK60ビル アトリウム	—		
しりあがり寿ライブパフォーマンス		1/27	3階ホワイエ	120人		
いとうせいこう×DJ BAKU「北斎ジャポ neEra!」		2/4	3階ホワイエ	—		
ワークショップ		ユニランづくり	4/2	講座室	36人	
		伝統工芸の実演とワークショップ 「花瓶に蒔絵」「かんざし作り」	7/22	講座室	100人	
		試験管で万華鏡づくり	7/23	講座室	33人	
	浮世絵版画刷りの実演(2回実施)	8/11	講座室	180人		
	ちりめんモンスター図鑑づくり	8/13	講座室	27人		
	水引で作る箸置き	12/10	講座室	11人		
	クリスマスリース作り	12/10	講座室	3人		
	伝統工芸職人の技披露と体験 (江戸木目込ストラップ、江戸切り)	2/12	講座室	27人		
たてものツアー	葛飾北斎とお茶	2/18	講座室	27人		
	第2回 建築からみる「北斎美術館」	4/8	館内・講座室	26人		
	第3回 建築からみる「北斎美術館」	6/17		27人		
	第4回 建築からみる「北斎美術館」	11/4		20人		
講演会	文化講演会「気軽に楽しむ歌舞伎～北斎の浮世絵を手がかりに～」 講師：歌舞伎俳優中村梅乃	4/9	講座室	55人		
	しりあがり寿の見る東海道の魅力	5/7	講座室	51人		
	「北斎の富士」 講師：浦上 満	7/15	講座室	57人		
	須佐之男命厄神退治之図復元について	9/1	講座室	25人		
	「隅田川七福神めぐりについて ～福を呼ぶ街歩き～」 講師：小島みどり	12/23	講座室	19人		
	江戸の遊女はファッションリーダー、江戸の髪結い実演 「遊女の代表的髪型『横兵庫』を結う」 講師：村田孝子他	3/3	講座室	97人		
	猫と浮世絵ビューティー 講師：長野裕子	3/11	講座室	52人		
	応為の美人画-父・北斎が認めたその実力とは 講師：日野原健司	3/21	講座室	80人		
作品・人物解説	「モース・檜崎二大コレクター展」(小澤弘の浮世絵ツアー)(水辺ライン)	4/11 4/13	講座室	50人 50人		
	「北斎と五十三次」(多摩市書道連盟)	5/17	講座室	25人		
	「すみだと北斎」(東京都中学美術研究会)	5/18	講座室	57人		
	「てくてく東海道展見どころ紹介」 (桜蔭倶楽部)	6/4	講座室	31人		

	「すみだと北斎」 (岡山県立岡山城東高校)	—	講座室	13人
	「常設展示室見どころ」 (武蔵大学学芸員課程)	6/24	講座室	30人
	「北斎について」 (台東区歴史発掘隊)	—	講座室	30人
	「見どころ紹介」 (NPO法人 富士山クラブ)	7/5	講座室	21人
	早稲田大学文学部学生	7/14	講座室	10人
	御茶ノ水女子大学学生	7/23	講座室	15人
	印刷業界紙記者懇談会	7/28	講座室	14人
	新宿区立中学校教育研究会 美術部会夏季研修会	8/2	講座室	20人
	武蔵野市小中学校教員美術研修会	8/3	講座室	10人
	川口市教育研究会国語研究部	8/10	講座室	7人
	東京観光財団視察	9/7	常設展示室	12人
	すみだコミュニティカレッジ	9/14	講座室	55人
	すみだ史談会講演会	9/18	講座室	16人
	東京グラフィックサービス工業会勉強会	10/4	講座室	25人
	東京中央ロータリークラブ	10/5	常設展示室	20人
	東京都公立学校退職女性校長会 (梅の実会)	10/6	講座室	40人
	正隆会 妙壽寺	10/7	講座室	15人
	西東京市公民館文化講座	10/10	西東京市 谷戸公民館	27人
	台東明るい社会づくり区民の会	10/29	講座室	34人
	ポストン交響楽団 Japan Patron Tour 作品解説及び妹島展ツアー	11/7	館内・講座室	25人
講師派遣	「北斎について」(歴史・文化探検隊)	5/13	台東区 生涯学習センター	45人
	「葛飾北斎と東海道」	5/21	杉山和一 (検校) 記念館	30人
	「中岡慎太郎&クロード・モネ展」	5/23	アンテナショップ まるごと高知	28人
	西東京市公民館文化講座	10/10	西東京市 谷戸公民館	27人
	読売カルチャー「すみだの偉人葛飾北斎」	1/10	講座室	47人
展示	浮世絵版画ができるまで	6/26～8/20	3階ホワイエ	
	原寸大大ダルマのフォトスポットを設置	9/9～10/29	3階ホワイエ	
	布袋と恵比寿のフォトスポットを設置	12/1～12/28	3階ホワイエ	
展示解説	駿台外語&ビジネス専門学校「校外学習」	2/16	講座室	20人
	中川小学校 4年生	2/20	4階ラウンジ	58人
	第三吾嬬小学校 3年生	2/27	講座室	120人
	墨田区立小中学校管理職対象講座	3/1	講座室	9人
		3/2		15人
杉並区立和泉小学校 3年生	3/8	講座室	73人	

2018(平成30)年度

事業名	事業内容等	実施日	会場	入場者
講演会	「北斎の描く水が西洋に流れ込んだとき」 (講師：袴田紘代)	5/13	講座室	46人
	ますむらひろしのトークイベント	7/21	講座室	95人
	「江戸の橋と水辺の文化」(講師：西木浩一)	9/15	講座室	40人
	「隅田川 橋の歴史～明治から現代まで～」 (講師：紅林章央)	10/13	講座室	58人
	「江戸の食文化とその魅力」(講師：江原絢子)	12/1	講座室	72人
サイン会	ますむらひろしのサイン会	7/22	講座室	100人
		8/11		100人

スライドトーク	「北斎ウォーターワールド展」の見どころ	4/28	講座室	47人
		5/26		39人
	「ますむらひろしの北斎展」の見どころ	7/7		34人
		8/18		46人
	「北斎の橋 すみだの橋展」の見どころ	9/30		16人
		10/28		54人
	「大江戸グルメと北斎展」の見どころ	11/24		56人
		1/5		65人
「北斎アニマルズ展」の見どころ	2/16	40人		
	3/16	51人		
イベント	北斎の人生をたどる双六ゲーム	5/4	講座室	192人
	学芸員と歩く隅田川の橋めぐり	9/22	吾妻橋から両国橋	20人
ワークショップ	着物の着付け	4/7	講座室	60人
	水を掴む!?	4/30	講座室	62人
	デジタル版画で北斎を摺ろう!	5/16	講座室	12人
		6/9		16人
		6/20		16人
		7/14		15人
		7/25		16人
	ウニランプ作り	6/3	講座室	17人
	ファミリープログラム「浮世絵をつくろう!」	8/9	講座室	13組 26人
	ぬり絵で楽しむ ATAGOAL × HOKUSAI	8/22	講座室	17人
	アーチ橋をつくろう	10/7	講座室	14人
	5 minutes workshop 北斎グルメなミニカードづくり	11/23 ~ 1/20 の 土日祝日 21日	3階ホワイエ	計 2,100人
	体験!江戸の食	12/22	講座室	27人
	5 minutes workshop めでたい!北斎年賀状づくり	1/2	講座室	計 100人
5 minutes workshop 「すみだ北斎どうぶつえん! 『北斎アニマルズ』で美術館オリジナルの動物園 をつくろう」	3/23 ~ 3/31 ※ 3/25 除く	3階ホワイエ	計 400人	
たてものツアー	第1回 すみだ北斎美術館 たてものツアー	4/14	館内・講座室	13人
	第2回 すみだ北斎美術館 たてものツアー	6/16		15人
	第3回 すみだ北斎美術館 たてものツアー	11/10		14人
落語会	江戸落語 出演:柳家海舟 演目:「水屋の富」他	5/3	講座室	90人
	江戸落語の会 出演:五街道雲助 演目: 「幾代餅(いくよもち)」	1/19	講座室	65人
映画上映	夏休みミュージアム・シネマ「銀河鉄道の夜」	7/29	講座室	58人
開館2周年記念事業	「富嶽三十六景リーフレット」を各日先着200名(要チケット提示)に配布した。	11/20 ~ 11/25	図書室	
	新日本フィルハーモニー交響楽団の弦楽四重奏による「まちかどコンサート」を2回実施した。	11/18	3階ホワイエ	200人
作品・人物解説	「北斎について」(法政大学大学院人文科学研究科 国際日本学インスティテュート)	5/12	講座室	50人
	「北斎について」(船橋松が丘公民館友の会)	12/14	講座室	45人
	「画狂人葛飾北斎について」(獲得型教育研究会)	1/5	講座室	24人
	「北斎について」(岐阜女子大学)	2/21	講座室	30人
美術館紹介	「美術館について」(世田谷美術館美術大学)	7/3	講座室	53人
	「美術館の裏側」(日本展示学会)	1/20	講座室	20人
講師派遣	「北斎インパクト 西欧を襲った芸術革命の波」	12/8	北川村モネの庭	40人
	「北斎が描いた雨」(雨水まちづくりサポート)	12/23	日比谷図書文化館	40人
	「北斎とジャポニスム」(目黒シルバー大学)	1/18	中目黒GTプラザ	150人
	「北斎とジャポニスム」 (東海東京証券プレミア講座)	1/30	高島屋三井ビル会議室	20人

2019(平成31、令和元)年度

事業名	事業内容等	実施日	会場	入場者
講演会	「江戸の町と庶民のなりわい」 (講師：久染健夫)	5/11	講座室	46人
	「北斎の肉筆画」(講師：フランク・フェルテンズ)	6/29	講座室	85人
	「茂木本家美術館について－美術館の概要とそのコレクション－」(講師：茂木潤一氏)	10/22	講座室	47人
	「北斎と小布施、そして北斎館の名品」(講師：安村敏信氏)	12/7	講座室	44人
	「天才葛飾北斎論－その芸術と奇想と美－」饒舌館長口演ず(講師：河野元昭)	2/8	講座室	54人
スライドトーク	「北斎のなりわい大図鑑展の見どころ」	5/4	講座室	59人
		5/25		45人
	「高精細複製画で綴る フリーア美術館の北斎展のみどころ」	7/6		39人
		8/3		36人
	「北斎没後170年記念 茂木本家美術館の北斎名品展のみどころ」	9/14		39人
		10/26		34人
「北斎 視覚のマジック 小布施・北斎館名品展の見どころ」	12/15	55人		
		1/11	70人	
ワークショップ	5 minutes workshop 「すみだ北斎どうぶつえん！『北斎アニマルズ』で美術館オリジナルの動物園をつくろう」	4/2～4/7	3階ホワイエ	参加者計300人
	和綴じ本をつくろう	4/27	講座室	19人
	茶で旅する北斎の東海道	5/2	講座室	100人
	お茶席体験 Tea Ceremony with Hokusai!	8/8	講座室	70人
		8/12		81人
		8/15		78人
		8/18		84人
	きったり、はったり、えがいたり びょうぶづくり！	8/10	講座室	12人
	じっくり日本美術	8/17	講座室	16人
		11/24		8人
	別摺りってなんだ？	10/5	講座室	11人
	多色摺り木版画の羽子板づくり	12/21	講座室	20人
5 minutes workshop 「めでたい！北斎年賀状づくり」	1/2～1/3	講座室	計89人	
5 minutes workshop 「北斎師弟対決！弟子になって描いてみよう！」	2/4～2/28	3階ホワイエ	※自由参加のため不明	
たてものツアー	「すみだ北斎美術館 たてものツアー」 (講師：妹島和世建築事務所 福原光太)	1/25	館内・講座室	13人
作品解説	「北斎について」(明治大学クールジャパンサマープログラム)	7/24	講座室	24人
	「北斎について」(NPO 法人社会総合研究所)	9/28	講座室	38人
美術館紹介	「すみだ北斎美術館について」(佐賀大学芸術地域デザイン学部)	9/16	講座室	16人
	「美術館について」(BNL Bank Italy Group)	11/21	講座室	102人
	「美術館の教育普及事業について」(筑波大学芸術支援学演習)	11/23	会議室	8人
その他	ポーランドの写真家によるアーティスト・トーク	5/22	講座室	20人

2020(令和2)年度

事業名	事業内容等	実施日	会場
オンライン ギャラリートーク	「新収蔵品展 ― 学芸員が選んだおすすめ 50 ―」 「富嶽三十六景 神奈川冲浪裏」(前期)	9/26 ~	当館公式 YouTube チャンネル
	「新収蔵品展 ― 学芸員が選んだおすすめ 50 ―」 「百人一首うはかゑるとき 安倍仲麿」(前期)	10/3 ~	当館公式 YouTube チャンネル
	「新収蔵品展 ― 学芸員が選んだおすすめ 50 ―」 「富嶽三十六景 山下白雨」(後期)	10/24 ~	当館公式 YouTube チャンネル
	「新収蔵品展 ― 学芸員が選んだおすすめ 50 ―」 「蛤売り図」(後期)	10/31 ~	当館公式 YouTube チャンネル
	「筆魂 線の引力・色の魔力 ― 又兵衛から北斎・ 国芳まで ―」(後期)	3/19 ~ 3/26	Vimeo
オンライン アーティストトーク	「クラクフ ドラゴンとドラゴン」展示作品の作家 3名による作品解説	12/15 ~	当館公式 YouTube チャンネル
オンライン ワークショップ	「クラクフ ドラゴンとドラゴン」年賀状/グリー ティングカード制作・解説	12/6 ~	当館公式 YouTube チャンネル
	「北斎パラパラ漫画」制作・解説	12/22 ~	当館公式 YouTube チャンネル
ワークショップ	「北斎パラパラ漫画」	12/22 ~ 1/24	3階ホワイエ
	「筆魂展 絵師タイプ診断」 「筆魂展 あなたへのオススメ作品診断」	2/9 ~ 3/31	3階ホワイエ

2. 児童・生徒に対する取り組み

墨田区内小中学校等の出前授業

年度	事業内容等	実施日	会場	参加者
平成 28 年度	北斎の絵を鑑賞しよう	2/7	墨田区立立花吾嬬の森小学校	33 人
		3/4	墨田区立墨田中学校	200 人
	北斎を知っていますか	3/10	墨田区立第三寺島小学校	81 人
平成 29 年度	北斎の絵を鑑賞しよう・描こう	9/20 9/21	墨田区立両国小学校	32 人 60 人
		10/5	墨田区立二葉小学校	18 人
	墨田区教育委員会「北斎副読本作製委員会」	11/9	墨田区立二葉小学校	18 人
		12/15	墨田区立二葉小学校	23 人
	北斎について知ろう	12/21	墨田区立第四吾嬬小学校	38 人
		1/16	東京表現高等学院	16 人
	すみだが生んだ偉人 北斎	1/19	墨田区立緑小学校	83 人
北斎について知ろう	3/14	墨田区立本所中学校	112 人	
平成 30 年度	「北斎について」	7/6	都立大江戸高校	12 人
	「富嶽三十六景について」	9/14	渋谷区立笹塚小学校	54 人
	「北斎について」	10/26	墨田区立両国小学校	79 人
		1/17	墨田区立緑小学校	83 人
		1/21	墨田区立柳島小学校	84 人
		1/25	墨田区立第四吾嬬小学校	37 人
オリンピックパラリンピック教育授業「ア ートカードで北斎の展覧会をつくる」	3/18	墨田区立本所中学校	160 人	
平成 31 年度	「アートカードで展覧会をつくる」	7/5	都立大江戸高校	22 人
	「北斎の絵を描こう！」	9/3	墨田区立両国小学校	62 人
	「北斎の絵を描こう！」	9/4	墨田区立両国小学校	31 人
	「すみだと北斎(調べ学習)」	9/25	墨田区立二葉小学校	116 人
	「北斎の絵を描こう！」	9/27	墨田区立第二寺島小学校	83 人
		9/28	墨田区立小梅小学校	58 人
		10/18	墨田区立中和小学校	57 人
		1/29	墨田区立柳島小学校	80 人
2/13		墨田区立第四吾嬬小学校	36 人	
令和 2 年度	「北斎の作品を鑑賞しよう！」 「北斎を描こう！」	9/18	墨田区立両国小学校	35 人
		9/28		36 人
	「北斎の画を描こう！」	11/4	墨田区立柳島小学校	86 人
	「北斎の画を描こう！」「すみだと北斎」	11/7	墨田区立小梅小学校	53 人

団体鑑賞 作品解説 / 展示解説 / 人物解説

年度	団体名	実施日	会場	入場者
平成 28 年度	墨田区立中川小学校	12/22	常設展示室	18 人
	墨田区立隅田小学校	1/13	常設展示室	60 人
	墨田区立二葉小学校	1/25	常設展示室	100 人
	墨田区立両国中学校	1/25	常設展示室	100 人
		1/27		100 人
		1/31		100 人
	墨田区立両国小学校	2/1	常設展示室	72 人
		2/7		32 人
		2/8		31 人
	2/10	31 人		
	墨田区立桜提中学校	2/14	常設展示室	120 人
	墨田区立中和小学校	2/22	常設展示室	10 人
	墨田区立外手小学校	2/22	常設展示室	49 人
	墨田区立菊川小学校	2/24	講座室	64 人
	墨田区立梅若小学校	2/28	講座室	55 人
	墨田区立第三吾嬬小学校	3/2	講座室	97 人
墨田区立第三寺島小学校	3/3	講座室	48 人	
墨田区立言問小学校	3/3	講座室	35 人	
墨田区立曳舟小学校	3/9	常設展示室	55 人	
墨田区立吾嬬第二中学校	3/9	常設展示室	113 人	
墨田区立小梅小学校	3/14	講座室	46 人	
平成 29 年度	岡山県立岡山城東高校	6/23	講座室	13 人
	台東区文化歴史発掘隊	6/24	講座室	30 人
	墨田区立曳舟小学校	7/6	講座室	52 人
	墨田区立業平小学校	7/13	講座室	69 人
	日本大学高等学校・中学校	1/10	講座室	20 人
	墨田区立緑小学校	1/23	4 階ラウンジ	73 人
	墨田区立両国小学校	1/30	4 階ラウンジ	63 人
	駿台外語&ビジネス専門学校	2/16	講座室	20 人
	墨田区立中川小学校	2/20	4 階ラウンジ	58 人
	墨田区立第三吾嬬小学校	2/27	講座室	120 人
	墨田区立小中学校管理職対象講座	3/1	講座室	9 人
		3/2		15 人
	杉並区立和泉小学校	3/8	講座室	73 人
	墨田区立二葉小学校	9/28	3 階ホワイトエ	5 人
	墨田区立文花夜間中学生	11/16	講座室	15 人
	千代田区立和泉小学校	12/19	講座室	27 人
	日本大学高等学校中学校	1/10	講座室	20 人
	墨田区立緑小学校	1/23	4 階ラウンジ	73 人
	墨田区立両国小学校	1/30	4 階ラウンジ	63 人
	平成 30 年度	墨田区立第三寺島小学校	11/13	講座室
鎌倉女子大学中等部		4/27	講座室	36 人
筑波大学付属駒場中学校		5/24	会議室	5 人
墨田区立曳舟小学校		6/26	講座室	55 人
墨田区立横川小学校		7/12	講座室	100 人
早稲田実業中学校		8/17	会議室	1 人
墨田区立押上小学校		10/23	講座室	80 人
墨田区立両国小学校		11/1	講座室	83 人
墨田区立言問小学校		11/16	講座室	43 人
墨田区立寺島中学校		11/21	常設展示室	3 人
墨田区立吾嬬の森小学校		11/22	講座室	60 人
とちぎ子供の未来想像大学		1/4	講座室	20 人
東京表現高等学院 MIICA		1/8	講座室	32 人
熊本市立必由館高校		1/22	講座室	44 人
墨田区立柳島小学校		1/23	講座室	84 人
熊本県立第二高校		1/23	講座室	43 人
墨田区立菊川小学校		1/29	講座室	65 人
墨田区立小梅小学校		1/31	講座室	57 人
墨田区立二葉小学校		2/14	講座室	96 人
墨田区立文花中学校		3/2	講座室	121 人

平成 31 年度	羽島市立羽島中学校	5/22	講座室	37 人
	桑名市立陵成中学校	5/31	常設展示室	6 人
	墨田区立曳舟小学校	6/25	講座室	80 人
	全国歴史教育研究会 ※全国の小中高の教員の団体	7/26	講座室	39 人
	墨田区立両国小学校	9/11	講座室	93 人
	八王子市立別所中学校	10/24	4 階ラウンジ	5 人
	杉並区立天沼中学校	10/30	講座室	5 人
	墨田区立押上小学校	11/1	講座室	74 人
	第一薬科大学附属高等学校	11/27	講座室	30 人
	墨田区立堅川中学校	1/23	講座室	124 人
	東京表現高等学院 MIICA	1/28	講座室	30 人
	墨田区立柳島小学校	2/7	講座室	80 人
	墨田区立中和小学校	2/14	講座室	60 人
	南アルプス子どもの村小学校	2/18	講座室	23 人
	墨田区立曳舟小学校	6/25	常設展	78 人
	墨田区立言問小学校	6/27	常設展・企画展	50 人
	墨田区立二葉小学校	6/28	常設展	37 人
	墨田区立両国小学校	9/11	常設展・企画展	93 人
	墨田区立東吾嬬小学校	10/10	常設展・企画展	57 人
	墨田区立第二寺島小学校	10/18	常設展・企画展	83 人
	墨田区立隅田小学校	10/24	常設展・企画展	95 人
	墨田区立横川小学校	10/29	常設展・企画展	83 人
	墨田区立寺島中学校	10/31	常設展	126 人
	墨田区立押上小学校	11/1	常設展・企画展	74 人
	墨田区立小梅小学校	11/7	常設展	58 人
	墨田区立立花吾嬬の森小学校	11/22	常設展	51 人
	墨田区立錦糸中学校	11/30	常設展	62 人
	墨田区立両国中学校	12/4	常設展	213 人
	墨田区立第三寺島小学校	12/12	常設展・企画展	54 人
	墨田区立本所中学校	12/20	常設展・企画展	51 人
	墨田区立両国中学校	1/16	常設展・企画展	18 人
	墨田区立堅川中学校	1/23	常設展	111 人
	墨田区立吾嬬第二中学校	1/29	常設展	110 人
	墨田区立梅若小学校	2/4	常設展・企画展	39 人
墨田区立墨田中学校	2/6	常設展	157 人	
墨田区立柳島小学校	2/7	常設展	79 人	
墨田区立中和小学校	2/12	常設展・企画展	8 人	
墨田区立桜堤中学校	2/13 2/14	常設展・企画展	160 人	
墨田区立中和小学校	2/14	常設展・企画展	57 人	
墨田区立第四吾嬬小学校	2/18	常設展・企画展	37 人	

■令和 2 年度 墨田区立小中学校の団体鑑賞 実施なし

イベント

年度	事業内容等	実施日	会場	参加者
平成 29 年度	東海道巨大双六	5/5	講座室	30 人
	北斎双六・北斎パズル 北斎漫画スタンプ	5/14	講座室	150 人
	ジュニア学芸員ワークショップ	8/19	講座室 / 常設 展示室	12 人
		8/22		12 人
		8/23		12 人
9/3		12 人		
葉脈ストラップづくりワークショップ	10/8	講座室	20 人	
平成 30 年度	ジュニア学芸員 4 days サマーワークショップ	8/23,24,26、9/2	講座室	各日 14 人
	職場訪問受入「学芸員について」	10/18	4 階ラウンジ	6 人
平成 31 年度※	子どものためのアトリエ	3/21	講座室	75 人
	羽島市立羽島中学校 ワークショップ	5/22	講座室	37 人
	第一薬科大学附属高等学校 ワークショップ	11/27	講座室	30 人
	東京表現高等学院 MIICA ワークショップ	1/28	講座室	30 人
令和 2 年度	墨田区立両国小学校出前授業 (9/18、28 実施) 制作物展示	10/1~10/11 10/27~11/8	3 階ホワイエ	
	墨田区立柳島小学校出前授業制作物展示 (11/4 実施)	12/22~1/24	3 階ホワイエ	

国内外の交流業務

1. 地域との結びつきを深める取り組み

“北斎交流”事業

平成 30 (2018) 年 7 月「北斎を通じた国内外における交流事業：総称“北斎交流”」は、文化庁・文化芸術振興費補助金“地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業（地域の美術館・歴史博物館を中核とする文化クラスター形成支援事業）”に採択。「成長する美術館」を運営コンセプトに掲げている当館は、江戸文化が花開いた隅田川左岸、両国界隈を中心とする地域の歴史や個性を踏まえたコミュニティ・プログラムを行い、北斎を通じて地域の人々が集い、交わり、新たな創造活動を展開していくと共に世界各地とのインターローカルな関係性を培っていくことが「成長」の目指す方向性と捉えて下記の目的により「北斎交流実行委員会」を組織、8月に委員会を開催した。

(目的)・すみだ北斎美術館ほか地域の文化活動拠点を活用した「北斎交流」事業の展開

- ・ポーランド共和国・日本美術技術博物館（通称マンガ館）との学芸員等の相互交流を契機に恒常的な協力関係を築く

(組織)

平成 30 年 7 月現在

職名	氏名	所属・所属先
会長	橋本 光明	すみだ北斎美術館 館長
副会長	中山 三善	すみだ北斎美術館 副館長・ゼネラルマネージャー
副会長	関口 芳正	墨田区地域力支援部長
委員	山中 誠	一般社団法人日本・ポーランド文化交流協会 理事長
〃	飯田 俊久	(公財) 日本美術刀剣保存協会刀剣博物館事務局長兼総務部長
〃	林 健志	公益財団法人通信文化協会（郵政博物館運営機関）調査役
〃	南部 友孝	墨田区地域力支援部文化芸術振興課長
監事	荻原 康子	公益財団法人墨田区文化振興財団 常務理事
事務局長	水上 千秋	すみだ北斎美術館 管理課長
事務局員	細川 連理	すみだ北斎美術館 副館長
〃	奥田 敦子	すみだ北斎美術館 学芸担当リーダー
〃	長谷川 暢子	すみだ北斎美術館 教育普及・図書担当リーダー
〃	藤井 卓	公益財団法人墨田区文化振興財団 総務課長
〃	高塚 育洋	墨田区地域力支援部文化芸術振興課 主査
〃	田中 達也	墨田区地域力支援部文化芸術振興課 主事

(1) 北斎交流実行委員会・研究報告会

平成 31 (2019) 年 3 月 15 日 (金) 13:00 ~ 14:00 (受付 12:30 ~)

会場 刀剣博物館 講堂 (1F)

- 開会 水上 千秋 (北斎交流実行委員会事務局長・すみだ北斎美術館管理課長)
- 挨拶 橋本 光明 (北斎交流実行委員会会長・すみだ北斎美術館館長)
- ポーランド独立回復 100 周年並びに日本との国交樹立 100 周年の記念事業
 - 3館連携によるパネル展示について
中山 三善 (すみだ北斎美術館)、武田 耕太郎 (刀剣博物館)、富永 紀子 (郵政博物館)
 - ポーランド・クラクフ市の美術館視察学芸員報告
長谷川 暢子 「マンガ館およびクラクフ国立美術館の教育プログラムについて」
古藤 陽 「ポーランド・クラクフの博物館における日本文化の紹介と受容」
- 閉会

(2) 北斎を通じた地域交流をめざす事業活動

地域と共働した美術館活動は、区内博物館をはじめ観光やまちづくり、産業等の幅広い分野との連携が求められる。地域との繋がり、行事やイベントなどによりすでに深められているが、令和元年（2019）年度の後半では、北斎や北斎の作品を生かしたり関連付けたりして事業活動を実施する商店や施設、組織等との相互理解を図った。下記の5テーマについて当該担当者を中心に交流を進めることにした。

- (1) ポーランドでの日本刀特別鑑賞会とジャパンデイズ開催
 (公財) 日本美術刀剣保存協会 …………… 志塚 徳行
- (2) 現代芸術劇場のコンセプトを生かした「北斎とかぶこう！」
 シアターχ (カイ) …………… 上田美佐子
- (3) 100種超えの北斎切手について
 郵政博物館 …………… 井村 恵美
- (4) 北斎さんの雲と浪と風の江戸遊
 (株) 東新アクア 江戸遊 …………… 平井 要子
- (5) 北斎祭りから振り返る亀沢のまちづくり
 北斎通りまちづくりの会 …………… 富岡 達郎

一堂に会しての会合を令和2(2020)年3月7日(土)、MARUGEN100 講座室で開催することになったが新型コロナウイルス感染拡大のため中止。

地域との関係事業

平成28年度

事業名	事業内容等	実施日	会場	参加者
講師派遣	「すみだ北斎美術館」～百倍楽しむお話～	3/5	戦没者霊苑	100人
すみだ北斎 さくらまつり	風船スタンプ等ワークショップ実施 飲食の販売、北斎作品のパネル展示等	3/25 3/26	緑町公園	
パネル展示	北斎作品パネルの展示	11/22～ 12/31	東武ホテル 2F	—

平成29年度

事業名	事業内容等	実施日	会場	参加者
イベント	「両国にぎわい祭り参加」スタンプラリー	4/29 4/30	講座室	544人 623人
	すみだ北斎美術館開館一周年記念 区民感謝デー（区民無料デー）	11/21～23		183人
	すみだ北斎美術館 開館一周年記念感謝祭	11/25 11/26	緑町公園	1,200人 1,100人
	餅つきイベント『すみだ北斎美術館 開館一周年記念「正月事始め、餅つきの宴」』	12/24	講座室	198人
	正月イベント「初春再々廻隅田賑」	1/2 1/3		114人 120人
紙芝居	紙芝居「スーパー絵師！北斎さん」 (各日3回実施)	5/4 5/6 8/6 8/12	講座室	226人 173人 180人 230人
落語会	柳家海舟「御神酒徳利」	5/27	講座室	60人
講師派遣	さくらカレッジ講座 葛飾北斎の「須佐之命厄神退治之図復元秘話」	6/1	講座室	44人
	「すみだと北斎、北斎美術館について」 (東武鉄道グループ勉強会)	6/15	講座室	20人

	北斎喝采	10/15	江戸川区 中央図書館	100 人
	史跡めぐり「北斎ゆかりの地を歩く」	10/17	両国界隈	24 人
	北斎とその仲間たち	10/21	ひきふね図書館	50 人
	地域学セミナー 「葛飾北斎と西洋美術への影響」	11/4	すみだリバーサ イドホール	200 人
	向島法人会「すみだと北斎」	11/14	曳舟文化セン ター	150 人
	墨田紙器同志会「北斎について」	11/16	すみだ産業会館	17 人
	桜堤中青少年育成委員会懇親会	11/28	桜堤中学校	28 人
	本所法人会「知られざる北斎」	12/5	本所地域プラザ	50 人
	東京商工会議所墨田支部 「すみだ北斎美術館における北斎画像権の 活用方法と過去の開発例」	12/13	東京商工会議所 墨田支部	20 人
作品解説	江東ブロック広報連絡協議会	8/10	講座室	27 人
	すみゆめ寄合内レクチャー	8/10	亀沢4丁目会館	30 人
	「夢のみちイベント」における解説	8/17	新宿駅西口 イベントコーナ	50 人
	墨田区商店街連合会会員への解説	8/26	講座室	7 人
	すみゆめフィールドワークにおける解説	8/27	講座室	25 人
	地元企業家への北斎レクチャー	9/6	講座室	25 人
	すみだが生んだ偉人 北斎	9/24	郵政博物館	20 人
人物紹介	(株) 三新「地元の先達 北斎」	12/8	講座室	25 人
ワークショップ	デジタル版画で北斎を刷ろう！	9/12	講座室	7 人
		9/21		8 人
		10/11		16 人
		10/17		16 人
	10/21	Co-lab	16 人	
	10/22		16 人	
11/14	講座室	16 人		
11/18	Co-lab	16 人		
感覚をひらく・想像をふくらませる ～「無視覚流」両国まちあるきと、対 話型鑑賞で楽しむ北斎～	3/24～3/25	—	—	
連絡会	亀沢地区連絡会	5/16 8/31 12/20 3/27	講座室	
パネル展示	北斎作品パネルの展示	通年	すみだトリフォニーホール 大ホールロビー	
	北斎作品パネルの貸出・展示	7/8～3/31 11/1～11/30	東武ホテルレバント東京 ホテル2階食堂	

平成30年度

事業名	事業内容等	実施日	会場	参加者
イベント	すみだ北斎さくらまつり・ワークショップ 「オリジナル缶バッジづくり」「北斎版画ス タンプ体験」	4/7・8	緑町公園	1,500 人
	「第16回両国にぎわい祭り」 スタンプラリー会場として参加	4/28・29	講座室	1,101 人
	「北斎祭り」実行委員会に参加し実施に協力	10/20	講座室、緑町公園、大横川 親水公園	
美術館紹介	「美術館について」(墨田区立幼稚園教育研 究会)	7/20	講座室	21 人

作品解説	NPO 法人六三四塾	12/18	3・4階展示室	5人
	平成31年度墨田区新規採用職員説明	1/16	講座室・4階ラウンジ	50人
	花守サミット	2/22	講座室	68人
講師派遣	「美術館と北斎」(安田学園同窓会)	6/16	両国第一ホテル	180人
心のバリアフリー育み事業	『無視覚流』まちあるきで知る、北斎と隅田川	11/4	隅田公園、屋形船、すみだりバーサイドホール	53人
コラボ Cafe	当館近隣の Cafe にご協力をいただき、「大江戸グルメと北斎」展期間中、本展で紹介した江戸の再現料理などを実際に味わえるコラボ Cafe を開催	11/20～1/20	① ORI TOKYO ② CHILLOUT COFFEE&RECORDS ③ 松崎珈琲 ④ マキネスティコーヒー ⑤ CRAZY CAFE 「 」(BLANK) ⑥ 喫茶ランドリー ⑦ 千代福	
研修会	墨田区立小中学校教員向け研修会	3/14	講座室	8人
連絡会	亀沢地区連絡会	7/4	講座室	
パネル展示	北斎作品パネルの展示	通年	すみだトリフォニーホール(大ホールロビー)	

平成31年度

事業名	事業内容等	実施日	会場	参加者
イベント	「第44回すみだまつり・第49回こどもまつり」会場でワークショップを実施(内容)「オリジナル缶バッジづくり」「北斎版画スタンプ体験」	10/5、10/6	錦糸公園	2,184人
	「北斎祭り」実行委員会に参加し実施に協力	10/5、10/19	講座室、緑町公園、大横川親水公園、北斎通り	

令和2年度

事業名	事業内容等	実施日	会場	参加者
作品説明	すみゆめ採択事業者への北斎作品説明	7/22		

その他

平成29年度

事業名	事業内容等	実施日	会場	入場者
鑑賞上映会	7種の北斎関連DVD上映	通年		
	宮本亜門氏演出「画狂人 北斎」リーディング公演 映像上映会	4/4～4/16	講座室	—
	北斎美術館スライドショー	10/31	講座室	—
	妹島和世犬島プロジェクトDVD上映	10/31	4階ラウンジ	
	Voyage de Hokusai (北斎の旅)	1/28～2/12	講座室	
	しりあがり寿ライブパフォーマンス	1/28～2/4	3階ホワイトエ	
	江戸の結髪	2/13～2/28	講座室3階ホワイトエ	
	日本の化粧	3/1～3/31	講座室3階ホワイトエ	
講演会講師派遣	小布施会交流会「鬼才北斎90歳～人間離れた画人の生涯～」	11/8	グリーンパレス	160人
	「北斎と六三四」	11/10	ジェイコムワンダースタジオ	30人
	粋プロジェクト『北斎が見た江戸の花』	11/11	アーツ千代田3331	15人
	日本文化塾「hokusai 欧州に衝撃を与えた絵師」	11/18	品川きゅりあん	30人

	早稲田大学すみだ寄付講座 「北斎とジャポニズム」	11/28	早稲田大学	50人
	国分寺市光公民館文化講座 「すみだと北斎」	3/20	国分寺市 光公民館	23人
	国分寺市光公民館歴史散歩「両国界限・美術館」	3/27	両国界限・美術館	23人
委員派遣	北斎漫画を活かしたまち歩き観光推進事業 推進連携協議会	12/15	区役所 62 会議室	4人
展示解説	セカンドステージ（浦安市美浜公民館事業） 参加者「すみだと北斎」解説	2/15	講座室	20人

平成 30 年度

事業名	事業内容等	実施日	会場
鑑賞上映会	「日本の化粧」DVD上映	4/1～4/8	講座室 3階ホワイエ
	「北斎のまなざし」DVD上映	4/10～6/24	講座室
	「北斎水廻り」DVD上映	4/24～6/10	3階ホワイエ
	「よみがえる鮮やかな肉筆画 須佐之男命厄神退治之図」DVD上映	6/26～9/9	講座室
	「北斎のまなざし」DVD上映	6/26～8/26	3階ホワイエ
	「北斎漫画 天才絵師が見た宇宙」DVD上映	9/11～2/3	講座室
	「よみがえる鮮やかな肉筆画 須佐之男命厄神退治之図」DVD上映	2/5～3/31	講座室
展覧会関連パネル展示	すみだの橋の構造と歴史	9/11～11/4	3階ホワイエ
	大江戸グルメMAP	11/20～1/20	3階ホワイエ
展覧会関連	ATAGOAL × HOKUSAI ぬり絵スペース設置	8/25	3階ホワイエ

平成 31 年度

事業名	事業内容等	実施日	会場
DVD上映	よみがえる鮮やかな北斎肉筆画「須佐之男命厄神退治之図」	4/1～4/21	講座室
	「北斎漫画-天才絵師が見た宇宙-」	4/23～6/9	
	NHKドキュメンタリー番組「ロスト北斎」	6/11～6/23	
	「北斎の世界」	6/25～8/25	
	NHKドキュメンタリー番組「ロスト北斎」	8/26～9/8	
	「北斎のまなざし」	9/10～11/4	
	「北斎の世界」	11/1～1/19	
	NHKドキュメンタリー番組「ロスト北斎」	1/20～2/2	
特別展示	綴プロジェクト高精細複製画 「新年風俗図（初夢・朝化粧）」展示	1/2～1/19	3階ホワイエ
	綴プロジェクト高精細複製画「富士田園景図」展示	2/11～2/28	

令和 2 年度

事業名	事業内容等	実施日	会場
特別展示	綴プロジェクト高精細複製画「漁樵問答図」展示	4/1～4/5	3階ホワイエ
	綴プロジェクト高精細複製画「遊女図」、「鍋冠祭図」展示	6/30～8/2	
	綴プロジェクト高精細複製画「十二ヶ月花鳥図」展示	8/4～8/30	
	綴プロジェクト高精細複製画「富士田園景図」「鍋冠祭図」展示	9/15～10/11	
	綴プロジェクト高精細複製画「富士田園景図」「漁樵問答図」展示	10/13～11/8	
	綴プロジェクト高精細複製画「琵琶に白蛇図」展示	2/9～3/7	
	綴プロジェクト高精細複製画「遊女図」展示	3/9～3/31	

2. 国内外に向けた情報発信と交流の取り組み

国内

2017(平成29)年	1月	宮本亜門氏演出朗読劇「画狂人 北斎」開催
	9月	ロンドン凱旋公演朗読劇「画狂人 北斎」開催 : 曳舟文化センター
2018(平成30)年	11月	ポーランド共和国独立回復100周年記念コンサート開催
2019(平成31)年	1月	宮本亜門氏演出舞台「画狂人 北斎」開催:新国立劇場
	2月	第1回国際北斎学会 in Tokyo 2019 研究発表 : 池坊東京会館
(令和元)年	6-8月	フリーア美術館の北斎展を文化庁「日本博」主催事業として開催
2019(令和元)年	10月	“北斎サミット in 富士エスカレーション” すみだ北斎美術館紹介及び北斎の偉業を発表:静岡県富士市文化会館ロゼシアター
	12月	すみだ地域学シリーズ「北斎の生き方」シンポジウム:すみだ生涯学習センター
2020(令和2)年	4月	日本美術家連盟機関紙4月号「すみだ北斎美術館」紹介(3頁)
2020(令和2)年	10月	北斎生誕260周年記念シンポジウム「世界の北斎 すみだにあり」:すみだリバーサイドホール(区主催)第1部北斎の研究報告(学芸員)、第2部シンポジウム(館長)
2020(令和2)年	10月	月刊誌『致知』10月号「葛飾北斎の歩んだ道」掲載(5頁)
2020(令和2)年	11月	“ワールド北斎アワード in SUMIA” 審査、授賞式:MARUGEN 講座室

国外

2017(平成29)年	4月	外国特派員協会にて朗読劇「画狂人 北斎」 ロンドン公演記者発表
2017(平成29)年	7月	朗読劇「画狂人 北斎」 ロンドン(大英博物館)公演
2018(平成30)年	5月	フランス・コルマル市のショーンガウアー財団ウンターリンデン美術館と友好協力覚書締結
2019(令和元年)年	11月	ポーランド・日本美術技術博物館(通称マンガ館)と友好協力協定締結 日本・ポーランド共和国国交樹立100周年、マンガ館開設25周年、 当館開館3周年記念特別講演会実施
2020(令和2)年	5月	ポーランド・日本美術技術博物館(通称マンガ館) 年報『Manggha Museum of Japanese Art and Technology REPORT ON ACTIVITIES』に友好協力協定締結についての報告が掲載

広報業務

1. 広報活動

メディア対応数

平成 28 年度

媒体の種類	媒体数
映像・ラジオ（TV・国内）媒体	31 媒体
映像（TV・海外）媒体	1 媒体（国営クウェート放送）
新聞・スポーツ紙・専門紙	25 媒体 ※読売新聞はシリーズ連載
新聞（英字新聞）	1 媒体
週刊誌	5 媒体
雑誌（ライフ・ファッション）	48 媒体
雑誌（海外）	2 媒体
旅行雑誌	28 媒体
専門誌（美術・建築）	23 媒体
合 計	164 媒体

平成 29 年度

媒体の種類	媒体数
映像・ラジオ（TV・国内）媒体	58 媒体
新聞・スポーツ紙・専門紙	52 媒体
雑誌（ライフ・ファッション）	68 媒体
旅行雑誌	44 媒体
専門誌（美術・建築）	36 媒体
その他	15 媒体
合 計	273 媒体

平成 30 年度

媒体の種類	年度累計媒体数
映像・ラジオ（国内）	41 媒体
映像・ラジオ（海外）	3 媒体
雑誌（ライフ・ファッション）	41 媒体
新聞・スポーツ紙・専門紙	34 媒体
旅行雑誌	26 媒体
専門誌（美術・建築）	5 媒体
雑誌（海外）	6 媒体
その他（含 Web、海外）	104 媒体
合 計	260 媒体

平成 31 年度

媒体の種類	年度累計媒体数
映像（TV）・ラジオ	40 媒体
新聞（一般紙・スポーツ紙・専門紙）	60 媒体
雑誌（旅行）	38 媒体
雑誌（美術）	28 媒体
雑誌（その他）	73 媒体
Web（旅行）	65 媒体
Web（美術）	68 媒体
Web（その他）	54 媒体
合 計	426 媒体

令和2年度

媒体の種類	年度累計媒体数
映像（TV）・ラジオ	33 媒体
新聞（一般紙・スポーツ紙・専門紙）	77 媒体
雑誌（旅行）	25 媒体
雑誌（美術）	23 媒体
雑誌（その他）	79 媒体
Web（旅行）	47 媒体
Web（美術）	67 媒体
Web（その他）	55 媒体
合 計	406 媒体

広報物および印刷物の制作

制作物

- 美術館リーフレット制作
- 各企画展チラシ／ポスター／プレスリリース制作
- 美術館 NEWS Vol.2～9制作
- 関連諸企画チラシ制作
- 館内サイン／デジタルサイネージ制作
- 新聞／雑誌／館外掲示広告制作
- ノベルティー／記念スタンプ制作
- ウインドウディスプレイ／ターポリンシート／ロゴパネル／展示パネル制作
- HP制作
- 前売券／招待券制作
- アングレーム国際漫画祭 2018 用当館 PR『北斎漫画』チラシ（仏語）
- JapanAirlines through Hokusai Manga 用 館 PR 英語パネル（NY Grand Central Station）
- JapanAirlines through Hokusai Manga 用 館 PR 英語チラシ（NY Grand Central Station）
- JAPAN EXPO 用アンケート・PR ターポリン
- JAPAN EXPO 用「須佐之男命厄厄神退治之図」復元図映像
- 入館者数 50 万人達成パネル
- 「ポーランド独立回復 100 周年記念コンサート」告知・誘導館内パネル、整理券
- 部隊「画狂人北斎」制作発表用当館ネームパネル
- 「くまもん作鍾馗図」ホワイエ展示パネル

インターネットを活用した広報展開

ホームページの情報更新 フェイスブック／ツイッター運用 メールマガジンの配信
 YouTube すみだ北斎美術館チャンネルでの解説動画等の掲出 Vimeo にて作品解説等を WEB に掲出

インバウンドに向けた広報展開

施設ガイド・フロアガイド・既存4言語（英語、仏語、簡体・繁体中文、ハングル語）
 海外検索エンジン、海外トラベルサイト等への掲載
 ランディングページ（英語）の作成
 英文広報物制作（美術館ニュース 2017Spring 2020Spring 等）
 海外観光レップ・パリ（フランス）・ミラノ（イタリア）と協力し、美術館情報や企画展リリースの現地メディアへの配信（各日本語／英語）
 JNTO 観光案内書等への配架

その他、広報展開

東武鉄道、京成電鉄、JR 両国駅、都営大江戸線・両国駅、駅貼りポスター掲出
錦糸町駅テルミナショーウィンドーのディスプレイ実施
その他ポスター・広告掲出、インバウンド関連・地域と連携した広報展開、大学関連の広報展開

2. 来館促進・館運営支援

観覧券提示による連携プロモーションの実施

平成 28 年度

郵政博物館、江戸東京博物館、すみだトリフォニーホールと連携
東武鉄道(株)と協力

平成 29 年度

すみだ水族館、郵政博物館、江戸東京博物館、刀剣博物館、すみだトリフォニーホールと連携
太田記念美術館企画展、国立西洋美術館企画展と連携プロモーション
企画展未実施期間の来館促進
日本橋三越本店 新館 7 階ギャラリーにて「お江戸日本橋キルト展」開催時の来館促進対応

平成 30 年度

すみだ水族館、郵政博物館、江戸東京博物館、刀剣博物館、すみだトリフォニーホールと連携
江戸ねこ茶屋、「2018 大昆虫展 in 東京スカイツリータウン」展と連携プロモーション
その他の連携プロモーション

- ・ますむらひろし氏ライブ参加者に対する観覧券割引実施（ますむらひろしの北斎展後期展示）
- ・「猫町ポケット」（小冊子）内で企画展告知と観覧券割引実施 8/1～8/26
- ・「風呂猫マーケット」メルマガ内で企画展告知と観覧券割引実施 8/1～8/26
- ・JTB ベネフィット運営の「えらべる倶楽部」会員向割引の対象として連携
- ・宝島社ムック本「葛飾北斎」半券割引（企画展のみ）9/1～3/31
- ・演劇公演「画狂人北斎」（新国立劇場）半券割引（1/10～1/20）

各種割引

- ・すみだトリフォニーホールチケット提示による入館料割引（通年）
- ・Hokusai Beauty 展において、きものでの来館者 4/1～4/8
- ・メルマガ / Twitter 割引（各画面提示による割引）9/1～（通年）
- ・リピーター割引（企画展観覧券半券による割引）9/1～（通年）
- ・名前割引（名前に「橋」のつく方対象の「北斎の橋 すみだの橋」展入館料割引）9/11～11/4
- ・誕生日割引（来館日が誕生月の方対象の割引）9/1～（通年）
- ・「大江戸グルメと北斎」展コラボカフェ店による割引（各店舗割引券による割引）11/20～1/20
- ・「北斎アニマルズ」展コラボカフェ店による割引（店舗割引券による割引）2/5～4/7
- ・「両国プラレール駅」展相互割引 2/9～4/7

平成 31 年度

チケット提示による相互割引（当館の常設展の入館料割引）
・すみだ水族館・郵政博物館・江戸東京博物館・刀剣博物館
その他連携プロモーション
・JTB ベネフィット運営の「えらべる倶楽部」会員向割引

各種割引

- ・すみだトリフォニーホールチケット提示による入館料割引（通年）
- ・メルマガ割引（画面提示による割引）
- ・リピーター割引（本展観覧券半券による割引）
- ・誕生日割引（誕生月に来館の方対象の割引）（9月から実施中）
- ・「北斎アニマルズ」展コラボカフェ店による割引（店舗割引券による割引、4/7まで）
- ・「両国プラレール駅」展相互割引 2/9～4/7
- ・「北斎のなりわい大図鑑」展コラボカフェ店による割引（店舗割引券による割引、6/9まで）
- ・江戸東京博物館内墨田区文化観光コーナー設置割引券（4/23～各企画展期間中）
- ・7/20（土）錦糸公園で開催された「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」で「綴プロジェクト 高精細複製画で綴る スミソニアン協会フリーア美術館の北斎」展割引券を参加者に配布（有効期限8/25まで）
- ・大昆虫展 2019 割引（7/20～9/1 本展観覧券半券による割引）
- ・「綴プロジェクト 高精細複製画で綴る スミソニアン協会フリーア美術館の北斎」展コラボカフェ店による割引（ORITOKYO）
- ・「北斎没後 170 年記念 茂木本家美術館の北斎名品」展コラボカフェ店による割引（ORITOKYO）
- ・「北斎没後 170 年記念 茂木本家美術館の北斎名品」展特別割引（茂木さん、むらさき、千葉県民、建築学生）
- ・「北斎没後 170 年記念 北斎 視覚のマジック 小布施・北斎館名品」展コラボカフェ店による割引（ORITOKYO）
- ・「北斎没後 170 年記念 北斎 視覚のマジック 小布施・北斎館名品」展特別割引（ながのさん、おぶせさん、長野県民、ドラゴン）
- ・「北斎師弟対決！」展コラボカフェ店による割引（ORITOKYO）
- ・「北斎師弟対決！」展特別割引（北斎の弟子割引）

令和 2 年度

チケット提示による相互割引（当館の常設展の入館料割引）

- ・すみだ水族館・郵政博物館・江戸東京博物館・刀剣博物館
- ・東京水辺ライン（水上バス 12/1～）

その他連携プロモーション

- ・JTB ベネフィット運営の「えらべる倶楽部」会員向割引

各種割引

- ・すみだトリフォニーホールチケット提示による入館料割引（通年）
- ・メルマガ割引（画面提示による割引）
- ・リピーター割引（本展観覧券半券による割引）
- ・誕生日割引（誕生月に来館の方対象の割引）（30年9月から実施中）
- ・江戸東京博物館内墨田区文化観光コーナー設置割引券（各企画展期間中）
- ・JAF 会員割引（JAF カード提示による割引）
- ・「北斎師弟対決！」展コラボカフェ店による割引（ORITOKYO、4/1～4/5）
- ・「北斎師弟対決！」展特別割引（北斎の弟子割引）（4/1～4/5）
- ・「クラクフ ドラゴンとドラゴン」展特別割引（ドラゴングッズをお持ちの方）（11/14 から令和 3 年 1/24 まで）

その他連携

都内他施設との連携

- ・区立美術館ネットワーク会議参加（7/15（水）・29（水）ZOOM 会議）
- ・区立美術館ネットワーク会議参加（9/8（火）目黒区美術館）
- ・区立美術館ネットワーク「コロナ禍を生きる区立美術館」参加（10/9（金）ZOOM 会議）
- ・区立美術館ネットワーク参加（3/2（火）ZOOM 会議）
- ・ケイ・インターナショナルスクール東京（江東区）の学生との常設展示仏語解説と当館の告知動画を制作

美術館運営業務

1. 施設貸出業務

施設(講座室)利用実績

平成 28 年度 (11/22 ~ 3/31)

講座	35
展示	22
ワークショップ	0
その他	88
合 計	145
利用者数	13,732 人

平成 29 年度

講座	66
展示	48
ワークショップ	26
その他	254
合 計	394
利用者数	25,991 人

平成 30 年度

講座	66
展示	17
ワークショップ	22
その他	318
合 計	423
利用者数	29,082 人

平成 31 年度

講座	38
展示	26
ワークショップ	30
その他	246
合 計	340
利用者数	24,431 人

令和 2 年度

講座	2
展示	9
ワークショップ	0
その他	18
合 計	29
利用者数	995 人

平成 31 年度：令和 2 年 29 日（土）～ 3 月 31 日（火） 臨時休館のため貸出停止

令和 2 年度：令和 2 年 4 月 1 日（水）～令和 3 年 3 月 31 日（水） 貸出停止

2. 施設管理業務

施設管理

施設全般管理、常設展示物点検、情報システム点検を仕様書に基づき実施

危機管理訓練・研修等

自衛消防訓練（総合訓練）・避難誘導訓練・通報訓練・消火訓練・AED 訓練の実施

3. すみだ北斎美術館専門員

当館の事業実施について、専門の学識経験を有する者から日常的かつ継続的に指導及び助言等を受けるために設置。

- ・専門委員は、（公財）墨田区文化振興財団理事長が選任する。
- ・専門員は、非常勤とする。理事長が特に必要があると認めるときは、専門員が執務を行う場所及び時間を指定することができる。
- ・任期は、1年以内とする。ただし、再任を妨げない。
- ・委員は、「すみだ北斎美術館専門家懇談会」に委員として出席すること。

すみだ北斎美術館専門家懇談会実施日

平成 29 年 2 月 3 日（金）、9 月 27 日（水）

平成 30 年 3 月 2 日（金）、11 月 2 日（金）

令和 元年 10 月 2 日（水）

令和 2 年 10 月 2 日（金）

自主事業

1. ミュージアムショップ運営

利用者数

平成 28 年度 37,814 人 平成 29 年度 61,217 人 平成 30 年度 48,326 人
平成 31 年度 38,786 人 令和 2 年度 10,260 人

2. 出版物販売

平成 28 年度

出版物	販売冊数
開館記念展 I 図録	6,297 冊
北斎ハンドブック	978 冊
北斎論	2 冊
ピーター・モース・コレクション北斎図録	173 冊
橋崎宗重美術資料図録	13 冊
開館記念展 II リーフレット	987 冊
北斎研究 42 号～49 号	3 冊
合 計	8,453 冊

平成 29 年度

出版物	販売冊数
開館記念展 I 図録	598 冊
北斎ハンドブック	315 冊
北斎ガイドブック	506 冊
北斎ガイドブック (英訳)	26 冊
二大コレクション展リーフレット	150 冊
双六	1,309 冊
ピーター・モース・コレクション北斎図録	218 冊
橋崎宗重美術資料図録	1 冊
パフォーマー☆北斎展図録	538 冊
めでたい北斎展リーフレット	798 冊
HOKUSAI BEAUTY 展リーフレット	411 冊
北斎研究 16 号～57 号	17 冊
合 計	4,887 冊

平成 30 年度

出版物	販売冊数
開館記念展図録 I	434 冊
北斎ハンドブック (旧)	91 冊
北斎ガイドブック (新)	983 冊
ピーター・モースコレクション北斎図録	98 冊
橋崎図録	2 冊
2 大コレクションリーフレット	151 冊
めでたい展リーフレット	90 冊
パフォーマー☆北斎図録	55 冊
パフォーマー☆北斎図録 ・特別販売 (販売日 1/2、1/3)	35 冊
BEAUTY 展リーフレット	262 冊
ウォーター展リーフレット	1,195 冊
北斎ガイドブック (英訳)	812 冊
北斎の橋すみだの橋展図録	481 冊
グルメ展リーフレット	1,281 冊
アニマルズ展リーフレット	1,273 冊

北斎研究 56 号～ 57 号	2 冊
北斎論	1 冊
双六	1 冊
合 計	7,247 冊

平成 31 年度

出版物	販売冊数
開館記念展図録 I	344 冊
北斎ハンドブック (旧)	18 冊
北斎ガイドブック (新)	682 冊
北斎ガイドブック (英訳)	680 冊
ピーター・モースコレクション北斎図録	47 冊
檜崎図録	1 冊
2 大コレクションリーフレット	89 冊
めでたい展リーフレット	126 冊
パフォーマー☆北斎図録	77 冊
パフォーマー☆北斎図録・特別販売 (販売日 1/2、1/3)	6 冊
B E A U T Y 展リーフレット	128 冊
北斎の橋すみだの橋展図録	163 冊
北斎の橋すみだの橋展図録・特別販売 (販売日 1/2、1/3)	10 冊
アニマルズ展リーフレット	49 冊
なりわい展リーフレット	901 冊
綴フリーア展リーフレット	1,082 冊
茂木本家展図録	1,199 冊
師弟対決! 展リーフレット	231 冊
合 計	5,833 冊

令和 2 年度

出版物	販売冊数
開館記念展図録 I	76 冊
北斎ハンドブック (旧)	9 冊
北斎ガイドブック (新)	161 冊
北斎ガイドブック (英訳)	30 冊
ピーター・モースコレクション北斎図録	10 冊
檜崎図録	0 冊
2 大コレクションリーフレット	12 冊
めでたい展リーフレット	16 冊
パフォーマー☆北斎図録	3 冊
B E A U T Y 展リーフレット	18 冊
北斎の橋すみだの橋展図録	28 冊
なりわい展リーフレット	26 冊
綴フリーア展リーフレット	16 冊
茂木本家展図録	25 冊
師弟対決! 展リーフレット	40 冊
大江戸歳時記展リーフレット	396 冊
筆魂展 図録	714 冊
合 計	1,580 冊

3. 写真資料貸出

	有料	無償
平成 28 年度	21 件	38 件
平成 29 年度	93 件	54 件
平成 30 年度	84 件	96 件

	有 料			無 償		
	DNP	美術館	計	DNP	美術館	計
平成 31 年度	110 点	69 点	179 点	114 点	149 点	263 点
令和 2 年度	130 点	8 点	138 点	168 点	150 点	318 点

*平成 31 年度、令和 2 年度は、貸出画像の点数を算出。

■平成 31 年度より、株式会社 DNP アートコミュニケーションズによる「Image Archives」から画像の貸出を開始。

4. 自動販売機設置

B1F : 1 台 4F : 1 台

5. 撮影利用 (有料)

平成 29 年度	連続ビデオ企画映画「力俵 -RIKISYA-」の撮影
平成 30 年度	製品 (家具) パンフレット用スチール撮影利用 日本テレビ「世界一受けたい授業」撮影 ウェブマガジン B.R.ONLINE スタイリング特集の撮影
平成 31 年度	アパレルブランドの商品写真撮影 アトレ恵比寿ポスター用写真撮影 資生堂中国支社のブランドイメージ WEB 動画 フェラーリジャパン PR 用スチール撮影利用
令和 2 年度	国内アパレルブランド広告写真撮影 化粧品 / 美顔器会社のイメージビデオ撮影 女性向けファッションブランドのムービーの撮影

その他の業務

1. 墨田区北斎基金寄付キャンペーンへの協力

「1日館長」実施

平成28(2016)年10月5日～平成29年3月31日(64人)

館長による館の紹介、学芸員による企画展案内、任命書、記念写真、記念品としてすみだ北斎美術館オリジナルグッズ「一筆箋」「クリアファイル」リーフレット「富嶽三十六景」を贈呈

「スペシャル公開デー」実施

平成29(2017)年3月8日、10日

夜間延長開館による特別観覧、学芸員による企画展・常設展の展示解説ツアー

記念品として企画展「Hokusai Beauty ～華やぐ江戸の女たち～」リーフレットと特別制作した「絵画一口オーナー作品リーフレット」をプレゼント

平成29(2019)年3月9日

「トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ」の弦楽四重奏による特別コンサート実施

2. すみだ北斎美術館開館3周年記念行事の実施

開館3周年記念上映

令和元年11月15日～12月26日

NHKスペシャル「ロスト北斎 The Lost Hokusai『幻の巨大絵に挑む男たち』」

「須佐之男命厄神退治図」推定復元(彩色について)プロジェクトイベント

開館3周年記念行事の実施

令和2年4月1日～4月5日、6月2日～11月8日

2019年の日本・ポーランド共和国国交樹立100周年記念と当館開館3周年記念に際し、ポーランドや日本美術技術博物館(在ポーランドクラクフ)と日本の関係性を紹介するパネル展示を実施

3. すみだ北斎美術館開館4周年・日本美術技術博物館(通称マンガ館)との友好協力協定締結1周年記念行事の実施

特別展示

当館4周年並びに両館の友好協力協定締結1周年を記念して、「クラクフ ドラゴンとドラゴン」展を開催

- ・開催期間：令和2年11月14日(土)から令和3年1月24日(日)まで
- ・開催施設：4階展望ラウンジ
- ・観覧料：無料
- ・観覧者数：9,267人

講演会

令和2年11月15日(参加者27人)

すみだ北斎美術館開館4周年記念・友好協力協定締結1周年記念 講演会「100年前にマンガと呼ばれたポーランド人ーヤシエンスキと浮世絵」(東京外国語大学名誉教授 関口時正)

展覧会紹介動画

令和2年12月15日（当館公式 YouTube チャンネル）

「クラクフ ドラゴンとドラゴン」展について、都市クラクフや展示の制作背景・作品についての解説・紹介
展示作品の作家パウリナ・パジジェラ、プシェミスワフ・ヴィデウ、カミル・クズコ3名作品解説

オンラインアーティストトーク 当館公式 YouTube チャンネル

令和2年12月15日～「クラクフ ドラゴンとドラゴン」展作家（上記）及び作品解説

オンラインワークショップ 当館公式 YouTube チャンネル

令和2年12月6日～ 上記同展 年賀状／グリーティングカード制作・解説

インセンティブツール 公式ホームページよりダウンロード

令和2年12月6日～ 上記同展 年賀状／上記Gカード素材・作品のカレンダー・スマホ壁配布

記念商品 ミュージアムショップにて販売

令和2年11月22日～

オリジナルマスク3種（神奈川沖浪裏、梟、牡丹）

4. フランス語展示解説と告知動画の制作

■展示解説 4月1日（水）～随時実施

ケイ・インターナショナルスクール東京（江東区）と当館教育普及担当者とは協力し、当校の教育プログラムの一環として、フランス人が読んでわかりやすいフランス語の展示解説を制作

■PR動画 4月1日（水）～随時実施

ケイ・インターナショナルスクール東京（江東区）と当館広報担当者とは協力し、当校の教育プログラムの一環としてPR動画を制作。授業中に制作した動画コンテより優秀な作品1点を当館PRとして活用

すみだ北斎美術館

研究紀要 NO.1

館報 2016～21

令和4(2022)年3月31日発行

編集・発行 すみだ北斎美術館

〒130-0014 東京都墨田区亀沢2-7-2

TEL：03-6658-8931

Homepage:<http://hokusai-museum.jp/>

印刷 株式会社コトブキ